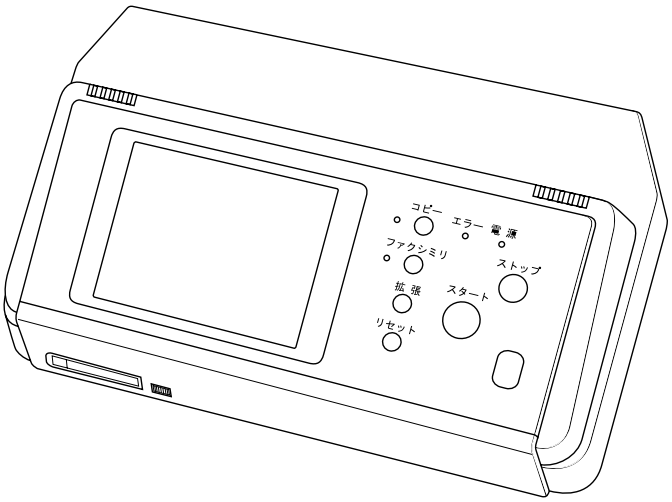
FITCOPY-R

取扱説明書

ー第 2 版ー



1 概要
2 コピー
3 ファクス
4 PCファクス
5 ネットワークスキャナ
6 ネットワークプリンタ
7 運用管理
8 困ったときは
9 付録

はじめに

このたびはFITCOPY-Rをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機は、理想科学工業製プリンタと、PFU製スキャナ、またはEPSON製のスキャナを使用する事により、コピー、ファクス（G3ファクス送信、ファクス受信、ファクス着信転送）、PCファクス送信、ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタを実現します。
対応機種につきましては、お買い求めの販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、上記の機能の利用方法を説明したものです。次のページで同梱物を確認された後、5ページより記載の「安全に正しくお使いいただくために」をご覧ください。
プリンタ機能およびスキャナ機能につきましては、プリンタ、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

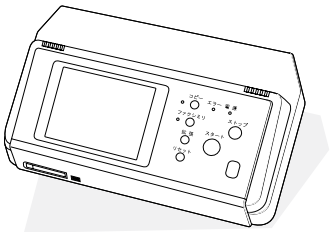
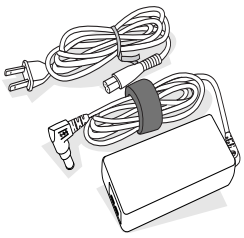
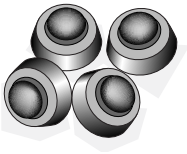
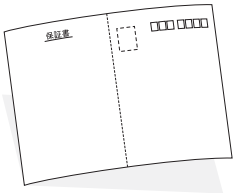
本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、本機のそばに保管してください。
取扱説明書をよくお読みになり、本機を末永くご愛用ください。

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

同梱物の確認

梱包を開けられましたら、以下の付属品がすべてそろっていることと、本体、および付属品に損傷がないことをご確認ください。
万一、不足や不良品がございましたら、下記のサポートダイヤルまでご連絡ください。

●サポートダイヤル
サイレックス・テクノロジー株式会社
TEL:06-6730-3775

□ FITCOPY-R（本体） 	□ AC アダプタ 	□ケース・レグ（樹脂脚）4 個 
□プリンタケーブル （25P-36P ケーブル） 	□スキャナケーブル （SCSI ケーブル） 	□取扱説明書（本書）
□保証書兼ユーザ登録はがき 		

安全に正しくお使いいただくために

〇本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書およびスキャナ、プリンタに添付されておりますその他の取扱説明書をお読みください。
〇本書およびスキャナ、プリンタに添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全に正しくお使いいただくために

警告

■発煙・異臭が発生するなどの異常状態をそのまま放置しない

火災や感電のおそれがあります。

● AC アダプタをコンセントから抜き、販売店またはサービス実施店へご連絡ください。

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

●ぬれた手をよく拭いて電源プラグ（金属でない部分）を持ってください。

■ AC アダプタ・電源コードの加工をしない

火災や感電のおそれがあります。

■電源プラグは根元まで差し込む

差込みが不完全のまま使用すると、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災を起こすおそれがあります。

電源プラグを抜く

●電源プラグを抜いてサービス実施店へご相談ください。

■電源プラグのほこりは定期的に取る

プラグにほこりがたまると湿気等で絶縁不良になり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■ AC アダプタ・電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしないでください。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は、サービス実施店へご相談ください。

■本機を分解・改造しない

高電圧部分にさわると感電するおそれがあります。

分解禁止

安全に正しくお使いいただくために

⚠注意

■本機を正しく固定する

本機が落ちて、破損やけがをするおそれがあります。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所で使用しない

調理台や加湿器などのそばに置くと、火災、感電の原因となることがあります。

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに放置しない

ガソリンなどが発火し火災を起こすおそれがあります。

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。

■長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。

電源プラグを抜く

■本機を取り付け、取り外す場合は、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外してから行う

コードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。

電源プラグを抜く

■各種コード(ケーブル)は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしない

配線を誤ると、火災、感電のおそれがあります。

複写上の注意

以下の行為は、法律により禁止されています。
・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券をコピーすること
（見本印があっても不可）
・日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類をコピーすること
・政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどをコピーすること
・政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類をコピーすること

次のものは、コピーするにあたり注意が必要です。
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
・パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について
書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

※本機設置にあたり、管理者は使用者が上記行為を行わないよう管理する必要があります。

取扱説明書の構成と使い方

＜本書の構成＞

本製品に付属の取扱説明書は、以下のように構成されています。

■巻頭の「安全に正しくお使いいただくために」では、本機をご利用いただくにあたり、あらかじめ知っておいていただきたい注意事項を記載しています。必ずお読みください。

■「1 章 概要」「2 章 コピー」「3 章 ファクス」「4 章 PC ファクス」「5 章 ネットワークスキャナ」「6 章 ネットワークプリンタ」は、本機の導入方法や、機能別に操作方法を記載しています。

■「7 章 運用管理」「8 章 困ったときは」「9 章 付録」は、管理者が行なう設定や日常の手入れ、トラブルの対処方法を記載しています。

＜目次で探す＞

■本機で行ないたいと思った事柄を目次で探してください。

●「目次」→ 12 ページ

＜索引で探す＞

■キーワードを元に索引を利用して、目的のページへ素早くたどりつくことができます。

●「索引」→ 9-13 ページ

本文中のマーク、表記について

本書の中のマークや表記が付いている文章は、次のように重要な内容を記載しています。必ずお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、装置本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

お取り扱い上のアドバイスを記載しています。

知っておいていただきたいことを記載しています。

補足

補足事項を説明しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

［両面→片面］

ボタンを示しています。

「完了しました」

各種機能の設定値、及びLCDパネルに表示されるメッセージを示しています。

用語の説明

用　語	説　　明
インタフェース	二つ以上の機器をつなぐ際の転送速度やタイミング、手順などの規格のことです。
パラレル インタフェース	複数の信号線を用いて同時に数ビットまとめてデータを送るパラレル伝送で、外部機器と接続するためのインタフェースのことです。プリンタに装着して使用します。
解像度	スキャナやプリンタの、きめの細かさのこと。解像度は普通１インチ当たりにドットがいくつあるかを示すdpi(dot per inch)という単位であらわします。
プロトコル (protocol)	ネットワークを介してコンピュータ同士が通信を行なう上で、相互に決められた約束事の集合です。通信手順、通信規約などと呼ばれることもあります。
LPD	Line Printer Daemonの略。TCP/IPのプロトコルを使用してネットワーク上のプリンタに印字するためのプロトコルです。本機側で使用します。
LPR	Line Printer Remoteの略。TCP/IPのプロトコルを使用してネットワーク上のプリンタに印字するためのプロトコルです。クライアント（パソコン）側で使用します。
DNS	Domain Name Systemの略。TCP/IPネットワーク環境において、ホスト名から、対応するIPアドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。　DNSサーバは、ホスト名とIPアドレスの対応関係を記述したデータベースを管理しており、クライアントからの要求に応じて、ホスト名からそのIPアドレスを参照します。これによりユーザは、分かりにくいIPアドレスではなく、ホストの名前を指定するだけでネットワークにアクセスできるようになります。
ADF	Automatic Document Feeder／Auto Document Feederの略。複数の原稿を自動的にスキャンするためのスキャナオプションです。ADFには原稿の両面を読み取れるタイプもあります。

目　次

はじめに 3
同梱物の確認 4
安全に正しくお使いいただくために 5
　警告 6
　注意 7
複写上の注意 8
取扱説明書の構成と使い方 9
本文中のマーク、表記について 10
用語の説明 11
目　次 12

1章　概要 1-1
各機能の概要 1-2
　本装置の機能概要 1-2
　コピー概要 1-3
　　■ダイレクトコピー 1-3
　　■ネットワークコピー 1-3
　ファクス概要 1-4
　　■ファクス送信 1-4
　　■ファクス着信転送 1-4
　PC ファクス概要 1-5
　ネットワークスキャナ概要 1-6
　　■ファイル転送 1-7
　　■メール転送 1-7
　ネットワークプリンタ概要 1-8
　各部の名称とはたらき 1-9
　　■操作パネル部（正面） 1-9
　　■操作パネル部（前面） 1-10
　　■操作パネル部（裏面） 1-10
　CF カードの取り扱い 1-11
接続の概要 1-12
　接続全体図 1-12
　ケース・レグの取り付け 1-13
ソフトウェアキーボード 1-14
　ソフトウェアキーボード画面 1-14
　　■入力モードの切り替え 1-14
　　■カーソルの移動 1-14
　　■空白の入力 1-14
　　■入力文字の消去 1-14
　　■入力の終了 1-14
　文字入力 1-15
　　■アルファベットの入力 1-15
　　■カタカナの入力 1-15
　　■記号の入力 1-16
　　■ひらがな／漢字の入力 1-16
　　■区点コードで入力 1-18
原稿の向きと表示方向 1-19
製品導入時の設定 1-20
　電源の投入 1-20
　タッチパネルディスプレイの
　　コントラスト調整 1-21
　タッチパネルの調整 1-22
　　■タッチパネルの再調整 1-23
　起動時の処理 1-24
　　■プリンタ接続処理 1-24
　　■ CF カード確認処理 1-25
　　■スキャナ接続処理 1-25
　装置の設定 1-26
　　■管理モード画面 1-26
　環境設定 1 1-28
　　■日付設定 1-28
　　■時刻設定 1-29
　環境設定 2 1-30
　　■ IP アドレス設定 1-30
　　■サブネットマスク設定 1-31
　　■デフォルトゲートウェイ
　　　アドレス設定 1-32
　　■ DNS 設定 1-33
　　■ WINS 設定 1-34
　　■ SMTP 設定 1-35
　　■プリンタ登録 1-37
　　■プリンタオプション設定 1-39
　　■デフォルトプリンタの設定 1-40
　端末登録 1-41
　　■自局番号登録 1-41

■自局名称登録 1-42
発信元記録 1-43
回線種類 1-44
電源の遮断 1-45

2章　コピー 2-1
画面 2-2
コピー基本画面 2-2
応用機能画面 2-3
コピーの準備 2-4
設定項目一覧 2-4
プリンタの接続状態について 2-4
コピー 2-5
コピーの手順 2-5
基本コピーの設定 2-6
原稿サイズ 2-6
縮小拡大 2-7
■定型サイズ変倍 2-7
■倍率指定 2-8
■「ちいさめ」について 2-8
コピー品質 2-9
輪郭 2-10
濃度 2-11
応用コピーの設定 2-12
両面コピー 2-13
■「とじ位置」とは 2-14
■原稿台から両面原稿を
スキャンする 2-15
とじ代 2-16
コピー解像度 2-17
縮小レイアウト 2-18
ページソート 2-19
■ソート処理一覧 2-20
プリンタ選択 2-22
RGB レベル 2-23
給紙トレイ 2-24
明彩度 2-25
ページ連写 2-26
色相 2-27
■色相とは 2-28
特殊機能 2-29
■ブックレット処理とは 2-30
Dropout カラー 2-31
コピー履歴の確認 2-32
■履歴を印刷する 2-32
設定値保存 2-33
■設定値印刷 2-33

3章　ファクス 3-1
画面 3-2
ファクス基本画面 3-2
応用機能画面 3-3
ファクス送受信の準備 3-4
設定項目一覧 3-4
ファクス送信 3-5
ファクス送信の手順 3-5
■テンキーからダイヤルする 3-7
■リダイヤルする 3-7
■アドレス帳からダイヤルする 3-8
不達通知 3-9
ファクス受信 3-10
ファクス受信の手順 3-10
基本ファクスの設定 3-11
送信画質 3-11
送信解像度 3-12
送信濃度 3-13
応用ファクスの設定 3-14
両面読取 3-15
■原稿台から両面原稿を
スキャンする 3-15
原稿サイズ 3-16
■ ADF サイズ 3-16
■原稿台サイズ 3-17
輪郭設定 3-18

変倍送信 3-19
発信元記録 3-20
端末登録 3-20
■自局番号登録 3-20
■自局名称登録 3-20
■グループ登録 3-20
受信モード 3-21
受信用紙 3-22
■「ちいさめ」について 3-23
ADF 異常時 3-24
送信メモリフル時 3-25
送信速度・受信速度 3-26
通信音量 3-27
回線種類 3-28
エラー訂正機能 3-28
特殊送信 3-29
F コード送信 3-29
■F コードをつけて送信する 3-30
グループ送信 3-31
■グループからダイヤルする 3-31
■グループの登録 3-33
■グループに送信先を
追加／削除する 3-34
■グループ名を修正する 3-35
■グループを削除する 3-36
タイマ送信 3-38
■タイマ送信を予約する 3-38
■タイマ送信を解除する 3-39
呼出回数 3-40
リダイヤル機能 3-41
■リダイヤル回数 3-41
■リダイヤル間隔 3-41
設定値保存 3-42
■設定値印刷 3-42
テスト送信 3-43
ファクス着信転送の設定 3-44
ルーティングテーブルとは 3-44
設定項目一覧 3-45
転送先レコードの設定 3-46
■転送先レコード選択画面 3-46
■デフォルトルートの設定 3-47
■レコードの追加 3-47
■レコードの変更 3-48
■レコードの削除 3-49
ルーティングテーブルの設定 3-50
■転送規則の設定 3-50
■転送プロトコルの設定 3-50
■共有フォルダの設定 3-51
■FTP 転送の設定 3-52
■E メール転送の設定 3-53
■転送ファイル形式の設定 3-55
■転送時印刷の設定 3-55
■設定値の確認 3-56
アドレス帳 3-57
アドレス帳の登録 3-57
アドレス帳の修正／削除 3-59
アドレス帳の印刷 3-60
ファクス履歴 3-61
ファクス履歴の確認 3-61
■送信／受信履歴を印刷する 3-62
■メモリ受信を再転送する 3-62
■履歴を初期化する 3-62
■履歴印刷サンプル 3-63

4 章　PC ファクス 4-1
PC ファクス送信の準備 4-2
ブラウザの設定 4-2
PC ファクスの送信 4-3
PC ファクス送信の手順 4-3
ファクス送信先の設定 4-4
■PC ファクス送信画面を開く 4-4
■設定項目一覧 4-5
■送信先入力設定 4-6
■アドレス帳から選択する 4-6
■送信ファイルを選択する 4-7

PC ファクスアドレス帳 4-8
アドレスの登録 4-8
アドレスの編集 4-10
アドレスの削除 4-11
PC ファクス状況画面 4-13
送信状況の確認 4-13
■状況メッセージ一覧 4-14

5 章　ネットワークスキャナ 5-1
画面 5-2
ネットワークスキャナ基本画面 5-2
応用機能画面 5-3
ネットワークスキャナの準備 5-4
設定項目一覧 5-4
スキャンニング 5-5
スキャンニングの手順 5-5
基本スキャンの設定 5-7
原稿サイズ 5-7
解像度 5-8
画像種別 5-9
閾値／濃度 5-10
応用スキャンの設定 5-11
両面読取 5-12
Dropout カラー 5-13
ファイル形式 5-14
■画像の関係一覧 5-14
輪郭 5-15
特殊機能 5-16
■ iFax とは 5-16
ワンタッチ 5-17
ワンタッチの設定 5-17
■ワンタッチの登録 5-17
■ワンタッチの削除 5-19
転送先の設定 5-20
転送プロトコルの設定 5-20
転送先の入力 5-21
■共有フォルダの設定 5-21
■ FTP 転送の設定 5-22
■ E メール転送の設定 5-23
転送先一覧 5-25
■転送先一覧からの選択 5-26
■転送先の登録 5-27
■転送先の修正 5-28
■転送先の削除 5-30
転送情報変更 5-31
転送情報変更処理 5-31
スキャンニング履歴 5-32
スキャンニング履歴の確認 5-32
■履歴を印刷する 5-32
設定値保存 5-33
設定値保存 5-33
■設定値印刷 5-33

6 章　ネットワークプリンタ 6-1
ネットワークプリンタを利用するには 6-2

7 章　運用管理 7-1
管理モード 7-2
管理モードとは 7-2
管理モード画面 7-5
ログオン／ログオフ 7-6
ログオン 7-6
ログオフ 7-8
環境設定 7-9
環境設定画面 7-9
環境設定 1 7-11
■日付設定 7-11
■時刻設定 7-11
■節電設定 7-12
■オートクリア設定 7-13
■オートログオフ設定 7-14
■音量設定 7-15
■設定初期化 7-16

■ CF カード管理 7-18
■タッチパネルの再調整 7-19
環境設定 2 7-20
■ IP アドレス設定 7-20
■サブネットマスク設定 7-20
■デフォルトゲートウェイ
アドレス設定 7-20
■ DNS 設定 7-20
■ WINS 設定 7-20
■通信障害設定 7-21
■ SMTP 設定 7-23
■ SNTP 設定 7-23
■プリンタ登録 7-25
■プリンタオプション設定 7-25
■デフォルトプリンタの設定 7-25
■プリンタオフセット設定 7-26
■プリンタ排紙先設定 7-27
設定値印刷 7-28
状況ログ画面 7-29
状況ログ画面表示 7-29
■状況ログ結果一覧 7-30
ユーザ管理 7-34
ユーザの登録 7-34
ユーザ情報の変更 7-35
ユーザの削除 7-36
管理者メニュー 7-37
設定内容バックアップ 7-37
設定内容リストア 7-38
管理者パスワードの変更 7-40
ファームウェアのバージョンアップ .. 7-41
■バージョンの確認 7-41
■バージョンアップ方法の選択 7-41
■ Web ブラウザからの
バージョンアップ 7-42
■ CF カードからの
バージョンアップ 7-44

8 章　困ったときは 8-1
エラーメッセージ 8-2
エラー発生について 8-2
エラーメッセージ一覧 8-2
■コピー編 8-2
■ファクス編 8-3
■ PC ファクス編 8-4
■ネットワーク編 8-5
■プリンタ編 8-6
■スキャナ編 8-7
■ Flash ROM 編 8-8

9 章　付録 9-1
日常のお手入れ 9-2
サポートのご案内 9-3
故障のとき 9-3
サポートダイヤル 9-3
ローマ字入力表 9-4
設定値一覧 9-5
コピー設定 9-5
ファクス設定 9-6
ネットワークスキャナ設定 9-7
環境設定 9-8
ユーザ管理設定 9-9
ルーティングテーブル設定 9-10
アドレス帳設定 9-10
仕様 9-11
MAC アドレスについて 9-12
索引 9-13

1章 概要

■目次

各機能の概要 2
本装置の機能概要 2
コピー概要 3
■ダイレクトコピー 3
■ネットワークコピー 3
ファクス概要 4
■ファクス送信 4
■ファクス着信転送 4
PC ファクス概要 5
ネットワークスキャナ概要 6
■ファイル転送 7
■メール転送 7
ネットワークプリンタ概要 8
各部の名称とはたらき 9
■操作パネル部（正面） 9
■操作パネル部（前面） 10
■操作パネル部（裏面） 10
CF カードの取り扱い 11
接続の概要 12
接続全体図 12
ケース・レグの取り付け 13
ソフトウェアキーボード 14
ソフトウェアキーボード画面 14
■入力モードの切り替え 14
■カーソルの移動 14
■空白の入力 14
■入力文字の消去 14
■入力の終了 14
文字入力 15
■アルファベットの入力 15
■カタカナの入力 15
■記号の入力 16
■ひらがな／漢字の入力 16
■区点コードで入力 18
原稿の向きと表示方向 19
製品導入時の設定 20
電源の投入 20
タッチパネルディスプレイの
コントラスト調整 21
タッチパネルの調整 22
■タッチパネルの再調整 23
起動時の処理 24
■プリンタ接続処理 24
■ CF カード確認処理 25
■スキャナ接続処理 25
装置の設定 26
■管理モード画面 26
環境設定 1 28
■日付設定 28
■時刻設定 29
環境設定 2 30
■ IP アドレス設定 30
■サブネットマスク設定 31
■デフォルトゲートウェイ
アドレス設定 32
■ DNS 設定 33
■ WINS 設定 34
■ SMTP 設定 35
■プリンタ登録 37
■プリンタオプション設定 39
■デフォルトプリンタの設定 40
端末登録 41
■自局番号登録 41
■自局名称登録 42
発信元記録 43
回線種類 44
電源の遮断 45

本装置の機能概要

本装置には以下の機能が搭載されています。

主機能

■コピー
■ファクス
（G3 ファクス送信／ファクス受信／
ファクス着信転送）
■ PC ファクス
■ネットワークスキャナ
■ネットワークプリンタ

補助機能

■ユーザ管理
■ログオン／ログオフ
■環境設定
■状況ログ画面

ご注意

・各種転送処理においては、ネットワークのセキュリティポリシーにより転送できないことがあります。その場合には、ネットワーク管理者にお尋ねください。
・パソコンの OS は、Microsoft Windows 98SE/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP をご利用ください。
・ブラウザは、Microsoft Internet Explorer 5.0 以上または 6.0 以上、Netscape6.0 以上をご利用ください。なお Netscape については、画面イメージが一部 Internet Explorer と異なります。
・メールサーバは、Microsoft Exchange 5.5/2000、linux sendmail をご利用ください。
・ネットワークスキャナ、ファクス着信転送で転送されるファイル名は、以下のように作成されます。

＜タイムスタンプ＞　YY MM DD HH MM SS _ OO . tif
YY MM DD HH MM SS _ OO . pdf
（年）（月）（日）（時）（分）（秒）_(No).（拡張子）

例）2002 年 12 月 21 日 09 時 11 分 12 秒に 3 ページのファイルを作成した場合

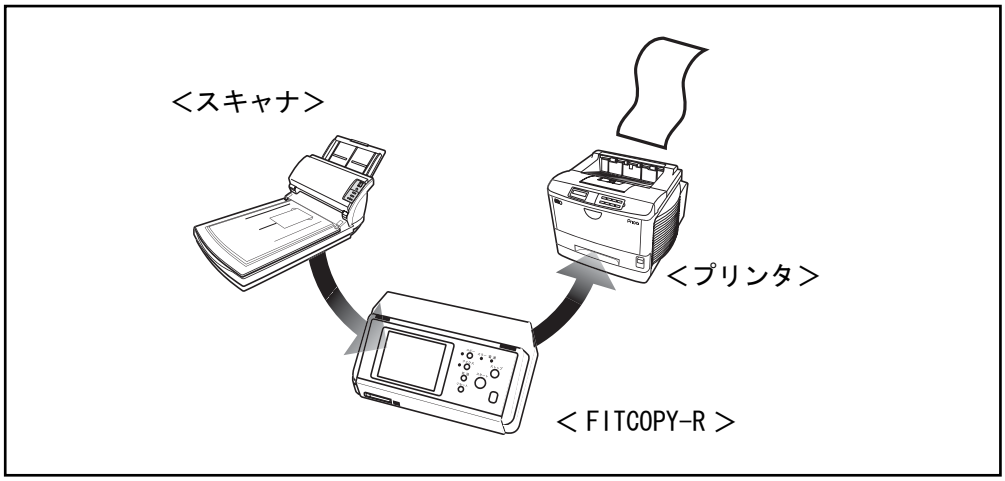
＜ PDF ＞　021221091112_00.pdf
＜ TIFF Multi ＞　021221091112_00.tif
＜ TIFF ＞　021221091112_00.tif
021221091112_01.tif
021221091112_02.tif

コピー概要

スキャナよりスキャンしたデータを、プリンタから印刷することにより、コピーをとる事が出来ます。コピーの印刷方法は、大きく分けて次の 2 つに分かれます。

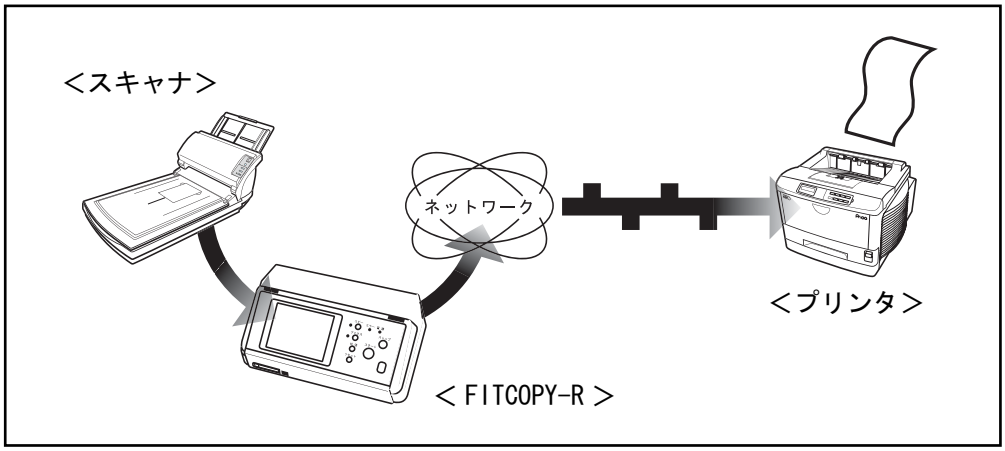
■ダイレクトコピー

スキャナよりスキャンしたデータを、本機に接続されたプリンタからダイレクトに印刷 します。



■ネットワークコピー

スキャナよりスキャンしたデータを、ネットワークに接続されているプリンタから印刷します。

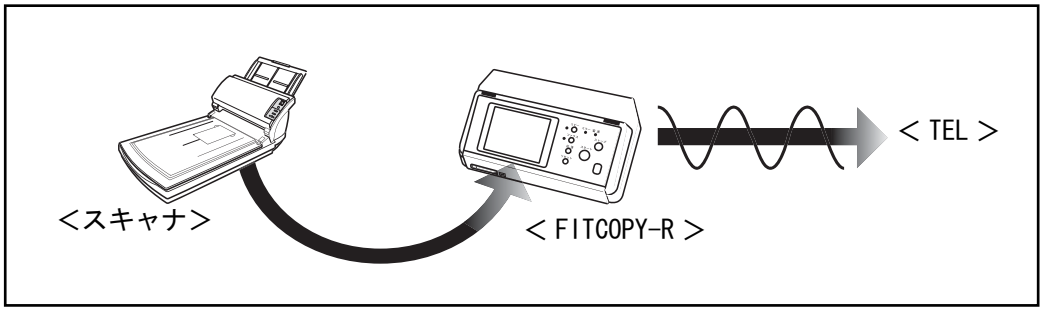


ファクス概要

スキャナよりスキャンした原稿をファクス送信する機能と、受信したファクスをプリンタから印刷する機能があります。また、受信ファクスをパソコン／サーバに転送するファクス着信転送機能があります。

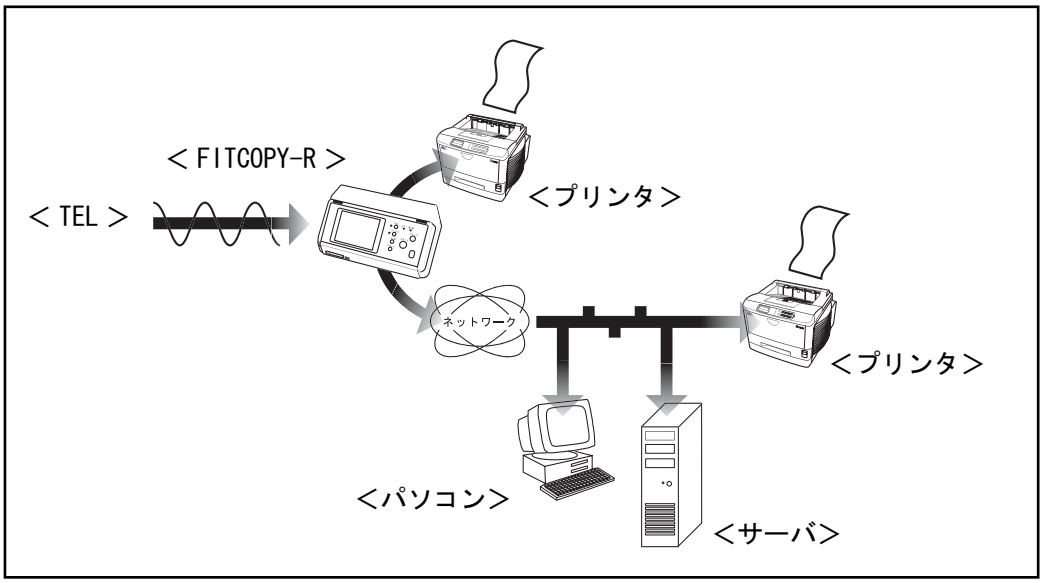
■ファクス送信

スキャナよりスキャンしたデータを、ファクス送信します。



■ファクス着信転送

受信したファクスを本機に登録されているルーティングテーブル（転送設定）を元に、E メール転送、FTP サーバ／共有フォルダへのファイル転送を行ないます。また、ローカルプリンタ／ネットワークプリンタから印刷することもできます。

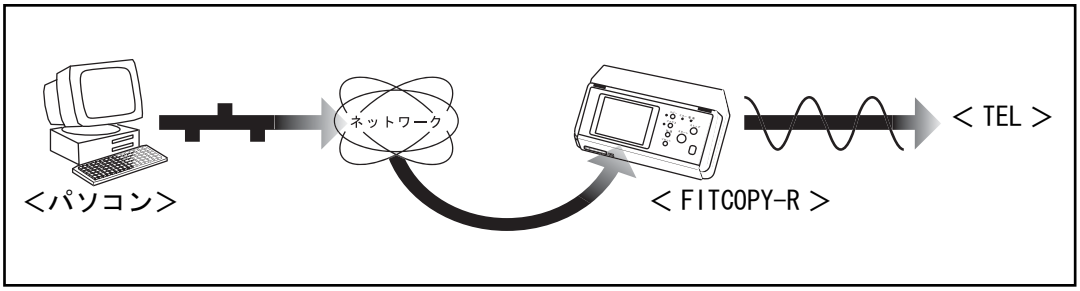


メモ

受信したファクスを、印刷せずに転送のみを行なう事もできます。ただし、ファクス着信転送出来ない場合は本機のメモリに蓄積します。

PC ファクス概要

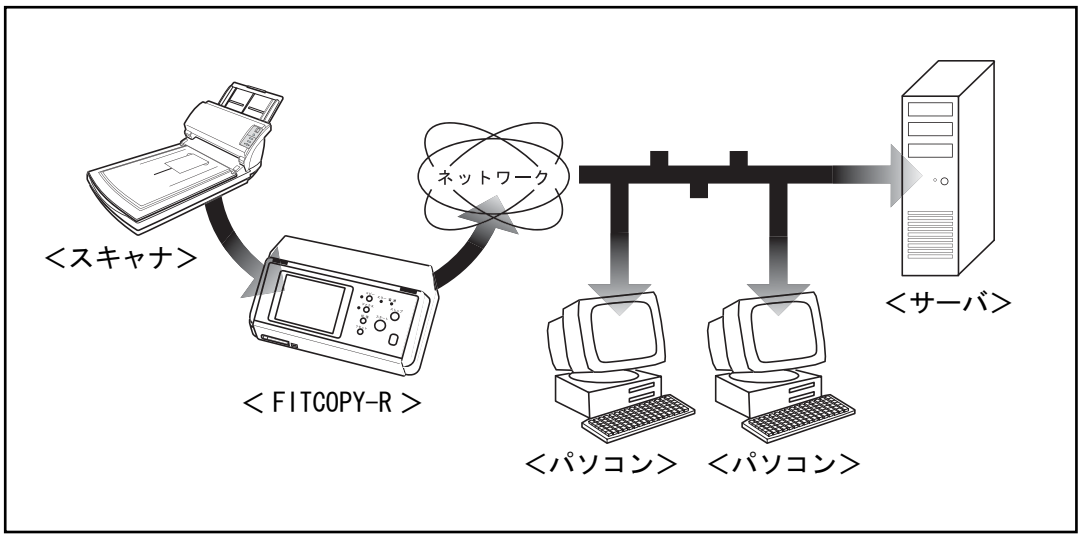
TIFF ファイルをパソコンのブラウザからファクス送信する機能です。TIFF ファイルは、パソコンであらかじめ作成しておく必要があります。



ネットワークスキャナ概要

スキャナよりスキャンしたデータを、コピーをとるような感覚で、文書や画像を簡単に電子データ化し、本機に設定された転送先へデータを転送します。文書や画像の電子化により、管理や活用が快適になり、作業効率を大きく向上させます。また、ペーパーレスなオフィス環境や、ネットワーク共有による高いコストパフォーマンスを実現させます。
ユーザごとに転送先及び、ワンタッチ（スキャナの原稿設定）を登録しておくことができますので、ネットワークスキャナをすばやく開始することができます。
スキャンしたデータの転送方法は、大きく分けて次の 2 つに分かれます。

■ファイル転送
■メール転送



■ファイル転送

スキャナよりスキャンした電子データを、本機に設定された転送先へ転送します。データはTIFF／PDF／JPEGファイルへ変換されますので、既存のアプリケーションで手軽に活用できます。電子ファイリングシステム環境を容易に構築することも可能です。

転送プロトコルは以下のとおりです。

プロトコル	説　　明
SMB （エスエムビー）	Server Message Blockの略。　ネットワークを通じてファイル共有やプリンタ共有を実現するプロトコルです。
FTP （エフティーピー）	File Transfer Protocolの略。 インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルです。

■メール転送

スキャナよりスキャンした電子データをTIFF／PDF／JPEGファイルに変換し、メールサーバ経由でメールに添付して転送します。
また、インターネットを経由して外部にメール配信することもできますので、パソコンから添付ファイルとして送信する必要がなくなります。

転送プロトコルは以下のとおりです。

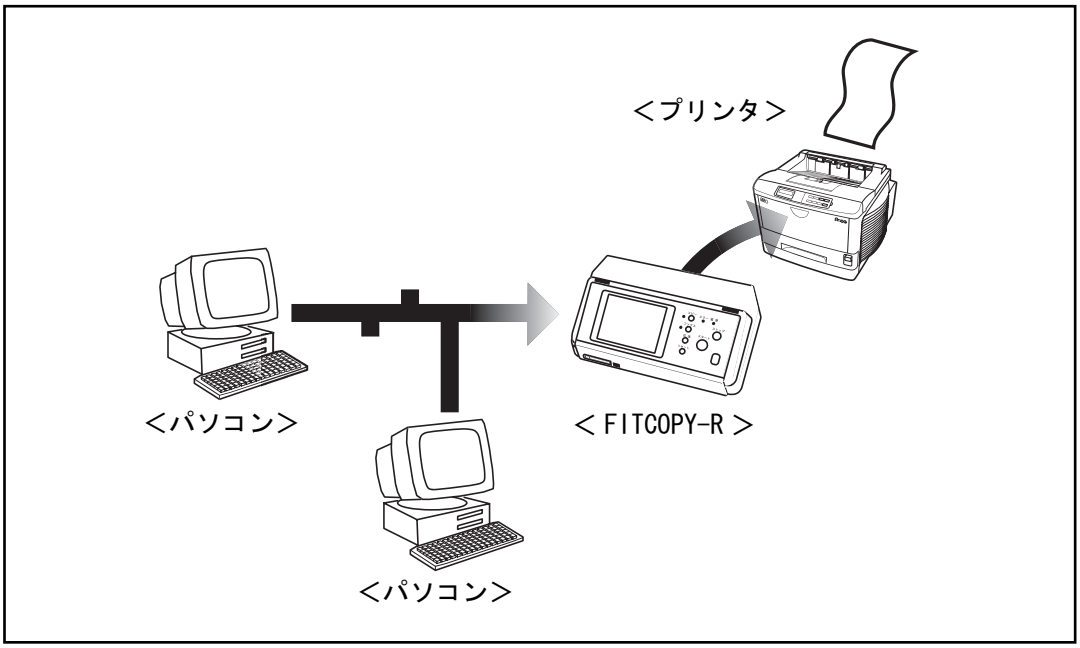
プロトコル	説　　明
SMTP （エスエムティーピー）	Simple Mail Transfer Protocolの略。　TCP/IPの上位プロトコルで、電子メール送信システムで使われるプロトコル。電子メールソフトがメールサーバにメールを送るときやメールサーバ間のメールのやり取りに使われます。

ネットワークプリンタ概要

ネットワーク経由で送られてくる印刷データをプリンタへ転送し、印刷を行ないます。　パソコンからネットワークプリンタをご利用になるには、プリンタドライバを、ご利用のパソコンへインストールしていただく必要があります。

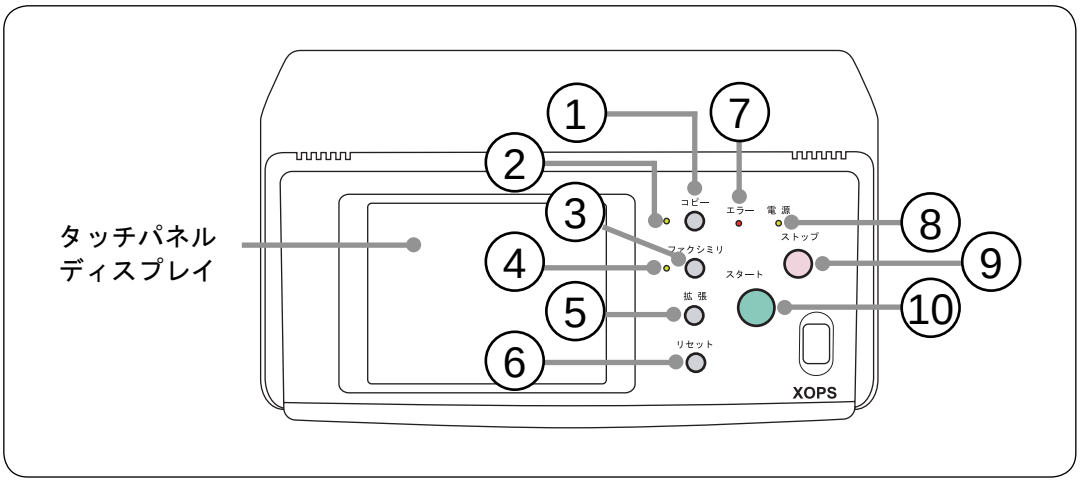
注意

ご利用のパソコンの OS が WindowsNT 4.0、Windows2000/XP の場合は、OS が所有している LPR をご利用ください。



各部の名称とはたらき

■操作パネル部（正面）

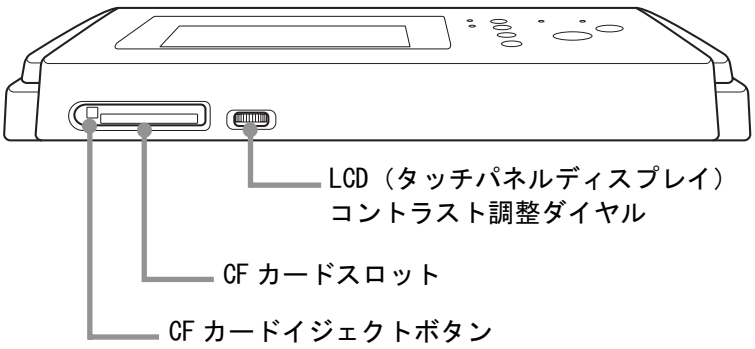


No.	名　称	説　　明
①	「コピー」ボタン	コピーモードに切り替えます。
②	「コピー」ランプ	点灯：コピーモードです。 点滅：コピー動作中です。
③	「ファクシミリ」ボタン	ファクスモードに切り替えます。
④	「ファクシミリ」ランプ	点灯：ファクスモードです。 点滅：ファクス動作中です。
⑤	「拡張」ボタン	ネットワークスキャナモードに切り替えます。
⑥	「リセット」ボタン	設定などを設定保存された状態にリセットします。 データ入力中は、入力エリアのデータをクリアします。
⑦	「エラー」ランプ	何らかのエラーが発生したことを示します。 消灯：本機は正常に動作しています。 点灯／点滅：本機にエラーが発生しています。 ●「エラーメッセージ一覧」参照
⑧	「電源」ランプ	本機の動作状態を示します。 消灯：本機が電源オフの状態です。 点灯：本機を使用可能な状態です。 点滅：ファクス受信データがあります。
⑨	「ストップ」ボタン	コピー／ファクス送信／ネットワークスキャナを中断します。
⑩	「スタート」ボタン	コピー／ファクス送信／ネットワークスキャナを開始します。

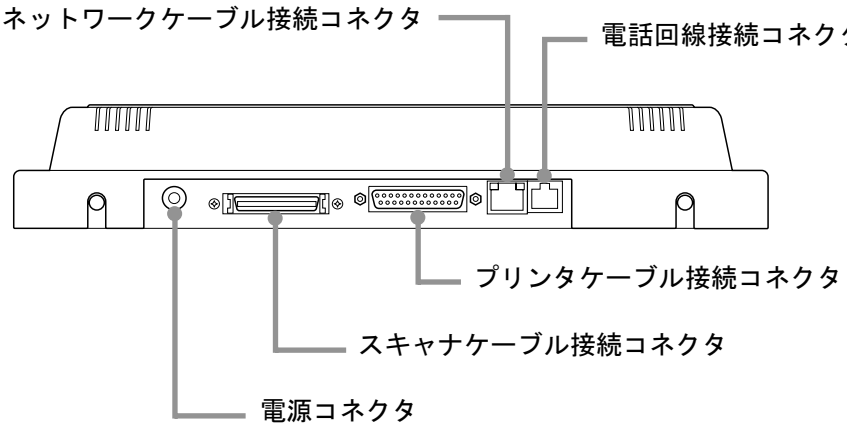
◆特殊な LED 表示について

名　　称	説　　明
「コピー」「ファクシミリ」ランプ	同時点灯：ネットワークスキャナモードです。 同時点滅：ネットワークスキャナ動作中です。

■操作パネル部（前面）

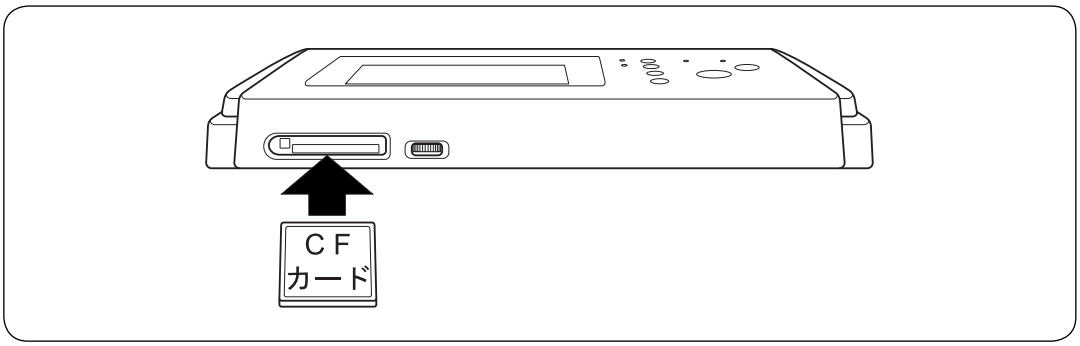


■操作パネル部（裏面）



CF カードの取り扱い

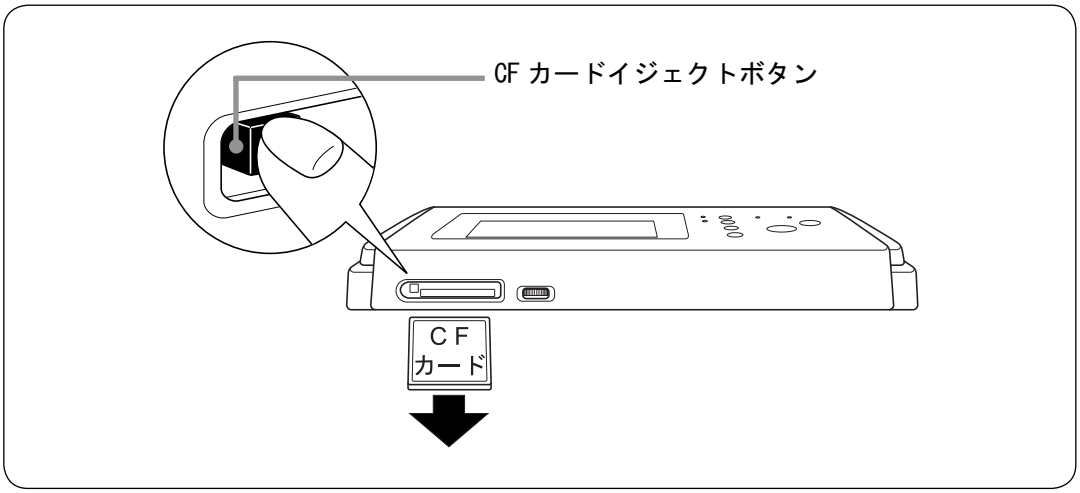
本機には、コンパクトフラッシュカード（以下 CF カード）が装着されています。



注意

CF カードの向きを間違えると、スロットの奥まで差し込めません。CF カードを奥まで差し込めないときは、無理に差し込まないでください。破損する場合があります。奥まで差し込めないときは、CF カードの方向を確かめ、再度挿入してください。

CF カードを抜く場合は、本機の電源をオフにしてから、CF カードスロットの横にある CF カードイジェクトボタンを押してください。また、CF カードを挿入するときも、本機の電源がオフの状態で行なってください。

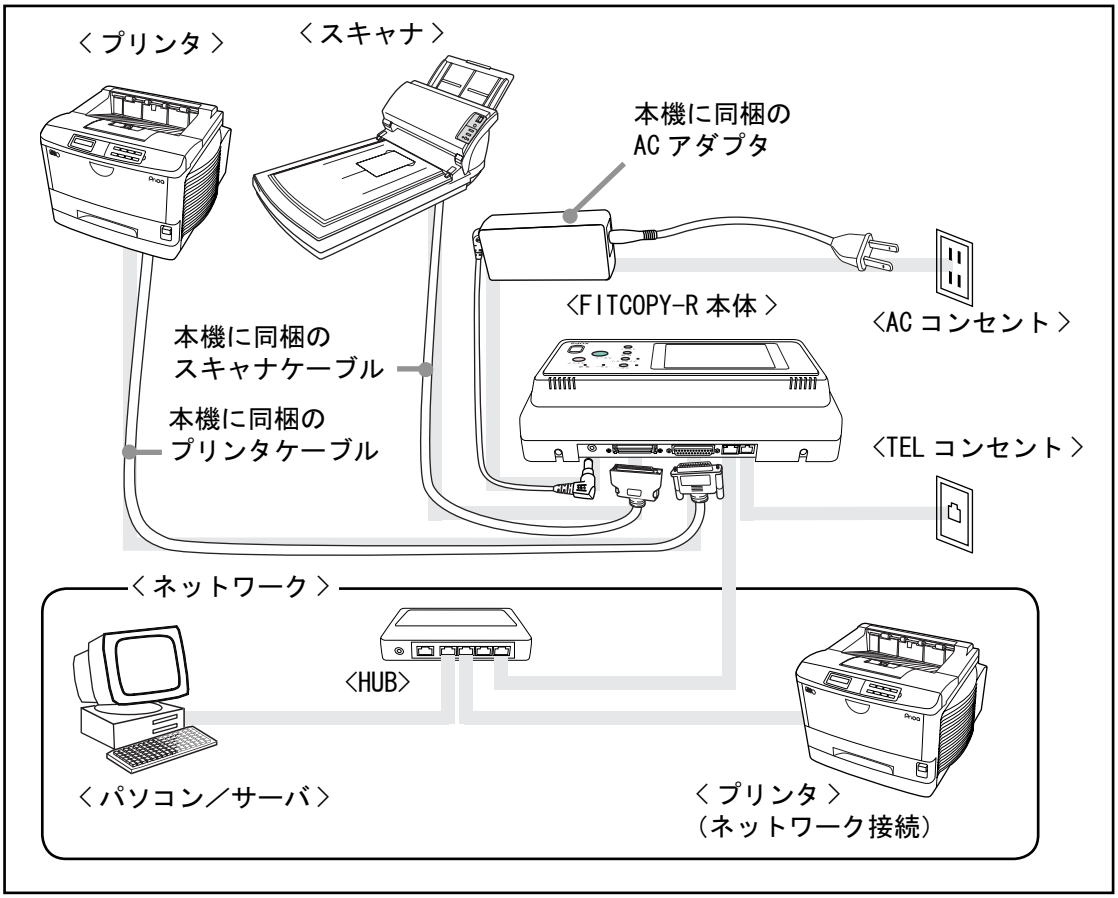


メモ

起動時に CF カードが本機に装着されていない場合、CF カードエラーを通知する画面を表示します。CF カードを本機に挿入して［再チェック］ボタンを押してください。
また、本機の電源の遮断を正しく行なわなかった場合にも、上記の画面が表示されます。この場合は、［CF 初期化］ボタンを押して CF カードの初期化を行なってください。

接続全体図

本機と、スキャナ、プリンタ、電話回線、LAN は次のように接続します。



注意

・プリンタケーブル、スキャナケーブルの接続は、各機器の電源をオフにしてから行なってください。
・スキャナの SCSI ID は 7 番以外に設定してください。
・EPSON 製スキャナをご利用の場合は、TERMINATOR S/W（ターミネータスイッチ）を ON に設定してください。
・プリンタケーブルで接続しているプリンタは、「ニブル」モードに設定してください。

設定方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

メモ

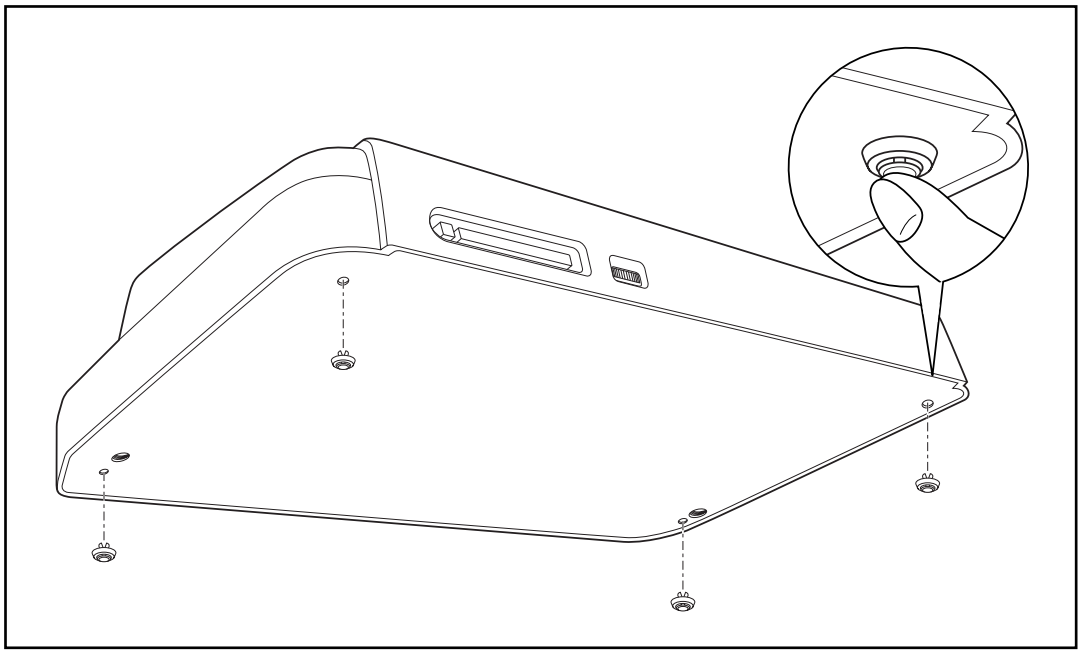
・対応プリンタにて各種ソート機能をご利用になられる場合、プリンタにオプションのハードディスクの装着（推奨）、または RAM ディスクの設定が必要となります。
・コピー機能をご利用になられる場合、プリンタのメモリの増設を推奨します。

ケース・レグの取り付け

本機を直接卓上等に置く場合は、本体裏面に同梱のケース・レグ（樹脂脚 4 個）を取り付けます。

1 ケース･レグを本体裏面の図の穴に差し込みます。

2 ケース･レグの突起部分を奥まで押し込みます。

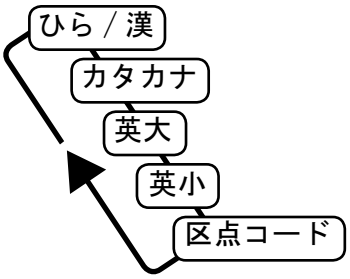


ソフトウェアキーボード画面

タッチパネルディスプレイにソフトウェアキーボードが表示された場合は、ソフトウェアキーボードから文字入力を行なうことができます。

■入力モードの切り替え

入力モード切替ボタン［ひら / 漢］を押すと、次の順に入力モードとボタン表示が切り替わります。入力場面によっては、表示されないボタンがあります。



■カーソルの移動

[←], [→] ボタンを押すと、カーソルがそれぞれ一文字分、左右に移動します。

■空白の入力

[空白] ボタンを押すと、空白（半角）が入力されます。

■入力文字の消去

[Back Space] ボタンを押すと、入力済みの文字列を、後ろから一文字削除します。

リセット ボタンを押すと、入力済みの文字列を全て削除します。

■入力の終了

[終了] ボタンを押します。

文字入力

■アルファベットの入力

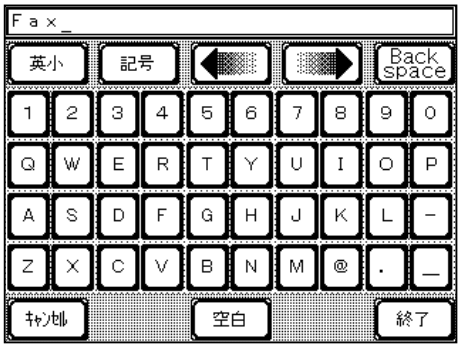
例：「Ｆａｘ」を入力

1 入力モード切替ボタンを押して、「英大」モードへ切り替えます。

2 ［F］を入力します。

3 入力モード切替ボタンを押して、「英小」モードへ切り替えます。

4 ［A］［X］と入力します。
「Ｆａｘ」と表示されます。



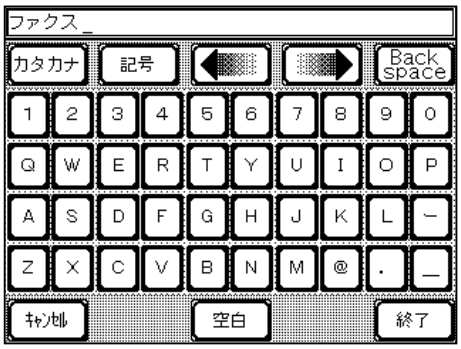
■カタカナの入力

例：「ファクス」を入力

1 入力モード切替ボタンを押して、「カタカナ」モードへ切り替えます。

2 [F] [A] [K] [U] [S] [U] と入力します。

3 「ファクス」と表示されます。



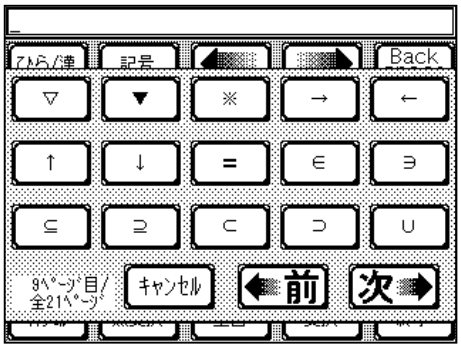
■記号の入力

例：「※」を入力

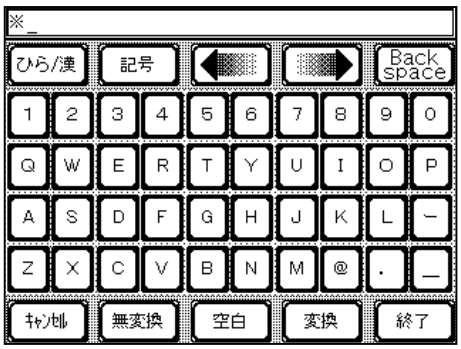
1 ［記号］ボタンを押し、記号モードへ切り替えます。

2 ［次→］ボタンを 8 回押し、「9 ページ目 / 全 21 ページ」へ切り替えます。

3 画面中央の［※］ボタンを押して、選択します。
［キャンセル］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



「 ※ 」と表示されます。

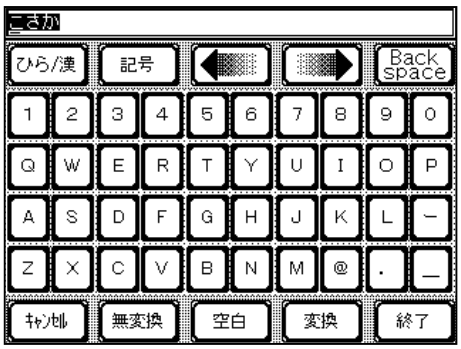


■ひらがな／漢字の入力

例：「こさか支店」を入力

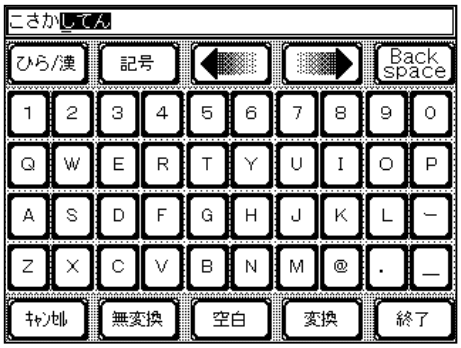
1 入力モード切替ボタンを押して、「ひら / 漢」モードへ切り替えます。

2 ［K］［O］［S］［A］［K］［A］と入力し、［無変換］ボタンを押してください。
「こさか」が確定されます。

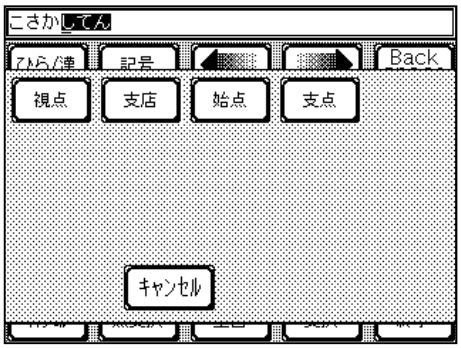


3 [S] [I] [T] [E] [N] [N] と入力します。
「してん」と表示されます。

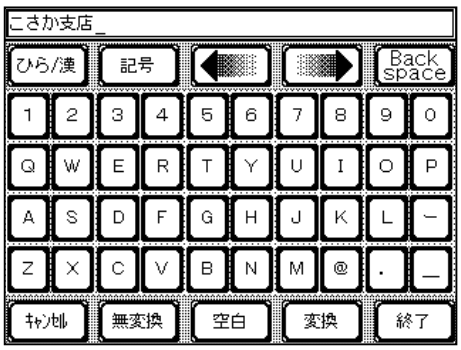
[変換] ボタンを押してください。



4 変換候補が表示されます。
変換候補の中から、[支店] ボタンを
押してください。
[キャンセル] ボタンを押すと、変換を確
定せずに、前の画面に戻ります。



5 変換が確定され、「こさか支店」と
表示されます。

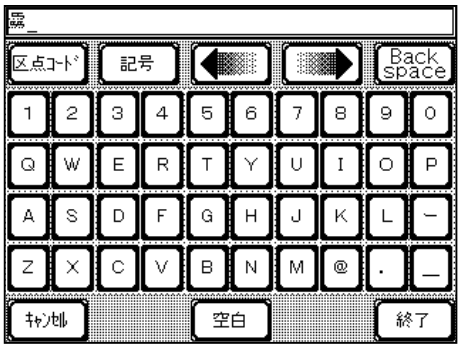


■区点コードで入力

区点コードで、文字を入力することができます。区点コード表を参照して入力してください。　（※本書には区点コード表はありません。）

例：「 鱶（とどろ） 」区点コード [8174] を入力

1 入力モード切替ボタンを押して、
「区点コード」モードへ切り替えます。

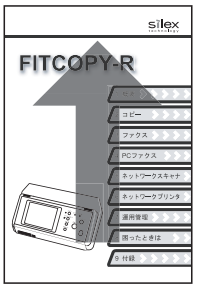


2 ［8］［1］［7］［4］と入力すると、
「 鱶 」が表示されます。

原稿の向きと表示方向

◆スキャナへセットする原稿の向き

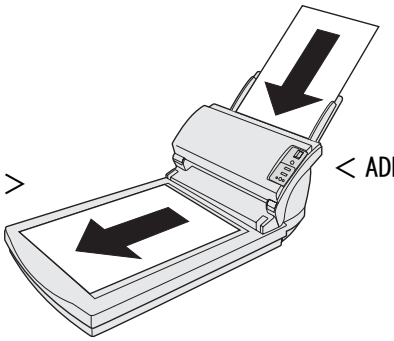
＜スキャン原稿＞



PFU 製スキャナ

原稿の表面を下にして、矢印の向きにセットします。

＜原稿台＞

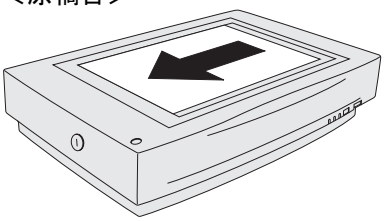


＜ ADF ＞

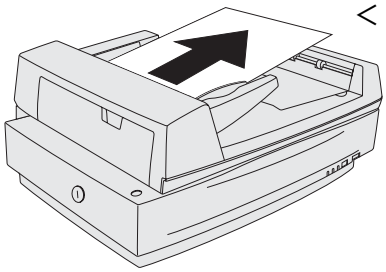
EPSON 製スキャナ

原稿台にセットする場合は、原稿の表面を下に、
ADF にセットする場合は、原稿の表面を上にして、矢印の向きにセットします。

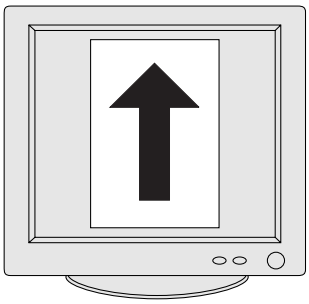
＜原稿台＞



＜ ADF ＞



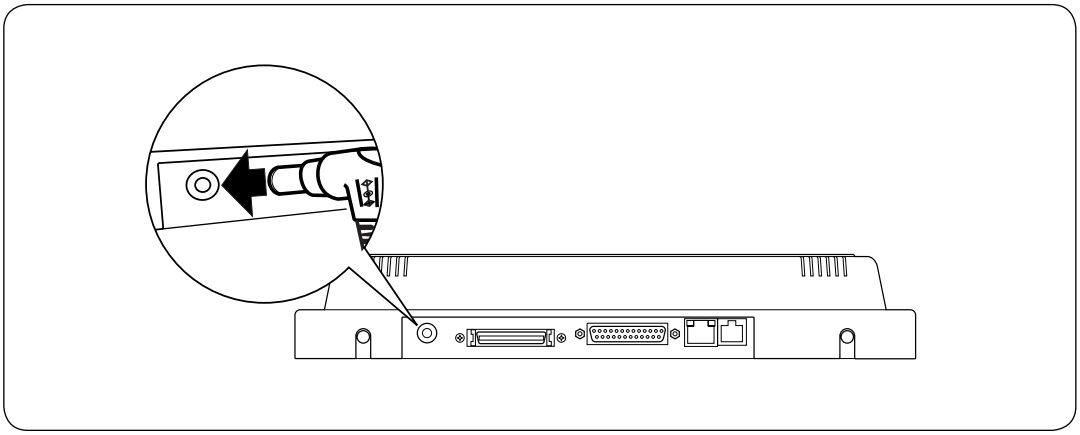
◆ネットワークスキャナでパソコンに表示される向き



電源の投入

1 プリンタ、スキャナの電源を投入します。

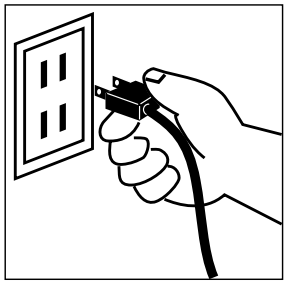
2 本機に、付属の AC アダプタを差し込みます。



注意

本機に付属の AC アダプタ以外のものは使用しないでください。
感電、火災の原因となります。

3 AC アダプタをコンセントに差し込みます。

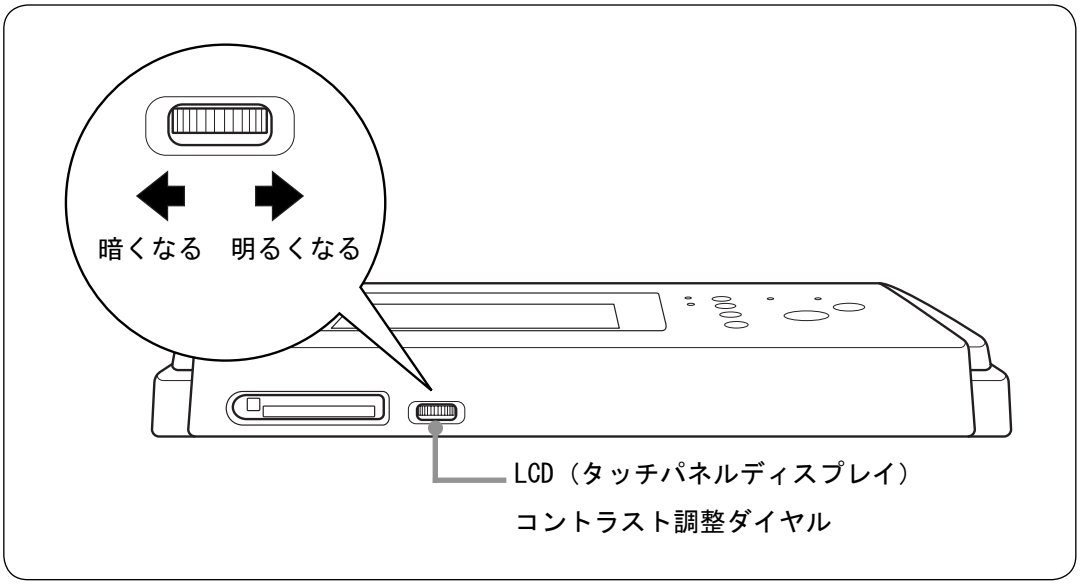


注意

起動が完了して、コピー／ファクス／ネットワークスキャナ基本画面が表示されるまで、本機の電源をオフにしないでください。

タッチパネルディスプレイのコントラスト調整

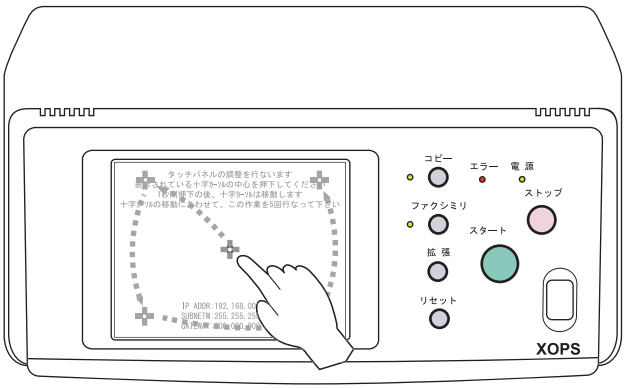
タッチパネルディスプレイのコントラスト調整は、操作パネルの前面にあるダイヤルで行ないます。本装置を使用する場所の環境に合わせて調整してください。



タッチパネルの調整

電源を投入すると、タッチパネル調整値を保存していない場合、タッチパネルの調整画面が起動します。

1 画面中央に“＋”マークが表示されます。“＋”マークの中心を正確に指先で約 1 秒間押してください。“＋”マークは画面の「中央」→「左上」→「左下」→「右下」→「右上」の順に表示されます。5 箇所のマークを順に押してください。



2 その後、調整情報を保存するか否かの選択画面が表示されます。ここで［保存］ボタンを押して調整情報を保存してください。

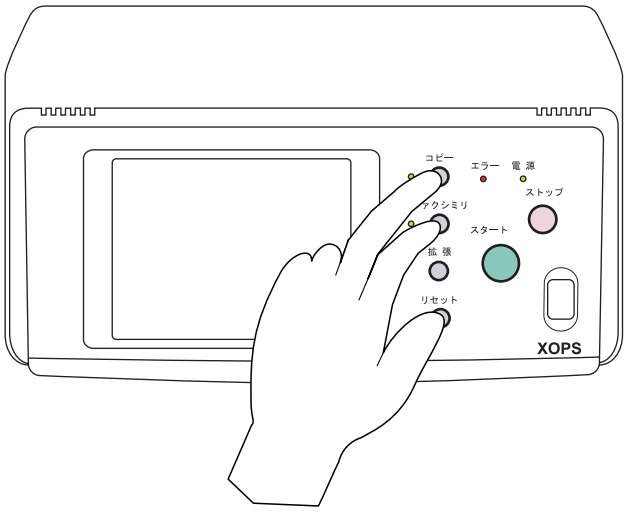
メモ

補正値を保存することで、次回以降の電源投入時におけるタッチパネルの補正操作が発生しなくなります。また、一度保存した補正値を再度調節することができます。

■タッチパネルの再調整

タッチパネルのボタンがききにくい、位置がずれている等の現象が発生する場合は、タッチパネルの再調整を行なってください。

1 ［コピー］＋［ファクシミリ］＋［リセット］ボタンを同時に押しながら電源を投入してください。ボタンは、タッチパネル調整画面が表示されるまで押しつづけてください。



2 再度タッチパネル調整の設定を行なった後、［保存］ボタンを押して調整情報を保存してください。

起動時の処理

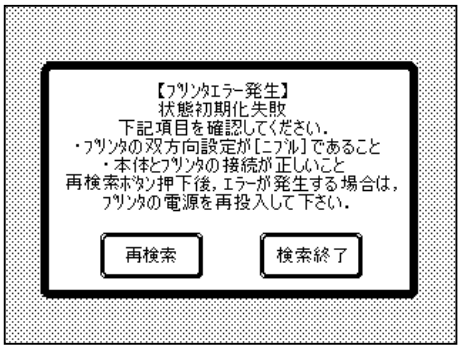
1 電源を投入すると、本機は下記の処理を行ないます。
起動時にエラーの発生が無い場合は、それぞれの画面は表示されません。

■プリンタ接続処理 → 1-24
■ CF カード確認処理 → 1-25
■スキャナ接続処理 → 1-25

■プリンタ接続処理

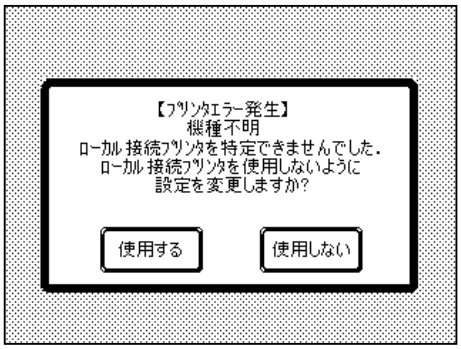
1 ローカルで接続されたプリンタとの接続に失敗した場合は、右の画面が表示されます。
[再検索] ボタンを押すと、本機は再度プリンタとの接続を行ないます。

[検索終了] ボタンを押すと、下の画面になります。



◆ [検索終了] を選択した場合
[使用する] ボタンを押すと本機はプリンタを検索せずに起動します。

[使用しない] ボタンを押すと本機はローカル接続プリンタを使用しない設定（未接続設定）にし、プリンタを検索せずに起動します。

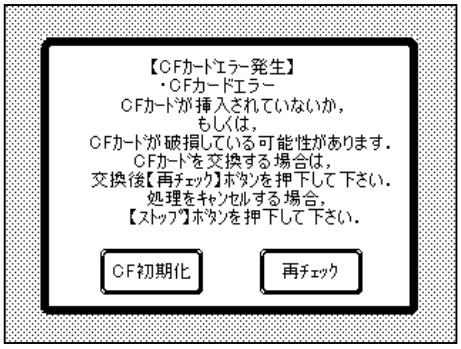


注意

・ローカル接続のプリンタを使用しない設定になっている場合は、起動時にプリンタ接続処理を行ないません。設定の変更は「プリンタ情報取得設定」→ 1-38 ページから行なってください。
・ローカル接続のプリンタは、パラレルインタフェースを「ニブル」モードに設定してください。設定方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

■ CF カード確認処理

1 CF カードの確認に失敗した場合は、右の画面が表示されます。
[CF 初期化] ボタンを押すと、CF カードの初期化を行ないます。
[再チェック] ボタンを押すと、CF カードを再確認します。



◆ [CF 初期化] を選択した場合
CF カードの初期化に成功すると CF カード確認処理は完了です。
CF カードの初期化に失敗した場合は、再度右上の画面表示となります。
CF カードが正しく装着されていること確認して､再度[CF 初期化]を行なってください。

■スキャナ接続処理

1 スキャナとの接続に失敗した場合は、右の画面が表示されます。
[再検索] ボタンを押すと、本機は再度スキャナとの接続を行ないます。
[検索スキップ] ボタンを押すと、本機はスキャナを検索せずに起動します。

メモ

検索をスキップした場合､起動後、スキャナ利用時にスキャナ接続処理を行ないます。

注意

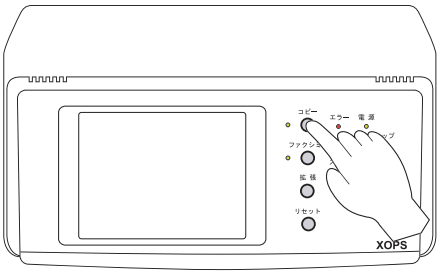
・スキャナの SCSI ID は 7 番以外に設定してください。
・EPSON 製スキャナをご利用の場合は、TERMINATOR S/W（ターミネータスイッチ）を ON に設定してください。
設定方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

装置の設定

管理モード画面で、本機の環境設定を行ないます。

■管理モード画面

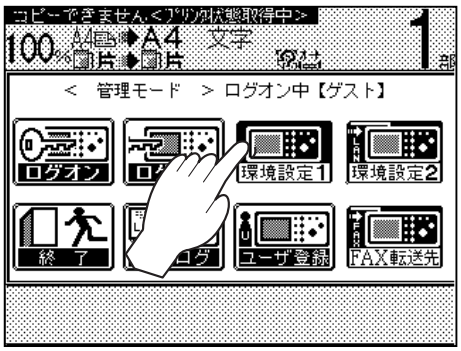
1 コピーモード中に[コピー]ボタンを押します。



ポイント

ファクスモード中に［ファクシミリ］ボタン、スキャナモード中に［拡張］ボタンを押しても、管理モード画面に入ることができます。

2 管理モード画面が表示されます。



メモ

動作中は、管理モードに入れません。動作が終了してから、管理モードに入ってください。

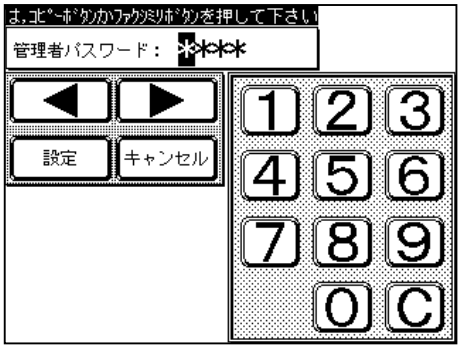
3 [環境設定 1] ボタンを押します。

メモ

◆管理モード画面を抜けるには

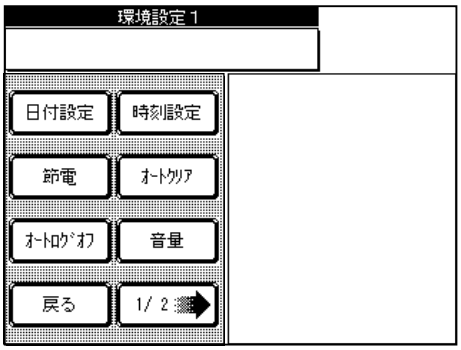
管理モードを抜ける場合は、［終了］ボタンを押すと、電源遮断確認画面になりますので、画面内の［コピー画面］／［FAX 画面］／［N. スキャナ画面］ボタンを押してください。
また､操作パネル上の［コピー］／［ファクシミリ］／［拡張］ボタンを押しても管理モード画面を抜けることができます。

4 管理者パスワード※が要求されますので、管理者パスワードの設定で登録したパスワードを入力し、[設定] ボタンを押します。



名　称	工場出荷時の初期値
管理者パスワード	9999

パスワードが認証されると、管理者権限でログオンし、環境設定画面になります。



下記表の「製品導入時の設定項目」を、次ページからの手順に従って設定してください。

製品導入時の設定項目一覧

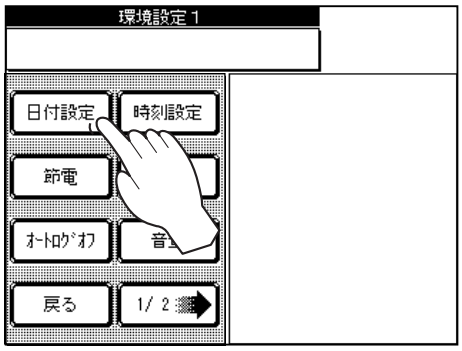
設　定　項　目	説　　明
日　付　設　定	日付を設定します。
時　刻　設　定	時刻を設定します。
IP アドレス設定	本機の IP アドレスを設定します。
DNS　設　定	DNS サーバの IP アドレスを設定します。
WINS　設　定	WINS サーバの IP アドレスを設定します。
SMTP　設　定	E メール送信で使用する SMTP サーバなどを設定します。
プリンタ登録	本機で使用するプリンタの登録を行ないます。
プリンタオプション設定	本機で使用するプリンタのオプション設定を行います。
デフォルトプリンタの設定	本機で通常使用するプリンタを、登録した中から選択します。
端　末　登　録	端末の数字 ID（TSI）と、自局名称を設定します。
発 信 元 記 録	送信ファクスに付加する情報を設定します。
回　線　種　別	本機が接続される電話回線の種類を設定します。

補足　※ 環境設定は管理者だけが設定変更を行なえるように、パスワードで保護されています。管理者パスワードは「管理者パスワードの変更」（→ 7-40 ページ）にて、変更することができます。

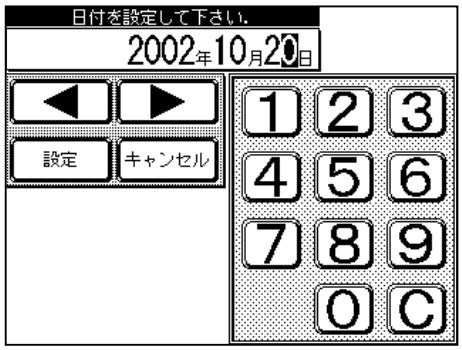
環境設定 1

■日付設定

1 環境設定 1 画面にて、
［日付設定］ボタンを押します。



2 ［◀］または［▶］ボタンでカーソルを移動させ、テンキーで日付を入力してから、［設定］ボタンを押します。
環境設定 1 画面に戻ります。

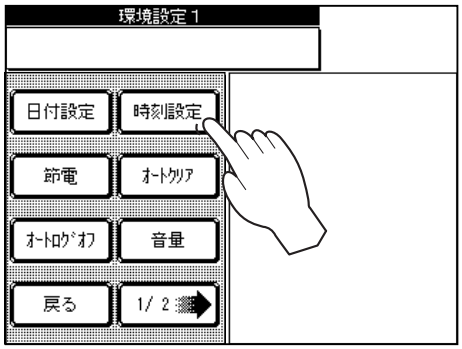


メモ

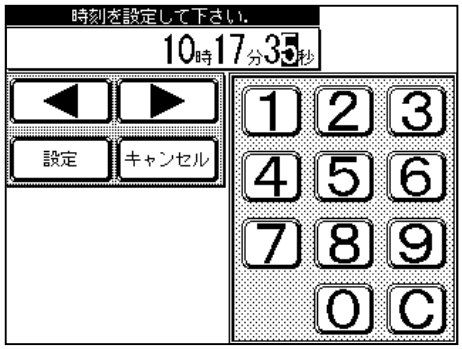
西暦は 4 桁、月日は 2 桁で入力してください。入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。　例：7 月→ 07 月
日付設定の有効範囲は、2000/01/01 ～ 2127/12/31 です。

■時刻設定

1 環境設定 1 画面にて、
［時刻設定］ボタンを押します。



2 ［◀］または［▶］ボタンでカーソルを移動させ、テンキーで時刻を入力してから、［設定］ボタンを押します。



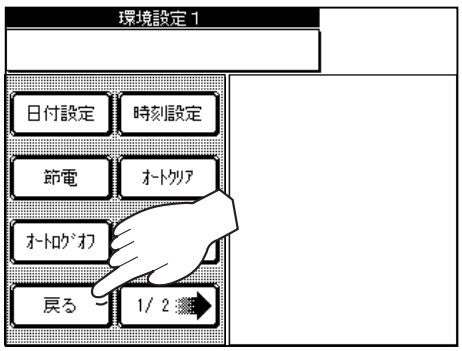
メモ

時刻は、24 時間形式の 2 桁で入力してください。入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。
例：午後 3 時→ 15 時
例：午前 9 時→ 09 時

メモ

時刻設定の有効範囲は、00 時 00 分 00 秒 ～ 23 時 59 分 59 秒 です。

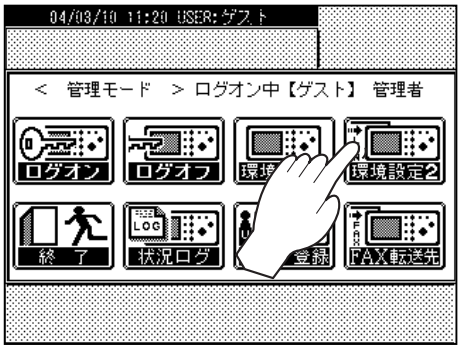
3 ［戻る］ボタンを押して、管理モード画面に戻ります。



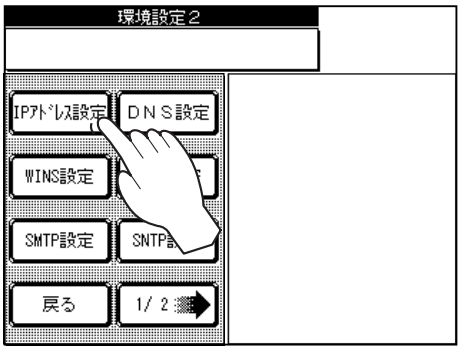
環境設定 2

■ IP アドレス設定

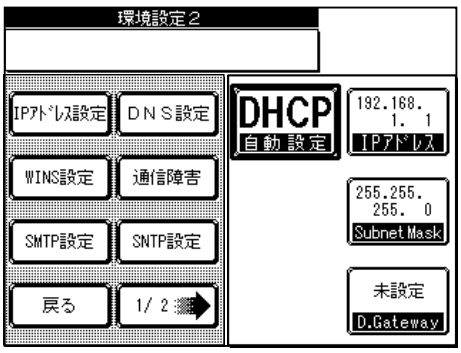
1 管理者モード画面にて、
[環境設定 2] ボタンを押します。
前ページの時刻設定後にログオフしていなければ、パスワードを入力せずに環境設定 2 画面になります。
誤ってログオフしてしまい、パスワード入力画面が表示された場合は、管理者のパスワードを入力してください。



2 環境設定 2 画面にて、
[IP アドレス設定] ボタンを押します。



3 IP アドレスを自動設定する場合は、[自動設定] ボタン、手動で設定する場合は、[IP アドレス]、[SubnetMask]、[D.Gateway] ボタンを押して入力を行ないます。
それぞれのボタンの説明については、次のページの表をご覧ください。



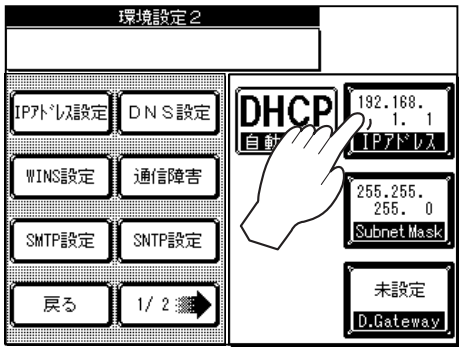
自動設定を選択された場合は、これで IP アドレスの設定は終わりです。 次の DNS 設定 →1-33 に進んでください。
手動で設定する場合は、次のページからの IP アドレスの設定へ進んでください。

メモ

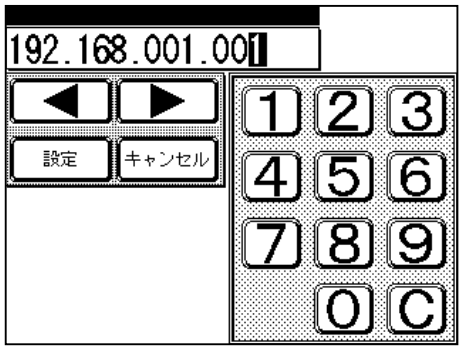
「IP アドレス設定」の各項目を設定した際、再起動の確認画面が開きますが、続けて他の設定を行う際は [キャンセル] を押してください。
設定値は保持され、再起動後に反映されます。

ボタン	説　　明
DHCP 自動設定	DHCP サーバから割り当てられた IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に設定します。
192.168. 1. 1 IPアドレス	IP アドレスを手動で設定します。
255.255. 255. 0 Subnet Mask	サブネットマスクを手動で設定します。
未設定 D.Gateway	デフォルトゲートウェイアドレスを手動で設定します。

4 ［IP アドレス］ボタンを押します。



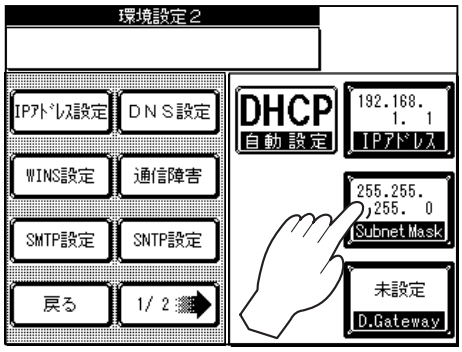
5 テンキーで IP アドレスを入力して、［設定］ボタンを押します。



名　称	工場出荷時の初期値
本体 IP アドレス	192.168.001.001
サブネットマスク	255.255.255.000

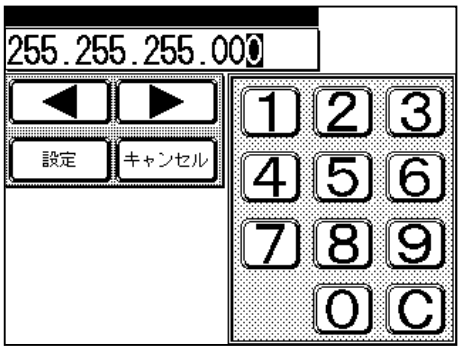
■サブネットマスク設定

6 ［SubnetMask］ボタンを押します。



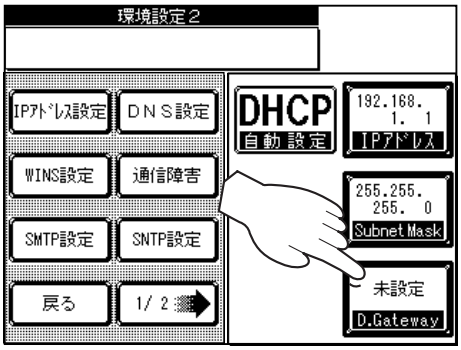
補足　アドレスは 3 桁で入力してください。値が不正な場合は、入力が受け付けられません。
例：　（可）192.168.001.011

7 テンキーでサブネットマスクを入力して、[設定] ボタンを押します。

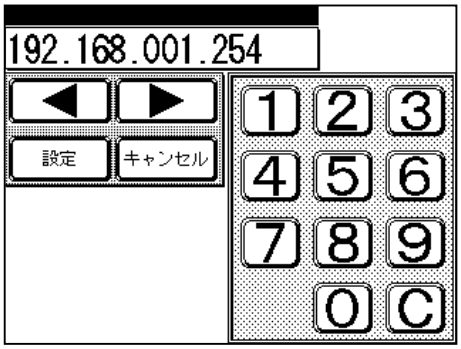


■デフォルトゲートウェイアドレス設定

8 [D.Gateway] ボタンを押します。



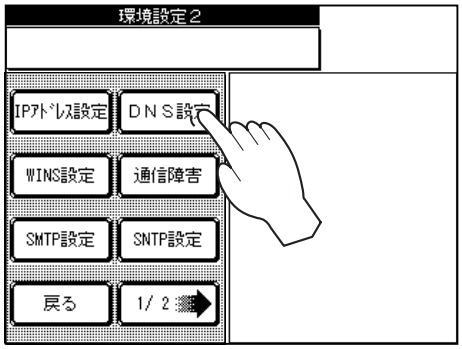
9 テンキーでデフォルトゲートウェイアドレスを入力して、[設定] ボタンを押します。



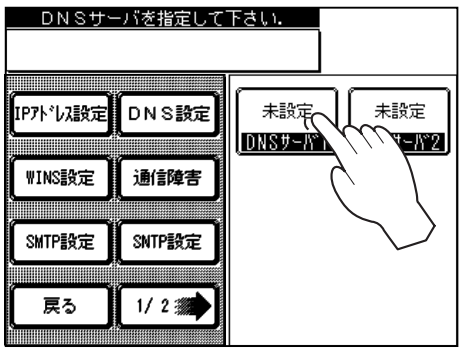
■ DNS 設定

本機は、DNS サーバを用いた名前解決を行なうことができます。
必要に応じて、DNS サーバの IP アドレスを設定します。

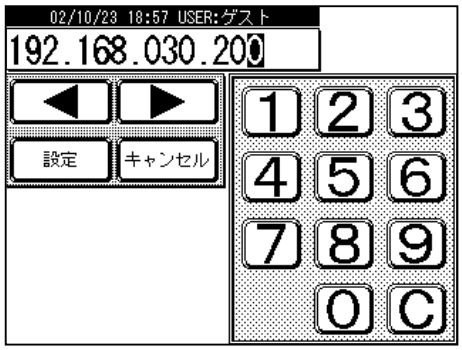
1 環境設定 2 画面－ 1 ／ 2 ページにて、[DNS 設定] ボタンを押します。



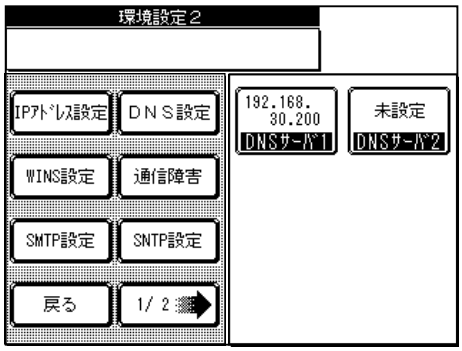
2 設定を行なう［DNS サーバ］のボタンを押します。



3 テンキーで DNS サーバの IP アドレスを入力して、[設定] ボタンを押します。



4 設定値が変更されます。



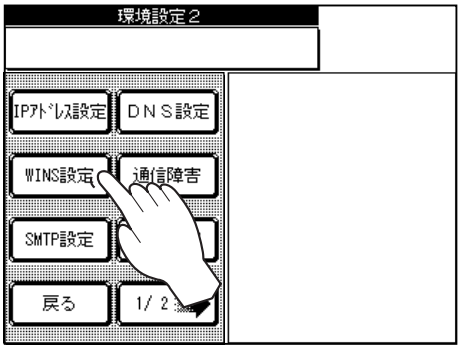
メモ

［設定］を押した際、再起動の確認画面が開きますが、続けて他の設定を行う際は［キャンセル］を押してください。
設定値は保持され、再起動後に反映されます。

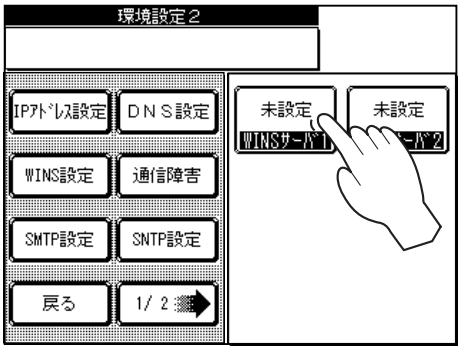
■ WINS 設定

本機は、WINS サーバを用いた名前解決を行なうことができます。
必要に応じて、WINS サーバの IP アドレスを設定します。

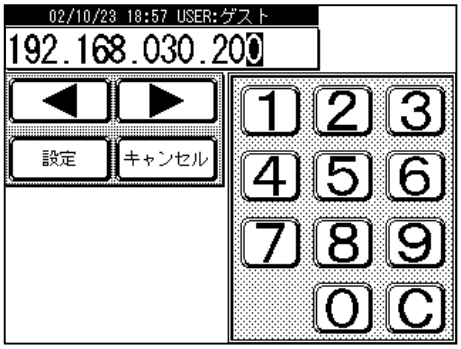
1 環境設定 2 画面－ 1 ／ 2 ページにて、[WINS 設定] ボタンを押します。



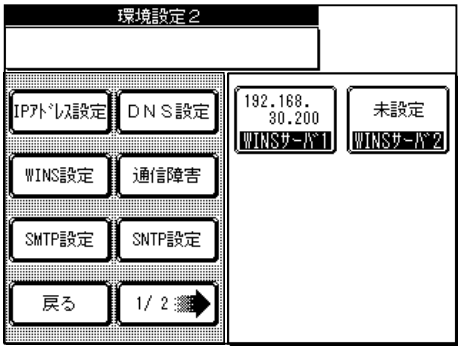
2 設定を行なう WINS サーバのボタンを押します。



3 テンキーで WINS サーバの IP アドレスを入力して、[設定] ボタンを押します。



4 設定値が変更されます。
本機への反映は、再起動後に行ないます。



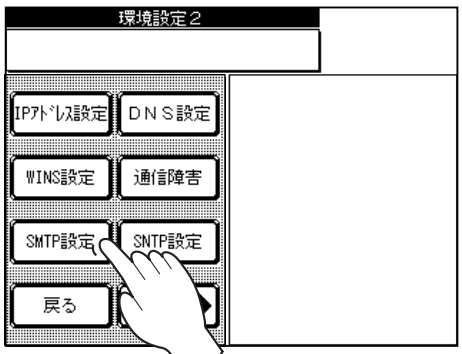
メモ

［設定］を押した際、再起動の確認画面が開きますが、続けて他の設定を行う際は［キャンセル］を押してください。
設定値は保持され、再起動後に反映されます。

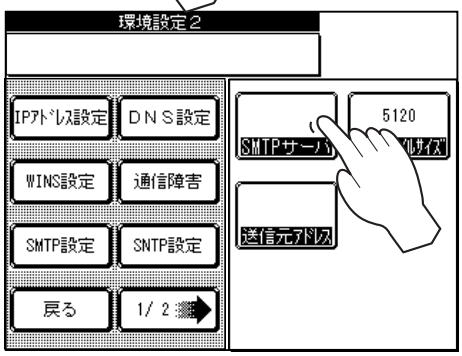
■ SMTP 設定

メール転送で使用する SMTP サーバの設定を行ないます。

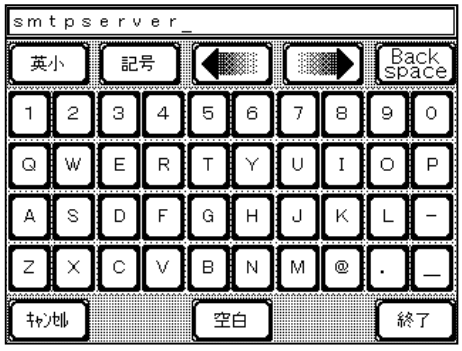
1 環境設定 2 画面－ 1 ／ 2 ページにて、[SMTP 設定] ボタンを押します。



2 [SMTP サーバ] ボタンを押します。



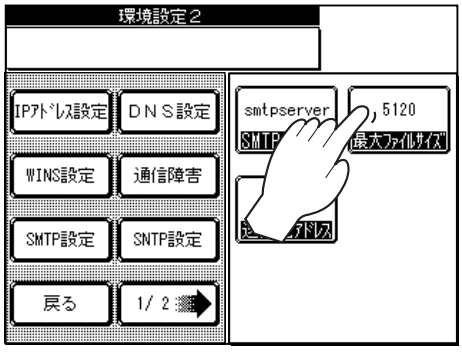
3 ソフトウェアキーボードで SMTP サーバ名を入力し、[終了] ボタンを押します。



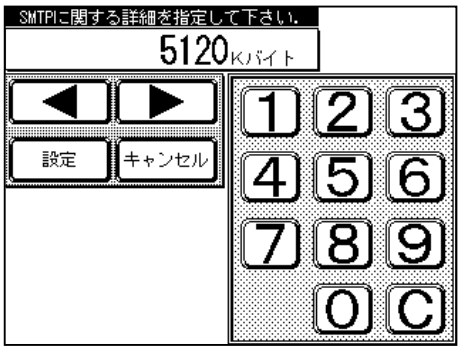
メモ

SMTP サーバー名の代わりに、IP アドレスを入力することもできます。
例：192.168.1.1

4 [最大ファイルサイズ] ボタンを押します。



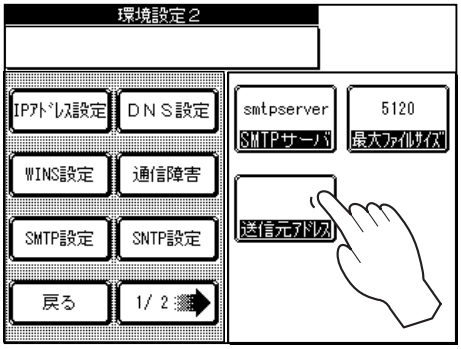
5 テンキーで最大ファイルサイズを入力して、[設定] ボタンを押します。



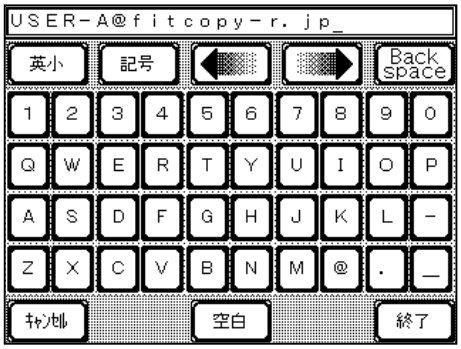
メモ

最大ファイルサイズ設定の有効範囲は、
100 ～ 65530 (KByte) です。
0 を設定した場合、無制限となります。

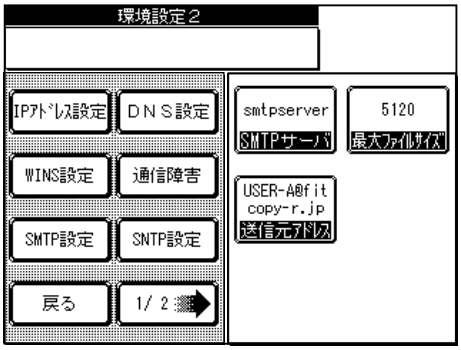
6 [送信元アドレス] ボタンを押します。



7 ソフトウェアキーボードで送信元メールアドレスを入力して、[終了] ボタンを押します。



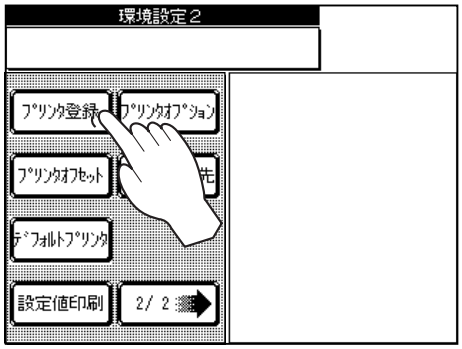
8 設定が反映されます。



■プリンタ登録

本機に接続するプリンタの登録を行ないます。ローカル接続プリンタ 1 台と、ネットワーク接続プリンタを 5 台まで登録することができます。

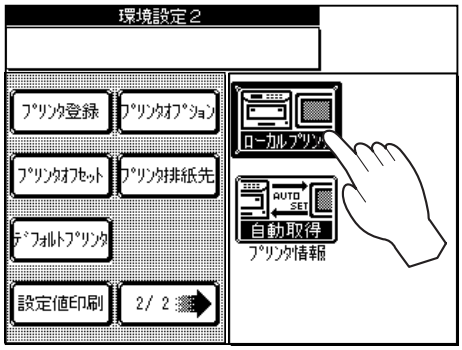
1 環境設定 2 画面－ 1 ／ 2 ページにて、[1 ／ 2 →] ボタンを押して 2 ／ 2 ページに切り替え、[プリンタ登録] ボタンを押します。



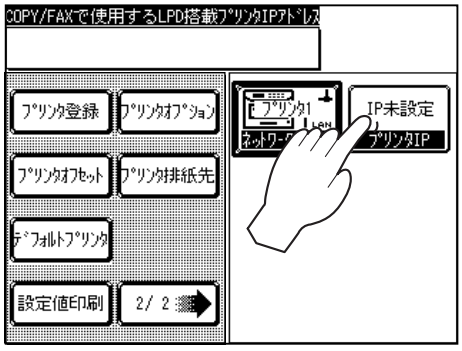
2 [ローカルプリンタ] ／ [ネットワークプリンタ] ボタンを数回を押し、設定を行なうプリンタを選択します。

「ローカルプリンタ」を選択した場合

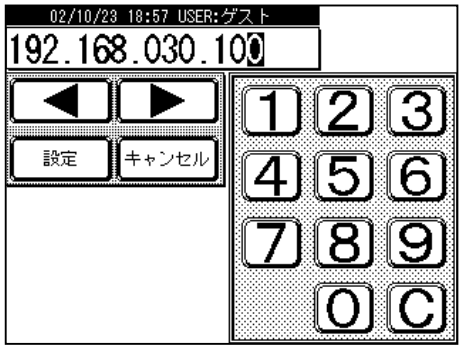
「◆プリンタ情報取得設定」→次ページへ進んでください。



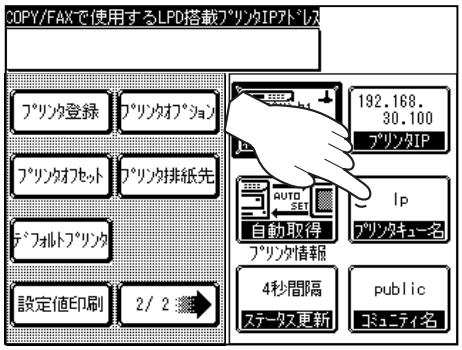
3 [プリンタ IP] ボタンを押します。



4 テンキーでネットワークプリンタの IP アドレスを入力し、[設定] ボタンを押します。



5 IP アドレスを入力すると、設定項目が増えます。必要に応じて、それぞれの設定項目のボタンを押して、設定を行ないます。
ボタンの説明は下の表をご覧ください。

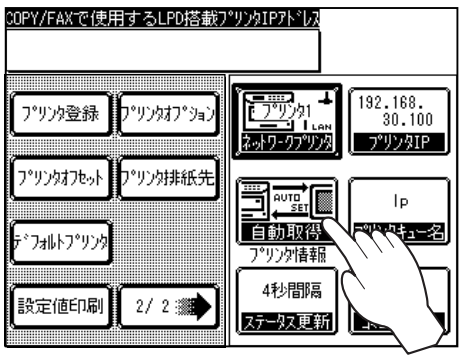


ボタン	説　明
プリンタキュー名	プリンタのキュー名を設定します。通常「lp（LP9500DN ／ LP8026N は lp1 ～ lp8)」を使用します。空白の場合は、キュー名なしとなります。 ※最大 32 文字です。
ステータス更新	プリンタから情報を取得する間隔を設定します。 ※入力範囲は、4 ～ 99 秒です。
コミュニティ名	プリンタから情報を取得する際に、コミュニティ名が必要となります。この設定がプリントサーバ側のコミュニティ名と一致しない場合は、プリンタから情報を取得できません。通常「public」を使用します。 ※最大 16 文字です。

◆プリンタ情報取得設定

プリンタ情報取得の設定を行ないます。

6 ボタンを押して、情報取得の方法を選択します。
ボタンの説明は下の表をご覧ください。

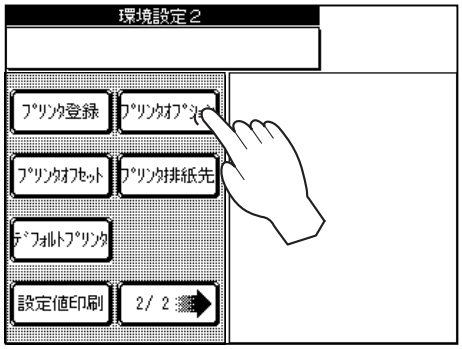


ボタン	説　明
AUTO SET 自動取得	プリンタ情報を自動更新します。「ステータス更新」で設定した時間ごとに更新します。
MANUAL SET 手動取得	プリンタ情報を手動で設定します。設定は「プリンタオプション設定」→次ページで行ないます。
UNUSED 未接続設定	プリンタへの接続、および起動時のプリンタ検索処理を行ないません。プリンタオプションでプリンタ機種を選択すると、「手動設定」に戻ります。

■プリンタオプション設定

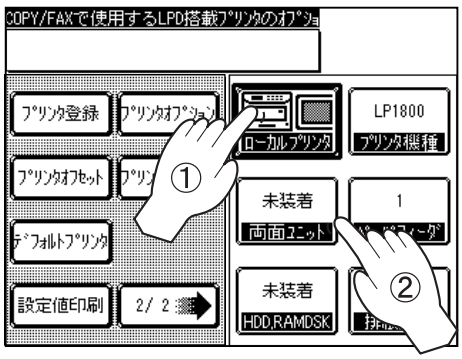
ローカル、またはネットワークで接続されているプリンタのオプション設定を行ないます。

1 環境設定 2 画面－ 2 ／ 2 ページにて、［プリンタオプション］ボタンを押します。



2 ①［ローカルプリンタ］／［ネットワークプリンタ］ボタンを数回を押し、設定を行なうプリンタを選択します。

②ボタンを押して、それぞれのオプションの状態を設定します。
各ボタンの説明は下の表をご覧ください。



ボタン	説　　明
LP1800 ﾌﾟﾘﾝﾀ機種	プリンタの機種を選択します。
未装着 両面ユニット	両面ユニットの有無を選択します。
1 ﾍﾟｰﾊﾟﾌｨｰﾀﾞ	プリンタの給紙口を選択します。
未装着 HDD,RAMDSK	ハードディスク・RAM ディスクの有無を選択します。
未装着 排紙装置	ソータの有無を選択します。

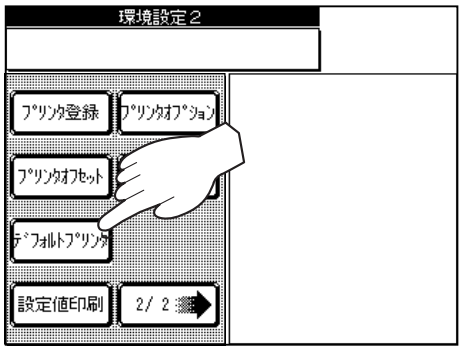
メモ

ページ数が多いものをコピーされる場合、ハードディスクの増設を推奨します。

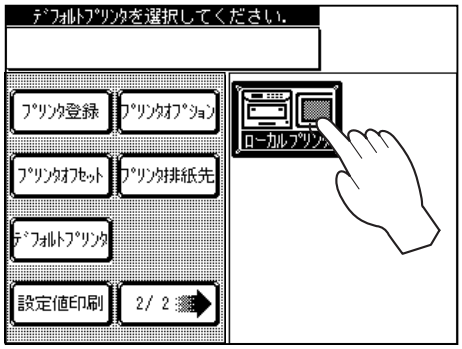
■デフォルトプリンタの設定

本機が通常使用するプリンタを選択します。
先に行なった「プリンタ登録」→ 1-37 ページにて登録された中から選択します。
なお、コピー機能で使用するプリンタは、「プリンタ選択」→ 2-22 ページから行ないます。

1 環境設定 2 画面－ 2 ／ 2 ページにて、［デフォルトプリンタ］ボタンを押します。



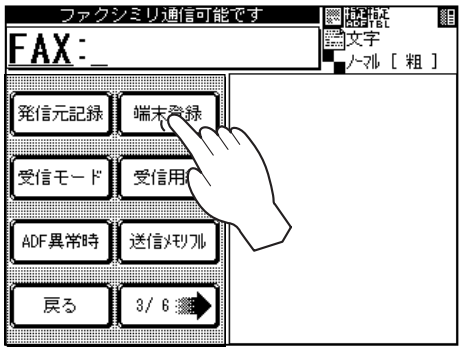
2 ［ローカルプリンタ］／［ネットワークプリンタ］ボタンを押して、デフォルトプリンタを選択します。



端末登録

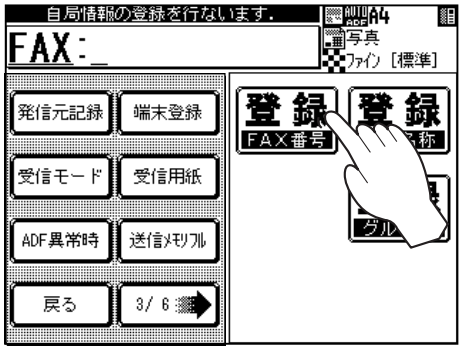
送信した相手の記録紙の上端（ヘッダ）に印刷される発信元の情報を登録します。

1 [ファクシミリ]ボタンを押してファクス基本画面を開き、[応用機能]ボタンを押して ファクス応用画面 を開きます。
[1／6 →]ボタンを2回押して 3／6ページに切り替え、[端末登録]ボタンを押します。

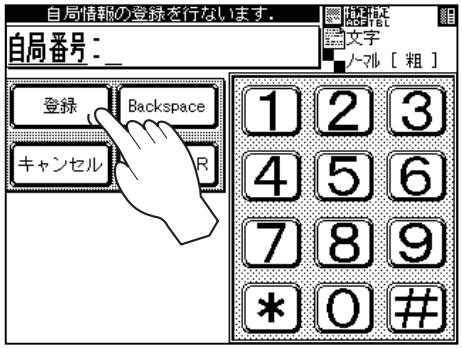


■自局番号登録

2 [FAX 番号]ボタンを押します。



3 テンキーで自局番号を入力し、
[登録]ボタンを押します。

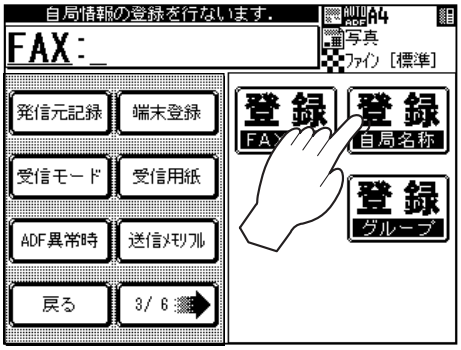


メモ

自局番号は、20 桁まで登録できます。

■自局名称登録

4 ［自局名称］ボタンを押します。



5 ソフトウェアキーボードで自局名称を入力し、［終了］ボタンを押します。

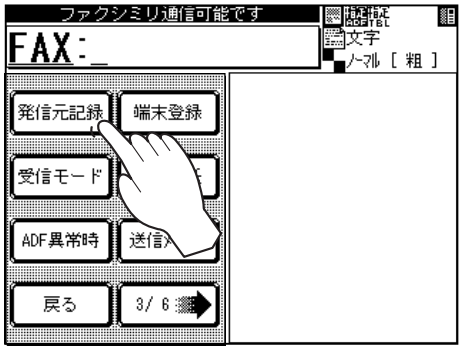
メモ

自局名称は、31 文字まで登録できます。

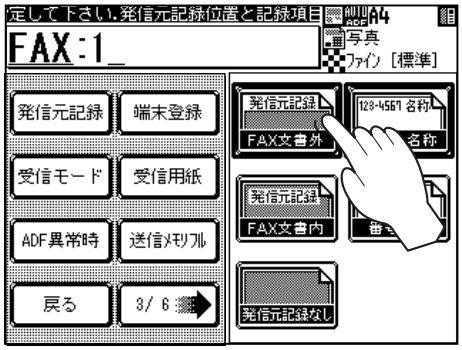
発信元記録

「端末登録」にて登録した発信元情報の印刷位置と、印刷内容を設定します。

1 ファクス応用画面－３／５ページにて、
［発信元記録］ボタンを押します。



2 印刷位置と、印刷内容を選択します。

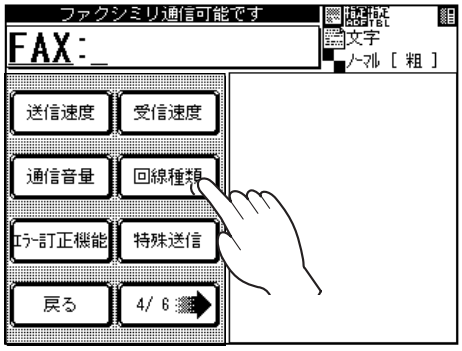


ボタン	説　　明
発信元記録 FAX文書外	ファクス原稿の外側に、発信元情報を印刷します。 発信元情報が挿入された分、ファクス原稿が縮小されます。
発信元記録 FAX文書内	ファクス原稿の内側に、発信元情報を印刷します。
発信元記録なし	発信元情報を印刷しません。
123-4567 名称 番号と名称	発信元情報として、自局番号と自局名称を使用します。
123-4567 番号のみ	発信元情報として、自局番号を使用します。

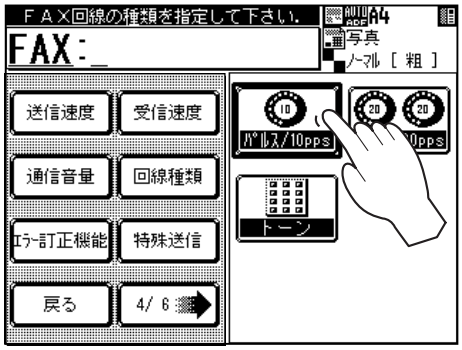
回線種類

本機が接続する電話回線の種類を設定します。

1 ファクス応用画面－３／５ページにて、[3／6 →] ボタンを押して４／６ページに切り替え、[回線種類] ボタンを押します。



2 回線種類を選択します。



ボタン	説　明
	ダイヤル回線をご利用の場合で、[パルス／20pps] を選択して話中になる場合は、この設定にして下さい。
	ダイヤル回線をご利用の場合に選択してください。
	プッシュ回線をご利用の場合に選択してください。

これで製品導入時の設定は終わりです。
「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「DNS」「WINS」の設定は、再起動後に反映されます。
本機の電源をオフにする場合は、次のページの「電源の遮断」の指示に従ってください。

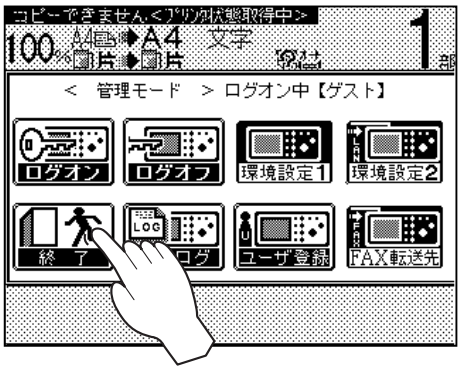
電源の遮断

本機の電源をオフにします。

注意

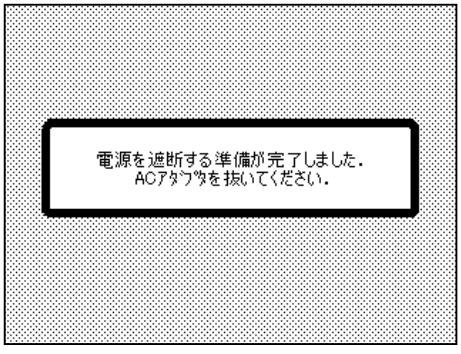
本機の電源をオフにする場合は、必ず以下の手順で行なってください。
次回電源投入前に、ローカル接続のプリンタと、スキャナをリセットしてください。リセットの方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 管理モード画面にて、
［終了］ボタンを押します。



2 ［電源オフ］ボタンを押します。

3 本機の電源をオフにする準備ができました。



4 AC アダプタをコンセントから抜きます。

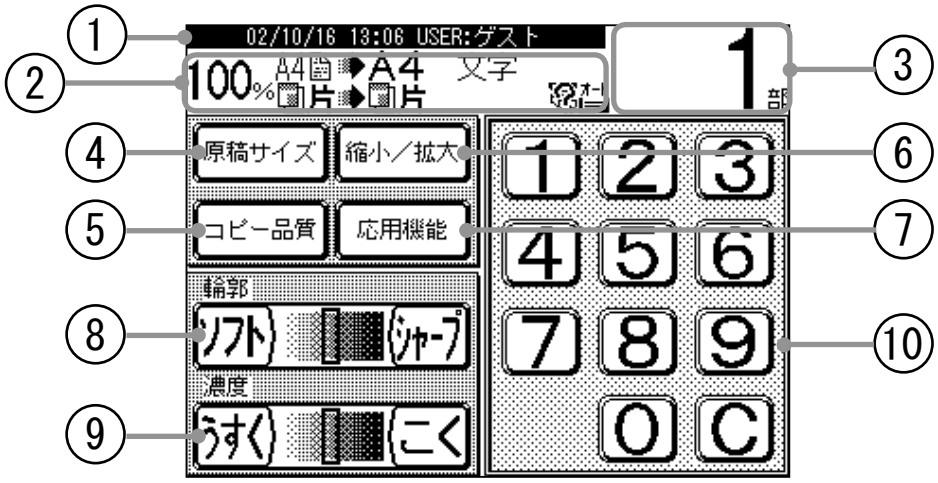
2章 コピー

■目次

画面 2
コピー基本画面 2
応用機能画面 3
コピーの準備 4
設定項目一覧 4
プリンタの接続状態について 4
コピー 5
コピーの手順 5
基本コピーの設定 6
原稿サイズ 6
縮小拡大 7
■定型サイズ変倍 7
■倍率指定 8
■「ちいさめ」について 8
コピー品質 9
輪郭 10
濃度 11
応用コピーの設定 12
両面コピー 13
■「とじ位置」とは 14
■原稿台から両面原稿を スキャンする 15
とじ代 16
コピー解像度 17
縮小レイアウト 18
ページソート 19
■ソート処理一覧 20
プリンタ選択 22
RGB レベル 23
給紙トレイ 24
明彩度 25
ページ連写 26
色相 27
■色相とは 28
特殊機能 29
■ブックレット処理とは 30
Dropout カラー 31
コピー履歴の確認 32
■履歴を印刷する 32
設定値保存 33
■設定値印刷 33

コピー基本画面

1 コピー ボタンを押して、コピーモードに切り替えます。

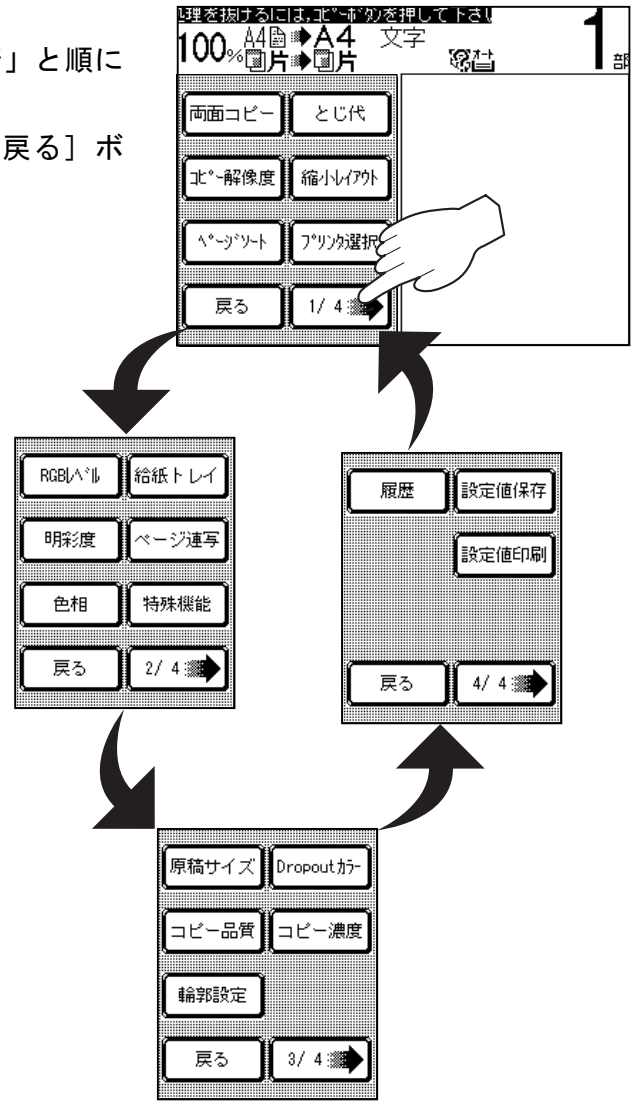


No.	名　称	説　　明
①	メッセージ表示	メッセージや動作状況、ログオン状態を表示します。
②	ステータス表示	設定されている機能や状態を、アイコンで表示します。
③	コピー部数表示	コピー部数を表示します。
④	原稿サイズ	原稿のサイズを設定します。
⑤	コピー品質	コピーの品質を設定します。
⑥	縮小拡大	コピーの縮小／拡大を設定します。
⑦	応用機能	応用機能を呼び出します。
⑧	輪　郭	コピーの輪郭を設定します。
⑨	濃　度	コピーの濃度を設定します。
⑩	テンキー	コピー枚数を入力します。

応用機能画面

1 コピー基本画面にて、[応用機能] ボタンを押します。

2 [1 ／ 4 →] ボタンを押すごとに、「2 ／ 4 ページ」～「4 ／ 4 ページ」と順に切り替わります。
コピー基本画面に戻る場合は、[戻る] ボタンを押します。



設定項目一覧

コピー機能をご利用になる場合は、管理者が以下の設定を行なう必要があります。
表を参考にして、プリンタの接続形態に必要な設定を行なってください。

○：必須／△：任意

設 定 項 目	必須項目
プリンタ登録	○
プリンタオプション設定	○
プリンタオフセット設定	△
プリンタ排紙先設定	△
デフォルトプリンタの設定	△

メモ

スキャナの状態は、スキャナ使用時に本機が自動的に取得します。

参照

必須項目の設定は、第 1 章「概要」の「製品導入時の設定」→ 1-27 ページを参照してください。

プリンタの接続状態について

本機は、選択中のプリンタの接続状態を監視しています。プリンタの接続状態は、ステータス表示エリアにアイコンで表示します。

ローカル接続	ネットワーク接続	説　　明
		プリンタ接続中です。
		プリンタ検索中です。
		プリンタ接続失敗です。 プリンタの接続・設定を確認してください。または、 プリンタをオンライン（印刷可）にしてください。

コピーの手順

1 モード切り替え

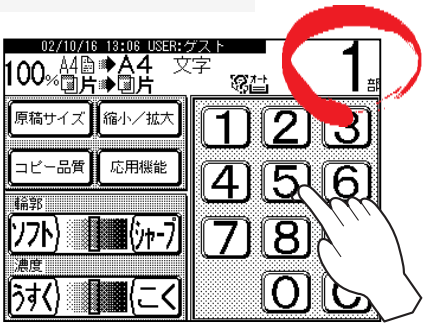
コピー ボタンを押して、コピーモードに切り替えます。

2 原稿のセット

スキャナの原稿台、または ADF に原稿をセットします。

3 コピー部数の入力

テンキーでコピー部数を入力します。



4 基本機能の設定

- ■原稿サイズ
- ■拡大／縮小
- ■コピー品質
- ■輪郭
- ■濃度

→ 2-6 ～ 2-11 ページ

5 応用機能の設定

- ■両面コピー
- ■とじ代
- ■コピー解像度
- ■縮小レイアウト
- ■ページソート
- ■プリンタ選択
- ■ RGB レベル
- ■給紙トレイ
- ■明彩度
- ■ページ連写
- ■色相
- ■特殊機能
- ■ Dropout カラー

→ 2-12 ～ 2-33 ページ

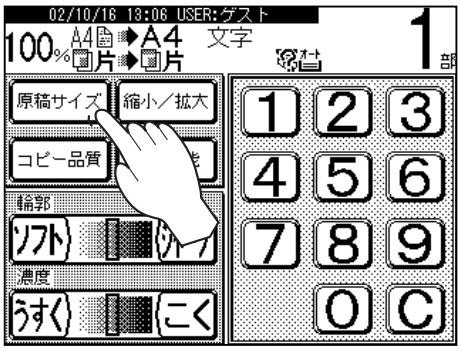
6 コピースタート

スタート ボタンを押して、コピーを開始します。

原稿サイズ

原稿サイズを設定します。

1 コピー基本画面にて、
［原稿サイズ］ボタンを押します。



2 目的のサイズのボタンを押します。
［次候補］ボタンを押すと、原稿サイズ画面が切り替わります。
選択中の設定は、ステータス表示のアイコンで確認できます。

ボタン	説明
AUTO 自動検知	原稿台にセットされた原稿サイズに、自動設定します。原稿サイズの自動検知機能付きの ADF や、原稿台での原稿サイズ検知対応スキャナをご利用時に選択できます。
A3原稿 Abc　B4原稿 Abc	A3、B4 原稿です。 原稿の向きは選択できません。
A4横原稿 Abc　B5横原稿 Abc　A5横原稿 Abc　ハガキ横 Abc	A4、B5、A5、ハガキの原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。
A4縦原稿 Abc　B5縦原稿 Abc　A5縦原稿 Abc　ハガキ縦 Abc	A4、B5、A5、ハガキの原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。

メモ

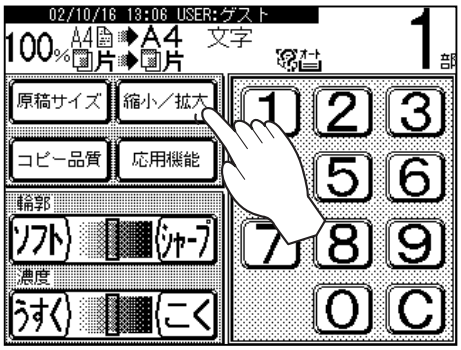
ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。
原稿サイズ設定で表示されるボタンは、本機に接続されているスキャナの能力により異なります。ボタン内のアルファベットは原稿の表面の向きを表しています。

縮小拡大

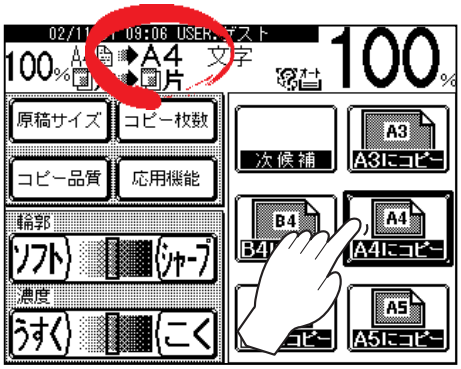
■定型サイズ変倍

スキャンした原稿を定型サイズに縮小／拡大します。

1 コピー基本画面にて、
［縮小／拡大］ボタンを押します。



2 サイズを選択します。
［次候補］ボタンを押すと、縮小拡大画面が切り替わります。
選択中の設定は、ステータス表示のアイコンで確認できます。



メモ

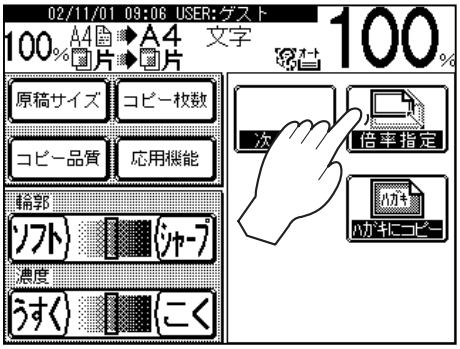
定型サイズを選択した後に「倍率指定」を行なうと、“A4 原稿を A3 用紙に 120%拡大してコピーする”といったコピーが行なえます。この場合、スキャナの原稿サイズ自動検知機能は利用できません。

ボタン	説明
A3にコピー / B4にコピー / A4にコピー / B5にコピー / A5にコピー / ハガキにコピー	スキャンした原稿を、選択したサイズに「縮小」／「拡大」してコピーします。 原稿と同じ大きさを選択した場合は、等倍になります。 ボタンを続けて押すと「ちいさめ」になります。
A3 ちいさめ A3にコピー / B4 ちいさめ B4にコピー / A4 ちいさめ A4にコピー / B5 ちいさめ B5にコピー / A5 ちいさめ A5にコピー / ハガキ ちいさめ ハガキにコピー	スキャンした原稿を、選択したサイズより少し小さくコピーします。
倍率指定	倍率を指定してコピーします。 定形サイズ変倍と組み合わせることもできます。

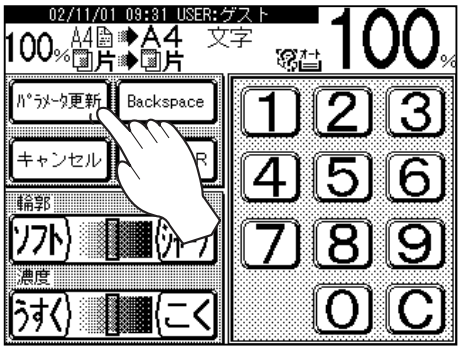
■倍率指定

倍率を指定します。

1 ［倍率指定］ボタンを押します。



2 テンキーで倍率を入力し、
［パラメータ更新］ボタンを押します。



メモ

倍率は 1%刻みで、50%～ 200%の間で指定できます。

■「ちいさめ」について

プリンタは用紙の端の四辺（各 5 mm）を印刷できません。
「ちいさめ」は、原稿全体がプリンタの印刷範囲に収まるように、少し縮小してコピーする機能です。
用紙の端まで印刷されている原稿をコピーする場合に［ちいさめ］を選択すると、原稿より数%小さくなりますが、原稿全体をコピーすることができます。

メモ

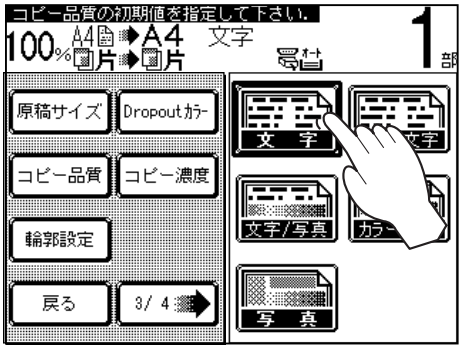
ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

コピー品質

原稿に合わせて、コピー品質を選択します。

1 コピー基本画面にて、
［コピー品質］ボタンを押します。
ボタンを押すごとに、ステータス表示のアイコンが「文字」→「文字･写真」→「写真」→「C 文字」→「C 写真」に変わります。

◆応用機能からコピー品質を変更する場合は、［文字］［文字／写真］［写真］［カラー文字］［カラー写真］ボタンを押して、コピー品質を設定します。



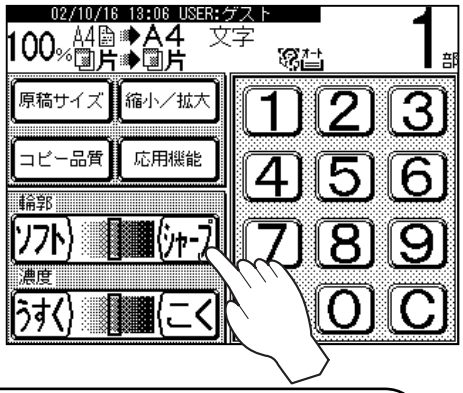
ボタン	アイコン	説　　明
文字	文字	通常の文字原稿に適しています。
文字/写真	文字写真	文字と写真が混在した原稿に適しています。
写真	写真	写真のような濃淡のある原稿に適しています。
カラー文字	C文字	文字原稿をカラーコピーする場合に選択します。
カラー写真	C写真	写真のような濃淡のある原稿をカラーコピーする場合に選択します。

メモ　ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

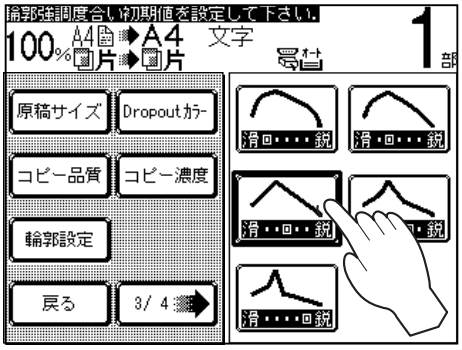
輪郭

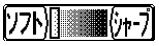
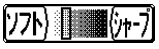
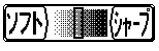
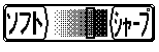
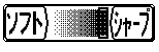
スキャナから原稿を読み込む際の輪郭強調レベルを 5 段階で設定できます。
画像全体をシャープ／ソフトな状態でコピーすることができます。

1 コピー基本画面にて、輪郭の［ソフト］／［シャープ］の強調したい側のボタンを押します。



◆応用機能から輪郭を変更する場合は、それぞれの輪郭のボタンを押します。



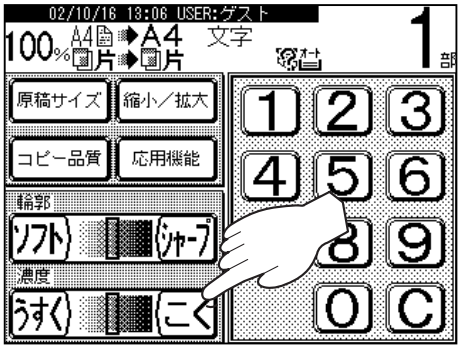
ボタン	アイコン	説　　明
		ソフトな輪郭でコピーします。
		ややソフトな輪郭でコピーします。
		スキャンした輪郭のままコピーします。
		ややシャープな輪郭でコピーします。
		シャープな輪郭でコピーします。

メモ　ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

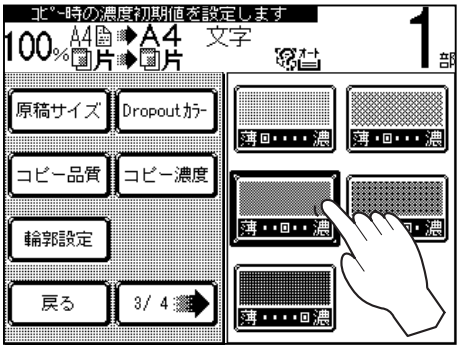
濃度

コピーの濃度を 5 段階で設定できます。

1 コピー基本画面にて、
［うすく］／［こく］ボタンを押します。



◆応用機能から濃度を変更する場合は、それぞれの濃度のボタンを押します。

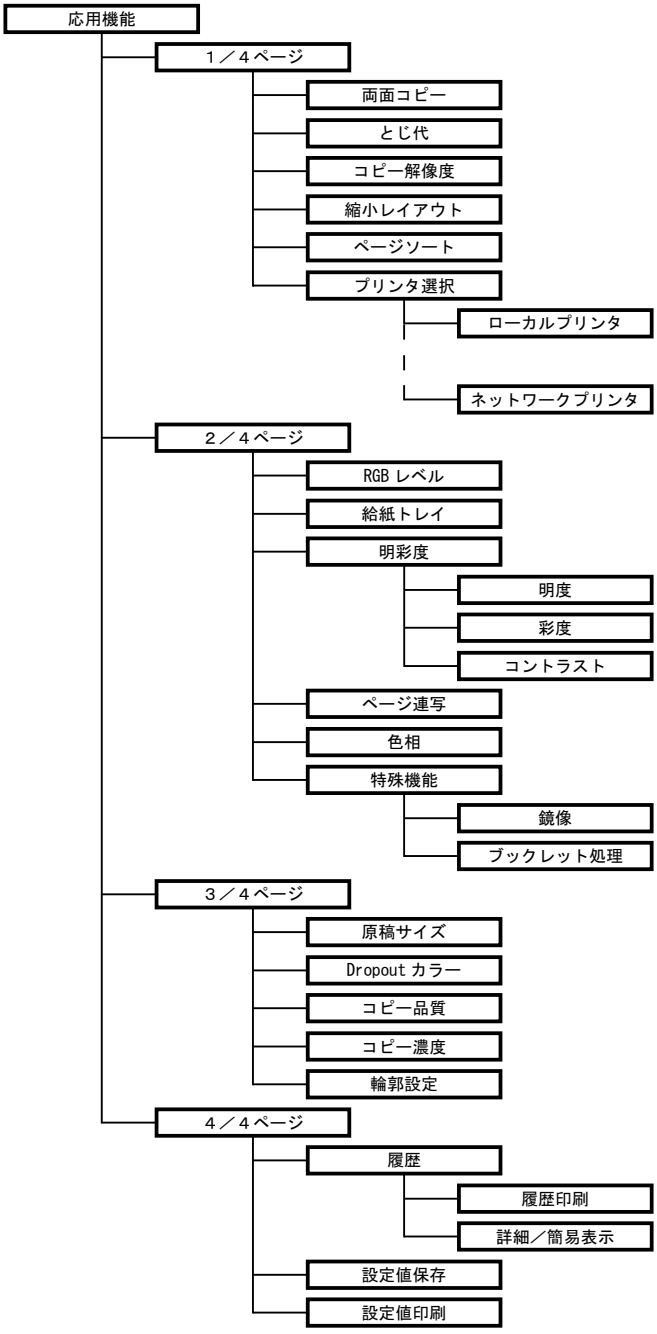


ボタン	アイコン	説　　明
薄 濃	うすく こく	うすい濃度でコピーします。
薄 濃	うすく こく	ややうすい濃度でコピーします。
薄 濃	うすく こく	スキャンした濃度のままコピーします。
薄 濃	うすく こく	ややこい濃度でコピーします。
薄 濃	うすく こく	こい濃度でコピーします。

メモ

ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

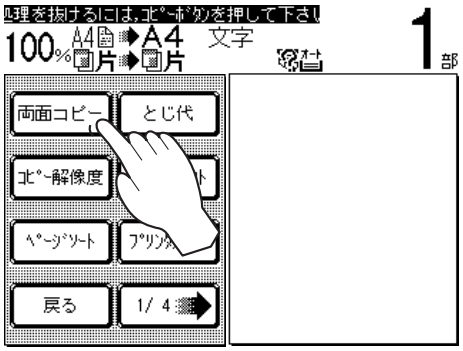
応用コピーの設定


応用機能
1／4ページ
両面コピー
とじ代
コピー解像度
縮小レイアウト
ページソート
プリンタ選択
ローカルプリンタ
ネットワークプリンタ
2／4ページ
RGB レベル
給紙トレイ
明彩度
明度
彩度
コントラスト
ページ連写
色相
特殊機能
鏡像
ブックレット処理
3／4ページ
原稿サイズ
Dropout カラー
コピー品質
コピー濃度
輪郭設定
4／4ページ
履歴
履歴印刷
詳細／簡易表示
設定値保存
設定値印刷

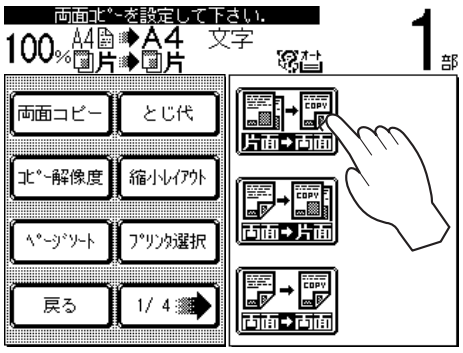
両面コピー

両面→片面、片面→両面、両面→両面のコピーを行ないます。本機は自動原稿読取装置を装着していないスキャナからも両面原稿のコピーができます。また、プリンタに両面ユニットが装着されている場合は、両面に印刷することができます。

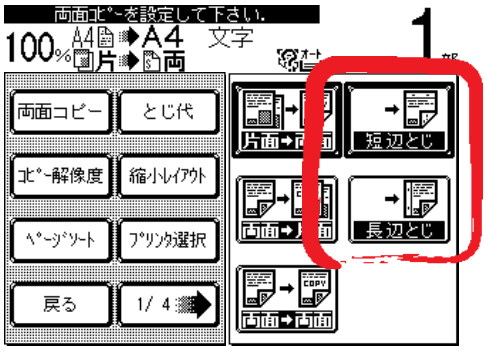
1 コピー応用画面－１／４ページにて、［両面コピー］ボタンを押します。



2 両面の種類を選択します。



3 とじ位置を選択します。



ボタン	アイコン	説　　明
選択なし	片→片	原稿の片面を、用紙の片面にコピーします。
両面→片面	両→片	1 枚の両面原稿を、2 枚の用紙の片面にコピーします。
片面→両面	片→両	2 枚の片面原稿を、1 枚の用紙の裏表にコピーします。 ※プリンタに両面ユニット装着時のみ表示します。
両面→両面	両→両	両面原稿を、用紙の両面にコピーします。 ※プリンタに両面ユニット装着時のみ表示します。
長辺とじ		とじ位置を長辺に設定します。
短辺とじ		とじ位置を短辺に設定します。

メモ

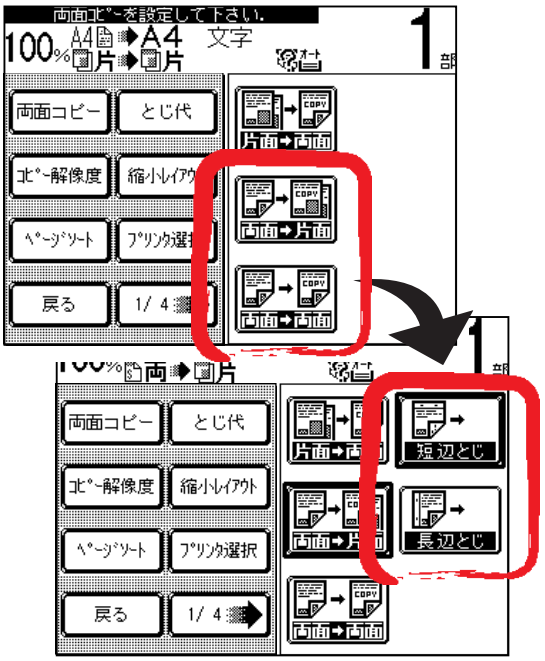
PFU 製スキャナにてカラーコピーを使用される場合、両面読込み機能（「両面→両面」,「両面→片面」）は、ご利用になれません。

■「とじ位置」とは

両面原稿や両面に印刷を行なうとき、紙を裏返す支点となる所を指します。
［両面→片面］へコピーを行なうときにとじ位置を設定することにより、印刷の向きをそろえることができます。また、［片面→両面］へコピーを行なうときには、両面の印刷物のページをめくる向きを指定することができます。

■原稿台から両面原稿をスキャンする

1 ［両面→片面］／［両面→両面］を選択し、続けてとじ位置も選択します。



2 両面原稿をスキャナにセットし、スタート ボタンを押します。

3 片面のスキャンが終ると、LCD パネルに原稿の裏返しを促すメッセージが表示されますので、指示にしたがって原稿を裏返します。

ポイント

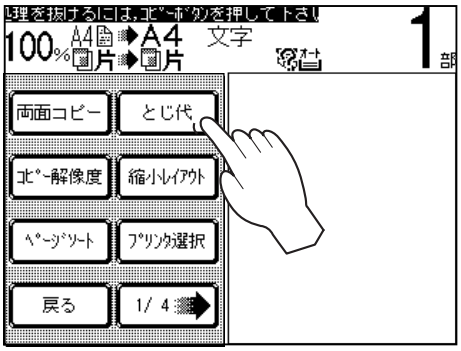
［終了］ボタンを押すと、表面のみのコピーを印刷します。
ストップ ボタンを押すと、コピーを中止します。

4 スタート または、［継続］ボタンを押します。

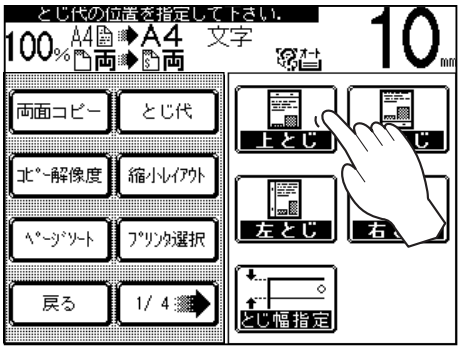
とじ代

用紙の一辺に、とじるための余白を設けてコピーします。

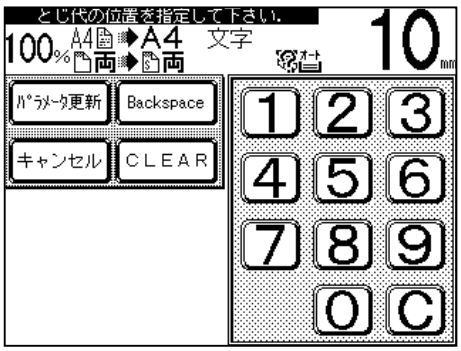
1 コピー応用画面－１／４ページにて、
［とじ代］ボタンを押します。



2 とじ位置を選択します。
とじ幅を変更する場合は、
［とじ幅指定］ボタンを押します。



3 テンキーでとじ幅を入力し、
［パラメータ更新］ボタンを押します。

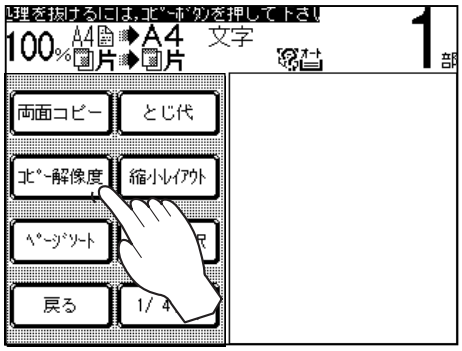


ボタン	アイコン	説　明
左とじ		用紙の左側に余白を設けます。
右とじ		用紙の右側に余白を設けます。
上とじ		用紙の上側に余白を設けます。
下とじ		用紙の下側に余白を設けます。
とじ幅指定		とじ幅を指定できます。 設定範囲は、0 ～ 99mm です。

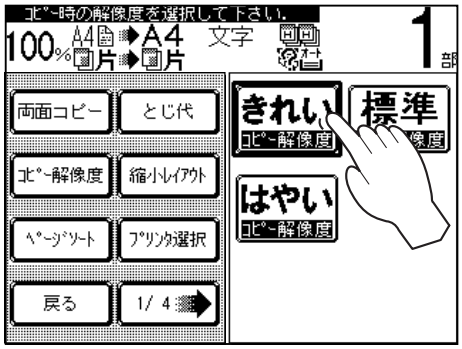
コピー解像度

コピーの解像度を設定します。

1 コピー応用画面－１／４ページにて、［コピー解像度］ボタンを押します。



2 ［きれい］／［標準］／［はやい］を選択します。

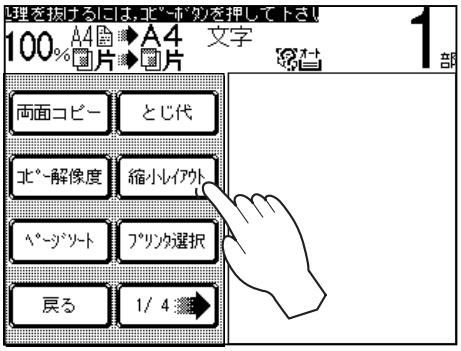


ボタン	説　　明
きれい ｺﾋﾟｰ解像度	「標準」に比べて高解像度でコピーします。
標準 ｺﾋﾟｰ解像度	「きれい」に比べて解像度を落とすことで、コピー速度を速くします。
はやい ｺﾋﾟｰ解像度	「標準」に比べて解像度を落とすことで、コピー速度を速くします。

縮小レイアウト

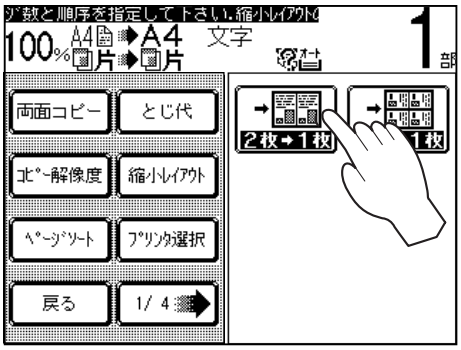
2 枚／4 枚の原稿を縮小して、1 枚の用紙にコピーします。

1 コピー応用画面－ 1 ／ 4 ページにて、
［縮小レイアウト］ボタンを押します。

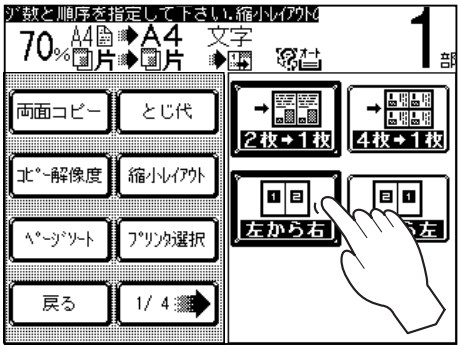


2 ［2 枚→ 1 枚］／［4 枚→ 1 枚］を選択します。

ボタン	説　明
2枚→1枚	原稿 2 枚を 1 枚の用紙にコピーします。
4枚→1枚	原稿 4 枚を 1 枚の用紙にコピーします。



3 レイアウトのパターンを選択します。



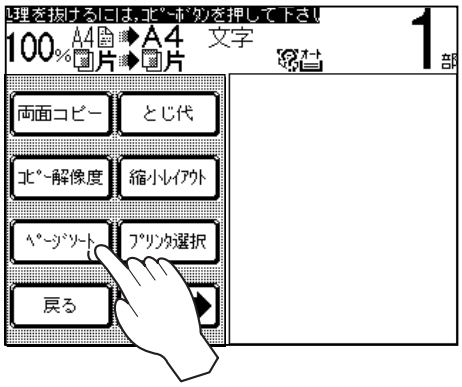
ボタン	アイコン	説　明
左から右		左から右の順にコピーします。
右から左		右から左の順にコピーします。
上から下		上から下の順にコピーします。
下から上		下から上の順にコピーします。

ボタン	アイコン	説　明
左上から右		左上から右上、左下から右下の順にコピーします。
左上から下		左上から左下、右上から右下の順にコピーします。
右上から左		右上から左上、右下から左下の順にコピーします。
右上から下		右上から右下、左上から左下の順にコピーします。

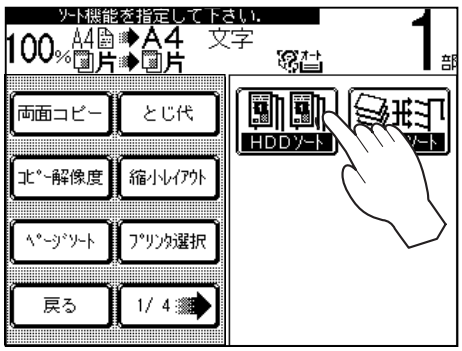
ページソート

ページソートの設定を行ないます。本機は通常のソートコピーの他に、プリンタへオプションを装着することにより、ステープル処理やパンチを開けることができます。

1 コピー応用画面－１／４ページにて、［ページソート］ボタンを押します。



2 ページソートの種類を選択します。
いずれも選択されていない場合は、ページソートなしです。



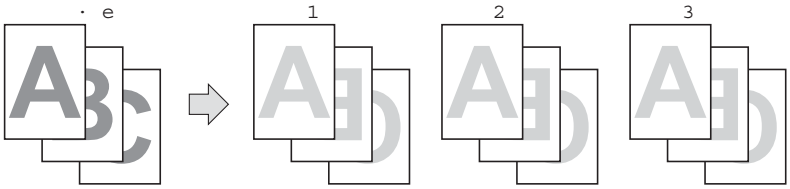
メモ

表示されるアイコンは、選択しているプリンタの機種や、オプションによって異なります。

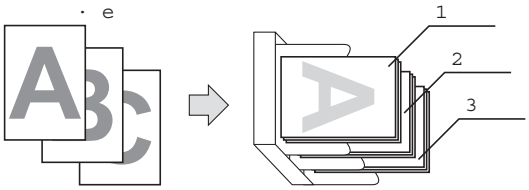
ボタン	アイコン	説　明	必須オプション		
			HDD/RAMDISK	ソータ／マルチトレイ	フィニッシャ
HDDソート		部単位ごとにソートして排紙します。	○		
ソーターソート		部単位ごとにソータの排紙先トレイを振り分けて排紙します。	○	○	
回転ソート		部単位ごとに 90° 回転させて排紙します。	○		
ステープルソート		部単位ごとにステープル（ホチキス止め）をして排紙します。	○		○
シフトソート		部単位ごとに排紙位置をシフトします。	○		○
パンチ処理		パンチを開けます。回転ソートと組み合わせることはできません。	○		○

■ソート処理一覧

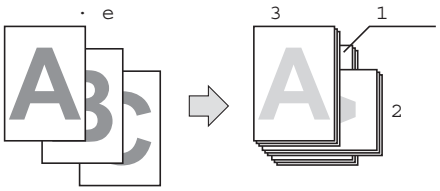
◆ HDD ソート



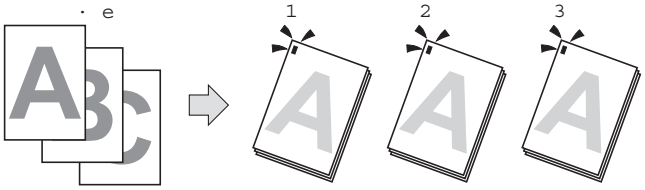
◆ソータソート



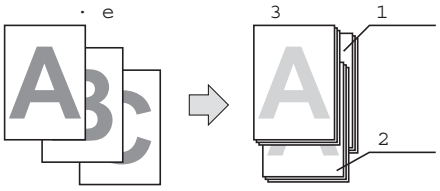
◆回転ソート



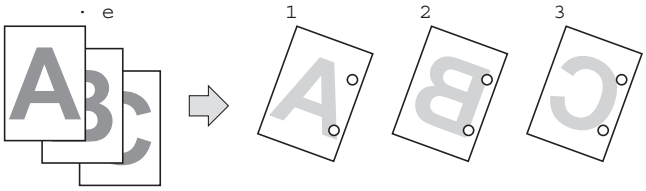
◆ステープルソート



◆シフトソート

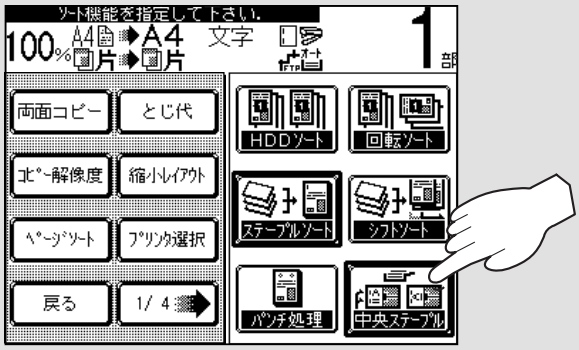


◆パンチ処理



メモ

ステープルソートを選択した場合は、
続けてステープルの位置を設定できます。
ボタンを押すごとに、ステープル位置が切り替わります。

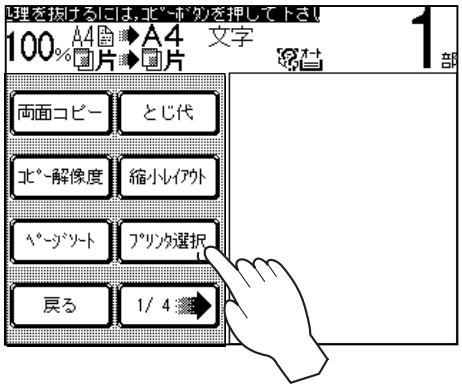


ボタン	アイコン	説　明
		用紙の奥側にステープルします。
		用紙の中央に2ヶ所ステープルします。
		用紙の手前側にステープルします。

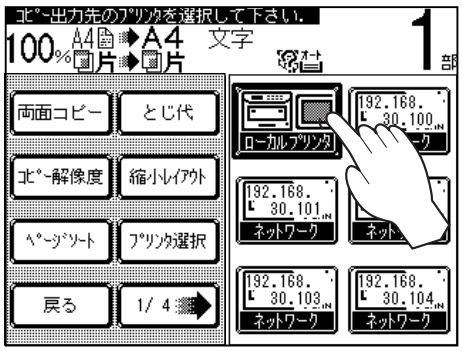
プリンタ選択

コピーを出力するプリンタの選択を行ないます。

1 コピー応用画面－１／４ページにて、
［プリンタ選択］ボタンを押します。



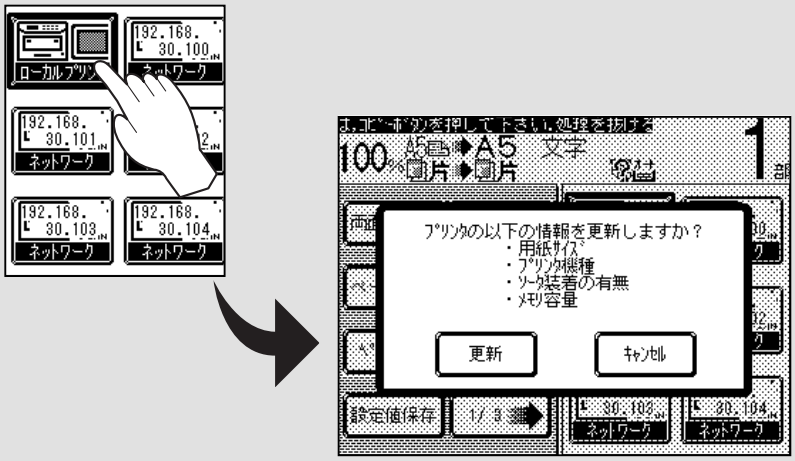
2 プリンタを選択します。



ボタン	説　明
ローカルプリンタ	本機とプリンタケーブルで、ローカル接続されているプリンタにコピーを出力します。
192.168. 30.100 ネットワーク	本機とネットワーク経由で、接続されているプリンタにコピーを出力します。

メモ

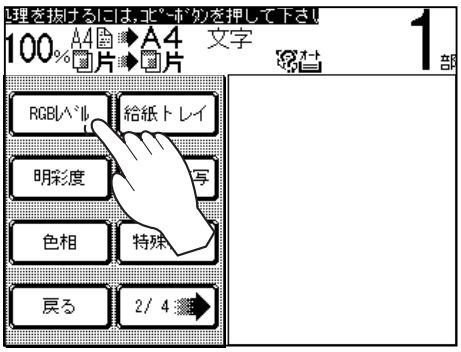
プリンタのパラメータ更新は、
選択中のボタンを再度押すことにより行ないます。プリンタのパラメータを手動で設定する場合は、「プリンタオプション設定」（→ 1-39 ページ）で設定してください。



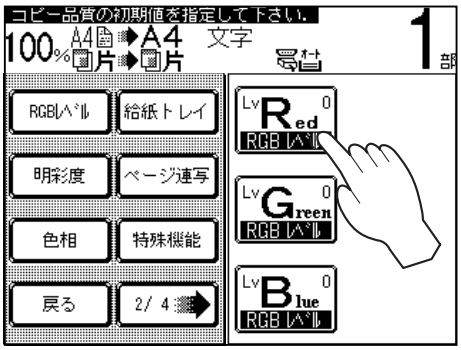
RGB レベル

赤色（R），緑色（G），青色（B)、各色の強調レベルを設定します。
設定値を上げるほど、各色が強調されます。

1 コピー応用画面－２／４ページにて、
[RGB レベル] ボタンを押します。



2 調整したい色のボタンを押して、
強調レベルを設定します。



メモ

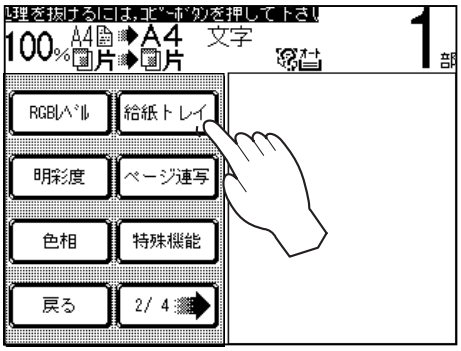
強調レベルの設定値は、ボタンを押すごとに１つ上がります。
設定値は“0 → +1 → +2 → +3 → -3 → -2 → -1 → 0 ･･･”とループします。
各色の設定値は、各ボタンの中に表示されます。

ボタン	設 定 値	説　　明
Lv Red 0 RGB ﾚﾍﾞﾙ	-3 ～ +3 （標準値＝ 0）	赤色の強調レベルを設定します。 値を大きくする程、強調されます。
Lv Green 0 RGB ﾚﾍﾞﾙ		緑色の強調レベルを設定します。 値を大きくする程、強調されます。
Lv Blue 0 RGB ﾚﾍﾞﾙ		青色の強調レベルを設定します。 値を大きくする程、強調されます。

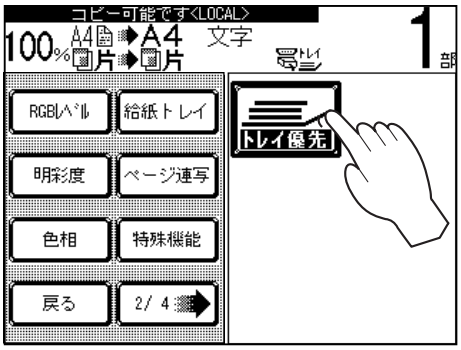
給紙トレイ

コピー用紙の給紙トレイを設定します。

1 コピー応用画面－２／４ページにて、
［給紙トレイ］ボタンを押します。



2 給紙モードを選択します。
［カセット優先］を選択した場合は、
給紙するカセットも選択します。



メモ

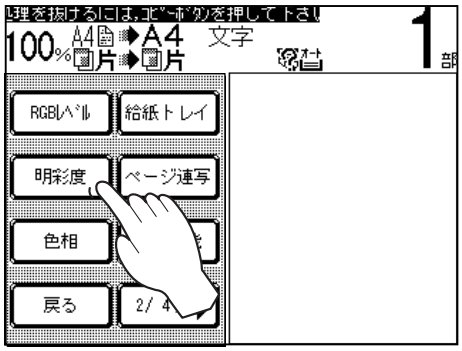
プリンタの給紙装置から、用紙のセット状態を検出してボタン表示します。

ボタン	アイコン	説　　明
自動選択	オート	給紙トレイ設定で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を検出し、その給紙装置から給紙します。
トレイ優先	トレイ	用紙トレイを優先して給紙します。トレイに用紙がセットされていない場合は、［自動選択］モードで給紙します。
カセット優先		選択中の用紙カセットを優先して給紙します。選択したカセットに原稿サイズの用紙がセットされていない状態で、原稿サイズが［自動検知］の場合は、［自動選択］モードで給紙します。
カセット1		上記の［カセット優先］を選択した場合の給紙カセットを指定します。ボタンに用紙サイズ、アイコンの上にカセットの番号を表示します。

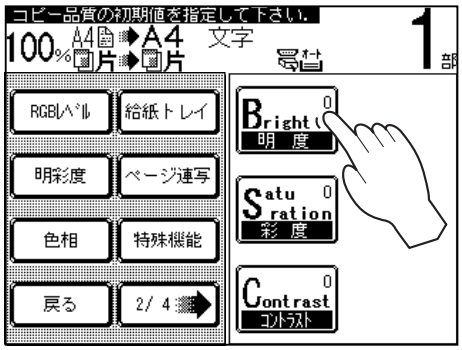
明彩度

明度、彩度、コントラストを設定します。

1 コピー応用画面－２／４ページにて、［明彩度］ボタンを押します。



2 調整したい機能のボタンを押して、設定します。



メモ

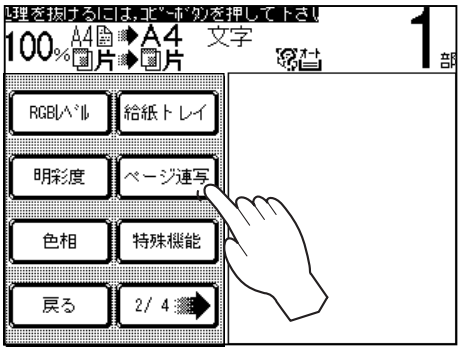
各機能の設定値は、ボタンを押すごとに１つ上がります。
設定値は“0 → +1 → +2 → +3 → −3 → −2 → −1 → 0 ･･･”とループします。
各機能の設定値は、各ボタンの中に表示されます。

ボタン	設 定 値	説　　明
Bright 0 明 度	−3 ～ +3 （標準値＝0）	明度の設定を行います。 値を大きくする程、全体的に画像が明るくなります。
Satu 0 ration 彩 度		彩度の設定を行います。 値を大きくする程、色が強調されて鮮やかさが強くなります。
Contrast 0 コントラスト		コントラストの設定を行います。 値を大きくする程、明暗の差が大きくなります。

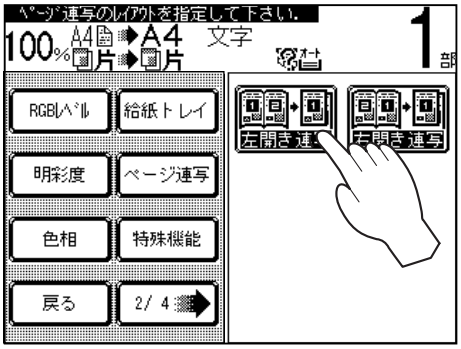
ページ連写

雑誌や本などの見開き 2 ページの原稿を、2 枚の用紙に分割してコピーします。

1 コピー応用画面－ 2 ／ 4 ページにて、[ページ連写] ボタンを押します。



2 ページ連写のレイアウトを選択します。どちらも選択されていない場合は、ページ連写なしです。



ボタン	アイコン	説　明
		左開き原稿をコピーします。 左ページが 1 枚目になります。
		右開き原稿をコピーします。 右ページが 1 枚目になります。

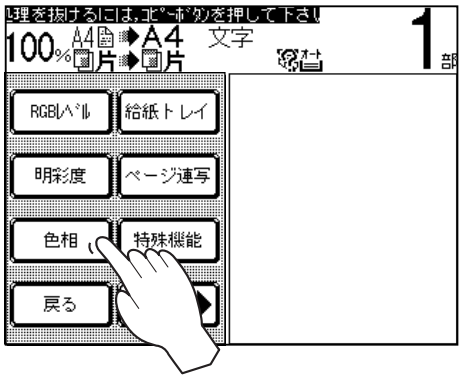
メモ

PFU 製スキャナの ADF からは、ページ連写コピーができません。

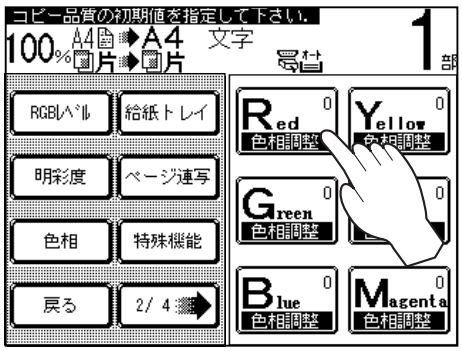
色相

赤色（R)、黄色（Y)、緑色（G)、シアン（C)、青色（B)、マゼンタ（M）の色相を設定します。

1 コピー応用画面－２／４ページにて、[色相] ボタンを押します。



2 調整したい色のボタンを押して、設定します。



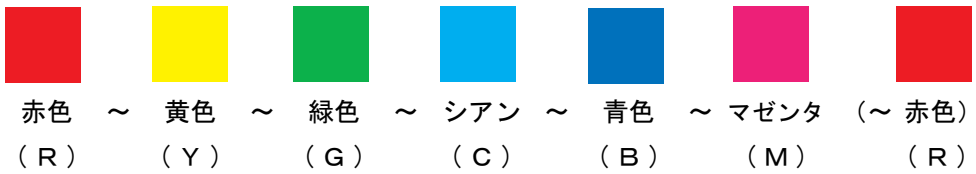
メモ

各色の設定値は、ボタンを押すごとに１つ上がります。
設定値は“0 → +1 → +2 → +3 → -3 → -2 → -1 → 0 ･･･”とループします。
各色の設定値は、ボタンの中に表示されます。

ボタン	設 定 値	説　　明
Red 色相調整	-3 ～ +3 （標準値＝0）	“赤色”の色相を設定します。　値を大きくする程“黄色”に、小さくする程“マゼンタ”に近い色になります。
Yellow 色相調整		“黄色”の色相を設定します。　値を大きくする程“緑色”に、小さくする程“赤色”に近い色になります。
Green 色相調整		“緑色”の色相を設定します。　値を大きくする程“シアン”に、小さくする程“黄色”に近い色になります。
Cyan 色相調整		“シアン”の色相を設定します。　値を大きくする程“青色”に、小さくする程“緑色”に近い色になります。
Blue 色相調整		“青色”の色相を設定します。　値を大きくする程“マゼンタ”に、小さくする程“シアン”に近い色になります。
Magenta 色相調整		“マゼンタ”の色相を設定します。　値を大きくする程“赤色”に、小さくする程“青色”に近い色になります。

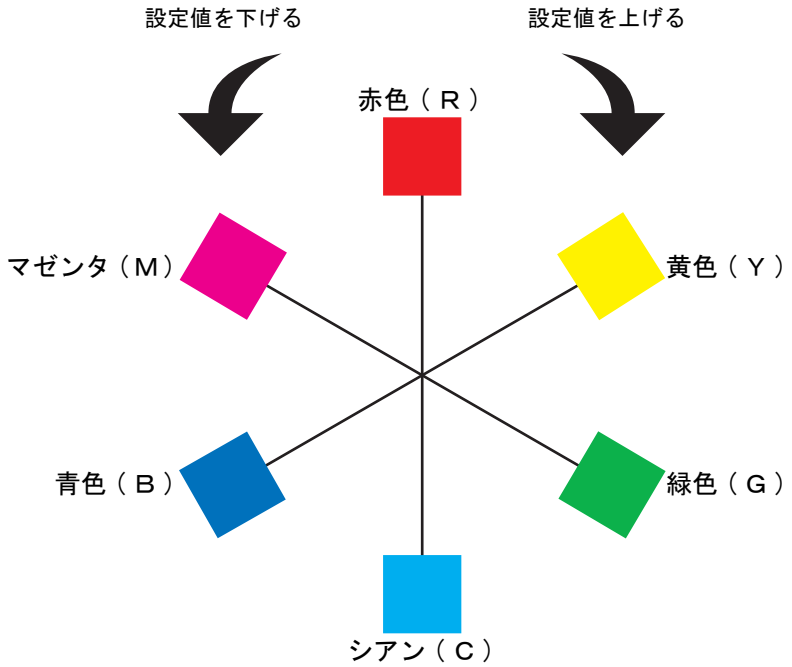
■色相とは

赤色、緑色、青色のような色を特性づける属性のことです。
色相の違いから、以下の順に並べることができます。



本設定では各色の設定値を大きくすることで右側の色に、設定値を小さくすることで左側の色に近づけることができます。

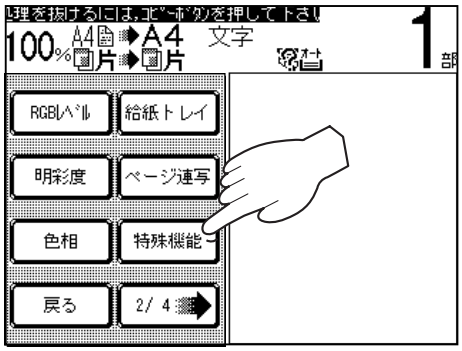
例）マゼンタ（M）←（設定値を下げる）← 赤色（R）→（設定値を上げる）→ 黄色（Y）



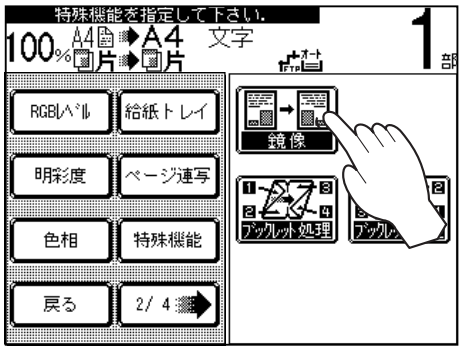
特殊機能

原稿に特殊な処理を加えてコピーすることができます。

1 コピー応用画面－２／４ページにて、
［特殊機能］ボタンを押します。



2 特殊機能を選択します。



ボタン	アイコン	説　　明
鏡像	鏡	原稿の左右を反転させてコピーします。
ブックレット処理		左開き／上開きのブックレット処理を行ないます。
ブックレット処理		右開き／下開きのブックレット処理を行ないます。

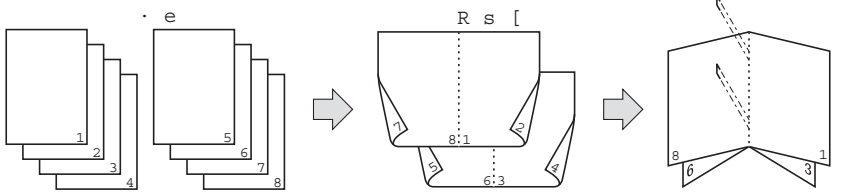
メモ

［鏡像］は、カラーコピーには対応していません。
カラーコピーを選択した場合、［鏡像］設定は無効になります。

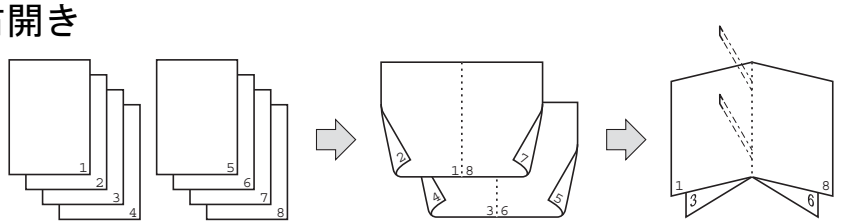
■ブックレット処理とは

片面、または両面原稿を、小冊子になるようにコピーします。プリンタにオプションの中とじフィニッシャが必要です。

◆左開き



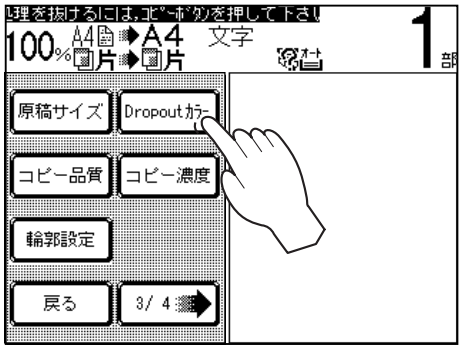
◆右開き



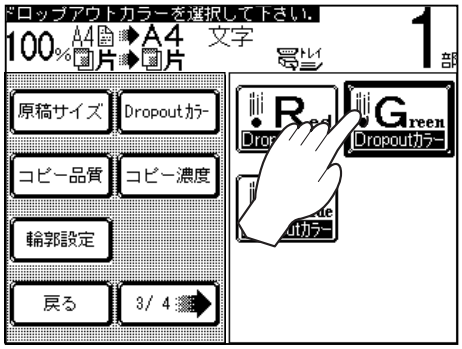
Dropout カラー

Dropout カラーを設定します。Dropout は Red、Green、Blue の中から選択した一色を使わずにスキャンします。

1 コピー応用画面－３／４ページにて、[Dropout カラー] ボタンを押します。



2 [Red ／ Green ／ Blue] ボタンを押します。すべてのボタンが未選択の場合は、Dropout を行ないません。



メモ

PFU 製スキャナは、Dropout カラーとして、Green がデフォルトで選択されています。また、スキャナの仕様上、未選択にはできず、何れかの一色を常に選択しておく必要があります。

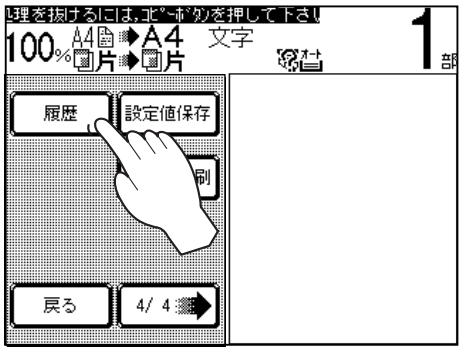
メモ

[Dropout カラー] は、カラーコピーには対応していません。
カラーコピーを選択した場合、[Dropout カラー] 設定は無効になります。

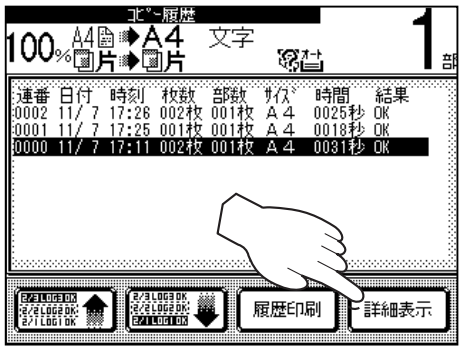
コピー履歴の確認

コピーの履歴を確認します。

1 コピー応用画面－４／４ページにて、
［履歴］ボタンを押します。



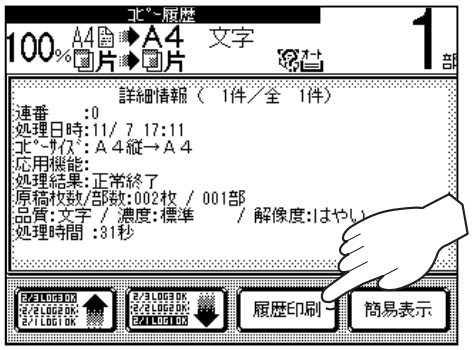
2 コピー履歴が表示されます。
［↑］［↓］ボタンを押すとスクロールします。1 秒以上押し続けると、10 ステップ単位でスキップします。履歴の詳細を確認する場合は､［詳細表示］ボタンを押してください。



メモ

最大表示件数は、200 件です。

3 履歴の詳細を表示します。
簡易表示に戻るには、［簡易表示］ボタンを押してください。
履歴の表示を終了する際は、［コピー］ボタンを押してください。



■履歴を印刷する

コピー履歴を印刷します。

1 コピー履歴画面にて、
［履歴印刷］ボタンを押します。

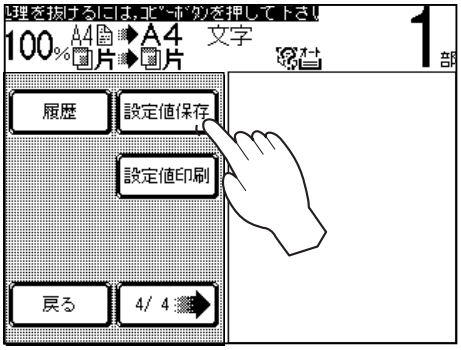
メモ

履歴印刷は、「デフォルトプリンタの設定」→ 1-40 ページで選択されているプリンタの A4 用紙に印刷します。

設定値保存

応用機能で行なった各種変更は、「設定値保存」を行なうことにより、本機のメモリに記憶されます。[リセット] ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと、設定保存されている状態に戻ります。

1 コピー応用画面－4／4ページにて、[設定値保存] ボタンを押します。



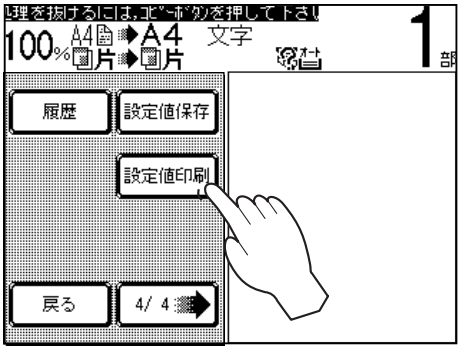
メモ

設定保存を行なわない場合は、[リセット] ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと設定値が失なわれます。

■設定値印刷

コピーモードに設定されている設定値と設定保存値の印刷を行ないます。

1 コピー応用画面－4／4ページにて、[設定値印刷] ボタンを押します。



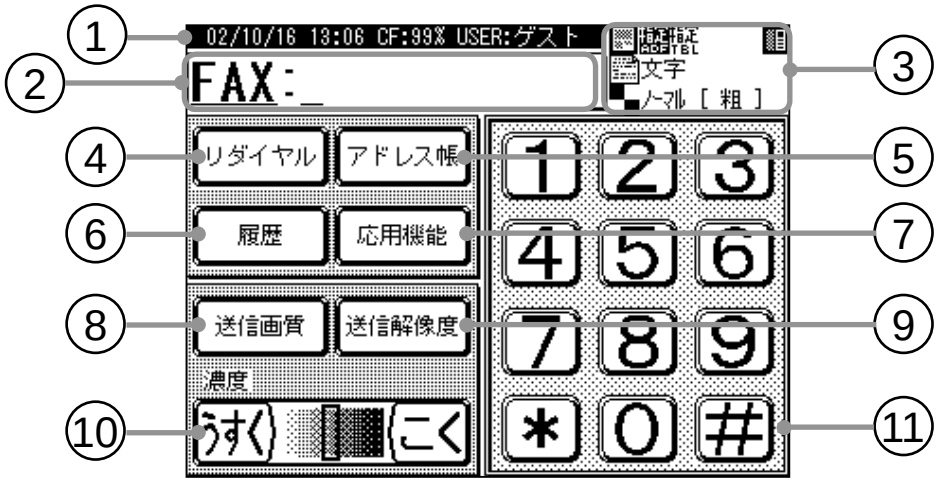
3章 ファクス

■目次

画面 2
ファクス基本画面 2
応用機能画面 3
ファクス送受信の準備 4
設定項目一覧 4
ファクス送信 5
ファクス送信の手順 5
■テンキーからダイヤルする 7
■リダイヤルする 7
■アドレス帳からダイヤルする 8
不達通知 9
ファクス受信 10
ファクス受信の手順 10
基本ファクスの設定 11
送信画質 11
送信解像度 12
送信濃度 13
応用ファクスの設定 14
両面読取 15
■原稿台から両面原稿をスキャンする 15
原稿サイズ 16
■ ADF サイズ 16
■原稿台サイズ 17
輪郭設定 18
変倍送信 19
発信元記録 20
端末登録 20
■自局番号登録 20
■自局名称登録 20
■グループ登録 20
受信モード 21
受信用紙 22
■「ちいさめ」について 23
ADF 異常時 24
送信メモリフル時 25
送信速度・受信速度 26
通信音量 27
回線種類 28
エラー訂正機能 28
特殊送信 29
F コード送信 29
■ F コードをつけて送信する 30
グループ送信 31
■グループからダイヤルする 31
■グループの登録 33
■グループに送信先を追加／削除する 34
■グループ名を修正する 35
■グループを削除する 36
タイマ送信 38
■タイマ送信を予約する 38
■タイマ送信を解除する 39
呼出回数 40
リダイヤル機能 41
■リダイヤル回数 41
■リダイヤル間隔 41
設定値保存 42
■設定値印刷 42
テスト送信 43
ファクス着信転送の設定 44
ルーティングテーブルとは 44
設定項目一覧 45
転送先レコードの設定 46
■転送先レコード選択画面 46
■デフォルトルートの設定 47
■レコードの追加 47
■レコードの変更 48
■レコードの削除 49
ルーティングテーブルの設定 50
■転送規則の設定 50
■転送プロトコルの設定 50
■共有フォルダの設定 51
■ FTP 転送の設定 52
■ E メール転送の設定 53
■転送ファイル形式の設定 55
■転送時印刷の設定 55
■設定値の確認 56
アドレス帳 57
アドレス帳の登録 57
アドレス帳の修正／削除 59
アドレス帳の印刷 60
ファクス履歴 61
ファクス履歴の確認 61
■送信／受信履歴を印刷する 62
■メモリ受信を再転送する 62
■履歴を初期化する 62
■履歴印刷サンプル 63

ファクス基本画面

1 ファクシミリ ボタンを押して、ファクスモードに切り替えます。

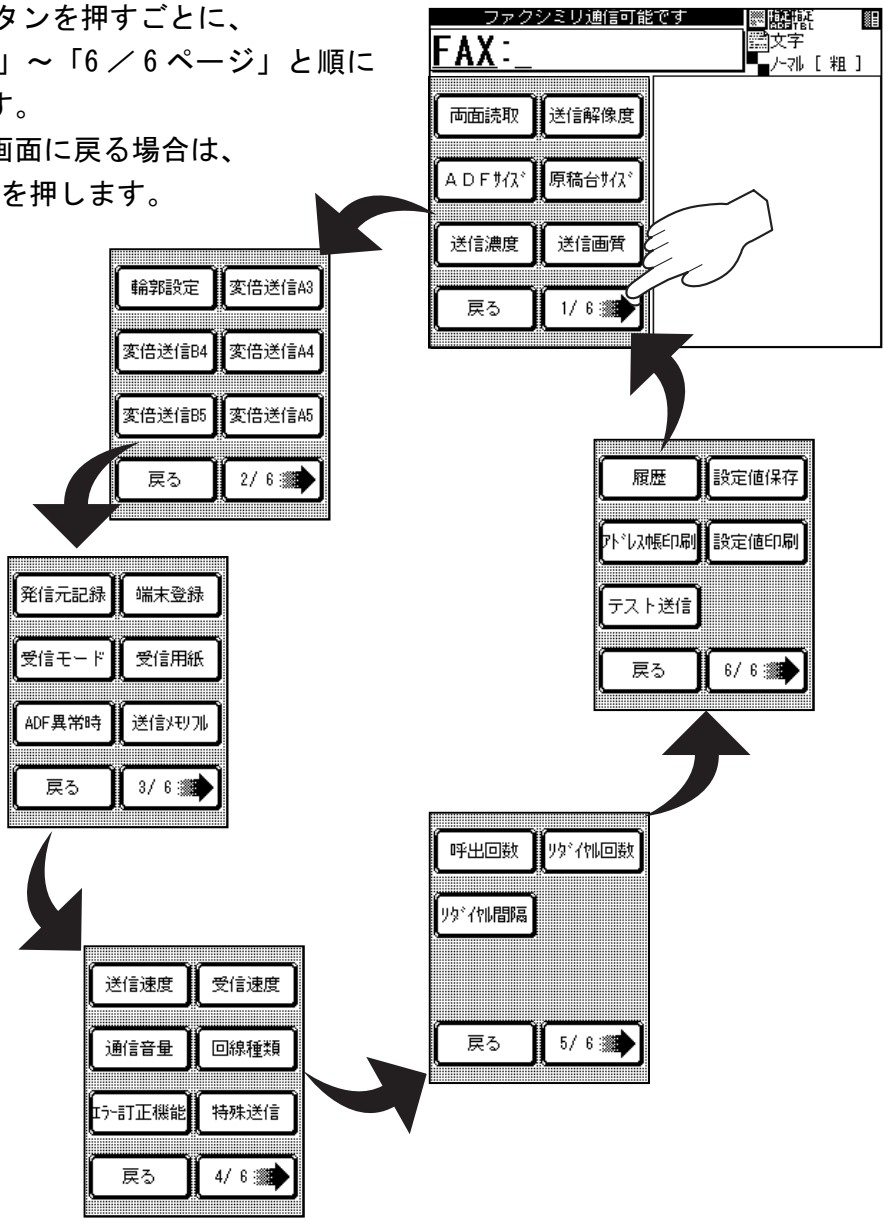


No.	名　称	説　　明
①	メッセージ表示	メッセージや動作状況、ログオン状態を表示します。
②	ダイヤル番号表示	ダイヤル番号を表示します。
③	ステータス表示	設定されている機能や状態を、アイコンで表示します。
④	リダイヤル	直前にダイヤルした番号を呼び出します。
⑤	アドレス帳	アドレス帳を呼び出します。
⑥	履歴	ファクス送受信の履歴、メモリ受信の表示と印刷、タイマ送信の確認と解除を行ないます。
⑦	応用機能	応用機能を呼び出します。
⑧	送信画質	ファクス送信の画質を設定します。
⑨	送信解像度	ファクス送信の解像度を設定します。
⑩	濃度	ファクス送信の濃度を設定します。
⑪	テンキー	ダイヤル番号を入力します。

応用機能画面

1 ファクス基本画面にて、[応用機能] ボタンを押します。

2 [1 ／ 6 →] ボタンを押すごとに、
「2 ／ 6 ページ」～「6 ／ 6 ページ」と順に
切り替わります。
ファクス基本画面に戻る場合は、
[戻る] ボタンを押します。



設定項目一覧

ファクス機能をご利用になる場合は、管理者が以下の設定を行なう必要があります。
表を参考にして設定を行なってください。

◆ファクス機能の設定

○：必須／△：任意

設 定 項 目	必須項目
受信モード	△
端末登録	○
発信元記録	○
受信用紙	△
送受信速度	△
通信音量	△
回線種類	○
ADF 異常時	△
送信メモリフル時	△
エラー訂正機能	△
呼出回数	△
リダイヤル機能	△

◆プリンタの設定

○：必須／△：任意

設 定 項 目	必須項目
プリンタ登録	○
プリンタオプション設定	○
プリンタオフセット設定	△
プリンタ排紙先設定	△
デフォルトプリンタの設定	○

メモ

スキャナの状態は、スキャナ使用時に本機が自動的に取得します。

参照

必須項目の設定は、第 1 章「概要」の「製品導入時の設定」→ 1-27 ページを参照してください。

ファクス送信

ファクス送信の手順

1 モード切り替え

ファクシミリ ボタンを押して、ファクスモードに切り替えます。

2 原稿のセット

スキャナの原稿台、または自動原稿読取装置に
原稿をセットします。

3 基本機能の設定

■送信画質
■送信解像度
■送信濃度
→ 3-11 ～ 3-13 ページ

4 応用機能の設定

■両面読取
■原稿サイズ
■輪郭設定
■変倍送信
■特殊送信
■ F コード送信
■タイマ送信
→ 3-14 ～ 3-43 ページ

5 ダイヤル

■テンキーからダイヤルする → 3-7 ページ
■リダイヤルする → 3-7 ページ
■アドレス帳からダイヤルする → 3-8 ページ
■グループからダイヤルする
（特殊送信 - グループ送信） → 3-31 ページ

→次のページへ

6 ファクス送信スタート

スタート ボタンを押して、ファクス送信を開始します。

◆自動原稿読取装置からのスキャン

セットされている原稿のスキャンを自動的に完了し、送信を開始します。

両面原稿をスキャンする場合は、「両面読取」→ 3-15 ページをご覧ください。

◆原稿台からのスキャン

1 枚目のスキャンが終ると、LCD パネルにスキャンの継続を確認するメッセージが表示されます。

スキャンを終了し、送信を開始する場合は、[送信] ボタンを押します。

継続する場合は、スタート または、[継続] ボタンを押します。

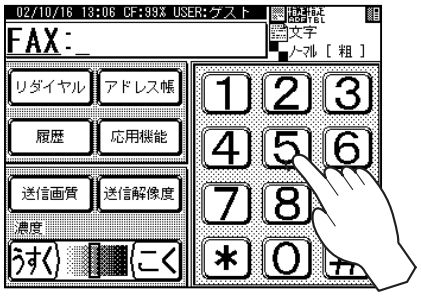
メモ

ストップ ボタンを押すと、送信を中止します。スキャン中の原稿は、スキャンを中止して排紙します。ファクス送信中は、回線を切断し送信を中止します。
スキャンした原稿の全ページ送信できなかった場合は、「不達通知」(→ 3-9 ページ) が印刷されます。

■テンキーからダイヤルする

タッチパネルディスプレイのテンキーから、相手先の番号をダイヤルします。

1 テンキーで相手先の番号を入力します。



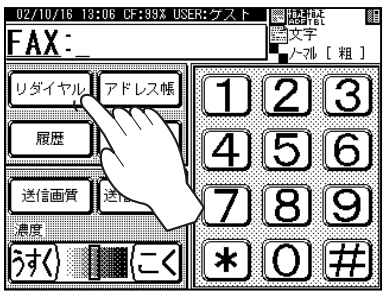
2 相手先の番号入力を始めると、下の表のボタンが表示されますので、必要に応じて入力してください。

ボタン	説　明
ポーズ	本機が内線に接続されていて、外線にダイヤルする場合や、海外にダイヤルする場合は、番号の間に待ち時間（ポーズ）を入れてください。
オフフック	フックを上げた状態になります。
Backspace	番号を後ろから一つ削除します。
CLEAR	入力されている番号を全て削除します。

■リダイヤルする

直前にダイヤルした番号にダイヤルします。

1 ［リダイヤル］ボタンを押します。



メモ

オートクリアにより、リダイヤル番号は消去されます。

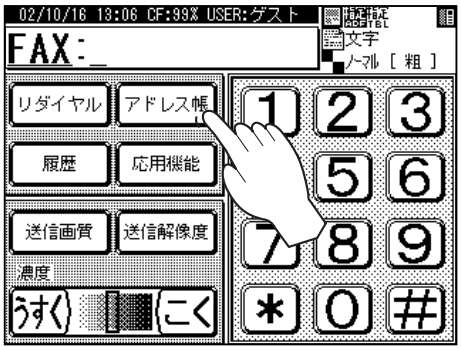
■アドレス帳からダイヤルする

本機に登録されているアドレス帳から、相手先の番号を呼出してダイヤルします。

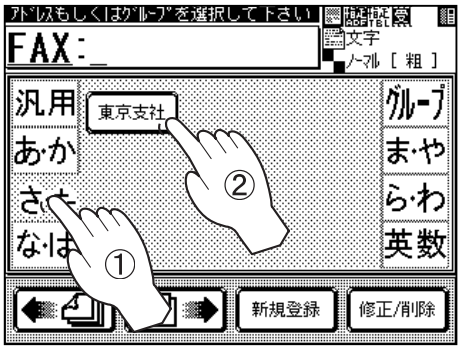
参照

アドレス帳をご利用になるまえに、「アドレス帳の登録」（→ 3-57 ページ）で送信先を登録する必要があります。

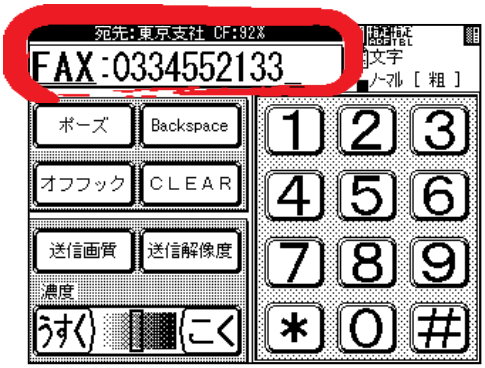
1 ［アドレス帳］ボタンを押します。



2 ①送信先の登録されているタブを選択し、
②送信先のボタンを押します。



3 相手先の名称をメッセージ表示し、
FAX 番号が入力されます。



不達通知

不達通知とは、ファクシミリ原稿を全ページ送信できなかった場合に、送信エラーを通知する機能です。不達通知は、送信エラーが発生する度に印刷されます。

連番
ファクス通信の管理番号です。

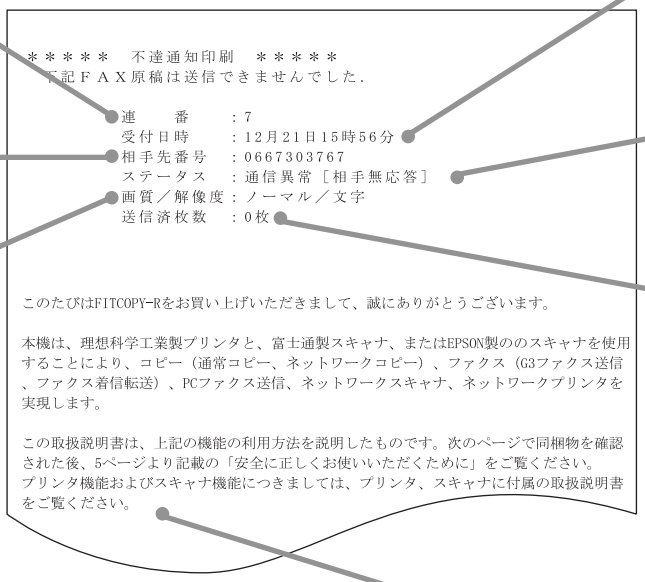
相手先
送信先のファクス番号です。

画質／解像度
送信時の画質／解像度です。

受付日時
送信を受け付けた日時です。

ステータス
送信エラーの原因です。

送信済枚数
正常に送信できた枚数です。


＊＊＊＊＊　不達通知印刷　＊＊＊＊＊
下記ＦＡＸ原稿は送信できませんでした.

連　　番　　：7
受付日時　　：12月21日15時56分
相手先番号　：0667303767
ステータス　：通信異常［相手無応答］
画質／解像度：ノーマル／文字
送信済枚数　：0枚

このたびはFITCOPY-Rをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機は、理想科学工業製プリンタと、富士通製スキャナ、またはEPSON製ののスキャナを使用することにより、コピー（通常コピー、ネットワークコピー）、ファクス（G3ファクス送信、ファクス着信転送）、PCファクス送信、ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタを実現します。

この取扱説明書は、上記の機能の利用方法を説明したものです。次のページで同梱物を確認された後、5ページより記載の「安全に正しくお使いいただくために」をご覧ください。
プリンタ機能およびスキャナ機能につきましては、プリンタ、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

送信エラーが発生したページを印刷します。

ファクス受信

ファクス受信の手順

1 受信モード、ファクス着信転送の設定

■受信モード　→ 3-21 ページ
■ファクス着信転送の設定　→ 3-44 ページ
ルーティングテーブルを設定します。

ファクス
受信時

2 受信ファクス振り分け

ルーティングテーブルの設定に従い
転送先決定

3 受信ファクス転送開始

◆共有フォルダ　◆ FTP サーバ　◆メールサーバ
受信ファクス転送

SMB	FTP	SMTP
（ファイル転送）	（ファイル転送）	（メール転送）

転送時印刷あり

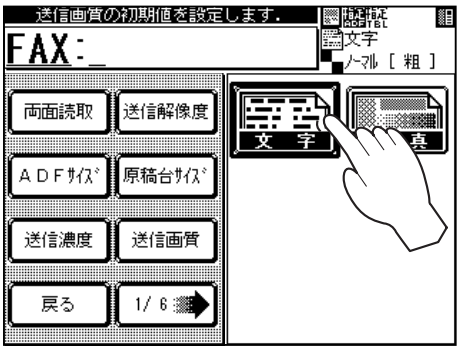
ローカル／ネットワークプリンタから
印刷開始

送信画質

原稿にあわせて、ファクス送信の画質を選択します。

1 ファクス基本画面にて、
［送信画質］ボタンを押します。
ボタンを押すごとに、ステータス表示のアイコンが「文字」⇔「写真」に変わります。

◆応用機能から送信品質を変更する場合は、［文字］［写真］ボタンを押して、送信品質を設定します。



ボタン	アイコン	説　　明
文字	文字	通常の文字原稿に適しています。
写真	写真	写真のような濃淡のある原稿に適しています。 送信時間は［文字］にくらべて長くなります。

メモ　ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

送信解像度

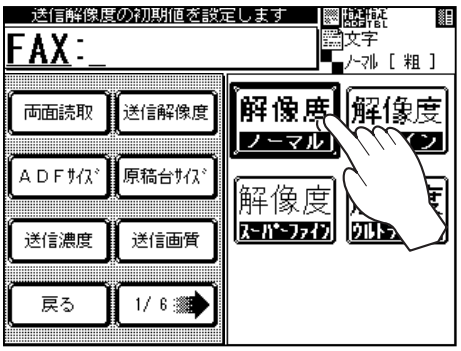
ファクスの送信解像度を選択します。高解像度になるほど、ファクス送信にかかる時間が長くなります。

1 ファクス基本画面にて、
［送信解像度］ボタンを押します。
ボタンを押すごとに、ステータス表示のアイコンが順に変わります。

メモ

送信相手がこちらの指定した解像度に対応していない場合は、相手の能力に合わせた解像度で送信します。

◆応用機能から送信解像度を変更する場合は、それぞれの解像度ボタンを押します。



ボタン	アイコン	説　　明
解像度 ノーマル	ノーマル［粗］	通常の文字原稿に適しています。
解像度 ファイン	ファイン［標準］	細かい文字原稿に適しています。 ［ノーマル］の 2 倍の細かさで送信します。
解像度 スーパーファイン	Sファイン［密］	［ノーマル］の 4 倍の細かさで送信します。
解像度 ウルトラファイン	Uファイン［細密］	［ノーマル］の 8 倍の細かさで送信します。

メモ

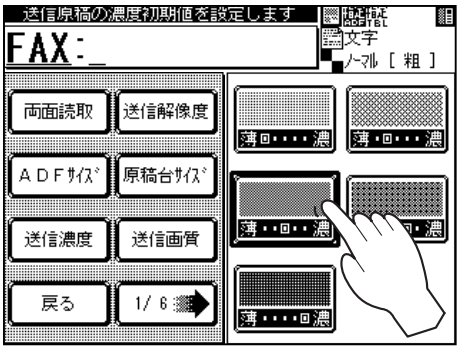
ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

送信濃度

ファクスの送信濃度を 5 段階で設定できます。

1 ファクス基本画面にて、
［うすく］／［こく］ボタンを押します。

◆応用機能から送信濃度を変更する場合は、それぞれの濃度ボタンを押します。

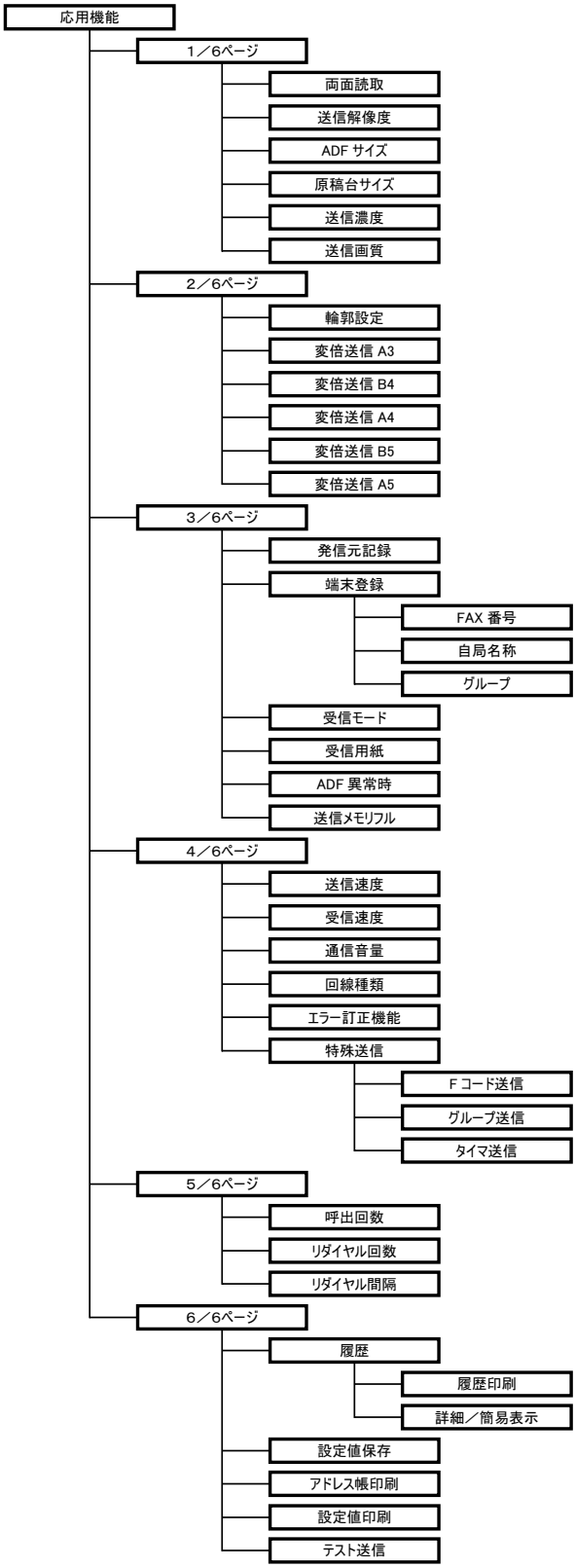


ボタン	アイコン	説　明
薄 濃	うすく こく	スキャンした原稿をうすくして送信します。
薄 濃	うすく こく	スキャンした原稿をややうすくして送信します。
薄 濃	うすく こく	スキャンした原稿をのまま送信します。
薄 濃	うすく こく	スキャンした原稿をややこくして送信します。
薄 濃	うすく こく	スキャンした原稿をこくして送信します。

メモ

ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

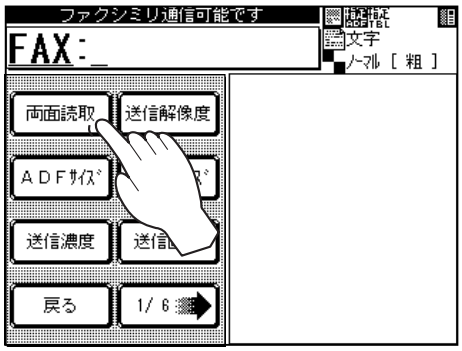
応用ファクスの設定


応用機能
1／6ページ
両面読取
送信解像度
ADF サイズ
原稿台サイズ
送信濃度
送信画質
2／6ページ
輪郭設定
変倍送信 A3
変倍送信 B4
変倍送信 A4
変倍送信 B5
変倍送信 A5
3／6ページ
発信元記録
端末登録
FAX 番号
自局名称
グループ
受信モード
受信用紙
ADF 異常時
送信メモリフル
4／6ページ
送信速度
受信速度
通信音量
回線種類
エラー訂正機能
特殊送信
F コード送信
グループ送信
タイマ送信
5／6ページ
呼出回数
リダイヤル回数
リダイヤル間隔
6／6ページ
履歴
履歴印刷
詳細／簡易表示
設定値保存
アドレス帳印刷
設定値印刷
テスト送信

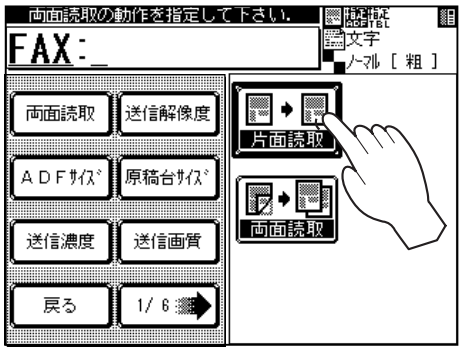
両面読取

両面原稿の表面と裏面を 2 ページに分割して、ファクス送信することができます。
両面読取は、スキャナの原稿台と両面読取式の自動原稿読取装置から行なえます。

1 ファクス応用画面－ 1 ／ 6 ページにて、
［両面読取］ボタンを押します。



2 ［片面読取］／［両面読取］を選択します。



ボタン	アイコン	説　明
片面読取		原稿の片面をスキャンします。
両面読取		原稿の両面をスキャンします。

■原稿台から両面原稿をスキャンする

1 両面原稿をスキャナにセットし、相手先番号をダイヤルしてから
スタート ボタンを押します。

2 片面のスキャンが終ると、LCD パネルに原稿の裏返しを促すメッセージが表示されますので、指示にしたがって原稿を裏返します。

ポイント

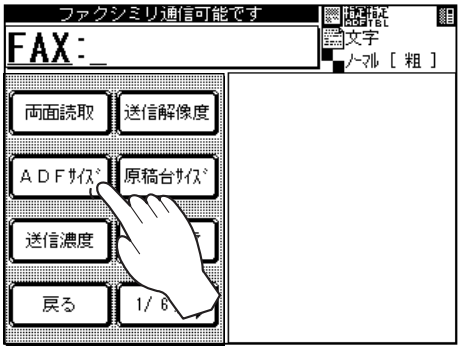
［継続］ボタンを押すと裏面のスキャンを開始します。
［終了］ボタンを押すと、スキャン済みのファクスを送信します。

原稿サイズ

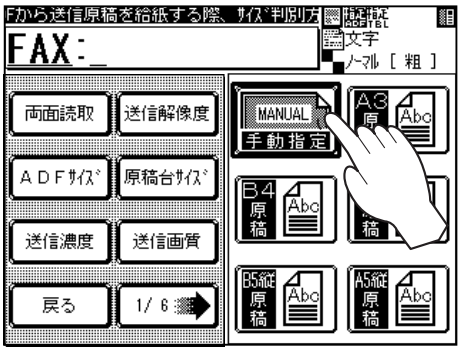
■ ADF サイズ

スキャナの ADF からスキャンする原稿の大きさを設定します。

1 ファクス応用画面－１／６ページにて、[ADF サイズ] ボタンを押します。



2 原稿のサイズを選択します。

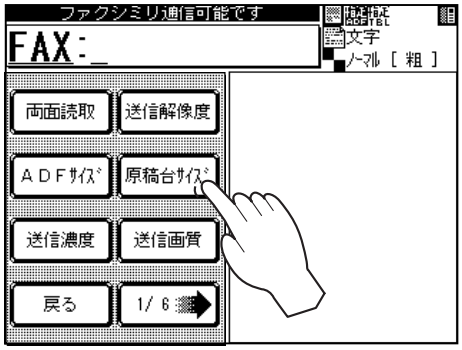


ボ タ ン	説　　明
AUTO 自動検知	ADF にセットされた原稿サイズに、自動設定します。原稿サイズ自動検知機能付きの ADF をご利用時に選択できます。
MANUAL 手動指定	送信原稿の大きさを手動で設定します。ファクス送信時に スタート ボタンを押すと原稿サイズ設定画面になりますので、送信毎に設定してください。
A3 原稿 Abc　B4 原稿 Abc	A3、B4 原稿です。原稿の向きは選択できません。
A4横 原稿 Abc　A5横 原稿 Abc　B5横 原稿 Abc	A4、B5、A5 の原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。
A4縦 原稿 Abc　A5縦 原稿 Abc　B5縦 原稿 Abc	A4、B5、A5 の原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。

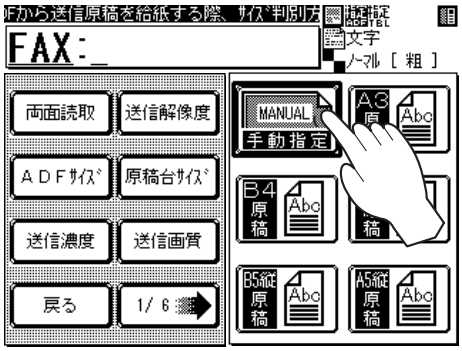
■原稿台サイズ

スキャナの原稿台からスキャンする原稿の大きさを設定します。

1 ファクス応用画面－１／６ページにて、［原稿台サイズ］ボタンを押します。



2 原稿のサイズを選択します。



ボ タ ン	説　　明
AUTO 自動検知	原稿台にセットされた原稿サイズに、自動設定します。 原稿台での原稿サイズ検知対応スキャナをご利用時に選択できます。
MANUAL 手動指定	送信原稿の大きさを手動で設定します。ファクス送信時に スタート ボタンを押すと原稿サイズ選択画面になりますので、送信毎に設定してください。
A3 原稿 Abc　B4 原稿 Abc	A3、B4 原稿です。原稿の向きは選択できません。
Abc A4横 原稿　Abc A5横 原稿　Abc B5横 原稿	A3、B5、A5 の原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。
A4縦 原稿 Abc　A5縦 原稿 Abc　B5縦 原稿 Abc	A3、B5、A5 の原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。

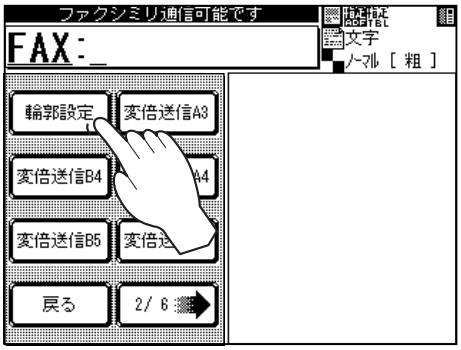
メモ

ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。原稿サイズ設定で表示されるボタンは、本機に接続されているスキャナの能力により異なります。ボタン内のアルファベットは原稿の向きを表しています。

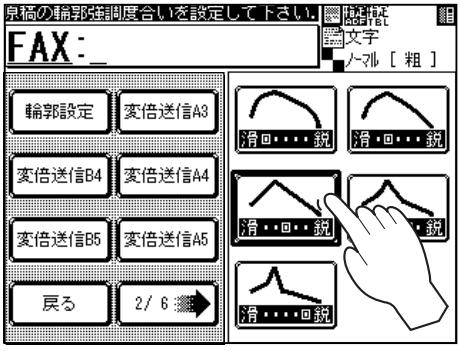
輪郭設定

原稿にあわせて、ファクス送信の輪郭を選択します。

1 ファクス応用画面－２／６ページにて、［輪郭設定］ボタンを押します。



2 輪郭のレベルを選択します。

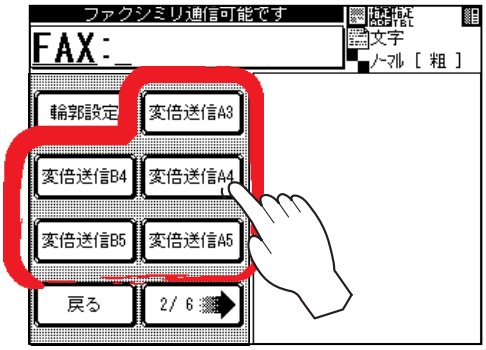


ボタン	説　明
	ソフトな輪郭でファクスします。
	ややソフトな輪郭でファクスします。
	スキャンした輪郭のままファクスします。
	ややシャープな輪郭でファクスします。
	シャープな輪郭でファクスします。

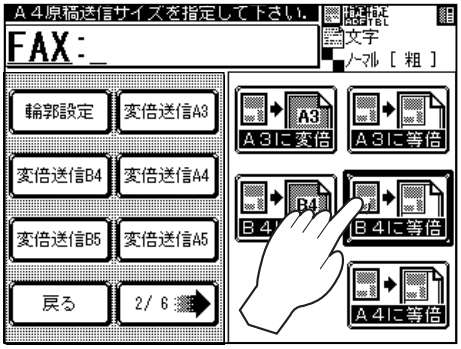
変倍送信

スキャンした原稿を定型サイズに縮小／拡大して送信することができます。

1 ファクス応用画面－２／６ページにて、原稿サイズと同じ大きさの［変倍送信］ボタンを押します。



2 縮小／拡大後のサイズを選択します。



メモ

例）右の画面では、A4 原稿を B4 サイズの用紙へ等倍で貼り付けて、ファクス送信します。

ボタン	説明
	スキャンした原稿を、選択したサイズに縮小／拡大して送信します。
	スキャンした原稿を、そのまま選択したサイズの原稿に貼り付けて送信します。

メモ

本機で送信できる原稿の横幅は、A3、B4、A4 サイズです。また、送信する原稿サイズを指定しても、相手機の状態によっては異なるサイズで送信されます。

発信元記録

登録した発信元情報の印刷位置と、印刷内容を設定します。

「製品導入時の設定」－「発信元記録」→ 1-43 を参照してください。

端末登録

送信した相手の記録紙の上端（ヘッダ）に印刷される発信元の情報を登録します。

■自局番号登録

「製品導入時の設定」－「自局番号登録」→ 1-41 を参照してください。

■自局名称登録

「製品導入時の設定」－「自局名称登録」→ 1-42 を参照してください。

■グループ登録

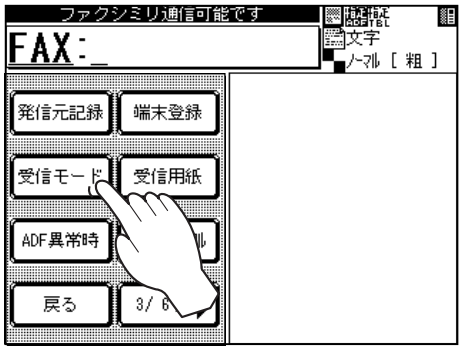
グループ送信で使用するグループを登録します。

「応用ファクスの設定」－「グループ送信」－「■グループの登録」→ 3-33 を参照してください。

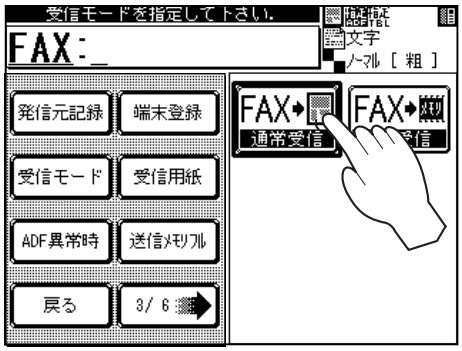
受信モード

受信ファクスを印刷せずに本機のメモリに蓄積する、メモリ受信ができます。

1 ファクス応用画面－３／６ページにて、［受信モード］ボタンを押します。



2 受信モードを選択します。



ボタン	アイコン	説　　明
FAX 通常受信		受信ファクスをプリンタから印刷します。但しファクス転送設定が印刷無しの場合は、その設定が優先されます。
FAX メモリ受信	受	受信ファクスを本機のメモリに蓄積し、プリンタから印刷しません。この設定では、ファクス転送設定が印刷有りの場合も、印刷を行ないません。

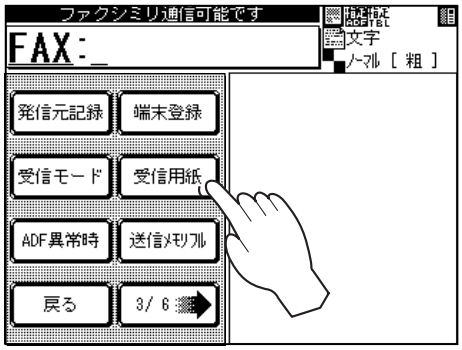
ポイント

メモリ受信したファクスは、履歴画面のメモリ受信タブにある［メモリ再転送］ボタンを押すと、ファクス転送を開始し、ファクスを取り出すことができます。

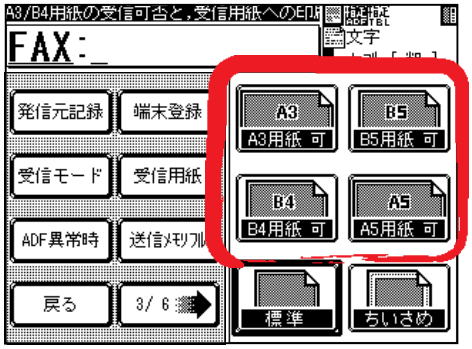
受信用紙

ファクス受信を許可する、最大の受信用紙サイズを設定することができます。

1 ファクス応用画面－３／６ページにて、［受信用紙］ボタンを押します。



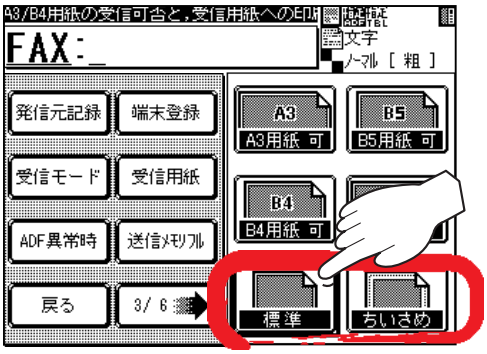
2 受信用紙サイズを選択します。



ボタン	説　　明
A3 A3用紙 可	最大受信サイズが A3 になり、A3、B4、A4 サイズを受信します。
A3用紙不可	A3 サイズの受信を拒否し、B4、A4 サイズを受信します。 相手機が A3 サイズで送信しようとした場合、本機の A3 不可設定により B4 サイズで送信することになります。
B4 B4用紙 可	B4 サイズの受信を許可します。A3 サイズが不可となっている場合は、B4、A4 サイズのみ受信可となります。
B4用紙不可	最大受信サイズが A4 となり、A4 サイズのみ受信可となります。 相手機が A3 ／ B4 サイズで送信しようとした場合、本機の B4 不可設定により A4 サイズで送信することになります。
B5 B5用紙 可	受信ファクスが B5 サイズに収まる場合は、B5 用紙に印刷します。
B5用紙不可	受信ファクスを B5 用紙に印刷しません。
A5 A5用紙 可	受信ファクスが A5 サイズに収まる場合は、A5 用紙に印刷します。
A5用紙不可	受信ファクスを A5 用紙に印刷しません。

■「ちいさめ」について

プリンタは用紙の端の四辺（各 5 mm）を印刷できません。
「ちいさめ」は、原稿全体がプリンタの印刷範囲に収まるように、少し縮小して印刷する機能です。

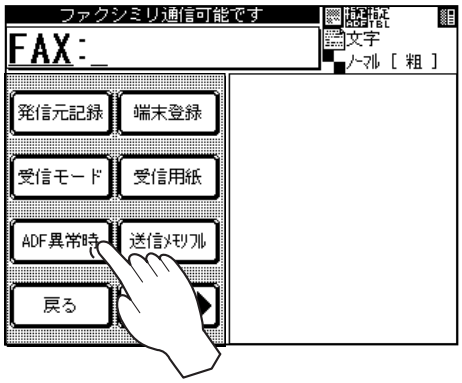


ボタン	説　　明
	受信ファクスを、そのままの大きさで印刷します。
	受信ファクスを、プリンタの印刷可能範囲に縮小して印刷します。

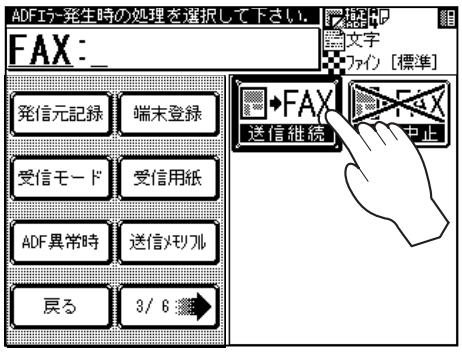
ADF 異常時

ADF から原稿をスキャンしながらファクス送信を行なっている途中に、ADF で紙詰まり等のエラーが発生した場合の処理を設定します。

1 ファクス応用画面－ 3 ／ 6 ページにて、[ADF 異常時] ボタンを押します。



2 [送信継続] ／ [送信中止] を選択します。

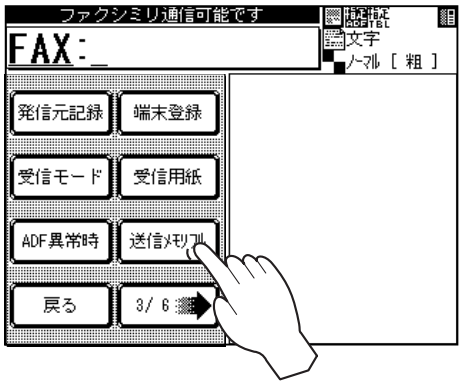


ボタン	説　　明
	ADF で異常が発生するまでに正常スキャンした原稿は、ファクス送信します。
	ADF 異常が発生した場合、送信を中断します。

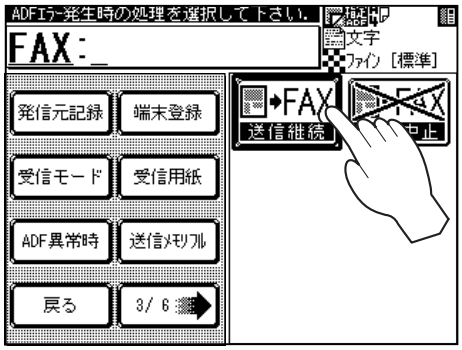
送信メモリフル時

ファクス送信は、通信時間を短くするためにスキャンした画像の圧縮を行なっています。この圧縮処理時に、原稿が非常に細かい等の特性により、圧縮後のデータサイズが圧縮前のデータサイズより大きくなることがあります。このときの、ファクス送信の継続／中止を選択できます。

1 ファクス応用画面－３／６ページにて、［送信メモリフル］ボタンを押します。



2 ［送信継続］／［送信中止］を選択します。

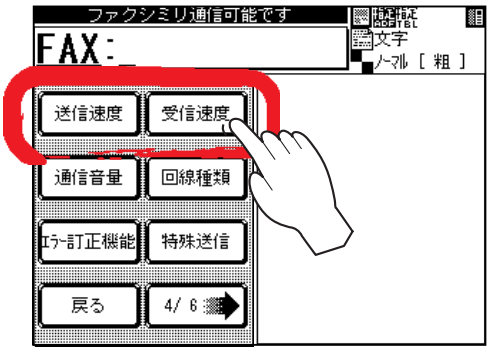


ボタン	説　　明
FAX 送信継続	圧縮後のデータサイズにかかわらず、送信を行ないます。
FAX 送信中止	圧縮後のデータサイズが圧縮前より大きくなった場合、送信を中断します。

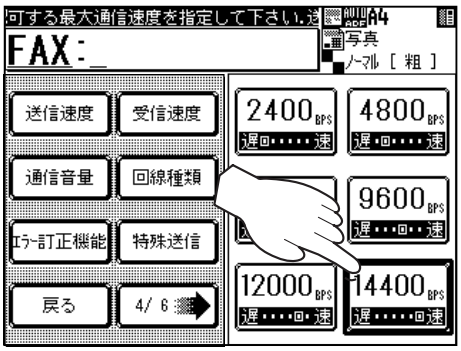
送信速度・受信速度

ファクス送信／受信の速度を設定します。ご利用の電話回線の状態に応じて、送受信の速度を設定してください。

1 ファクス応用画面－４／６ページにて、[送信速度]／[受信速度]ボタンを押します。



2 送信速度／受信速度の速度を選択します。

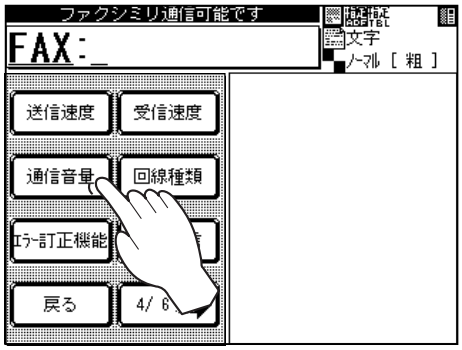


ボタン	説　　明
2400 BPS 遅・・・・・速	2400BPS までの速度で通信します。
4800 BPS 遅・・・・速	4800BPS までの速度で通信します。
7200 BPS 遅・・・速	7200BPS までの速度で通信します。
9600 BPS 遅・・・速	9600BPS までの速度で通信します。
12000 BPS 遅・・・速	12000BPS までの速度で通信します。
14400 BPS 遅・・・・速	14400BPS までの速度で通信します。

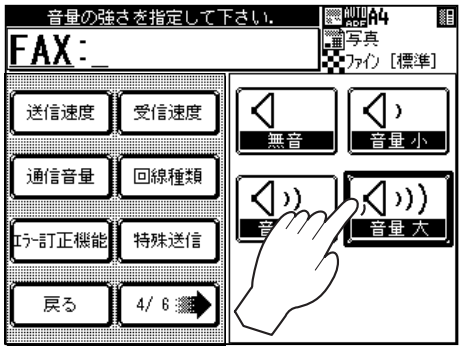
通信音量

ファクス通信中の音量を設定します。通信開始前の音量（ダイヤル音／着信音）は、「音量設定」→ 7-15 ページで設定します。これらの設定した音量は、通信結果に影響しません。

1 ファクス応用画面－ 4 ／ 6 ページにて、［通信音量］ボタンを押します。



2 通信音量を選択します。



ボタン	説　明
無音	音が出ません。
音量小	小さい音が出ます。
音量中	中の音が出ます。
音量大	大きな音が出ます。

回線種類

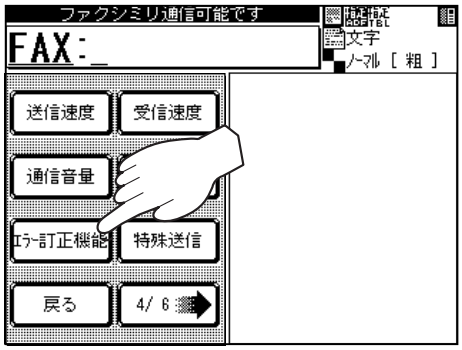
本機が接続する電話回線の種類を設定します。

参照 「製品導入時の設定」－「回線種類」→ 1-44 を参照してください。

エラー訂正機能

本機は、エラー訂正機能（ECM）を利用したファクスの送受信ができます。

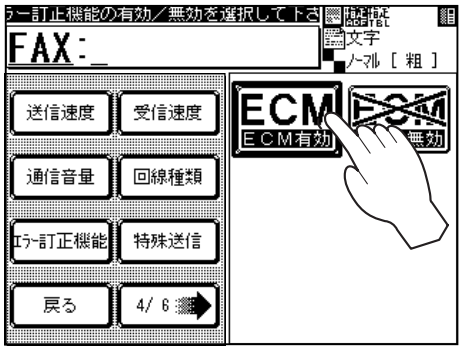
1 ファクス応用画面－ 4 ／ 6 ページにて、[エラー訂正機能] ボタンを押します。



2 [ECM 有効] ／ [ECM 無効] を選択します。

メモ

通常は、[ECM 有効] に設定して使用します。



特殊送信

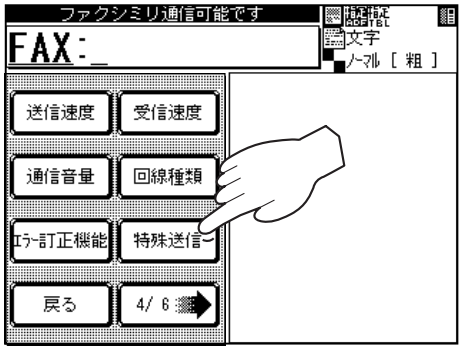
必要に応じて、以下の特殊送信を設定します。

Fコード送信　→　3-29 ページ
グループ送信　→　3-31 ページ
タイマ送信　→　3-38 ページ

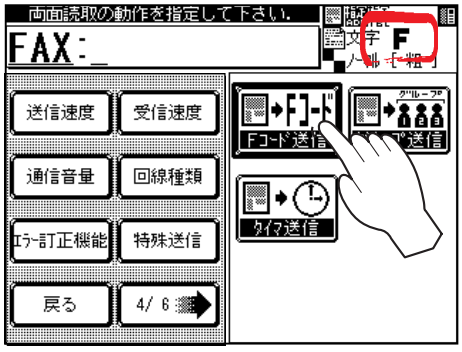
Fコード送信

ファクスにFコードとパスワードを付けて送信することができます。

1 ファクス応用画面－4／6 ページにて、[特殊送信] ボタンを押します。



2 [Fコード送信] ボタンを押して、オン／オフを選択します。
Fコード送信オン時は、「F」アイコンが表示されます。



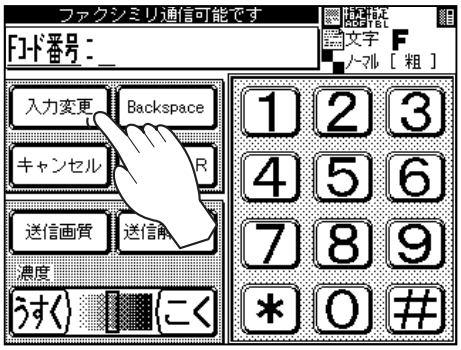
メモ

Fコード送信を行なう場合は、送信毎に「Fコード送信」をオンにする必要があります。

■Fコードをつけて送信する

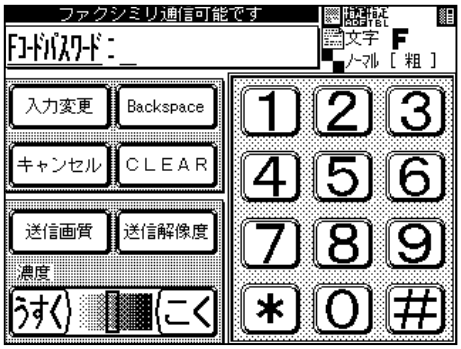
1 「F コード送信」オンの状態で、ファクス番号を入力して スタート ボタンを押すと、「F コード番号」入力画面が表示されます。

2 テンキーでFコードを入力します。
続けてFコードパスワードを入力する場合は、［入力変更］ボタンを押します。



◆Fコードパスワードの入力

3 テンキーでFコードパスワードを入力しします。



ポイント

［入力変更］ボタンを押すと、「F コード」「パスワード」「ダイヤル番号」の順に切り替わります。

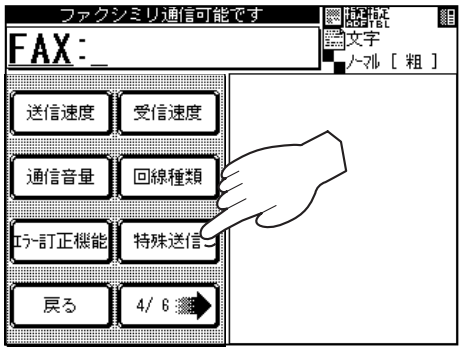
4 「ダイヤル番号」「F コード」「パスワード」の入力後、
スタート ボタンを押してファクス送信を開始します。

グループ送信

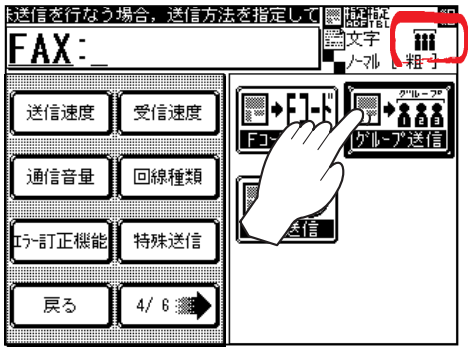
グループに登録されている複数の送信先（最大 128 件）に、一括してファクス送信します。グループ送信を利用するには、あらかじめアドレス帳に登録されている送信先をグループに登録する必要があります。

■グループからダイヤルする

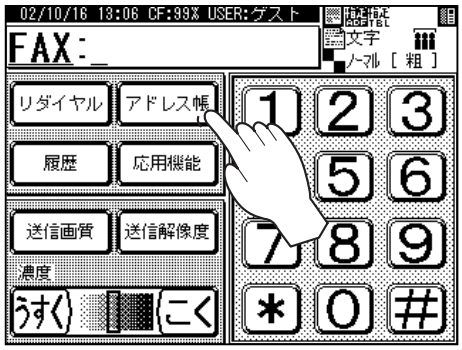
1 ファクス応用画面－ 4 ／ 6 ページにて、
［特殊送信］ボタンを押します。



2 ［グループ送信］ボタンを押します。
グループ送信設定時は、「 」アイコンが表示されます。



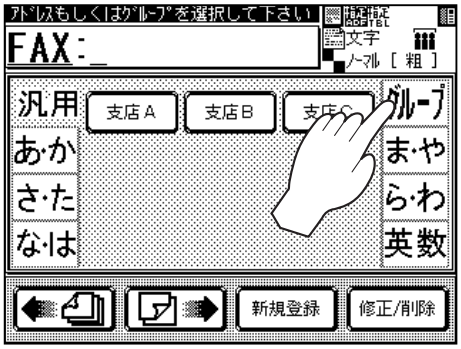
3 ファクス基本画面にて、
［アドレス帳］ボタンを押します。



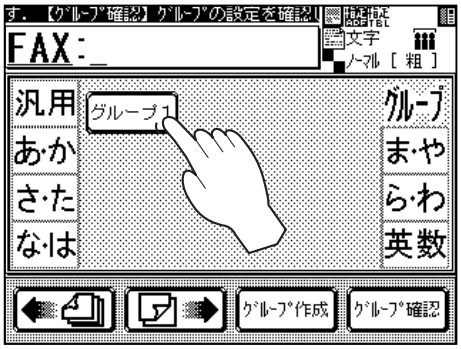
メモ

グループ送信アイコン未表示時は、グループ送信できません。

4 アドレス帳画面にて、
［グループ］タブを押します。



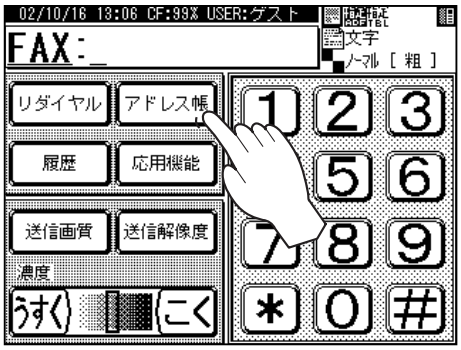
5 グループを選択します。



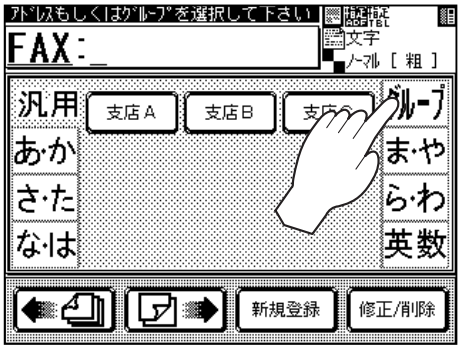
6 原稿をスキャナにセットしてから
スタート
ボタンを押してファクス送信を開始します。

■グループの登録

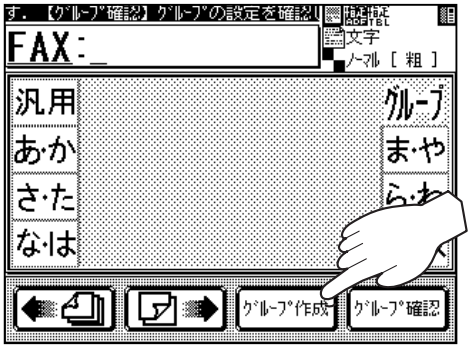
1 ファクス基本画面にて、
［アドレス帳］ボタンを押します。



2 ［グループ］タブを押します。



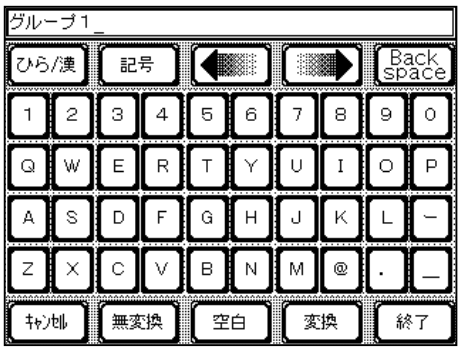
3 ［グループ作成］ボタンを押します。



メモ

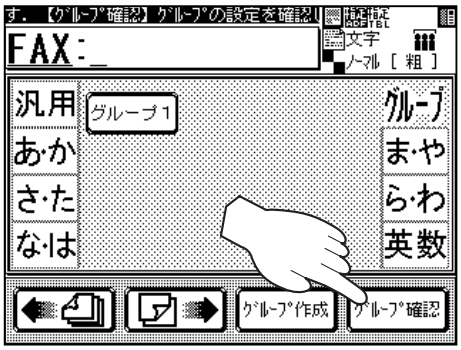
最大 64 件のグループが作成できます。

4 グループ名を入力し、
［終了］ボタンを押します。

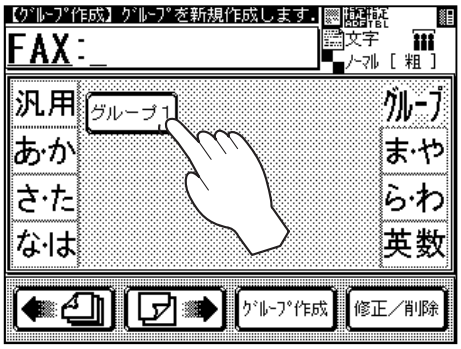


■グループに送信先を追加／削除する

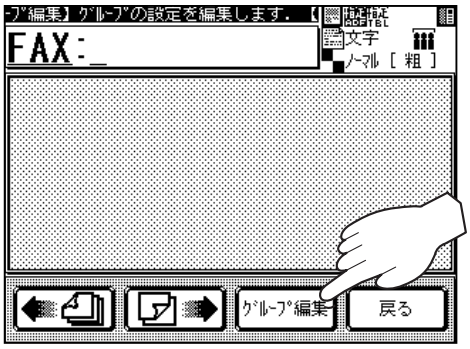
1 アドレス帳ーグループタブ画面にて、［グループ確認］ボタンを押します。



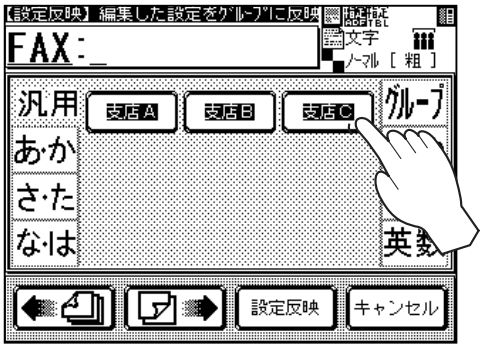
2 グループを選択します。



3 ［グループ編集］ボタンを押します。



4 タグボタンと［←］［→］ボタンを押して、追加する送信先を探し、ボタンを押してグループに登録するボタンの表示を反転させます。
設定終了後に、［設定反映］ボタンを押します。



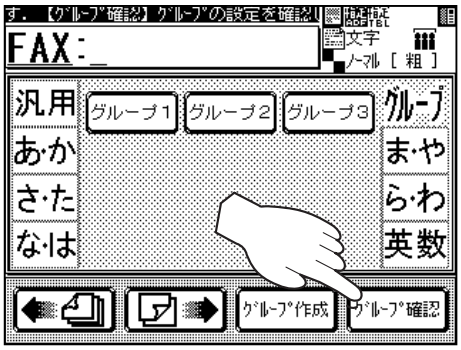
メモ

反転表示を解除すると、グループから削除できます。

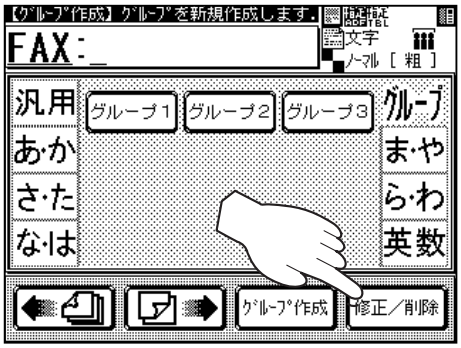
5 選択した送信先がグループに反映されます。［戻る］ボタンを押して、アドレス帳画面に戻ります。

■グループ名を修正する

1 アドレス帳ーグループタブ画面にて、［グループ確認］ボタンを押します。

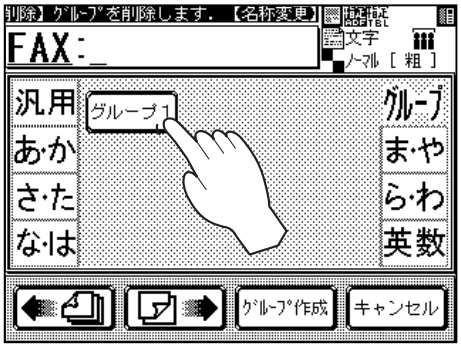


2 ［修正／削除］ボタンを押します。

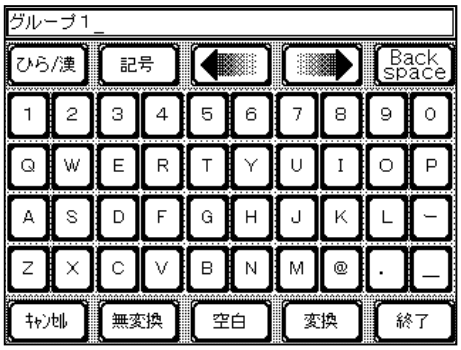


3 ［名称変更］ボタンを押します。

4 名称変更するグループを選択します。

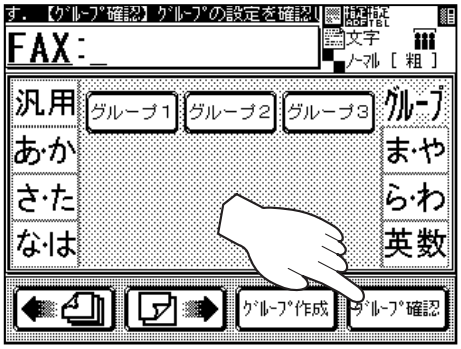


5 グループ名を修正し、
［終了］ボタンを押すとグループ名称変更が反映されます。

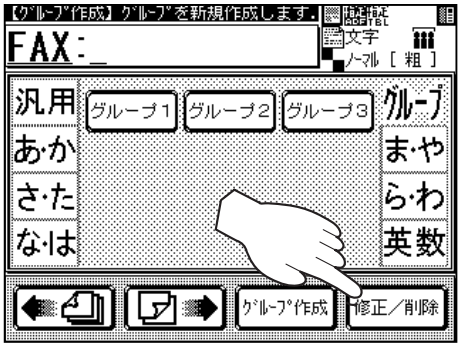


■グループを削除する

1 アドレス帳－グループタブ画面にて、
［グループ確認］ボタンを押します。

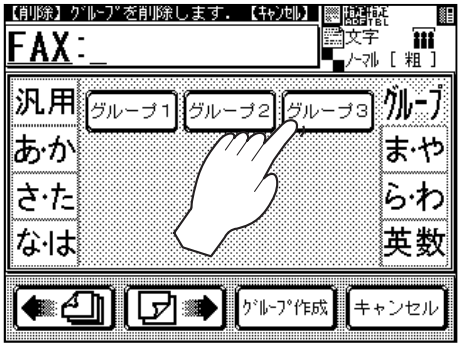


2 ［修正／削除］ボタンを押します。



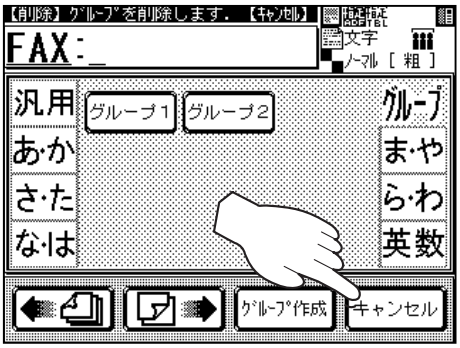
3 ［削除］ボタンを押します。

4 削除するグループを選択します。



5 削除確認画面が表示されますので、［削除］ボタンを押します。

6 削除が反映されます。［キャンセル］ボタンを押して、アドレス帳画面に戻ります。

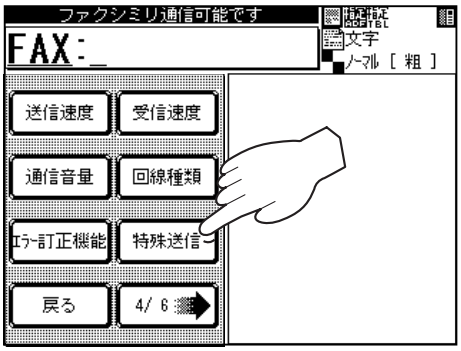


タイマ送信

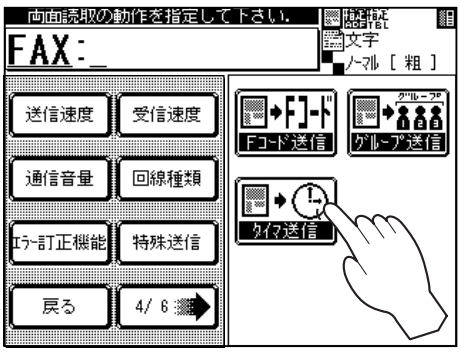
設定した日時に、ファクス送信することができます。通信料の安い時間帯にタイマ送信すると、ファクス送信コストを削減することができます。

■タイマ送信を予約する

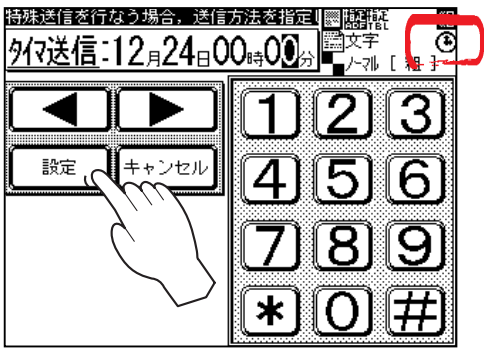
1 ファクス応用画面－4／6ページにて、
［特殊送信］ボタンを押します。



2 ［タイマ送信］ボタンを押します。
タイマ送信設定時は、「 ⏲ 」アイコンが表示されます。



3 テンキーで送信日時を入力して、
［設定］ボタンを押します。



メモ

日付は2桁で、時刻は24時間形式の2桁で入力してください。入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

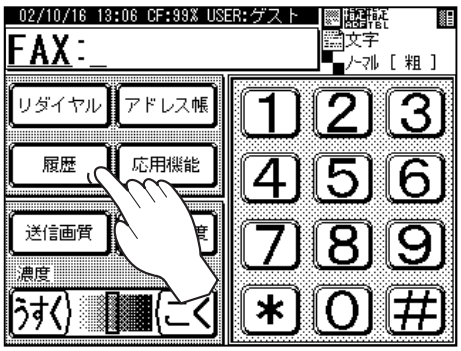
4 原稿をスキャナにセットしてから
スタート ボタンを押してファクス送信を開始します。

メモ

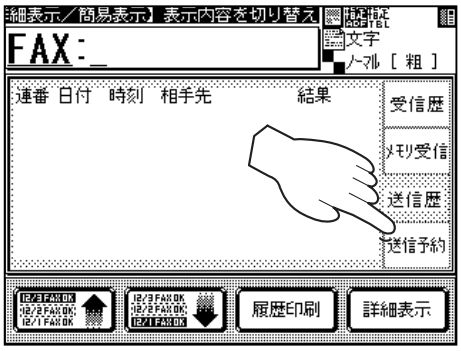
タイマ送信時刻に、本機の電源がオフになっていた場合は、電源投入時にファクス送信を開始します。

■タイマ送信を解除する

1 ファクス基本画面にて、
［履歴］ボタンを押します。



2 ［送信予約］タブを押します。

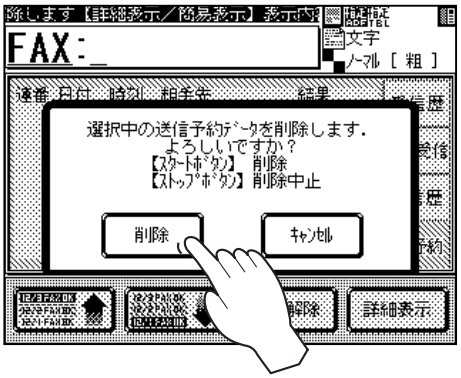


3 ［予約解除］ボタンを押します。

メモ

［詳細表示］ボタンを押すと、送信予約の詳細を確認できます。詳細表示画面で［簡易表示］ボタンを押すと簡易表示画面に戻ります。

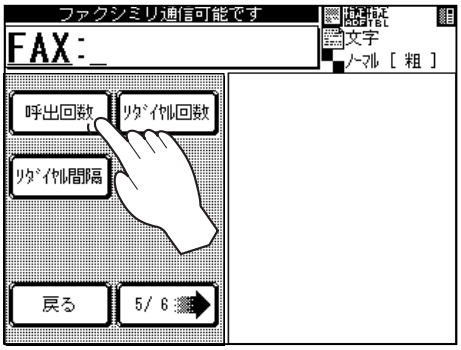
4 ［削除］ボタンを押して、送信予約を削除します。



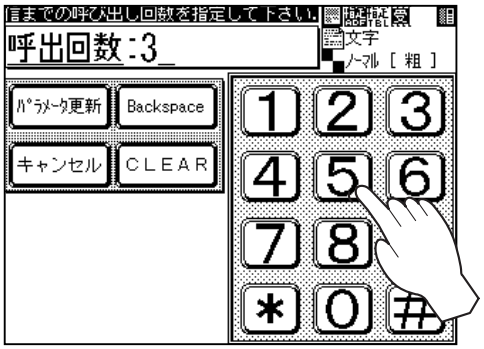
呼出回数

ファクス着信時の呼出回数を設定します。

1 ファクス応用画面－５／６ページにて、［呼出回数］ボタンを押します。



2 テンキーで呼出回数を入力し、［パラメータ更新］ボタンを押します。



メモ

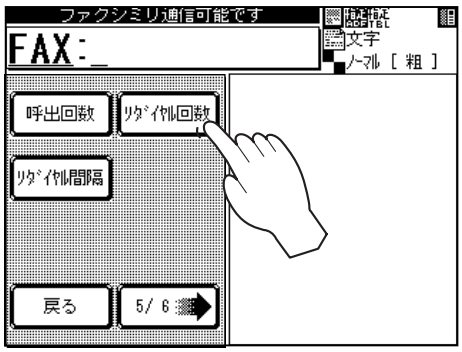
呼出回数の設定範囲は、１～９回です。
ご利用の電話回線が、「ナンバーディスプレイ」、「モデムダイヤルイン」に契約されている場合は、呼び出し回数を３回以上に設定してください。

リダイヤル機能

■リダイヤル回数

ファクス送信でエラーが発生した場合の、リダイヤル回数を設定します。

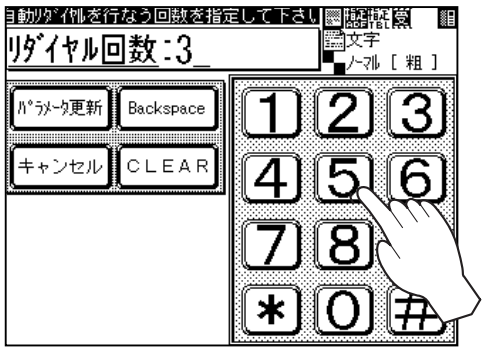
1 ファクス応用画面－５／６ページにて、
［リダイヤル回数］ボタンを押します。



2 テンキーでリダイヤル回数を入力し、
［パラメータ更新］ボタンを押します。

メモ

リダイヤル回数の設定範囲は、
０～９回です。



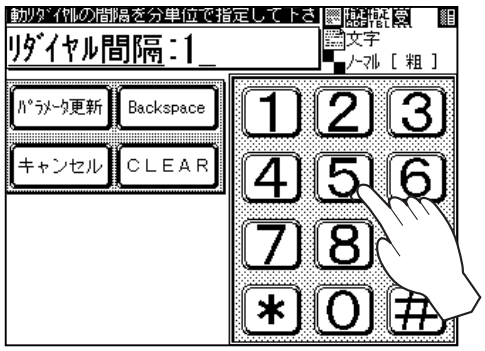
■リダイヤル間隔

3 ファクス応用画面－５／６ページにて、
［リダイヤル間隔］ボタンを押します。

4 テンキーでリダイヤル間隔を入力し、
［パラメータ更新］ボタンを押します。

メモ

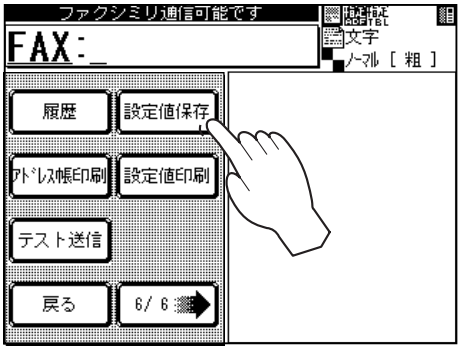
リダイヤル間隔の設定範囲は、
１～９分です。



設定値保存

応用機能で行なった各種変更は、「設定値保存」を行なうことにより、本機のメモリに記憶されます。[リセット] ボタン押下やオートクリア、再起動後を行なうと、設定保存されている状態に戻ります。

1 ファクス応用画面－6／6ページにて、[設定値保存] ボタンを押します。



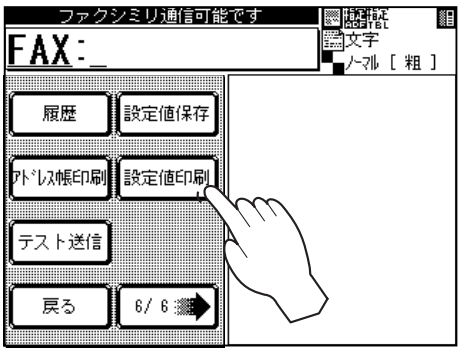
メモ

設定値保存を行なわない場合は、[リセット] ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと設定値が失なわれます。

■設定値印刷

ファクスモードに設定されている設定値と設定保存値の印刷を行ないます。

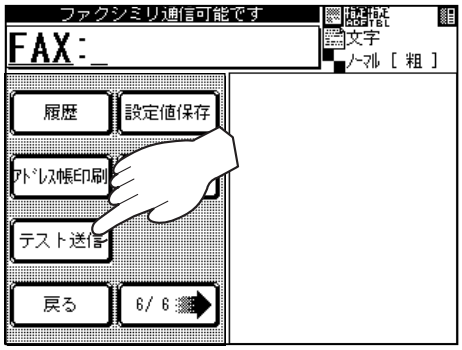
1 ファクス応用画面－6／6ページにて、[設定値印刷] ボタンを押します。



テスト送信

ファクス送信するまえに、原稿がどのような画像で送信されるかを事前にテストすることができます。実際に送信される画像と同じ条件でプリンタから印刷されますので､「送信画質」「送信解像度」「送信濃度」「輪郭」による画像調節の効果や、「原稿サイズ」「変倍送信」による画像サイズを確認することができます。ただし、発信元情報は印刷されません。

1 ファクス応用画面－６／６ページにて、［テスト送信］ボタンを押します。



2 ［送信］ボタンを押します。

送信ファクスと同じ条件でプリンタから印刷を開始します。

メモ

相手機の能力や状態によっては、テストモードと同等の画像が再現できないことがあります。

ルーティングテーブルとは

受信ファクスの転送方法が設定されています。ルーティングテーブルの各レコードには、転送規則（F コード、数字 ID）・転送先・ファイル形式を登録します。レコードはデフォルトルート（レコード 0 番）1 件を含め、最大 100 件まで登録できます。受信ファクスのレコードが、登録されている複数のレコードに該当した場合は、該当順に 5 件まで転送されます。また、該当レコードのない場合は、デフォルトートに転送されます。

転送とローカル／ネットワークプリンタからの印刷の両方がエラーとなった場合は、受信ファクス保護のためメモリ受信されます。メモリ受信となった受信ファクスは、ファクス履歴－メモリ受信タブー［メモリ再転送］ボタンより再度ファクス着信転送処理を行なうことができます。

例） 登録レコード 3 件の場合

受信レコードは、レコード 1 とレコード 3 で該当があり、
レコード 1 の転送先 A へ TIFF ファイル転送、
レコード 3 の転送先 C へ PDF ファイル転送します。

	転送規則		転送先	ファイル形式	
	Fコード	数字ID			
受信レコード	123	321			
↓	↓	↓			
レコード1	123	321	転送先A	TIFF	← 該当あり
↓	↓	↓			
レコード2	123	345	転送先B	PDF	← 該当なし
↓	↓	↓			
レコード3	123	321	転送先C	PDF	← 該当あり
レコード0			転送先Z	TIFF	

メモ

F コード、数字 ID の比較は、数字のみで行ないます。

設定項目一覧

■共通の設定

■ 転送規則の設定　→ 3-50 ページから

- F コード
- 数字 ID

■ 転送プロトコルの設定　→ 3-50 ページから

■ 転送ファイル形式の設定 → 3-55 ページから

■ 転送時印刷の設定　→ 3-55 ページ

■共有フォルダへ転送する場合

■共有フォルダの設定　→ 3-51 ページ

- コンピュータ名
- フォルダ
- ユーザ名
- パスワード
- ドメイン名
- 検索

■ FTP 転送する場合

■ FTP 転送の設定　→ 3-52 ページ

- ホスト名
- ユーザ名
- パスワード
- フォルダ
- PASV

■ E メール転送する場合

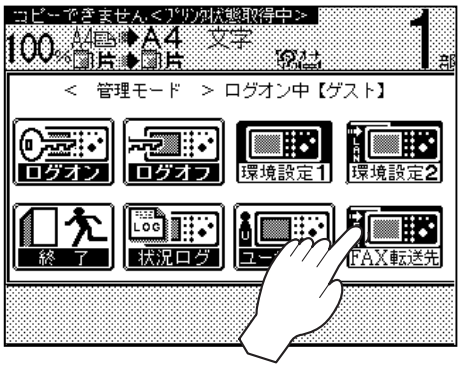
■ E メール転送の設定　→ 3-53 ページ

- 転送先アドレス
- 転送先選択

転送先レコードの設定

■転送先レコード選択画面

1 管理モード画面にて、
[FAX 転送先] ボタンを押します。



メモ

管理者でログオンしていない場合、管理者パスワードが要求されます。
パスワードを入力して管理者権限でログオンしてください。

転送先レコード選択画面が表示されます。

メモ

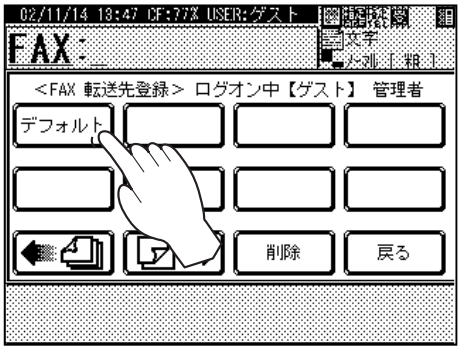
[←] [→] ボタンを押すと、ページを移動することができます。

デフォルトルートをまだ設定されていない場合は、
[デフォルト] ボタンを押してデフォルトルートの設定を行なってください。 （→次ページ）

■デフォルトルートの設定

デフォルトルート（レコード 0）は、登録されているレコードに該当が無い場合の、転送先を指定するテーブルです。
ここでは、デフォルトルートの転送先とファイル形式の設定を行ないます。デフォルトルートは削除することはできません。また、F コードなどの転送規則を設定することもできません。デフォルトルート転送時に、このデフォルトルートが設定されていない場合は、デフォルトプリンタから印刷します。

1 ［デフォルト］ボタンを押してください。



「ルーティングテーブルの設定」の **2** へ進んでください。（→ 3-50 ページ）

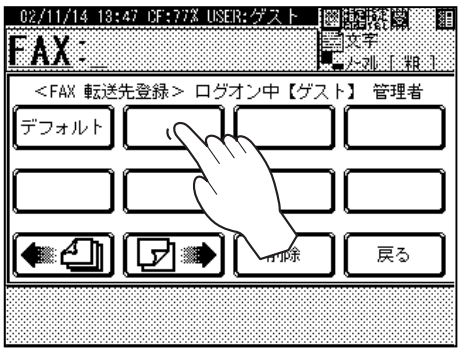
■レコードの追加

レコードを追加します。

1 レコードを追加するボタンを押してください。

メモ

デフォルトルートを含め最大 100 件のレコードが登録できます。

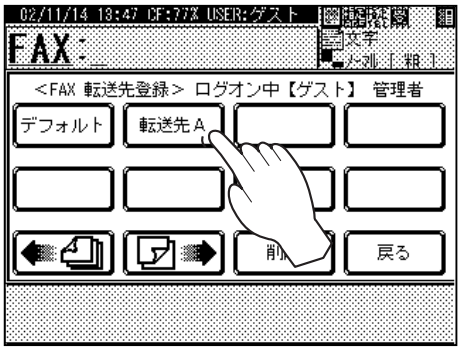


「ルーティングテーブルの設定」へ進んでください。（→ 3-50 ページ）

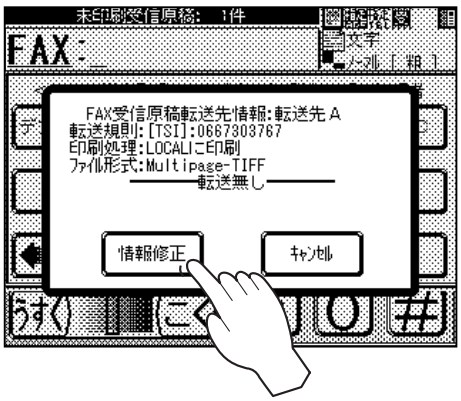
■レコードの変更

レコードの登録内容を変更します。

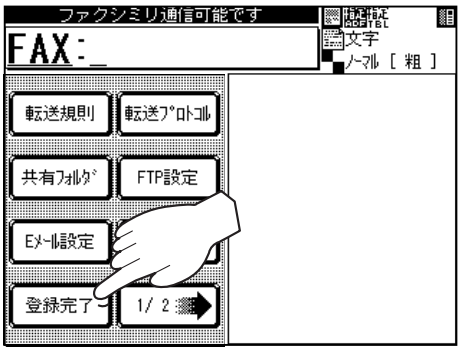
1 変更するレコードボタンを押してください。



2 [情報修正] ボタンを押します。



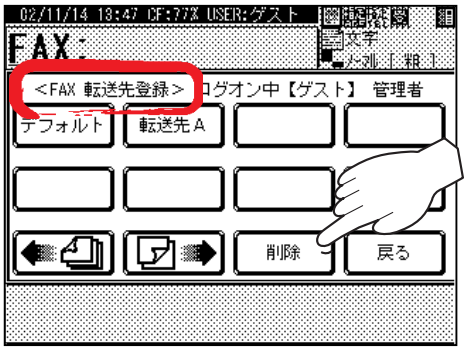
3 各項目の修正を行ない、
最後に [登録完了] ボタンを押します。



■レコードの削除

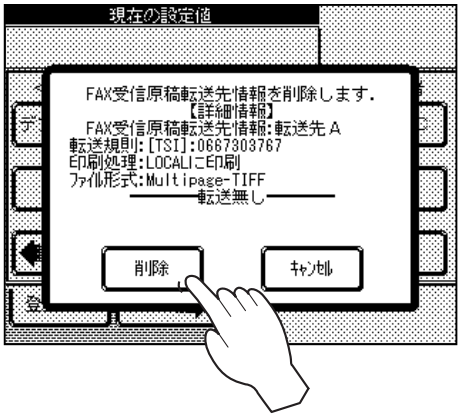
レコードを削除します。

1 ［削除］ボタンを押します。
画面表示が＜FAX転送先削除＞になります。



2 削除するレコードボタンを押してください。

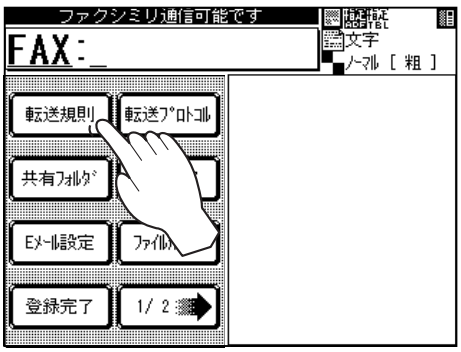
3 ［削除］ボタンを押します。



ルーティングテーブルの設定

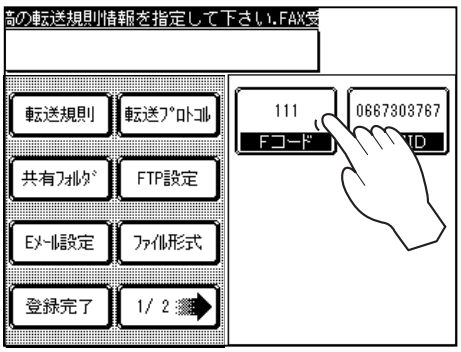
■転送規則の設定

1 [転送規則] ボタンを押し、
必要に応じて [F コード] ／ [数字 ID] の入力を行ないます。



メモ

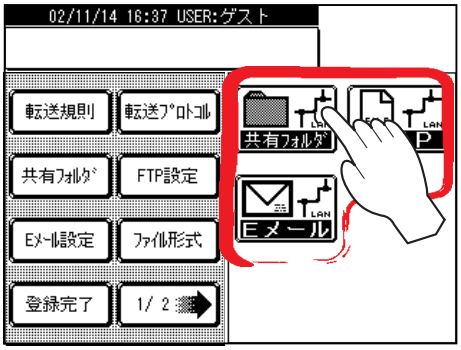
「F コード」と「数字 ID」の両方の転送規則を入力した場合は、両方の転送規則が一致した場合のみ転送を行ないます。



設定項目	設 定 値	説　　明	必須
F コード	最大 20 桁	F コードを設定します。	
数字 ID	最大 20 桁	数字 ID を設定します。	

■転送プロトコルの設定

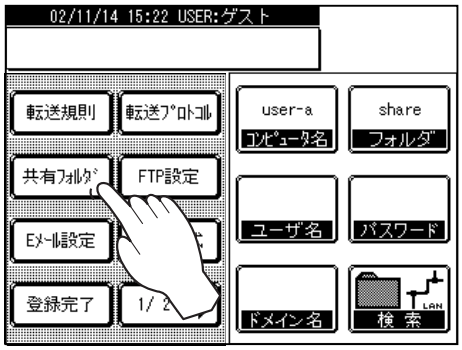
2 [転送プロトコル] ボタンを押し、
プロトコルを選択します。
転送せずに、印刷のみを行なう場合は、
転送プロトコルを選択せずに、「転送時印刷の設定」→ 3-55 ページへ進んでください。



選択したプロトコルのページへ進み、
それぞれ①②の転送設定を行ないます。
- ■共有フォルダの設定 →次のページ
- ■ FTP 転送の設定 → 3-52 ページ
- ■ E メール転送の設定 → 3-53 ページ

■共有フォルダの設定

① [共有フォルダ] ボタンを押します。



② 以下の設定を必要に応じて行ないます。
各設定値の入力は、ソフトウェアキーボードから行います。

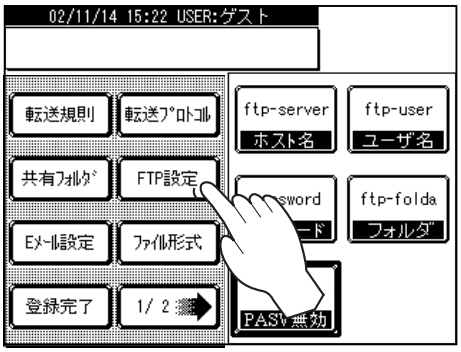
設定項目	設　定　値	説　　明	必須
コンピュータ名	最大 15 文字	転送先のコンピュータ名を設定します。	○
フォルダ	最大 63 文字	転送先の共有フォルダ名を設定します。	○
ユーザ名	最大 31 文字	共有フォルダアクセスに使用するユーザ名を設定します。	
パスワード	最大 31 文字	共有フォルダアクセスに使用するパスワードを設定します。	
ドメイン名	最大 15 文字	ドメイン環境の場合、ドメイン名を設定します	
検　索	12 バイト （全角 6 文字 ／半角 12 文字）	「コンピュータ名」に入力されたコンピュータの共有フォルダの検索を行ないます。このボタンを続けて押すと、共有フォルダが複数存在する場合に、選択フォルダを切り替えることができます。	

参考

本機は、フォルダ名が 12 バイト（全角 6 文字／半角 12 文字）を超える共有フォルダを検索できません。12 バイトを超える共有フォルダへの転送は、「フォルダ」へ共有フォルダ名を直接入力して行ないます。
※ 直接入力では、全角文字は使用できません。

■ FTP 転送の設定

① [FTP 設定] ボタンを押します。



② 以下の設定を必要に応じて行ないます。
各設定値の入力は、ソフトウェアキーボードから行います。

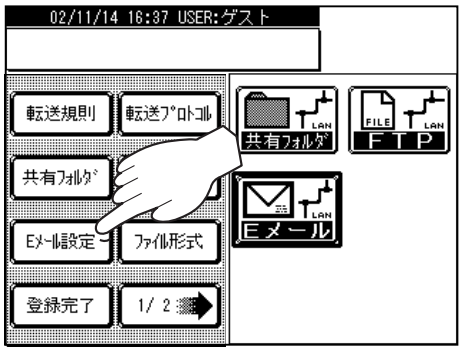
設定項目	設　定　値	説　　明	必須
ホストアドレス	最大 63 文字	FTP サーバのアドレスを、ホスト名又は IP アドレスで設定します。	○
ユーザ名	最大 31 文字	FTP サーバアクセスに使用するユーザ名を設定します。	○
パスワード	最大 31 文字	FTP サーバアクセスに使用するパスワードを設定します。	
フォルダ	最大 63 文字	データ保存先のフォルダ名を設定します。	
PASV	PASV 有効／無効	FTP サーバアクセス時の PASV 有効／無効を設定します。ボタンを押すごとに、有効／無効が切替わります。	

参考

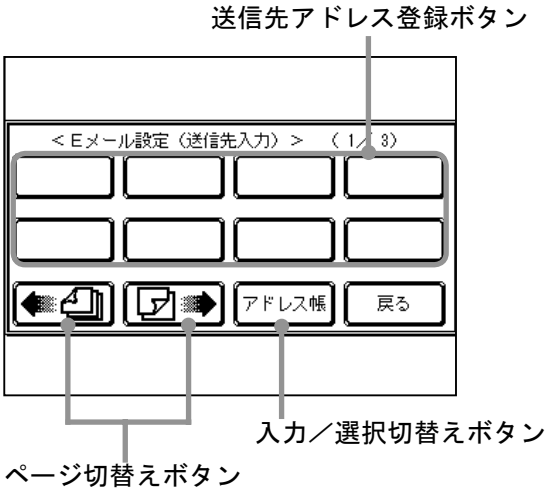
PASV を有効にすると、FTP 転送においてデータ転送用セッションをクライアント側から接続することにより、ファイアウォールのある FTP サーバへ接続することが可能となります。

■ E メール転送の設定

① [E メール設定] ボタンを押します。



② 送信先アドレスを設定します。
アドレス設定は「送信先入力」又は「アドレス帳から選択」で行ないます。



メモ

E メールの転送先は、
最大 20 件まで登録できます。

◆ [送信先入力]

転送先アドレスを直接入力して設定します。

1. [入力／選択切替え] ボタンを押して、[E メール設定 (送信先入力)] に切替えます。
2. 必要に応じて [ページ切替え] ボタンを押してページを切替え、送信先アドレスを登録する [送信先アドレス登録] ボタンを押します。

設定項目	設　定　値	説　　明	必須
転送先アドレス	最大 63 文字	E メール転送先のアドレスを設定します。	○

3. ソフトウェアキーボードが開きますので、送信先の E メールアドレスを入力して［終了］ボタンを押します。

4. E メールアドレスが登録されます。
（［送信先アドレス登録］ボタンには、入力した E メールアドレスの先頭 10 文字が表示されます。）

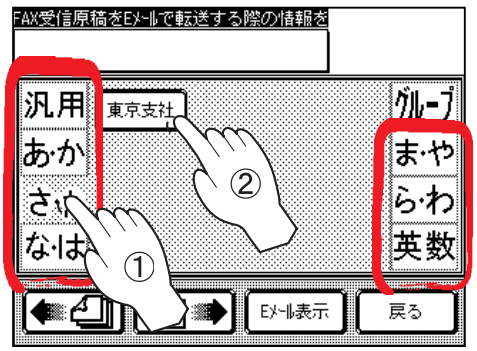
◆［アドレス帳から選択］

送信先アドレスを、アドレス帳に登録されている E メールアドレスから選択します。

1. ［入力／選択切替え］ボタンを押して、「E メール設定（アドレス帳）」に切替えます。

2. 必要に応じて［ページ切替え］ボタンを押してページを切替え、送信先アドレスを登録する［送信先アドレス登録］ボタンを押します。

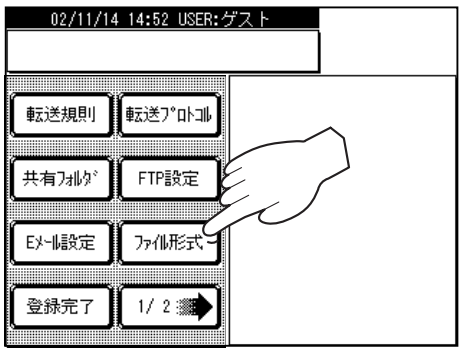
3. アドレス帳画面が開きますので、送信先に設定したいアドレスの登録されている［タブ］ボタン（①）を押してアドレス表示を切替え、送信先に設定するアドレスのボタン（②）を押します。

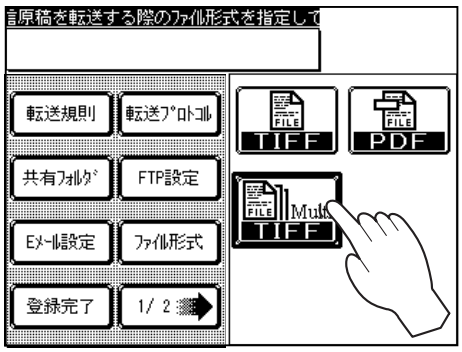


4. E メールアドレスが登録されます。
（［送信先アドレス登録］ボタンには、選択した E メールアドレスの先頭 10 文字が表示されます。）

■転送ファイル形式の設定

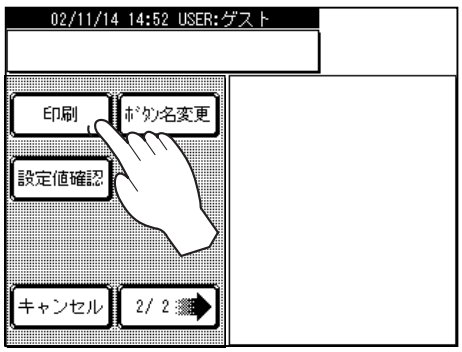
3 ［ファイル形式］ボタンを押し、
ファイル形式を選択します。



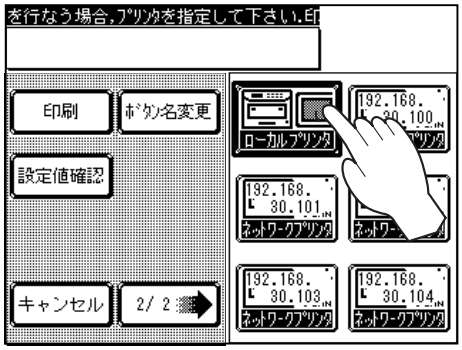


■転送時印刷の設定

4 レコード設定画面－２／２ページにて、
［印刷］ボタンを押します。



5 印刷を行なうプリンタを選択します。

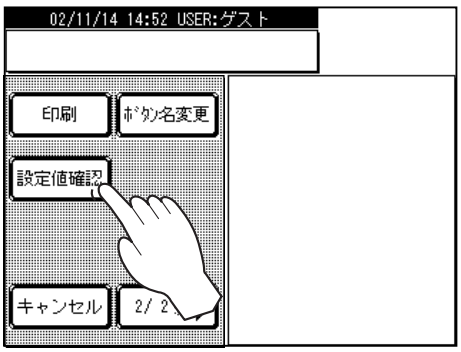


メモ

選択されているボタンをもう一度押すと、選択が解除できます。
いずれのプリンタも選択されていない場合は、転送のみを行ないプリンタから印刷しません。

■設定値の確認

6 レコード設定画面－２／２ページにて、［設定値確認］ボタンを押し、設定値を一覧で確認します。



メモ

レコードのボタン名を変更する場合は、［ボタン名変更］ボタンを押して新しいボタン名を入力してください。

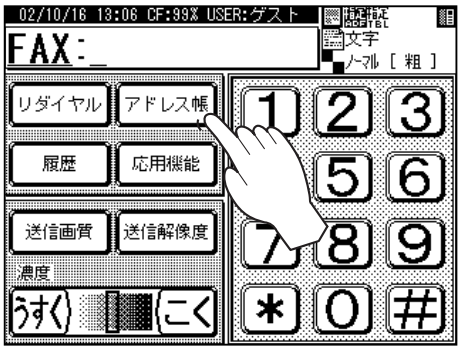
アドレス帳の登録

アドレス帳を登録します。アドレス帳には、ファクス送信先の他に、ファクス着信転送やネットワークスキャナの E メール送信先の登録ができます。アドレス帳の最大登録件数は、896 件（1 タブ 128 件）です。

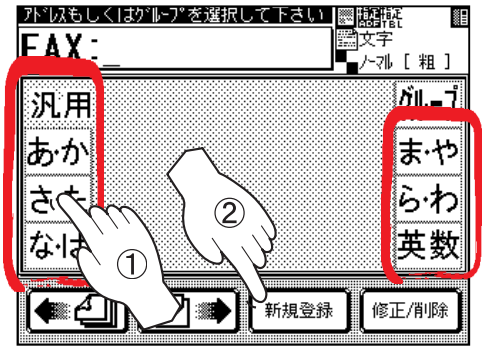
メモ

本機のアドレス帳は、Web ブラウザ画面の PC ファクスのアドレス帳からも登録・修正・削除することが可能です。詳しくは、「PC ファクスアドレス帳」→ 4-8 ページをご覧ください。

1 ファクス基本画面にて、
［アドレス帳］ボタンを押します。



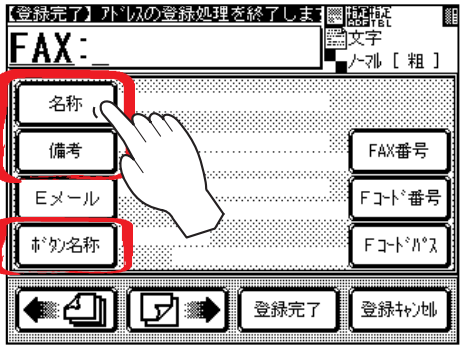
2 ①送信先を登録するタブを選択し、
②［新規登録］ボタンを押します。



3 ［名称］と必要に応じて［備考］、［ボタン名称］ボタンをそれぞれ押し、ソフトウェアキーボードで入力を行ないます。

メモ

「名称」を入力すると、「ボタン名称」が自動的に入力されます。「ボタン名称」を変更する場合は［ボタン名称］ボタンを押します。

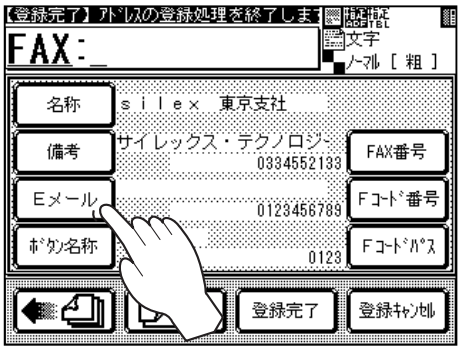


4 [FAX 番号] と必要に応じて [F コード番号]、[F コードパス] ボタンをそれぞれ押し、テンキーで入力を行ないます。

メモ

[FAX 番号] または [E メール] のどちらかを必ず入力する必要があります。

5 E メールアドレス※を入力する場合は、[E メール] ボタンを押し、ソフトウェアキーボードで入力を行ないます。



6 [登録完了] ボタンを押します。

メモ

[登録キャンセル] ボタンを押すと、アドレス帳への登録を行ないません。

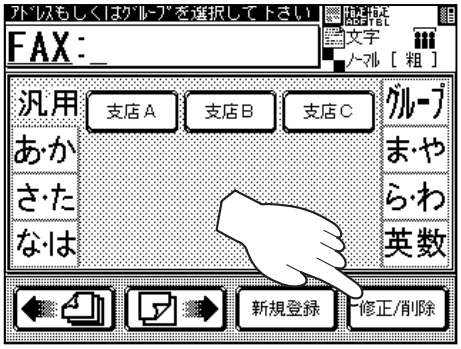
補足

※ アドレス帳に登録した E メールアドレスは、「ファクス着信転送」や「ネットワークスキャナ」で E メール転送の転送先を設定する際に選択できます。

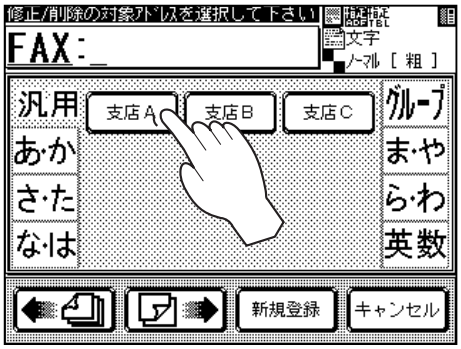
アドレス帳の修正／削除

アドレス帳を修正／削除します。

1 アドレス帳画面にて、
［修正／削除］ボタンを押します。



2 修正／削除を行なうボタンを選択します。



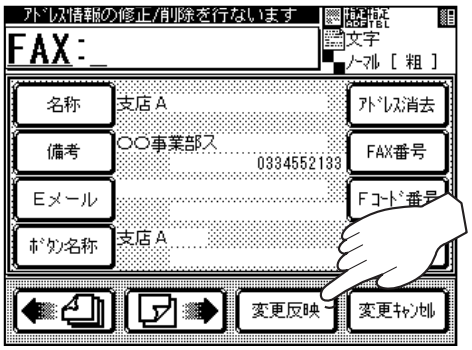
3 ◆アドレス帳修正

修正する項目のボタンを押し、
ソフトウェアキーボード、またはテンキーで修正します。

◆アドレス帳削除

［アドレス消去］ボタンを押してデータをクリアします。

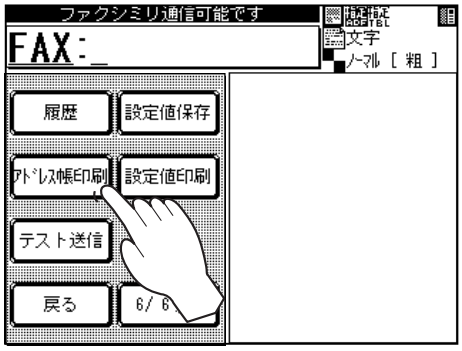
4 ［変更反映］ボタンを押します。



アドレス帳の印刷

本機に登録されているアドレス帳のリストを印刷します。

1 ファクス応用画面－ 6 ／ 6 ページにて、［アドレス帳印刷］ボタンを押します。



メモ

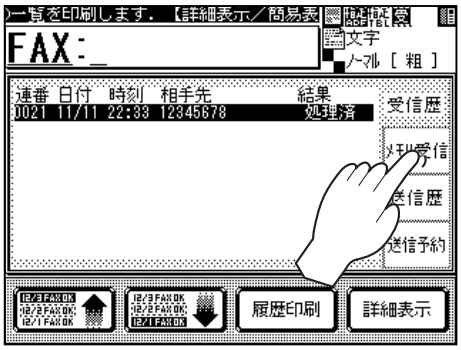
アドレス帳印刷は、「デフォルトプリンタの設定」→ 1-40 ページで選択されているプリンタの A4 用紙に印刷します。

ファクス履歴の確認

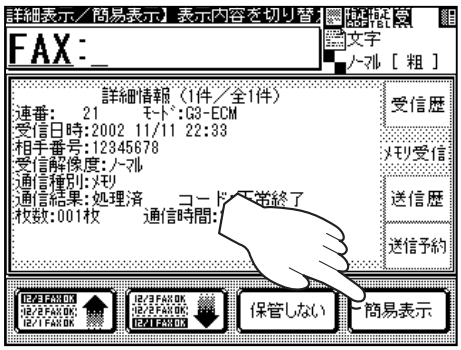
ファクスの送受信履歴の確認や、メモリ受信の再転送、送信予約の解除、履歴リストの印刷を行ないます。

1 ファクス基本画面にて、[履歴] ボタンを押します。

2 タブを押して履歴表示を切り替えます。



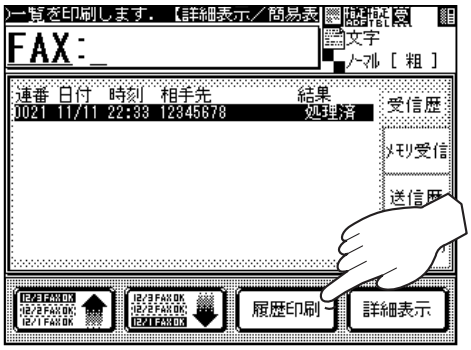
3 [↑] [↓] ボタンを押すとスクロールします。
1 秒以上押し続けると、10 ステップ単位でスキップします。
履歴の詳細を確認する場合は、[詳細表示] ボタンを押してください。
また、詳細画面の [簡易表示] ボタンを押すと、簡易画面に戻ります。



タブ	説　　明
受信歴	ファクスの受信歴を表示します。
メモリ受信	メモリ受信したファクスを取り出すことができます。 また、正常終了したファクスの内、最新の 3 件と、ファクス着信転送で送信エラーとなった受信ファクスを［メモリ再送信］ボタンから再送信することができます。
送信歴	ファクスの送信歴を表示します。
送信予約	ファクス送信の状況とタイマ送信の予約状況の確認／予約解除を行ないます。

■送信／受信履歴を印刷する

1 ファクス履歴画面－受信／送信歴タブにて、[履歴印刷] ボタンを押します。



メモ

ファクス受信歴は、90 件溜まると自動履歴印刷します。自動履歴印刷した履歴は、受信歴から削除します。
履歴印刷は、「デフォルトプリンタの設定」→ 1-40 ページで選択されているプリンタの A4 用紙に印刷します。

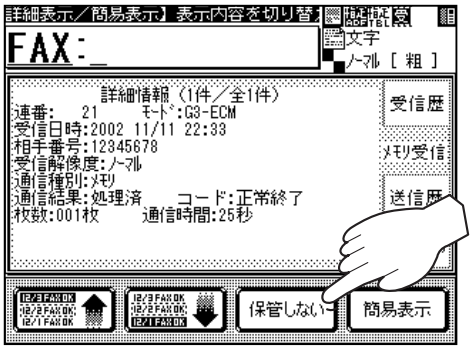
■メモリ受信を再転送する

メモリ再転送は、ファクス受信時と同じ条件で、ファクス着信転送を行ないます。

1 ファクス履歴画面－メモリ受信タブにて、[メモリ再転送] ボタンを押します。

＜メモリ受信タブの簡易表示＞

＜メモリ受信タブの詳細表示＞



メモ

メモリ受信には、正常終了したファクスが 3 件保存されています。この 3 件についても同様に「メモリ再転送」ができます。
メモリ受信したファクスを消去する場合は、詳細表示画面の [保管しない] を押して消去します。

■履歴を初期化する

1 管理モードー環境設定 1 ー設定初期化の [FAX 全履歴初期化] ボタンより行ないます。

■履歴印刷サンプル

相手先ファクス番号
通信先のファクス番号です。

解像度
通信時の
解像度です。

通信モード

結果
通信結果です。

コード
結果の詳細です。

●受信履歴印刷

```
      **  FITCOPY-R  受信履歴印刷  **                    2003年  7月  1日   9時  1分    1ページ

 連番  受信日時          相手先ＦＡＸ番号          通信モード  解像度      枚数  通信速度  通信時間  結果      コード
 0004  7/1  08:37  0334552886                G3ECM  U.ファイン    1  14400  234秒  処理済    印刷+画像転送
```

●メモリ受信履歴印刷

```
      **  FITCOPY-R  メモリ受信履歴印刷  **                2003年  7月  1日   9時  2分    1ページ

 連番  受信日時          相手先ＦＡＸ番号          通信モード  解像度      枚数  通信速度  通信時間  結果      コード
 0003  7/1  07:48  0334555343                G3ECM  ファイン      2  12000  150秒  処理済    -------
```

●送信履歴印刷

```
      **  FITCOPY-R  送信履歴印刷  **                    2003年  7月  1日   9時  3分    1ページ

 連番  送信日時          相手先情報                通信モード  解像度      枚数  通信速度  通信時間  結果      コード
 0001  7/1  07:00  0667303767                G3ECM  ノーマル      1  14400   40秒  正常終了  -------
                   silex  東京支社
```

●送信予約履歴印刷

```
      **  FITCOPY-R  送信予約履歴印刷  **                2003年  7月  1日   9時  4分    1ページ

 連番  予約受付日時      送信予定日時      相手先情報                通信モード  解像度      画質      枚数
 0011  7/1  16:35  7/1  21:00  0667303767                G3ECM  ノーマル      文字        1
                              silex  大阪本社
```

●送受信履歴印刷（自動履歴印刷）

```
      **  FITCOPY-R  送受信履歴印刷  **                  2003年  7月  1日   9時  5分    1ページ

 連番  送信日時          区分  相手先情報                通信モード  解像度      枚数  通信速度  通信時間  結果      コード
 0001  7/1  07:00  送信T  0667303767                G3ECM  ノーマル      1  14400   40秒  正常終了  -------
                         silex  東京支社
 0002  7/1  07:21  送信   0667843750                G3ECM  ノーマル      1  14400   40秒  正常終了  -------
 0003  7/1  07:48  受信M  0334555343                G3ECM  ファイン      2  12000  150秒  処理済    -------
 0004  7/1  08:15  受信   0334552886                G3ECM  U.ファイン    4  14400  234秒  処理済    印刷+画像転送
 0005  7/1  08:37  受信   0667843750                G3ECM  UNKNOWN       1  14400   40秒  通信異常  受信異常B
```

連番
ファクス通信の
管理番号です。

区分
通信区分です。
送信Ｔ：タイマ送信
受信Ｍ：メモリ受信

送信／受信日時
通信した日時です。

相手先情報
上段：ファクス番号
下段：送信先名称（送信先名称が
無い場合は印字しません。）

枚数
通信した枚数です。

通信速度
通信時の速度です。

通信時間

4章
PCファクス

■目次

PCファクス送信の準備 2
　ブラウザの設定 2
PCファクスの送信 3
　PCファクス送信の手順 3
　ファクス送信先の設定 4
　　■PCファクス送信画面を開く 4
　　■設定項目一覧 5
　　■送信先入力設定 6
　　■アドレス帳から選択する 6
　　■送信ファイルを選択する 7
PCファクスアドレス帳 8
　アドレスの登録 8
　アドレスの編集 10
　アドレスの削除 11
PCファクス状況画面 13
　送信状況の確認 13
　　■状況メッセージ一覧 14

ブラウザの設定

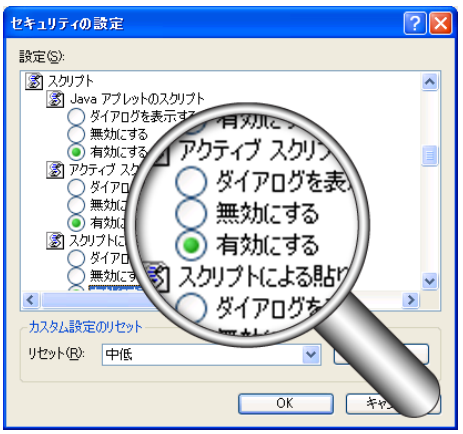
PC ファクスは、本機のファクス機能を使用します。
「ファクス送受信の準備」（→ 3-4 ページ）が完了してしている場合は、本機で新たに設定する項目はありませんが、Web ページを正しく表示するためには、ブラウザが「JAVA スクリプト：有効」「プロキシ：使用しない」に設定されている必要があります。以下を参考に確認してください。

メモ

◆ JAVA スクリプト：有効

Web ブラウザの JAVA スクリプトを無効に設定されている場合は、有効に変更してください。

例）Microsoft Internet Explorer 6.0
［ツール（T）］―［インターネットオプション（O）］―［セキュリティ］―［レベルのカスタマイズ］―［スクリプト］―［アクティブスクリプト］―［有効にする］を選択します。



◆プロキシ：使用しない

LAN でプロキシサーバを利用されている場合、ブラウザの設定を本機の IP アドレスがプロキシサーバを経由しないように設定してください。

例）Microsoft Internet Explorer 6.0
ブラウザの「プロキシの設定」の例外に、本機の IP アドレスを追加します。
［ツール（T）］－［インターネットオプション（O）］－［接続］－
［LAN の設定（L）］－プロキシサーバー［詳細設定（C）］－例外 にて
「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない（N）」の項目に、本機の IP アドレスを入力します。

PC ファクスの送信

PC ファクス送信の手順

1 PC ファクス送信画面

■ PC ファクス送信画面を開く →次ページ
ブラウザから PC ファクス送信ページを開きます。

2 ファクス送信先の設定

送信先を入力する

■送信先入力設定 →4-6 ページ
ファクス番号
F コードサブアドレス
F コードパスワード
送信先名称

アドレス帳から選択する

■アドレス帳から選択する →4-6 ページ
アドレス帳からの送信先選択は、送信ファイルの設定前に行なってください。アドレス帳画面に切り替わると、送信画面の設定内容がクリアされます。

3 送信ファイルの選択

■ ファイル名 →4-7 ページ
TIFF※ファイルを選択します。

4 PC ファクス送信開始

［送信］ボタンを押して、PC ファクス送信を開始します。

メモ

ファクス送信をキャンセルする場合は、ブラウザの状況画面で［中止］ボタン、または本機のファクスモードにて操作パネル上の ストップ ボタンを押してください。
ファクスを全ページ送信できなかった場合は、「不達通知」（→ 3-9 ページ）が印刷されます。

補足

※ファクスできるデータは、TIFF ファイル（MH／MR／MMR 圧縮、2 値、解像度 400dpi 以下）の 1 ファイル（マルチページ TIFF 可）です。
ファクス送信用の TIFF ファイルは、PC ファクス送信前にご用意ください。

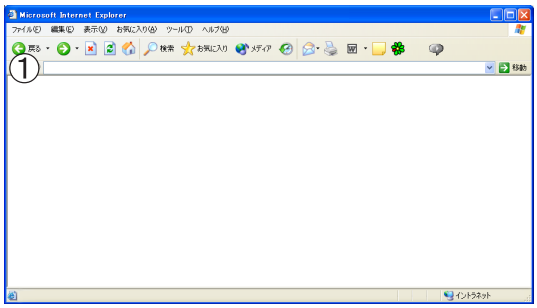
ファクス送信先の設定

■ PC ファクス送信画面を開く

1

PC にてブラウザ（Microsoft Internet Explorer）を起動します。

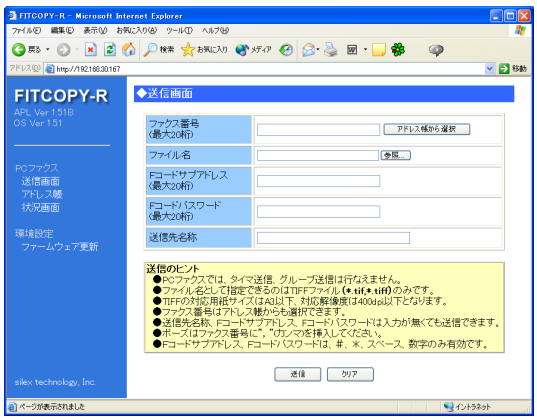
2



ブラウザのアドレスバー（左記①）に、本機の IP アドレスを入力して [Enter] キーを押します。
IP アドレスは、管理者に確認してください。

名　称	工場出荷時の初期値
本体 IP アドレス	192.168.1.1

3



本機に接続されると、PC ファクス送信画面が表示されます。

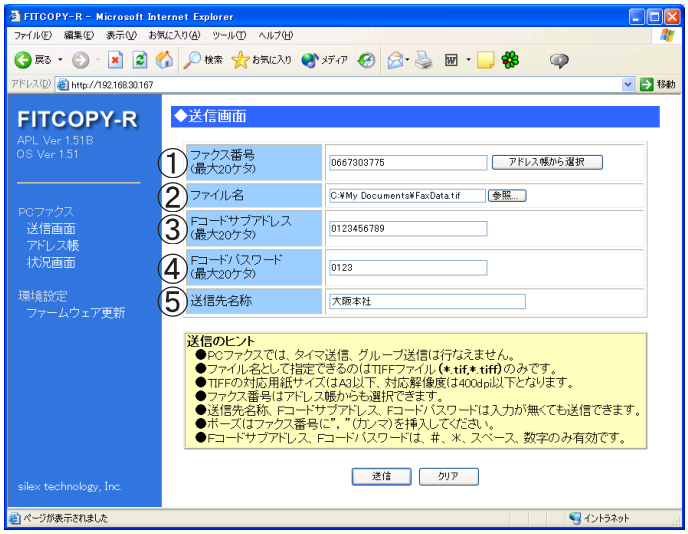
補足

※ ブラウザにアドレスバーが表示されていない場合は、次の手順で行ないます。

Internet Explorer ・・・[ファイル (F)] ― [開く (O)] ― IP アドレス入力
Netscape ・・・[ファイル (F)] ― [Web の場所を開く (L)] ― IP アドレス入力

■設定項目一覧

PC ファクスの送信先と、送信ファイルを設定します。次の手順に従って①～⑤の設定項目を入力します。



No.	設定項目	設　定　値	説　　明	必須
①	ファクス番号	数字、“#”、“*”、“,”（ポーズ）、“－” 最大 20 桁	送信先のファクス番号を入力します。	○
②	ファイル名	送信ファイル名（*.tif, *.tiff）	送信するファイル名を入力、又は［参照］ボタンをクリックして選択します。	○
③	F コード サブアドレス	数字、“#”、“ ”（スペース）、“*” 最大 20 桁	相手先に F コードサブアドレスが設定されている場合に入力します。	
④	F コード パスワード	数字、“#”、“ ”（スペース）、“*” 最大 20 桁	F コードサブアドレスにパスワードが設定されている場合に入力します。	
⑤	相手先名称	最大 32 文字	送信先の名称を入力します。	

1 送信先の設定方法には以下の 2 つがあります。
送信先の設定方法に従って、次の手順に進んでください。

送信先情報を直接入力する場合　→　手順 2

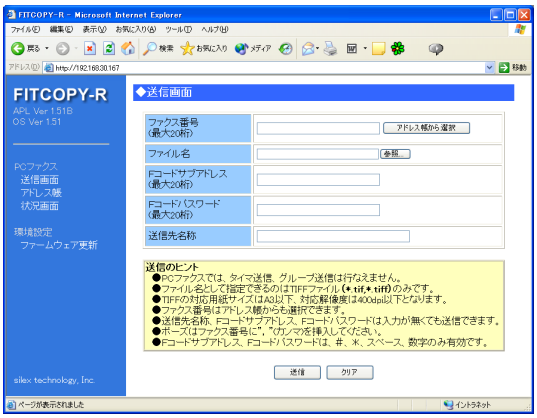
アドレス帳に登録したアドレスへ送信する場合　→　手順 3

■送信先入力設定

2 PC ファクス送信画面にて、前ページの設定項目を必要に応じて入力し、手順 6 へ進んでください。

■アドレス帳から選択する

3

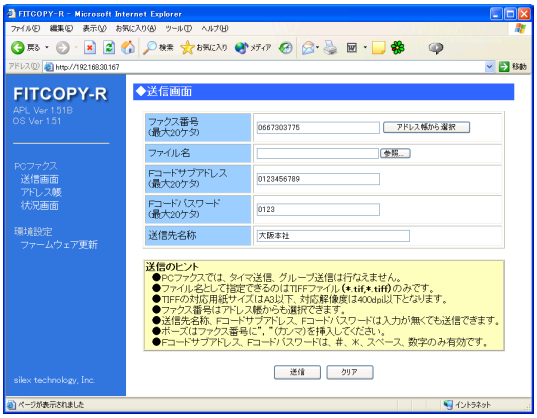


PC ファクス送信画面にて、[アドレス帳から選択] ボタンをクリックし、アドレス帳画面を開きます。
(または、[アドレス帳] リンクをクリックします。)

4

送信先に設定するアドレスを、[タブ](①) と [ページ] メニュー (②) を使って探し、[PCFAX] ボタン (③) をクリックします。

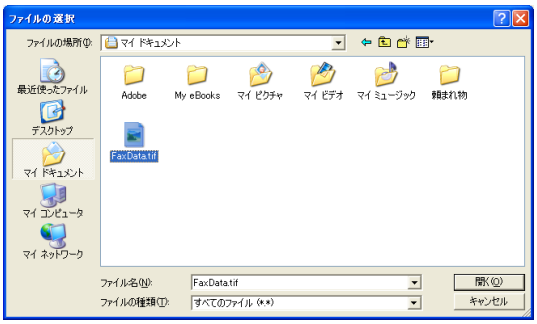
5



選択したアドレスの送信先情報が入力された状態で、PC ファクス送信画面が開きます。

■送信ファイルを選択する

6 送信原稿（TIFF ファイル）の指定を行います。



PC ファクス送信画面の「ファイル名」の［参照...］ボタンをクリックし、「ファイルの選択」ウィンドウからファイルを選択して［開く］ボタンをクリックします。

メモ

データサイズの大きな画像は、正常に送信できない場合があります。
送信先をアドレス帳から選択する場合、、TIFF ファイルの選択は、必ずアドレス選択の後で行ってください。先に TIFF ファイルを選択していても、アドレス帳画面に切り替わると選択内容がキャンセルされます。

7 ［送信］ボタンをクリックします。
送信原稿（TIFF ファイル）と送信先情報が FITCOPY-R へ送信されます。

8 FITCOPY-R が送信予約受付を完了すると「受付完了」画面が開きますので、［戻る］ボタンをクリックして送信画面に戻ります。

これで PC ファクス送信の送信準備は完了です。
後は、FITCOPY-R が設定された送信先へ自動でファクス送信を実行します。

メモ

「受付エラー」の画面が表示された場合は、［戻る］ボタンを押して送信画面に戻り、手順 1 からやり直してください。エラーの詳細については、「エラーメッセージ一覧（PC ファクス編）」→ 8-4 ページをご覧ください。

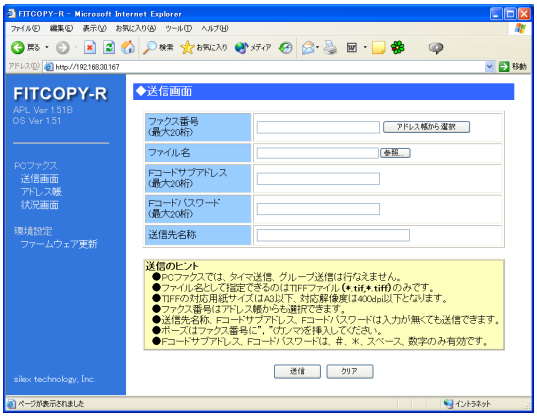
メモ

「受付完了」の画面が表示された場合でも画像エラーなどの問題が発生している可能性がありますので、必ず送信状況の確認を行ってください。受付完了後のファクス状況は、PC ファクス状況画面で確認することができます。「送信状況の確認」→ 4-13 ページ
送信予約が正常に完了すれば「状況画面」に予約内容が表示されます。
なお、送信予約が「状況画面」に表示されるのは FITCOPY-R 内部の処理完了後になる為、送信状況の確認は少し時間を置いてから行ってください。

アドレスの登録

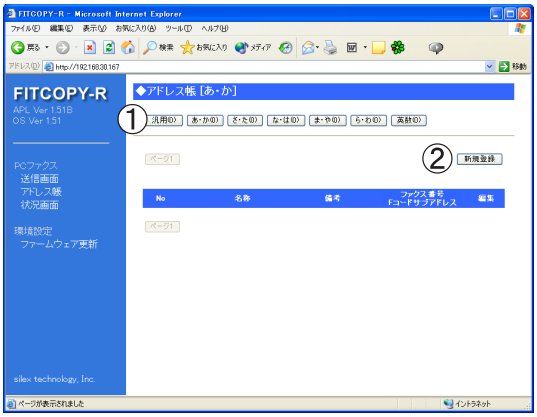
アドレス帳にアドレスを登録します。

1



PC ファクス送信画面にて、
［アドレス帳］リンクをクリックします。
（または［アドレス帳から選択］ボタンをクリックします。）

2

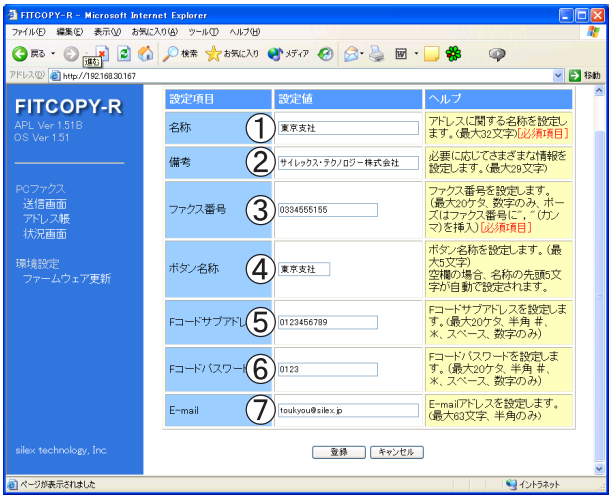


登録するタブ（①）を選択し、
［新規登録］ボタン（②）をクリックします。

メモ

アドレス帳の最大登録件数は、896件（1 タブ 128 件）です。
1 タブの登録件数が 32 件を越えると、次のページになります。

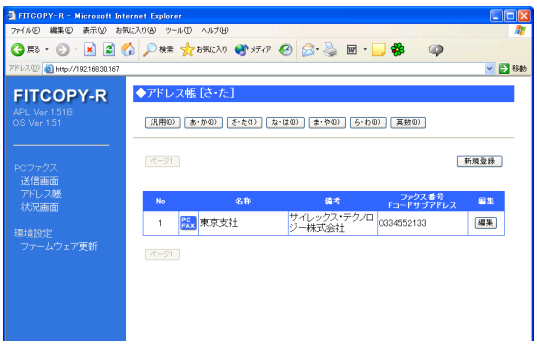
3 詳細画面が表示されます。次ページの一覧を参考に、必須項目と必要に応じてその他の項目を入力し、［登録］ボタンをクリックします。



○：必須　△：とちらかを選択

No.	設定項目	設 定 値	説　　明	必須
①	名　称	最大 32 文字	送信先の名称を入力します。	○
②	備　考	最大 29 文字	必要に応じて付加情報を入力します。	
③	ファクス番号	数字、“＃”、“,”（ポーズ）、“＊”、“－”　最大 20 桁	送信先のファクス番号を入力します。 ファクス送信・PC ファクス送信する場合は必須です。	△
④	ボタン名称	最大 5 文字	本体のアドレス帳に表示するボタン名を入力します。 空欄の場合は、「名称」の先頭 5 文字が入力されます。	
⑤	F コード サブアドレス	数字、“　”（スペース）、“＃”、“＊”　最大 20 桁	送信先に F コードが設定されている場合は、F コードを入力します。（最大 20 文字）	
⑥	F コード パスワード	数字、“　”（スペース）、“＃”、“＊”　最大 20 桁	F コードサブアドレスにパスワードが設定されている場合は、F コードパスワードを入力します。	
⑦	E-mail	最大 63 文字	E-mail アドレスを設定します。 この項目は、ファクス送信・PC ファクスでは使用しませんが、ファクス着信転送やネットワークスキャナの E メール転送先として使用します。	△

4

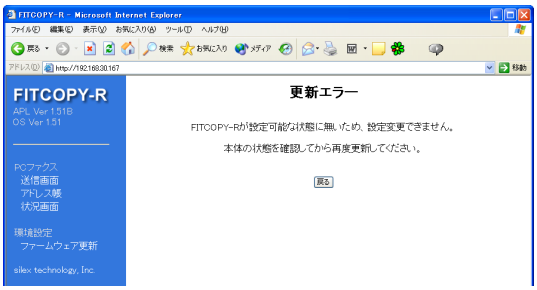


入力がアドレス帳に反映されます。

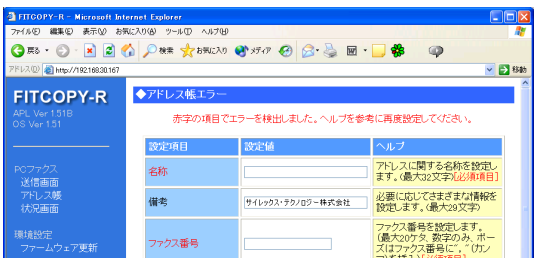
メモ

複数のクライアントから同時に登録を行うと、データが異常になる可能性があります。

◆エラー発生時



「更新エラー」
本機でアドレス帳を開いている場合や、管理モードの時はアドレス帳を更新できません。[戻る] リンクで戻り、本機を設定可能な状態にしてから、再度更新を行なってください。



「アドレス帳エラー」
赤字の項目に、入力の誤りがありました。再度入力を行なってください。

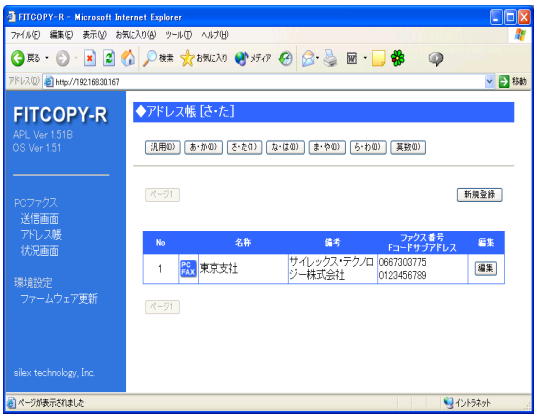
アドレスの編集

登録済みアドレスの各項目を編集します。

1

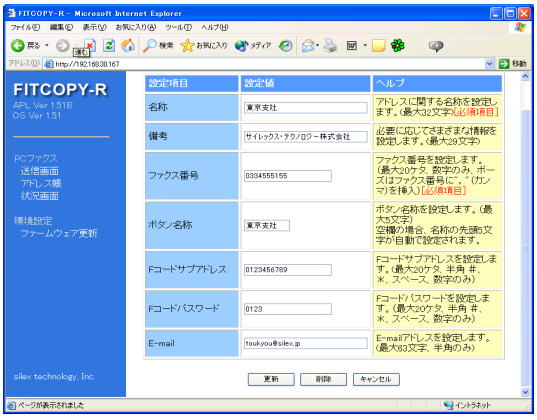
PC ファクス送信画面で
［アドレス帳］リンクをクリックします。

2



編集したいアドレスの［編集］ボタンをクリックします。

3

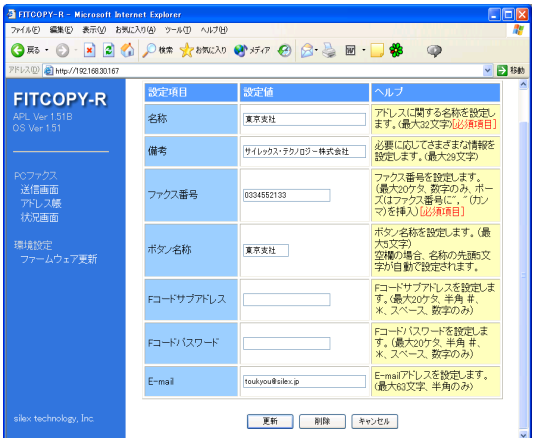


必要に応じて編集を行い、［更新］ボタンをクリックします。

参照

各項目の設定内容の詳細は、前ページの一覧表を参照してください。

4



編集内容がアドレス帳に反映されます。

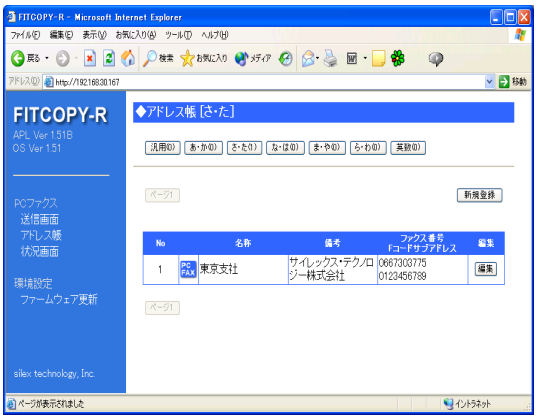
アドレスの削除

登録済みアドレスを、アドレス帳から削除します。

1

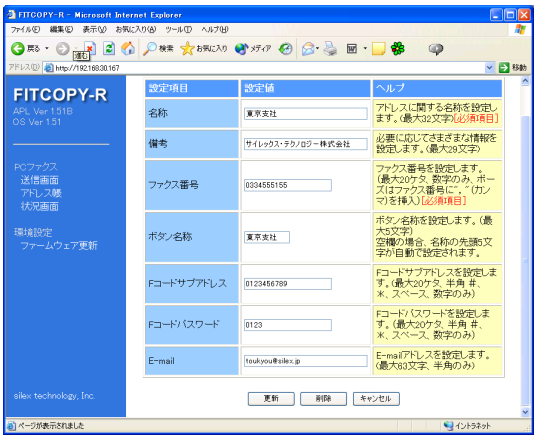
PC ファクス送信画面で
［アドレス帳］リンクをクリックします。

2



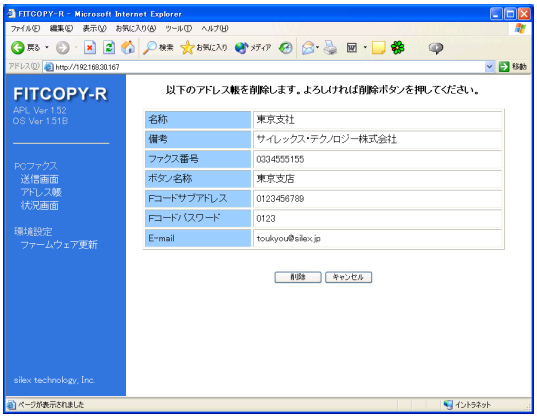
削除したいアドレスの［編集］ボタンをクリックします。

3



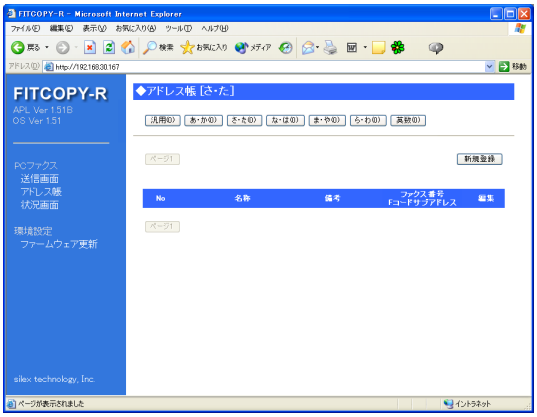
アドレス帳編集画面が開きますので、［削除］ボタンをクリックします。

4



アドレスの削除確認画面が表示されますので、内容を確認の上［削除］ボタンをクリックします。

5

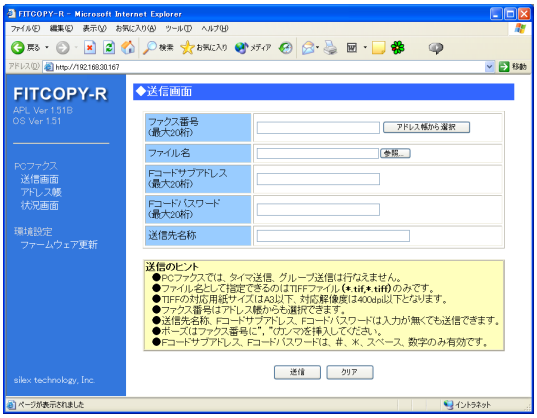


アドレスが削除されます。

PC ファクス状況画面

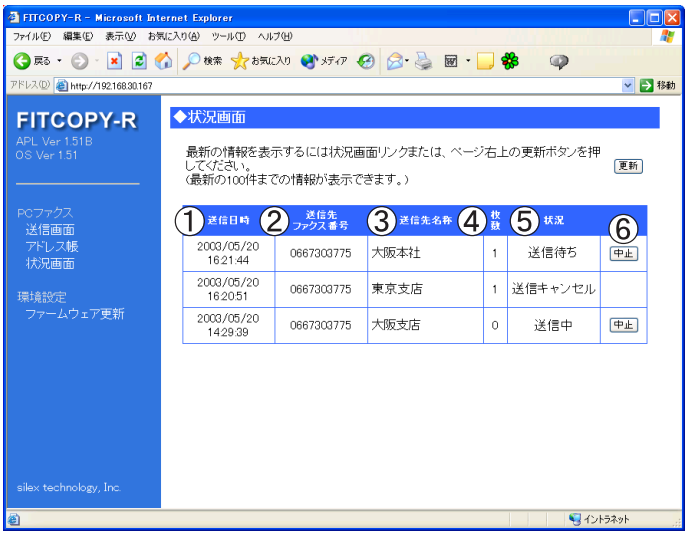
送信状況の確認

PC ファクスの送信状況を確認します。

1 

［状況画面］リンクをクリックします。

2 状況画面が表示されます。



No.	名　称	説　　明
①	送信日時	ファクス送信を受け付けた日時です。
②	送信先ファクス番号	送信先のファクス番号です。
③	送信先名称	送信画面で入力した「送信先名称」です。
④	枚　数	原稿枚数です。
⑤	状　況	送信状況です。詳しくは、次のページのメッセージ一覧をご覧下さい。
⑥	［中止］ボタン	ファクス送信の中断、または送信予約をキャンセルします。

■状況メッセージ一覧

状 況 表 示	説　　明
送信待ち	データを受け取り、送信の順番を待っています。
送信中	現在送信を行なっています。
送信済み	送信を完了しました。
送信キャンセル	送信をキャンセルしました。
リダイヤル待ち	リダイヤルを待っています。
・画像ファイルエラー ・CF カードメモリエラー ・相手先話中 ・相手先無応答 ・モデム初期化エラー ・ダイヤルトーン未検出 ・ダイヤル異常 ・プリメッセージエラー ・データ伝送エラー ・データ伝送準備エラー ・回線切断エラー	送信中にエラーが発生しました。 エラーの種類については、「エラーメッセージ一覧（PC ファクス編）」→ 8-4 ページをご覧ください。

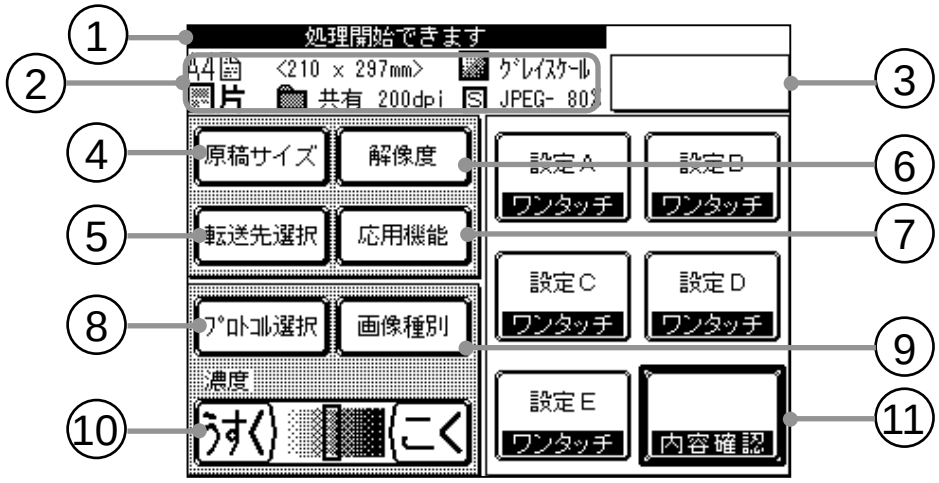
5章 ネットワークスキャナ

■目次

画面 2
ネットワークスキャナ基本画面 2
応用機能画面 3
ネットワークスキャナの準備 4
設定項目一覧 4
スキャンニング 5
スキャンニングの手順 5
基本スキャンの設定 7
原稿サイズ 7
解像度 8
画像種別 9
閾値／濃度 10
応用スキャンの設定 11
両面読取 12
Dropout カラー 13
ファイル形式 14
■画像の関係一覧 14
輪郭 15
特殊機能 16
■ iFax とは 16
ワンタッチ 17
ワンタッチの設定 17
■ワンタッチの登録 17
■ワンタッチの削除 19
転送先の設定 20
転送プロトコルの設定 20
転送先の入力 21
■共有フォルダの設定 21
■ FTP 転送の設定 22
■ E メール転送の設定 23
転送先一覧 25
■転送先一覧からの選択 26
■転送先の登録 27
■転送先の修正 28
■転送先の削除 30
転送情報変更 31
転送情報変更処理 31
スキャンニング履歴 32
スキャンニング履歴の確認 32
■履歴を印刷する 32
設定値保存 33
設定値保存 33
■設定値印刷 33

ネットワークスキャナ基本画面

1 拡張 ボタンを押して、ネットワークスキャナモードに切り替えます。

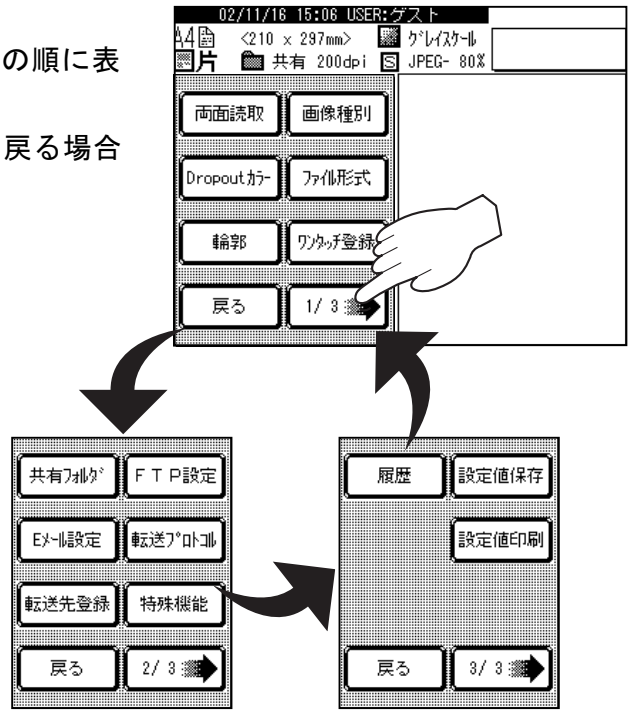


No.	名　称	説　　明
①	メッセージ表示	メッセージや動作状況、ログオン状態を表示します。
②	ステータス表示	設定されている機能や状態を、アイコンで表示します。
③	数値表示	テンキーで入力した数値を表示します。
④	原稿サイズ	原稿のサイズを設定します。
⑤	転送先選択	転送先一覧を呼び出します。
⑥	解 像 度	スキャンの解像度を設定します。
⑦	応用機能	応用機能を呼び出します。
⑧	プロトコル選択	ネットワーク転送のプロトコルを設定します。
⑨	画像種別	スキャン画像の種別を設定します。
⑩	濃　度	スキャンの濃度を設定します。
⑪	内容確認	ワンタッチの登録内容を確認します。

応用機能画面

1 ネットワークスキャナ基本画面にて、[応用機能] ボタンを押します。

2 [1 ／ 3 →] ボタンを押すごとに、「2 ／ 3 ページ」、「3 ／ 3 ページ」の順に表示が切り替わります。
ネットワークスキャナ基本画面に戻る場合は、[戻る] ボタンを押します。



設定項目一覧

ネットワークスキャナ機能をご利用になる場合に、管理者が特に設定を行なう必要はありません。

スキャナの状態は、スキャナ使用時に本機が自動的に取得します。

スキャンニングの手順

1 モード切り替え

拡張 ボタンを押して、ネットワークスキャナモードに切り替えます。

2 原稿のセット

スキャナの原稿台、または ADF に原稿をセットします。

3 基本機能の設定

■原稿サイズ　→ 5-7 ～ 5-10 ページ
■解像度
■画像種別
■閾値／濃度

4 応用機能の設定

■両面読取
■ Dropout カラー
■ファイル形式
■輪郭
■特殊機能
→ 5-11 ～ 5-16 ページ

5 転送方法の選択

■転送プロトコルの設定　→ 5-20 ページ

6 転送先の設定

■転送先の入力　→ 5-21 ページ
■転送先一覧からの選択　→ 5-26 ページ

■共有フォルダの設定
・コンピュータ名
・フォルダ
・ユーザ名
・パスワード
・ドメイン名
→ 5-21 ページ

■ FTP 転送の設定
・ホスト名
・ユーザ名
・パスワード
・フォルダ
・PASV
→ 5-22 ページ

■ E メール転送の設定
・転送先アドレス
→ 5-23 ページ

→次のページへ

7 スキャンスタート

スタート ボタンを押して、スキャンスタートします。

8 転送情報変更処理

転送情報変更処理の実行確認画面が開きます。

■転送情報変更処理を行わない場合
既存の設定内容で転送されます。

■転送情報変更処理を行う場合
ソフトウェアキーボードから変更内容を入力します。→ 5-31 ページ

プロトコル毎に以下の情報が変更できます。
◆転送プロトコル：共有フォルダ・FTP
『ファイル名』
◆転送プロトコル：E メール
『件名』『送信者』『本文』『ファイル名』

原稿スキャンを開始します。

◆自動原稿読取装置からのスキャン
セットされている原稿のスキャンを自動的に完了し、転送を開始します。
両面原稿をスキャンする場合は、「両面読取」→ 5-12 ページをご覧ください。

◆原稿台からのスキャン
1 枚目のスキャンが終ると、LCD パネルにスキャンの継続を確認するメッセージが表示されます。
スキャンを終了し、転送を開始する場合は、[送信] ボタンを押します。
継続する場合は、スタート または、[継続] ボタンを押します。

メモ

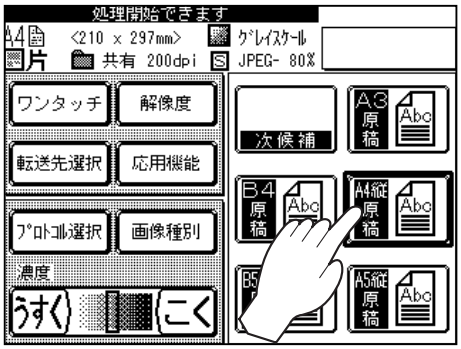
ストップ ボタンを押すと、転送を中止します。スキャン中の原稿は、スキャンを中止して排紙します。

原稿サイズ

原稿サイズを設定します。

1 ネットワークスキャナ基本画面にて、[原稿サイズ] ボタンを押します。

2 目的のサイズのボタンを押します。[次候補] ボタンを押すと、原稿サイズ画面が切り替わります。



メモ

スキャナの機種により、選択できないボタンがあります。

ボタン	説明
A3 原稿 / B4 原稿 / LG L	A3、B4、Legal 原稿です。 原稿の向きは選択できません。
A4横 原稿 / B5横 原稿 / A5横 原稿 / B6横 原稿	A4、B5、A5、B6 の原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。
A4縦 原稿 / B5縦 原稿 / A5縦 原稿 / B6縦 原稿	A4、B5、A5、B6 の原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。
Letter横 / LT 縦 / ハガキ 横 / ハガキ 縦	Letter、ハガキの原稿です。 続けて押すと、原稿の向きが変わります。
範囲指定	原稿の大きさを 1mm ステップで指定します。

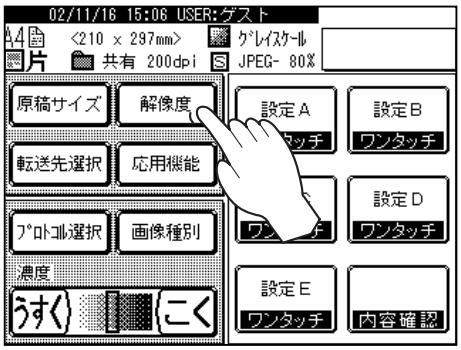
メモ

ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。原稿サイズ設定で表示されるボタンは、本機に接続されているスキャナの能力により異なります。ボタン内のアルファベットは原稿の向きを表しています。

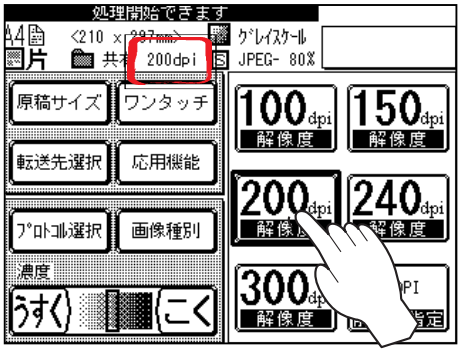
解像度

原稿に合わせて、解像度を選択します。

1 ネットワークスキャナ基本画面にて、
［解像度］ボタンを押します。



2 解像度を選択します。
選択中の解像度は、ステータス表示のアイコンで確認できます。



メモ

選択した「画像種別」により、設定できる解像度が変わります。

ボタン	説　明	ボタン	説　明
100dpi 解像度	100dpi の解像度でスキャンします。	300dpi 解像度	300dpi の解像度でスキャンします。
150dpi 解像度	150dpi の解像度でスキャンします。	400dpi 解像度	400dpi の解像度でスキャンします。
200dpi 解像度	200dpi の解像度でスキャンします。	500dpi 解像度	500dpi の解像度でスキャンします。
240dpi 解像度	240dpi の解像度でスキャンします。	600dpi 解像度	600dpi の解像度でスキャンします。
72DPI 解像度指定	解像度を 1dpi ステップで指定します。		

メモ

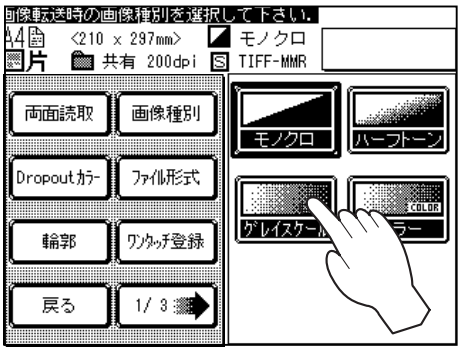
ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

画像種別

スキャンする画像種別を選択します。

1 ネットワークスキャナ基本画面にて、[画像種別] ボタンを押して切り替えます。選択した画像種別により、ファイル形式も連動して切り替わります。画像種別とファイル形式の組み合わせ状況は、ステータス表示のアイコンで確認できます。

◆応用機能から画像種別を変更する場合は、直接ボタンを押します。



ボタン	アイコン	説　　明
モノクロ	モノクロ	モノクロでスキャンします。 1 画素 1 ビットの画像です。
ハーフトーン	ハーフトーン	ハーフトーンでスキャンします。 モノクロと同じ 1 画素 1 ビット画像ですが、誤差拡散処理を行いますので、擬似的な階調表現が可能になります。
ｸﾞﾚｲｽｹｰﾙ	ｸﾞﾚｲｽｹｰﾙ	グレイスケールでスキャンします。 1 画素 8 ビット（白黒、256 階調）の画像です。
COLOR カラー	カラー	カラーでスキャンします。 1 画素 24 ビット（R,G,B 各色 8bit）で 16,777,216 色の画像です。

メモ　ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには､応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

閾値／濃度

モノクロでスキャンする場合の閾値、ハーフトーン／グレースケール／カラーでスキャンする場合の濃度を設定できます。選択中の原稿種別により、閾値と濃度の表示が切り替わります。

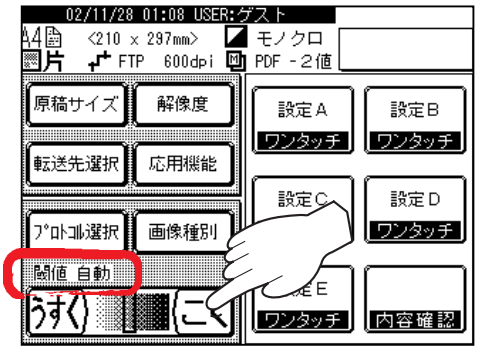
◆閾値の変更

1 ネットワークスキャナ基本画面にて、［うすく］／［こく］ボタンを押します。
1 秒以上押し続けると、10 ステップ単位で増減します。

メモ

特殊機能（→ 5-16 ページ）の［閾値自動］ボタンより、閾値を自動設定することができます。自動設定中は、閾値が「自動」の表示になります。

＜モノクロ＞



◆濃度の変更

1 ネットワークスキャナ基本画面にて、［うすく］／［こく］ボタンを押します。

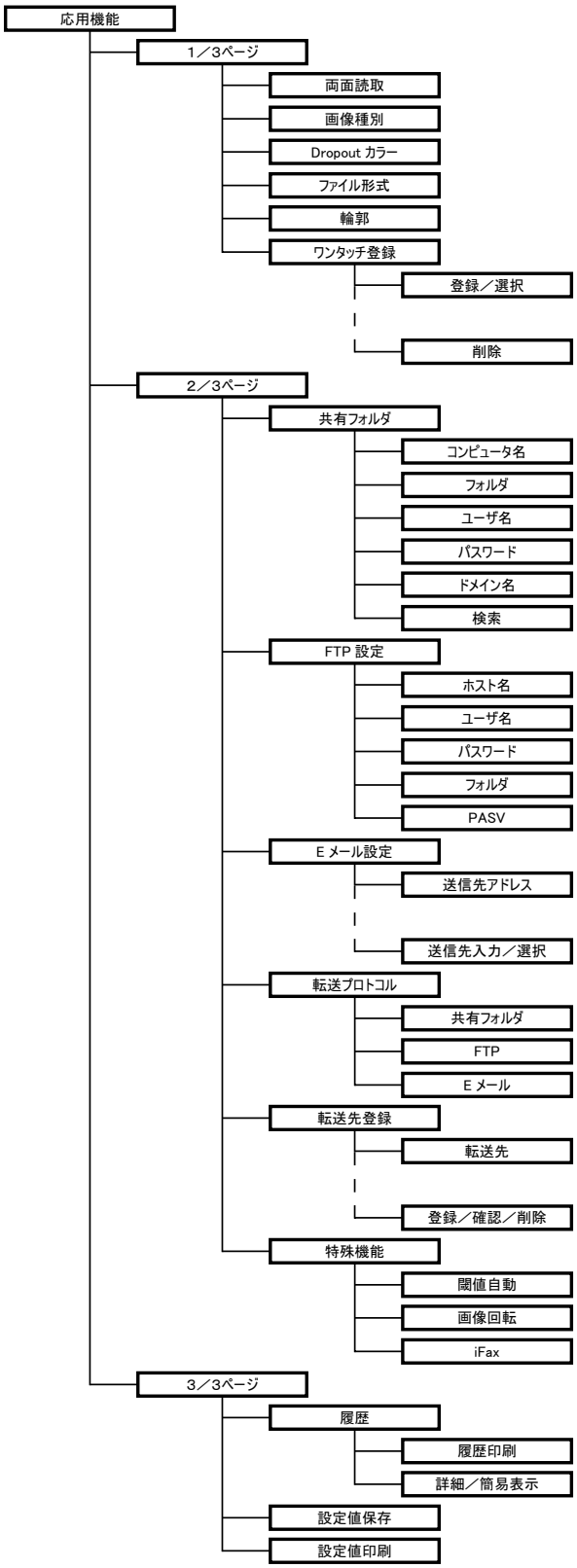
＜ハーフトーン／グレースケール／カラー＞

アイコン	説　明
うすく こく	うすい濃度でスキャンします。
うすく こく	ややうすい濃度でスキャンします。
うすく こく	濃度を変更せずにスキャンします。
うすく こく	ややこい濃度でスキャンします。
うすく こく	こい濃度でスキャンします。

メモ

ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能で「設定値保存」を行なう必要があります。

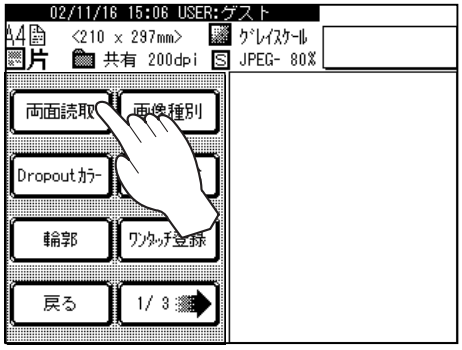
応用スキャンの設定


応用機能
1／3ページ
両面読取
画像種別
Dropout カラー
ファイル形式
輪郭
ワンタッチ登録
登録／選択
削除
2／3ページ
共有フォルダ
コンピュータ名
フォルダ
ユーザ名
パスワード
ドメイン名
検索
FTP 設定
ホスト名
ユーザ名
パスワード
フォルダ
PASV
E メール設定
送信先アドレス
送信先入力／選択
転送プロトコル
共有フォルダ
FTP
E メール
転送先登録
転送先
登録／確認／削除
特殊機能
閾値自動
画像回転
iFax
3／3ページ
履歴
履歴印刷
詳細／簡易表示
設定値保存
設定値印刷

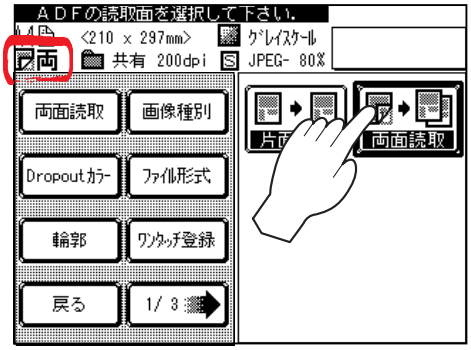
両面読取

両面原稿のスキャンを行ないます。本機は両面読取式の自動原稿読取装置を装着していないスキャナからも両面原稿のスキャンができます。

1 ネットワークスキャナ応用画面－1／3ページにて、[両面読取] ボタンを押します。



2 [片面読取／両面読取] ボタンを押します。選択中の設定は、ステータス表示のアイコンで確認できます。



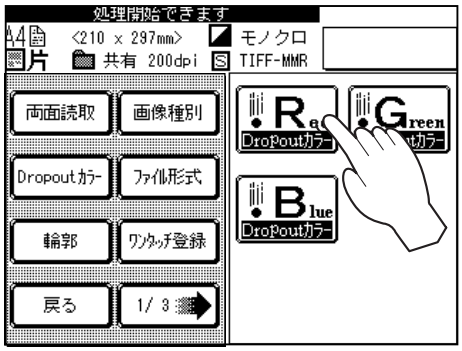
ボタン	アイコン	説　明
片面読取	片	原稿の片面をスキャンします。
両面読取	両	原稿の両面をスキャンします。

Dropout カラー

Dropout カラーを設定します。Dropout は Red、Green、Blue の中から選択した一色を使わずにスキャンします。

1 ネットワークスキャナ応用画面－１／３ページにて、[Dropout カラー] ボタンを押します。

2 [Red ／ Green ／ Blue] ボタンを押します。すべてのボタンが未選択の場合は、Dropout を行ないません。



メモ

PFU 製スキャナは、Dropout カラーとして、Green がデフォルトで選択されています。また、スキャナの仕様上、未選択にはできず、いづれかの一色を常に選択しておく必要があります。

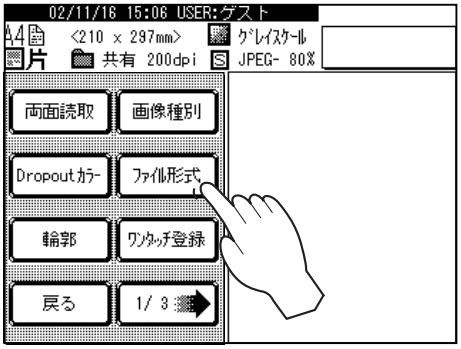
メモ

「画像種別」設定で「カラー」を選択した場合、「Dropout カラー」設定は無効になります。

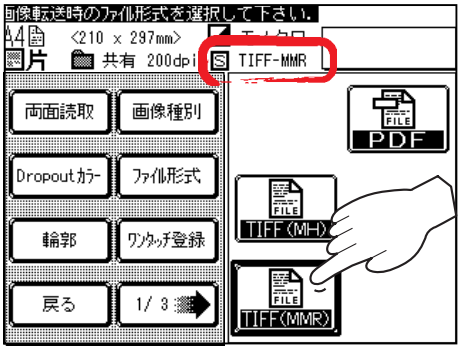
ファイル形式

スキャン画像を選択したファイル形式に変換します。画像種別により選択できるファイル形式が異なります。詳しくは、画像の関係一覧をご覧ください。

1 ネットワークスキャナ応用画面－1／3 ページにて、[ファイル形式] ボタンを押します。



2 ファイル形式を選択します。
選択中のファイル形式は、ステータス表示のアイコンで確認できます。
JPEG 選択時は、続いて画質の設定を行ないます。



メモ

「TIFF」は、ボタンを続けて押すことにより、シングルページとマルチページが選択できます。JPEG はシングルページのみ、PDF はマルチページのみとなります。

ボタン	アイコン	説　　明
TIFF(MH) TIFF(MMR)	S	シングルページの TIFF ファイルです。 原稿が複数枚ある場合は、枚数分の TIFF ファイルを作成します。
Multi TIFF(MH) Multi TIFF(MMR)	M	マルチページの TIFF ファイルです。 ADF にセットされている原稿を 1 つの TIFF ファイルにします。 原稿台にセットする場合は、1 枚目のスキャン終了後に［接続］を選択すると、続けて次のページをスキャンしますので、マルチページ TIFF を作成することができます。

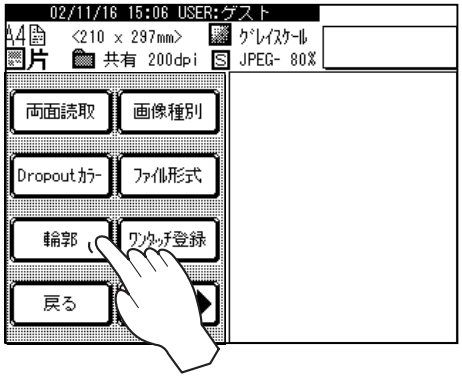
■画像の関係一覧

	対　応　一　覧			
画像種別	モノクロ	ハーフトーン	グレイスケール	カラー
ファイル形式	TIFF（MH/MMR 圧縮）・PDF		JPEG・PDF	

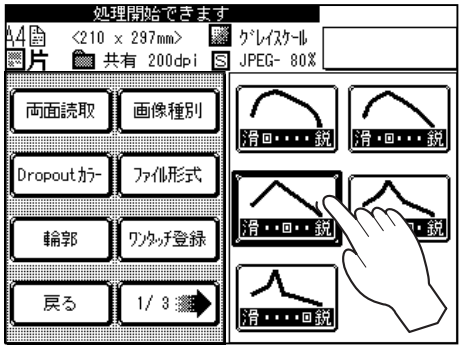
輪郭

スキャナから原稿を読み込む際の輪郭強調レベルを設定することにより、画像全体をシャープ／ソフトな状態でスキャンすることができます。

1 ネットワークスキャナ応用画面－1／3 ページにて、[輪郭] ボタンを押します。



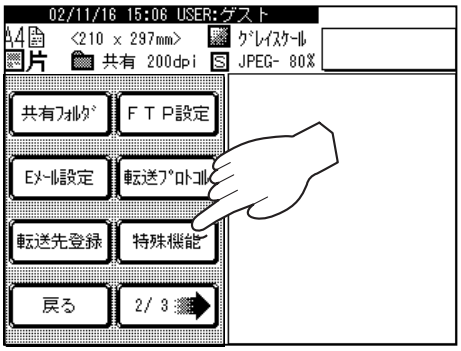
2 輪郭を選択します。



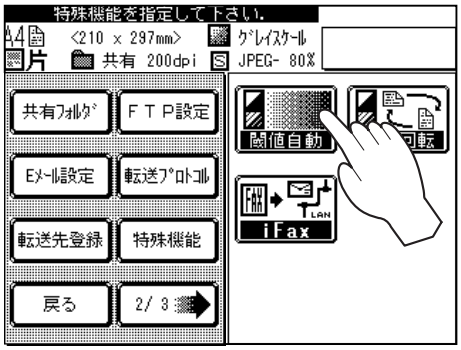
特殊機能

スキャン時に下の表の機能を組み合わせることができます。

1 ネットワークスキャナ応用画面－2／3 ページにて、[特殊機能] ボタンを押します。



2 特殊機能を選択します。
選択中の機能を解除する場合は、ボタンをもう一度押してください。



ボタン	アイコン	説　　明
閾値自動		原稿種別モノクロ閾値を自動で設定します。 この機能は、原稿種別がモノクロの場合のみ有効です。
画像回転		スキャン原稿を時計回りに 90° 回転させます。 この機能は、原稿種別がモノクロ／ハーフトーンの場合のみ有効です。
iFax	iFAX	iFax 送信用に、各種設定値を以下のように設定します。 「解像度：200dpi、原稿サイズ：A4、ファイル形式：TIFF」 この機能は、原稿サイズがモノクロ／ハーフトーン、転送プロトコルがＥメールの場合のみ有効です。iFax の規格外の設定になった場合は、iFAX のアイコンが他のアイコンに変わります。

■ iFax とは

スキャンした原稿を、インターネットファクス対応機に、TIFF-FX 形式の添付書類としてＥメール送信する機能です。
既存のイントラネット／インターネット経由で通信するため、通信費の削減につながります。

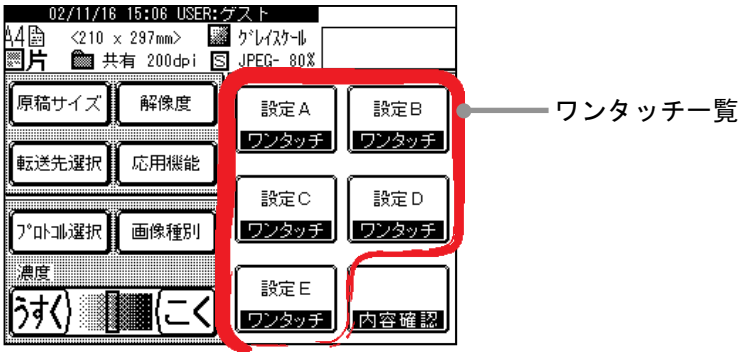
ワンタッチの設定

■ワンタッチの登録

現在のスキャン設定を、ワンタッチ一覧に登録します。転送先の設定情報は、ここには登録されません。転送先を登録する場合は、「転送先の登録」（→ 5-27 ページ）をご覧ください。

◆ワンタッチ一覧にスキャン設定を登録すると、ネットワークスキャナワンタッチ画面からすばやく原稿スキャン設定を呼び出せます。ワンタッチは、ログオンユーザごとに 5 件まで登録できます。

＜ネットワークスキャナ基本画面＞



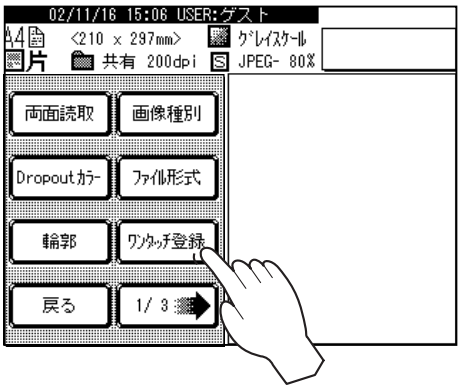
メモ

ワンタッチの修正は、ワンタッチボタンへの上書きにて行ないます。

1 スキャン設定を済ませておきます。

基本スキャンの設定（→ 5-7 ページ）
応用スキャンの設定（→ 5-11 ページ）

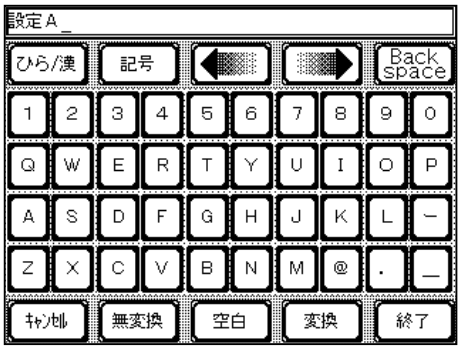
2 ネットワークスキャナ応用画面－１／３ページにて、［ワンタッチ登録］ボタンを押します。



3 ワンタッチ登録したいボタンを押します。

4 ［登録］ボタンを押します。

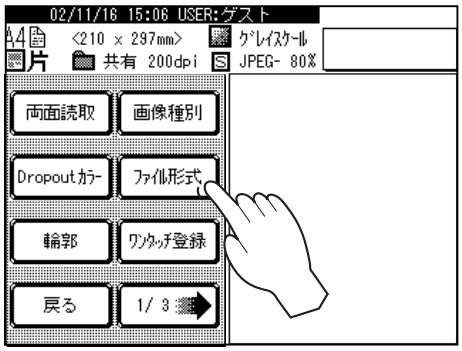
5 ワンタッチボタンに付ける名前を入力し、［終了］ボタンを押します。



■ワンタッチの削除

ワンタッチ設定を削除します。

1 ネットワークスキャナ応用画面－１／３ページにて、［ワンタッチ登録］ボタンを押します。



2 ［削除］ボタンを押し､削除モードにします。

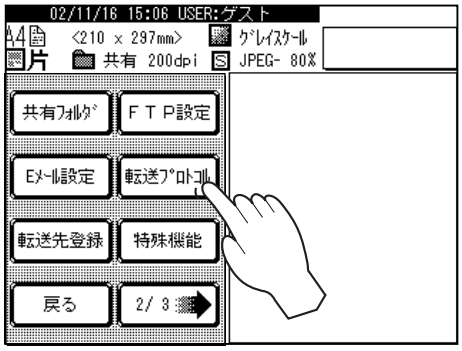
3 削除する［ワンタッチ］ボタンを押します。

4 ［削除］ボタンを押します。

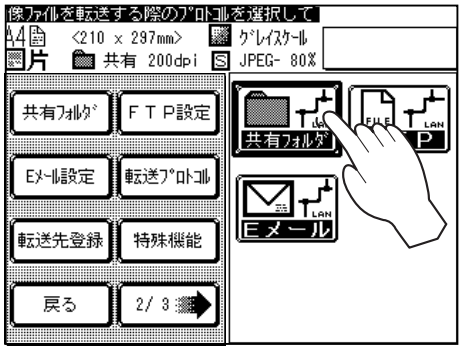
転送プロトコルの設定

転送プロトコルを選択します。

1 ネットワークスキャナ応用画面－2／3 ページにて、[転送プロトコル] ボタンを押します。



2 プロトコルを選択します。



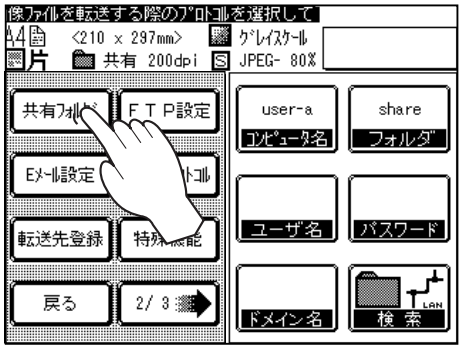
ボタン	アイコン	説　　明
共有フォルダ	共有	共有フォルダへファイルを転送します。
FTP	FTP	FTP サーバへファイルを転送します。
Eメール	Eﾒｰﾙ	ファイルをメールに添付して送信します。
	iFAX	特殊機能で、「iFAX」を選択している場合は、[E メール] を選択するとこのアイコン表示になります。

選択したプロトコルのページへ進み、
それぞれ①②の転送設定を行ないます。
■共有フォルダの設定　→次のページ
■ FTP 転送の設定　→ 5-22 ページ
■ E メール転送の設定　→ 5-23 ページ

転送先の入力

■共有フォルダの設定

① [共有フォルダ] ボタンを押します。



② 以下の設定を必要に応じて行ないます。
各設定値の入力は、ソフトウェアキーボードから行います。

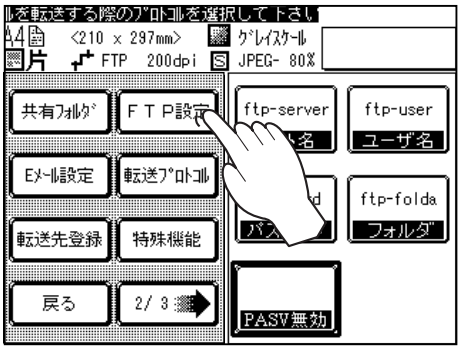
設定項目	設　定　値	説　　明	必須
コンピュータ名	最大 15 文字	転送先のコンピュータ名を設定します。	○
フォルダ	最大 63 文字	転送先の共有フォルダ名を設定します。	○
ユーザ名	最大 31 文字	共有フォルダアクセスに使用するユーザ名を設定します。	
パスワード	最大 31 文字	共有フォルダアクセスに使用するパスワードを設定します。	
ドメイン名	最大 15 文字	ドメイン環境の場合、ドメイン名を設定します	
検　索	12 バイト (全角 6 文字 ／半角 12 文字)	「コンピュータ名」に入力されたコンピュータの共有フォルダの検索を行ないます。このボタンを続けて押すと、共有フォルダが複数存在する場合に、選択フォルダを切り替えることができます。	

参考

本機は、フォルダ名が 12 バイト(全角 6 文字／半角 12 文字)を超える共有フォルダを検索できません。12 バイトを超える共有フォルダへの転送は、「フォルダ」へ共有フォルダ名を直接入力して行ないます。
※ 直接入力では、全角文字は使用できません。

■ FTP 転送の設定

① [FTP 設定] ボタンを押します。



② 以下の設定を必要に応じて行ないます。
各設定値の入力は、ソフトウェアキーボードから行います。

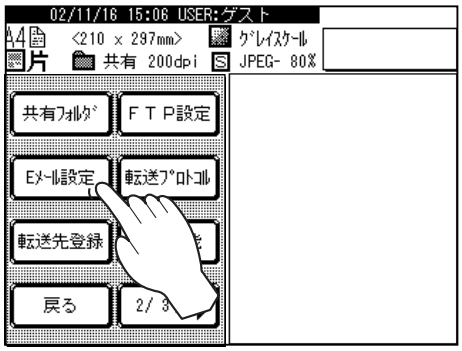
設定項目	設　定　値	説　　明	必須
ホストアドレス	最大 63 文字	FTP サーバのアドレスを、ホスト名又は IP アドレスで設定します。	○
ユーザ名	最大 31 文字	FTP サーバアクセスに使用するユーザ名を設定します。	○
パスワード	最大 31 文字	FTP サーバアクセスに使用するパスワードを設定します。	
フォルダ	最大 63 文字	データ保存先のフォルダ名を設定します。	
PASV	PASV 有効／無効	FTP サーバアクセス時の PASV 有効／無効を設定します。ボタンを押すごとに、有効／無効が切替わります。	

参考

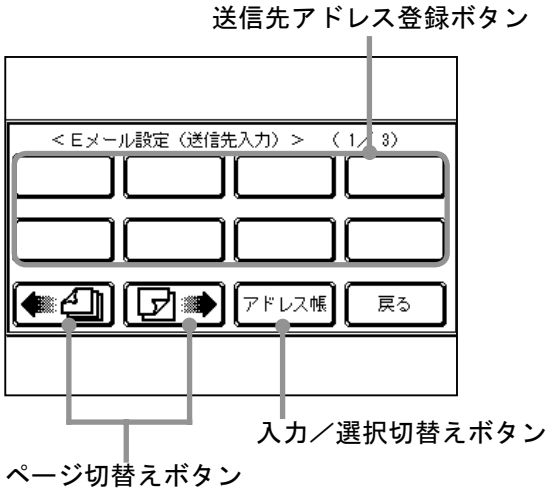
PASV を有効にすると、FTP 転送においてデータ転送用セッションをクライアント側から接続することにより、ファイアウォールのある FTP サーバへ接続することが可能となります。

■ E メール転送の設定

① [E メール設定] ボタンを押します。



② 送信先アドレスを設定します。
アドレス設定は「送信先入力」又は「アドレス帳から選択」で行ないます。



メモ

E メールの転送先は、
最大 20 件まで登録できます。

◆ [送信先入力]

転送先アドレスを直接入力して設定します。

1. [入力／選択切替え] ボタンを押して、[E メール設定 (送信先入力)] に切替えます。
2. 必要に応じて [ページ切替え] ボタンを押してページを切替え、送信先アドレスを登録する [送信先アドレス登録] ボタンを押します。

設定項目	設　定　値	説　　明	必須
転送先アドレス	最大 63 文字	E メール転送先のアドレスを設定します。	○

3. ソフトウェアキーボードが開きますので、送信先の E メールアドレスを入力して［終了］ボタンを押します。

4. E メールアドレスが登録されます。
（［送信先アドレス登録］ボタンには、入力した E メールアドレスの先頭 10 文字が表示されます。）

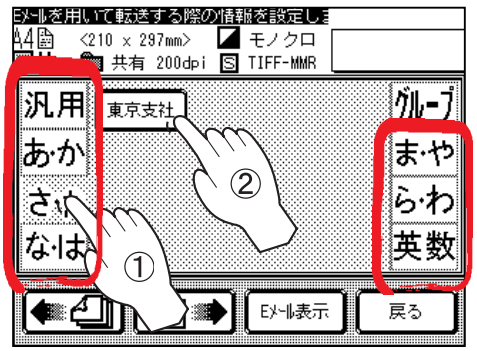
◆［アドレス帳から選択］

送信先アドレスを、アドレス帳に登録されている E メールアドレスから選択します。

1. ［入力／選択切替え］ボタンを押して、「E メール設定（アドレス帳）」に切替えます。

2. 必要に応じて［ページ切替え］ボタンを押してページを切替え、送信先アドレスを登録する［送信先アドレス登録］ボタンを押します。

3. アドレス帳画面が開きますので、送信先に設定したいアドレスの登録されている［タブ］ボタン（①）を押してアドレス表示を切替え、送信先に設定するアドレスのボタン（②）を押します。



4. E メールアドレスが登録されます。
（［送信先アドレス登録］ボタンには、選択した E メールアドレスの先頭 10 文字が表示されます。）

転送先一覧

転送先一覧に転送先設定を登録することができます。
転送先一覧に登録しておくことで、ネットワークスキャナ基本画面からすばやく転送先を呼び出せます。
転送先は、登録ユーザごとに各転送プロトコル毎に 5 件、ゲストユーザでは各転送プロトコル毎に 50 件まで登録できます。

ログオンユーザ	転送プロトコル	最大登録件数	転送先登録 1 件あたりに登録可能な転送先情報数
登録ユーザ（最大 49 ユーザ）	共有フォルダ	5 件	1 つの共有フォルダ情報が登録可能
	FTP	5 件	1 つの FTP サーバ内のフォルダ情報が登録可能
	E メール	5 件	20 件の転送先アドレス情報が登録可能
ゲストユーザ（1 ユーザのみ）	共有フォルダ	50 件	1 つの共有フォルダ情報が登録可能
	FTP	50 件	1 つの FTP サーバ内のフォルダ情報が登録可能
	E メール	50 件	20 件の転送先アドレス情報が登録可能

転送先を転送先一覧から選択する場合 → 次ページ
転送先情報を転送先一覧に登録する場合 → 5-27 ページ
登録済みの転送先情報を修正する場合 → 5-28 ページ
転送先情報を転送先一覧から削除する場合 → 5-30 ページ

■転送先一覧からの選択

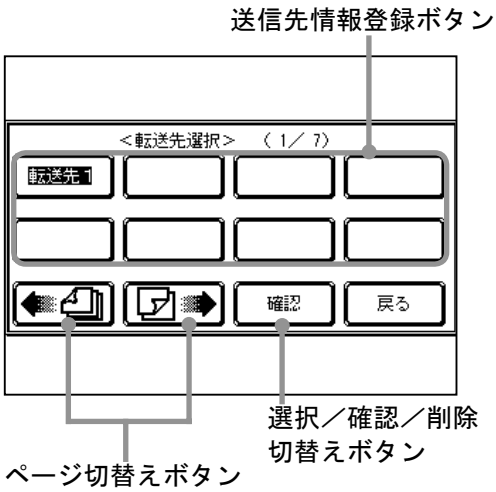
転送先を転送先一覧から選択します。
プロトコル別に転送先の登録 →5-27 が行われている必要があります。

1 ネットワークスキャナ基本画面にて
[プロトコル選択] ボタンを押して、
使用する転送プロトコルを選択します。

メモ 「応用機能」の [転送プロトコル] からでも選択可能です。

2 ネットワークスキャナ基本画面にて、[転送先選択] ボタンを押します。

3 現在選択中のプロトコルに登録された
転送先一覧画面が表示されますので、
使用する [転送先情報登録] ボタンを
押します。
(選択したボタンは反転表示されます。)



メモ 画面中央上に ＜転送先選択＞と表示されていない場合、
[選択／確認／削除切替え] ボタンを押して切替えます。

メモ 転送プロトコル「共有フォルダ」・「FTP」の場合、送信先指定の [転送先情報登録] ボタンは 1 つしか選択できませんが、「E メール」のみ複数選択が可能です。
また、「E メール」では選択した [転送先情報登録] ボタンに登録されている転送先アドレスの最大 100 件に対して転送処理が可能です。

例）プロトコル「E メール」選択で、転送先アドレス 20 件を登録した [転送先情報登録] ボタンを 5 つ選択した場合、合計 100 件の転送先アドレスに対して転送処理を行います。

4 [戻る] ボタンを押して、ネットワークスキャナ基本画面に戻ります。

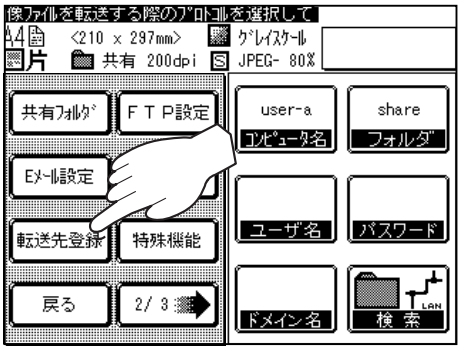
■転送先の登録

現在の転送先設定を、転送先一覧に登録します。

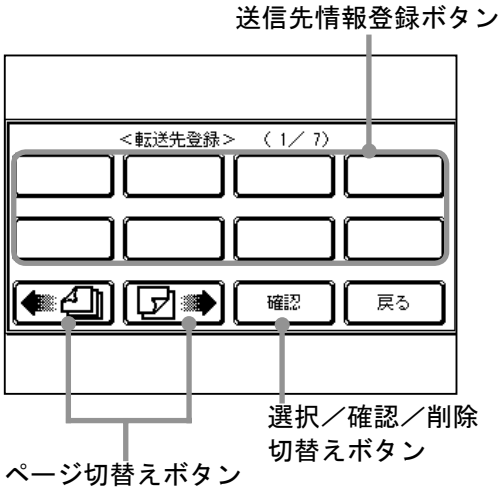
1 転送先の設定（転送プロトコルの選択・転送先情報の設定）を行います。

参照 「転送先の設定」－「転送プロトコルの設定」→ 5-20 を参照してください。

2 ネットワークスキャナ応用画面－2／3 ページにて、[転送先登録] ボタンを押します。



3 転送先登録画面にて転送先情報を登録するボタンを押します。



メモ

画面中央上に ＜転送先登録＞と表示されていない場合、
[登録／確認／削除切替え] ボタンを押して切替えます。

4 登録確認画面が開きますので、内容を確認の上、[登録] ボタンを押します。

5 ソフトウェアキーボードが開きますので、[転送先情報登録] ボタンに付ける名前を入力し、[終了] ボタンを押します。

設 定 項 目	設 定 値
[転送先情報登録] ボタンの名称	最大 5 文字

6 転送先が一覧に登録されます。

■転送先の修正

転送先設定を修正します。

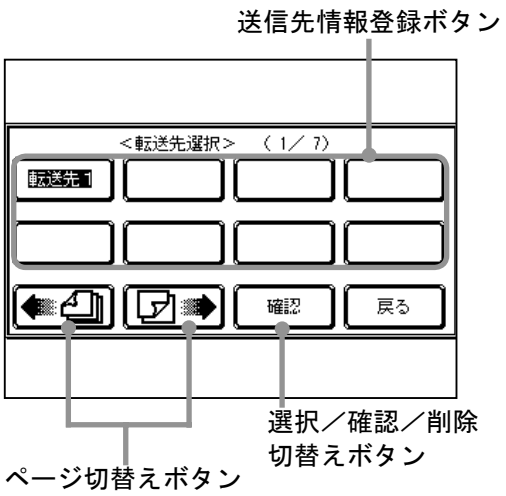
メモ　転送先の修正は、転送先一覧へ再登録することで行います。

1 ネットワークスキャナ基本画面にて
[プロトコル選択] ボタンを押して、
修正したい転送先情報の登録されている
転送プロトコルを選択します。

メモ　「応用機能」の [転送プロトコル] からでも選択可能です。

2 ネットワークスキャナ基本画面にて、[転送先選択] ボタンを押します。

3 現在選択中のプロトコルに登録された
転送先一覧画面が表示されますので、
修正したい [転送先情報登録] ボタン
を押します。
(選択したボタンは反転表示されます。)



メモ　画面中央上に　<転送先選択>と表示されていない場合、
[選択／確認／削除切替え] ボタン
を押して切替えます。

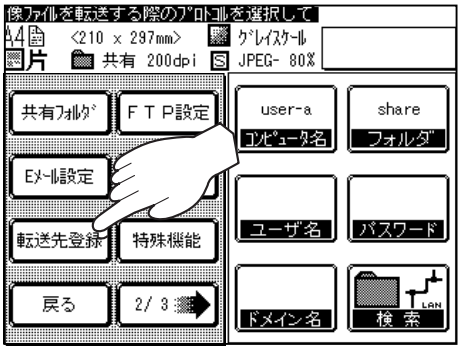
メモ　転送プロトコル「E メール」は複数選択が可能ですが、修正する際は 1 件づつ行ってください。

4 選択した [転送先情報登録] ボタンが反転表示した状態で [戻る] ボタンを
押して、ネットワークスキャナ基本画面に戻ります。

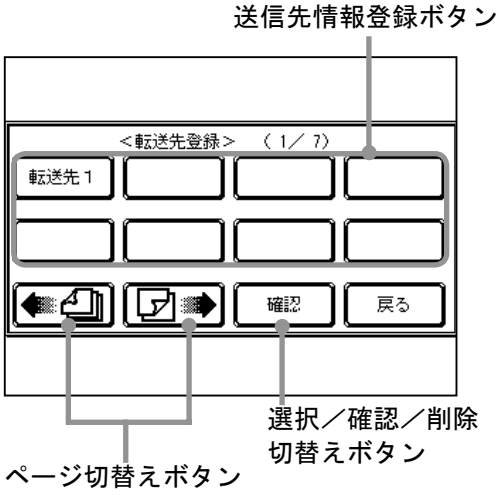
5 手順 3 で選択した転送先登録情報が、「応用機能」の［共有フォルダ］／［FTP 設定］／［E メール設定］の各設定に展開されていますので、必要に応じて設定内容の修正を行います。

■共有フォルダの設定　→ 5-21 ページ
■ FTP 転送の設定　→ 5-22 ページ
■ E メール転送の設定　→ 5-23 ページ

6 修正後、ネットワークスキャナ応用画面－2／3 ページにて、［転送先登録］ボタンを押します。



7 転送先登録画面にて転送先情報を登録するボタンを押します。



メモ

画面中央上に　＜転送先登録＞と表示されていない場合、［登録／確認／削除切替え］ボタンを押して切替えます。

8 登録確認画面が開きますので、内容を確認の上、［登録］ボタンを押します。

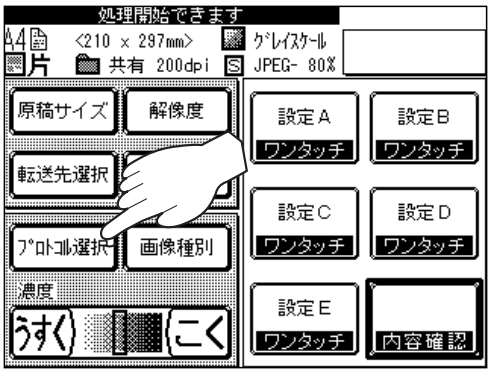
9 ソフトウェアキーボードが開きますので、［転送先情報登録］ボタンに付ける名前を入力し、［終了］ボタンを押します。

設 定 項 目	設　定　値
［転送先情報登録］ボタンの名称	最大 5 文字

■転送先の削除

転送先を転送先一覧から削除します。

1 ネットワークスキャナ基本画面にて
［プロトコル選択］ボタンを押して、
削除したい転送先情報の登録されている
転送プロトコルを選択します。

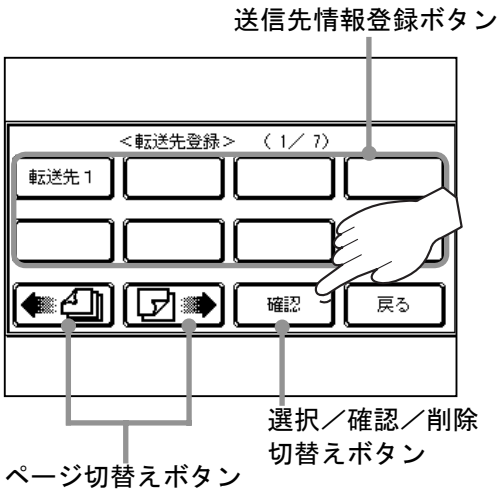


メモ

「応用機能」の［転送プロトコル］
からでも選択可能です。

2 ネットワークスキャナ基本画面にて、
［転送先選択］ボタンを押します。

3 現在選択中のプロトコルに登録された
転送先一覧画面が表示されますので、
画面中央上に ＜転送先削除＞と表示さ
れるように、［選択／確認／削除切替
え］ボタンを押して切替えます。



4 修正したい［転送先情報登録］ボタンを押すと削除確認画面が開きますので、
内容を確認の上、［削除］ボタンを押します。

5 転送先が一覧から削除されます。

転送情報変更処理

転送ファイル名などの変更が行えます。

1 ［スタート］ボタンを押して、スキャンスタートすると、使用する「転送プロトコル」に従って、以下の情報の変更確認画面が開きます。

プロトコル	変更可能情報	設 定 値	初 期 値
共有フォルダ	ファイル名	最大 12 文字	yymmddhhmmss（タイムスタンプ）
FTP	ファイル名	最大 12 文字	yymmddhhmmss（タイムスタンプ）
E メール	件　名	最大 31 文字	Scanning File No.
	送信者名	最大 31 文字	FITCOPY-R
	本　文	最大 128 文字	（なし）
	ファイル名	最大 12 文字	yymmddhhmmss（タイムスタンプ）

メモ

「ファイル名」の初期値については、第 1 章「概要」の「ご注意」→1-2 ページを参照してください。

2 必要に応じて変更の有無を選択します。
変更する場合、［はい］を選択するとソフトウェアキーボード画面が開きますので、変更情報の入力を行います。
［いいえ］を選択すると初期値のまま転送処理が開始されます。

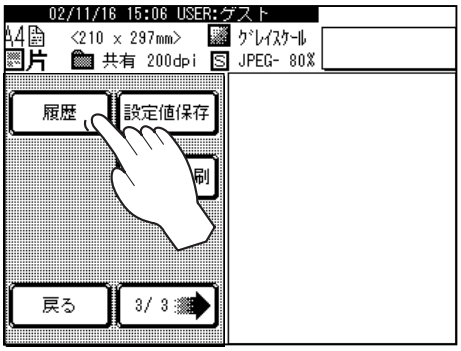
メモ

プロトコル「共有フォルダ」／「FTP」で転送する場合、転送先に同名のファイルが存在したときは転送ファイルで上書き保存を行います。
転送ファイル名を変更されるときは、ご注意ください。

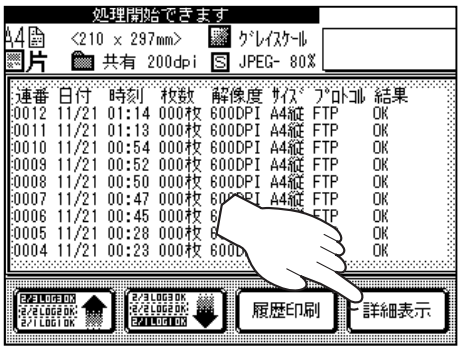
スキャンニング履歴の確認

ネットワークスキャナの履歴を確認します。

1 ネットワークスキャナ応用画面－3／3 ページにて、[履歴] ボタンを押します。



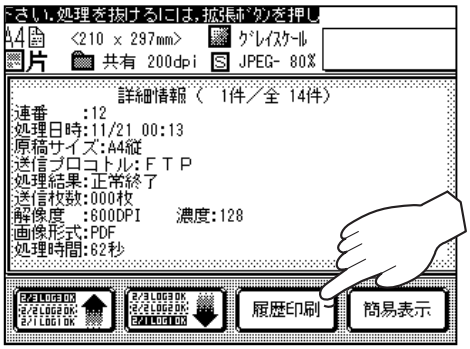
2 スキャンニング履歴が表示されます。
[↑][↓]ボタンを押すとスクロールします。1 秒以上押し続けると、10 ステップ単位でスキップします。履歴の詳細を確認する場合は、[詳細表示] ボタンを押してください。



メモ

最大表示件数は、100 件です。

3 履歴の詳細を表示します。
簡易表示に戻るには、[簡易表示] ボタンを押してください。



■履歴を印刷する

スキャンニング履歴を印刷します。

1 スキャンニング履歴画面にて、[履歴印刷] ボタンを押します。

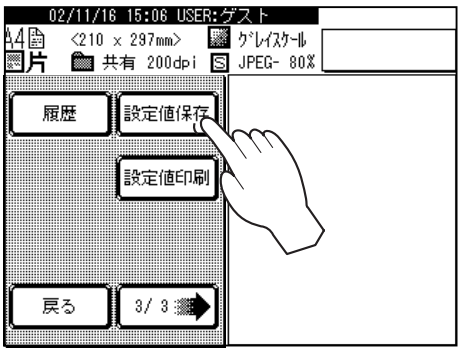
メモ

履歴印刷は、「デフォルトプリンタの設定」→ 1-40 ページで選択されているプリンタの A4 用紙に印刷します。

設定値保存

応用機能で行なった各種変更は、「設定値保存」を行なうことにより、本機のメモリに記憶されます。[リセット] ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと、設定保存されている状態に戻ります。

1 ネットワークスキャナ応用画面－3／3ページにて、[設定値保存] ボタンを押します。



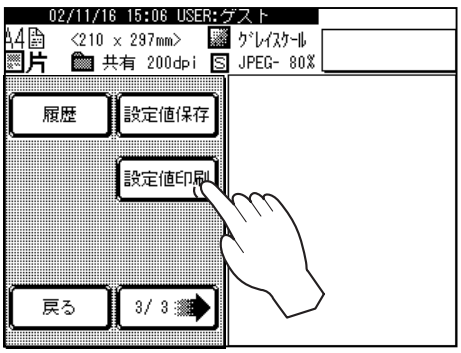
メモ

設定保存を行なわない場合は、[リセット] ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと設定値が失なわれます。

■設定値印刷

ネットワークスキャナモードに設定されている設定値と設定保存値の印刷を行ないます。

1 ネットワークスキャナ応用画面－3／3ページにて、[設定値印刷] ボタンを押します。



6章

ネットワークプリンタ

■目次

ネットワークプリンタを利用するには. . . . 6-2

ネットワークプリンタを利用するには

ご利用のパソコンへ、プリンタに付属のプリンタドライバをインストールしてください。

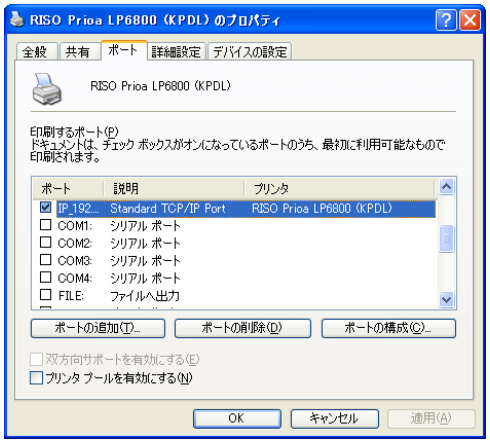
注意

ご利用のパソコンの OS が Windows NT4.0、Windows 2000/XP の場合は、OS が所有している LPR をご利用ください。

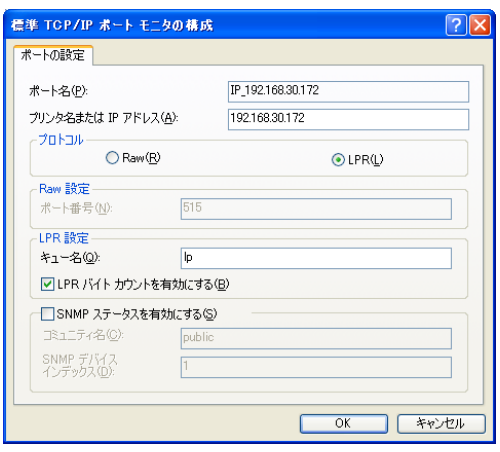
ポイント

Windows NT4.0、Windows 2000/XP で、OS が所有している LPR をご利用になる場合は、LPR（標準 TCP/IP プリンタポート）の追加をした後、下記の設定にしてください。

①プリンタのプロパティを開き、[ポート] タブの [ポートの構成] ボタンを押します。



②[標準 TCP/IP ポートモニタの構成] ダイアログで、プロトコルに● [LPR] を選択し、LPR 設定のキュー名に名前（例：lp）を入れます。
③■「LPR バイトアカウントを有効にする」にチェックを入れます。
④ [OK]、[閉じる] ボタンをクリックします。



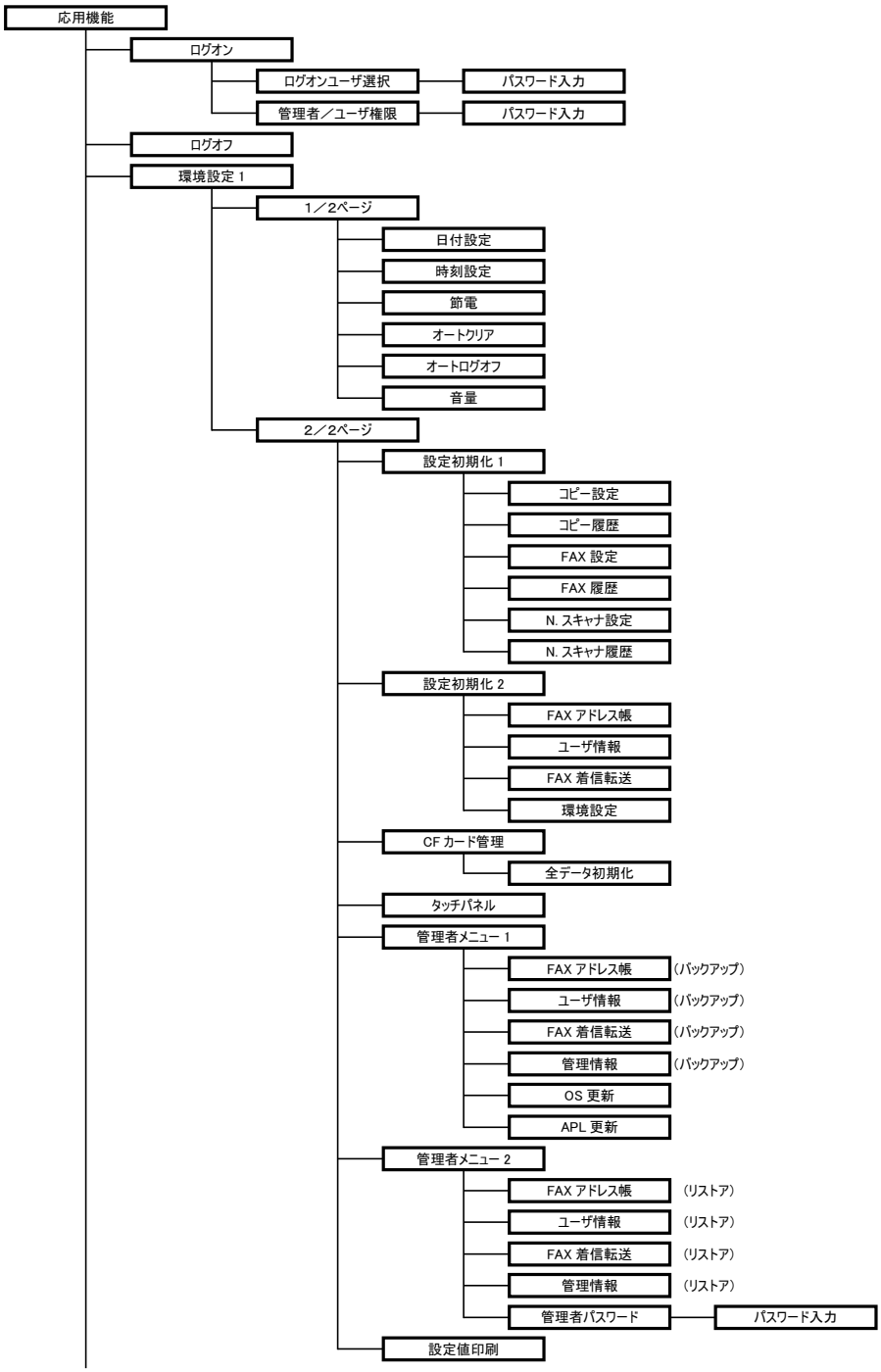
7章 運用管理

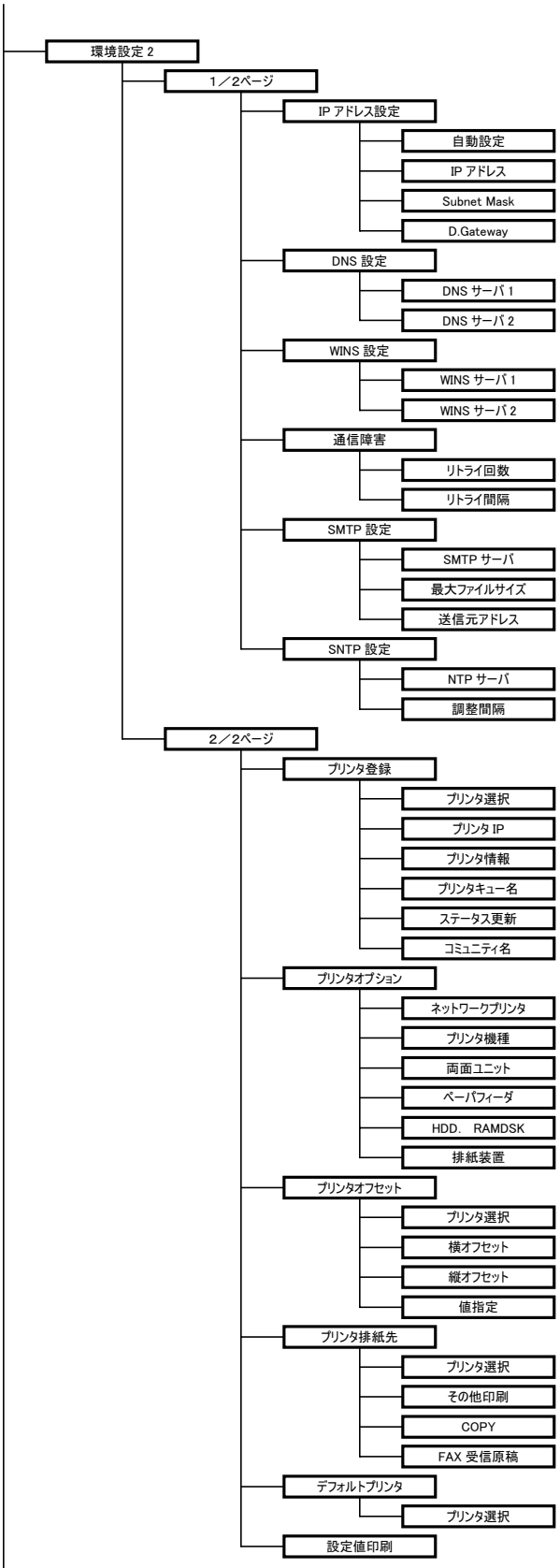
■目次

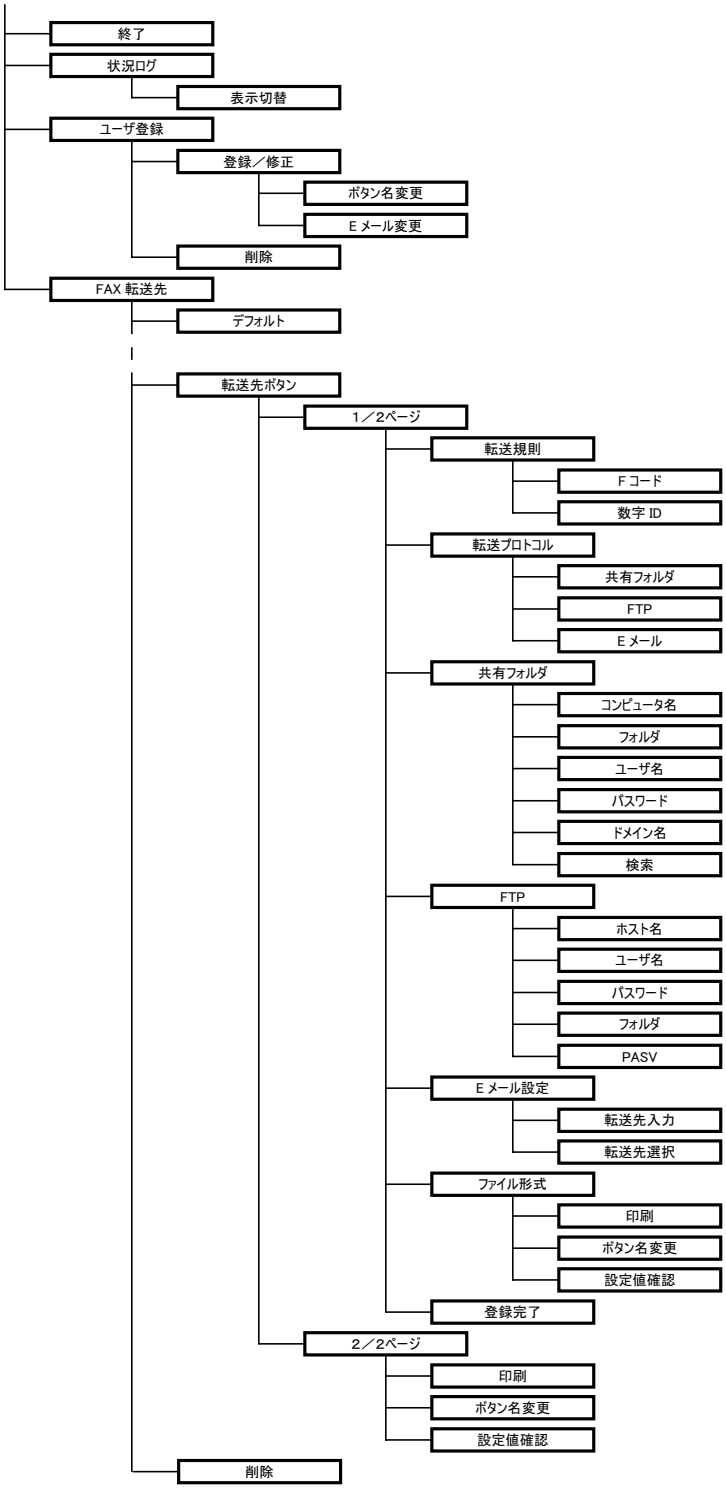
管理モード 2
管理モードとは 2
管理モード画面 5
ログオン／ログオフ 6
ログオン 6
ログオフ 8
環境設定 9
環境設定画面 9
環境設定 1 11
■日付設定 11
■時刻設定 11
■節電設定 12
■オートクリア設定 13
■オートログオフ設定 14
■音量設定 15
■設定初期化 16
■ CF カード管理 18
■タッチパネルの再調整 19
環境設定 2 20
■ IP アドレス設定 20
■サブネットマスク設定 20
■デフォルトゲートウェイ
アドレス設定 20
■ DNS 設定 20
■ WINS 設定 20
■通信障害設定 21
■ SMTP 設定 23
■ SNTP 設定 23
■プリンタ登録 25
■プリンタオプション設定 25
■デフォルトプリンタの設定 25
■プリンタオフセット設定 26
■プリンタ排紙先設定 27
設定値印刷 28
状況ログ画面 29
状況ログ画面表示 29
■状況ログ結果一覧 30
ユーザ管理 34
ユーザの登録 34
ユーザ情報の変更 35
ユーザの削除 36
管理者メニュー 37
設定内容バックアップ 37
設定内容リストア 38
管理者パスワードの変更 40
ファームウェアのバージョンアップ 41
■バージョンの確認 41
■バージョンアップ方法の選択 41
■ Web ブラウザからの
バージョンアップ 42
■ CF カードからの
バージョンアップ 44

管理モードとは

管理モードは、本機のログオン／ログオフ、環境設定、ログ閲覧、ユーザ登録、ファクス転送設定を行なうためのモードです。



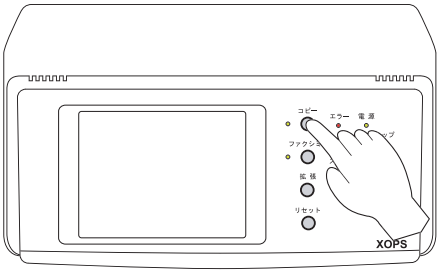

環境設定 2
1／2ページ
IP アドレス設定
自動設定
IP アドレス
Subnet Mask
D.Gateway
DNS 設定
DNS サーバ 1
DNS サーバ 2
WINS 設定
WINS サーバ 1
WINS サーバ 2
通信障害
リトライ回数
リトライ間隔
SMTP 設定
SMTP サーバ
最大ファイルサイズ
送信元アドレス
SNTP 設定
NTP サーバ
調整間隔
2／2ページ
プリンタ登録
プリンタ選択
プリンタ IP
プリンタ情報
プリンタキュー名
ステータス更新
コミュニティ名
プリンタオプション
ネットワークプリンタ
プリンタ機種
両面ユニット
ペーパフィーダ
HDD、 RAMDSK
排紙装置
プリンタオフセット
プリンタ選択
横オフセット
縦オフセット
値指定
プリンタ排紙先
プリンタ選択
その他印刷
COPY
FAX 受信原稿
デフォルトプリンタ
プリンタ選択
設定値印刷


終了
状況ログ
表示切替
ユーザ登録
登録／修正
ボタン名変更
E メール変更
削除
FAX 転送先
デフォルト
転送先ボタン
1／2ページ
転送規則
F コード
数字 ID
転送プロトコル
共有フォルダ
FTP
E メール
共有フォルダ
コンピュータ名
フォルダ
ユーザ名
パスワード
ドメイン名
検索
FTP
ホスト名
ユーザ名
パスワード
フォルダ
PASV
E メール設定
転送先入力
転送先選択
ファイル形式
印刷
ボタン名変更
設定値確認
登録完了
2／2ページ
印刷
ボタン名変更
設定値確認
削除

管理モード画面

管理モード画面へは、以下の操作で入ることができます。

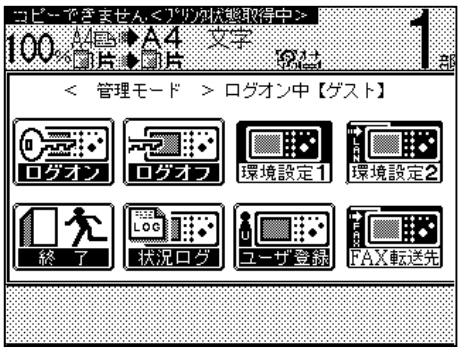
1 コピーモード中に[コピー]ボタンを押します。



ポイント

ファクスモード中に［ファクシミリ］ボタン、スキャナモード中に［拡張］ボタンを押しても、管理モード画面に入ることができます。

2 管理モード画面が表示されます。



メモ

各機能の動作中は、管理モードに入れません。動作が終了してから、管理モードに入ってください。

メモ

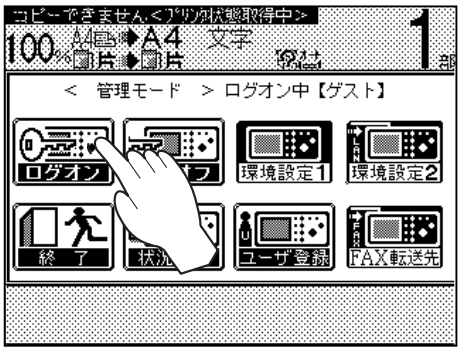
◆管理モード画面を抜けるには

管理モードを抜ける場合は、［終了］ボタンを押すと、電源遮断確認画面になりますので、画面内の［コピー画面］／［FAX画面］／［N. スキャナ画面］ボタンを押してください。
また、操作パネル上の[コピー]／[ファクシミリ］／［拡張］ボタンを押しても管理モード画面を抜けることができます。

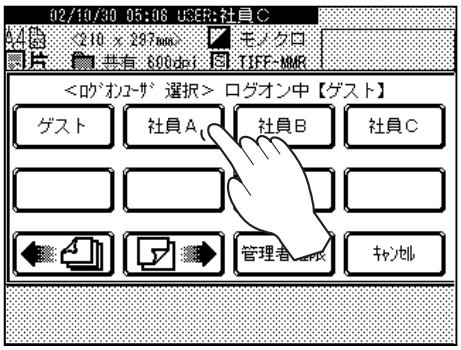
ログオン

本機に登録されているユーザにログオンします。ログオンすることにより、スキャナ転送先や本機の設定状態をユーザごとにカスタマイズして使用することができます。

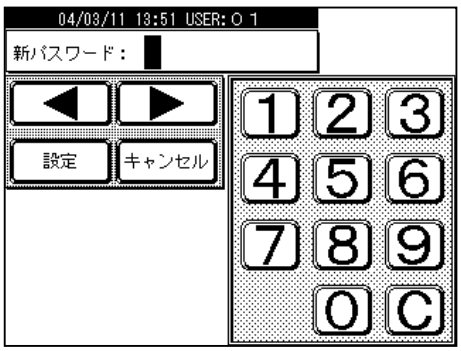
1 管理モード画面にて、
［ログオン］ボタンを押します。



2 ログオンするユーザボタンを押します。

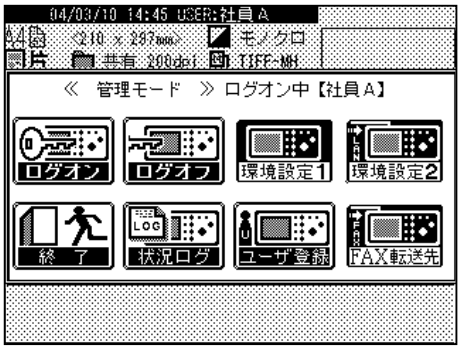


3 パスワードが要求されますので、
テンキーでパスワードを入力し、［設定］ボタンを押します。



◆ログオン成功

パスワードが認証されると、ログオンします。



メモ

ユーザボタンの上に、ログオン中のユーザ名が表示されます。

◆ログオンエラー

パスワードが間違っている場合は、ログオンできません。［確認］ボタンを押して、再度ログオンからやり直してください。

ログオフ

現在ログオン中のユーザをログオフします。ログオンしていないときのユーザは、ゲストになります。

1 管理モード画面にて、
［ログオフ］ボタンを押します。

2 管理モード画面のログオン中ユーザの表示が、【ゲスト】となります。

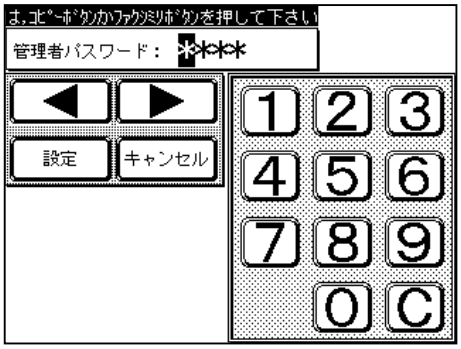
環境設定画面

環境設定では、管理者用パスワードにより保護された設定を行ないます。環境設定画面へは、以下の操作で入ります。

1 管理モード画面にて、[環境設定 1] または [環境設定 2] ボタンを押します。

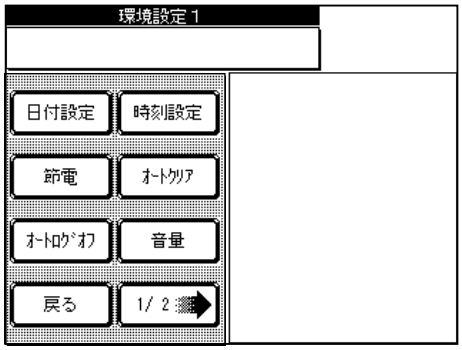
2 管理者パスワードが要求されますので、管理者パスワードの設定で登録したパスワードを入力し、[設定] ボタンを押します。

名　称	工場出荷時の初期値
管理者パスワード	9999

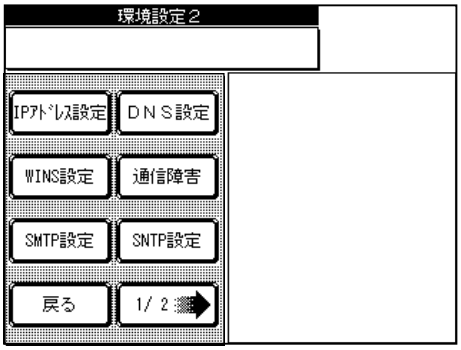


パスワードが認証されると、管理者権限でログオンし､環境設定画面になります。

＜環境設定 1 画面＞

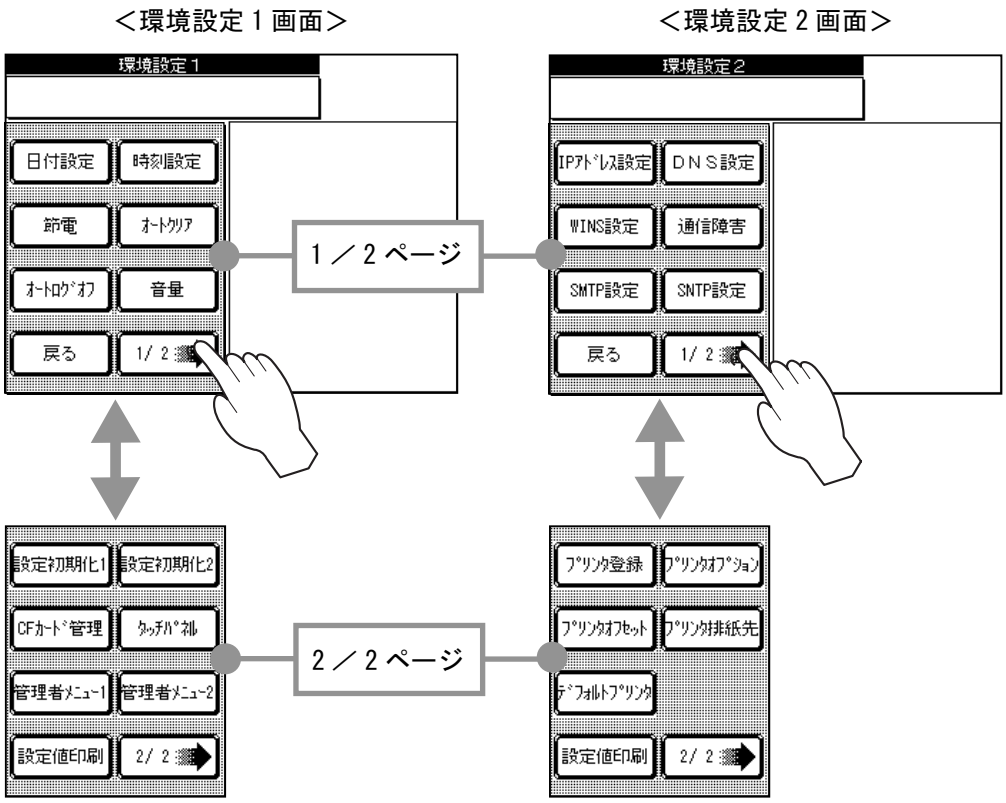


＜環境設定 2 画面＞



補足　環境設定を行なうには、管理者でログオンする必要があります。すでに管理者でログオンしている場合は、環境設定画面へパスワードの要求なしに入ることができます。

3 [環境設定 1]、[環境設定 2] 共に［1 ／ 2 →］ボタンを押すごとに、「2 ／ 2 ページ」と「1 ／ 2 ページ」が交互に切り替わります。
管理モード画面に戻る場合は、［戻る］ボタンを押します。



各設定項目の詳細は、次のページからの環境設定へ進んでください。

環境設定 1

■日付設定

本機の日付を設定します。

参照 「製品導入時の設定」－「日付設定」→ 1-28 を参照してください。

■時刻設定

本機の時刻を設定します。

参照 「製品導入時の設定」－「時刻設定」→ 1-29 を参照してください。

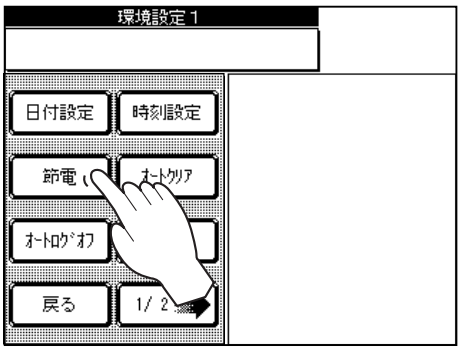
メモ

本機には、SNTP クライアント機能が搭載されており、NTP サーバから日付・時刻を取得して、内蔵時計の自動修正を行なうことができます。
●「SNTP 設定」→ 7-23 ページ

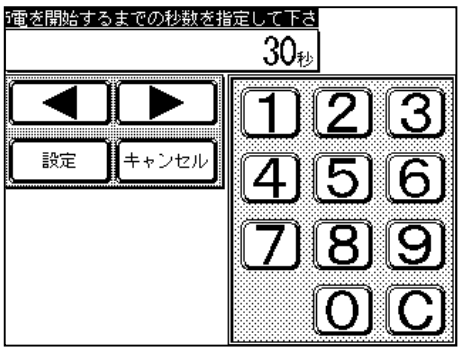
■節電設定

本機は、一定時間操作を行なわなかった場合に、タッチパネルディスプレイの表示をオフにし、節電モードになります。ここでは、節電モードに入るまでの時間設定を行ないます。

1 環境設定 1 画面－ 1 ／ 2 ページにて、［節電］ボタンを押します。



2 テンキーで時間を入力してから、［設定］ボタンを押します。



メモ

［C］ボタンを押すと初期値にリセットします。
節電時間は 10 ～ 999 秒の範囲で入力してください。節電機能をオフにする場合は、0 秒を設定してください。
入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

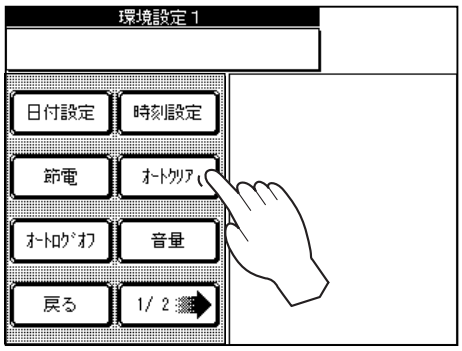
ポイント

節電状態を解除するには、タッチパネルディスプレイ／操作パネル上のいずれかのボタンを押してください。

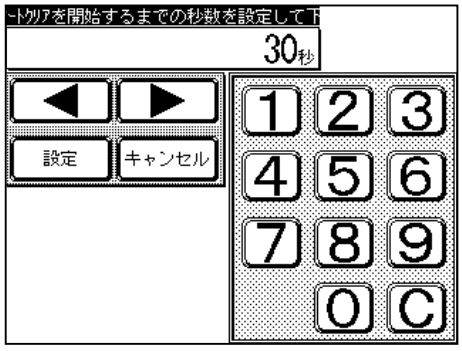
■オートクリア設定

本機は、一定時間操作を行なわなかった場合に、コピー、ファクス、ネットワークスキャナモードで設定値保存した状態にリセットするオートクリア機能があります。ここでは、オートクリアするまでの時間設定を行ないます。

1 環境設定 1 画面－ 1 ／ 2 ページにて、［オートクリア］ボタンを押します。



2 テンキーで時間を入力してから、［設定］ボタンを押します。



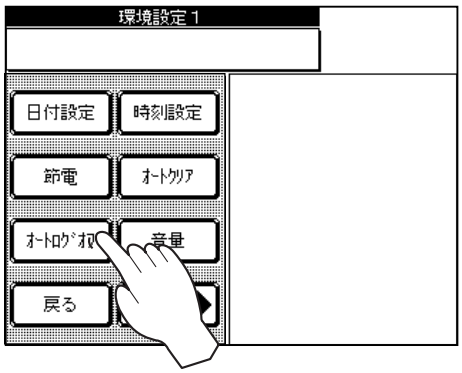
メモ

［C］ボタンを押すと初期値にリセットします。
オートクリア時間は 10 ～ 999 秒の範囲で入力してください。オートクリア機能をオフにする場合は、0 秒を設定してください。
入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

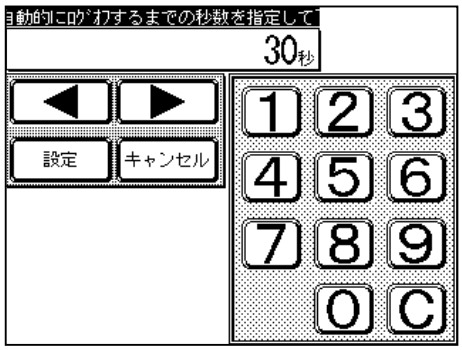
■オートログオフ設定

本機は、一定時間操作を行なわなかった場合に、ログオフを行ないます。ここでは、ログオフするまでの時間設定を行ないます。

1 環境設定 1 画面－ 1 ／ 2 ページにて、［オートログオフ］ボタンを押します。



2 テンキーで時間を入力してから、［設定］ボタンを押します。



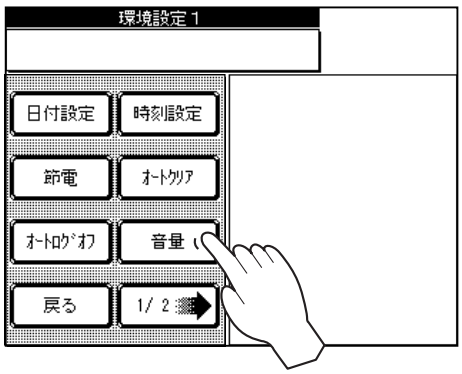
メモ

［C］ボタンを押すと初期値にリセットします。
オートログオフ時間は 10 ～ 999 秒の範囲で入力してください。オートログオフ機能をオフにする場合は、0 秒を設定してください。
入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

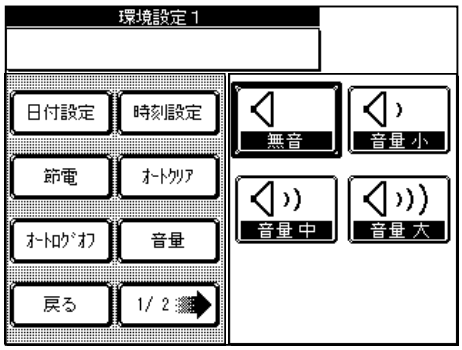
■音量設定

本機のタッチパネル操作時のビープ音量を設定します。

1 環境設定 1 画面－ 1 ／ 2 ページにて、
［音量］ボタンを押します。



2 音量を選択します。



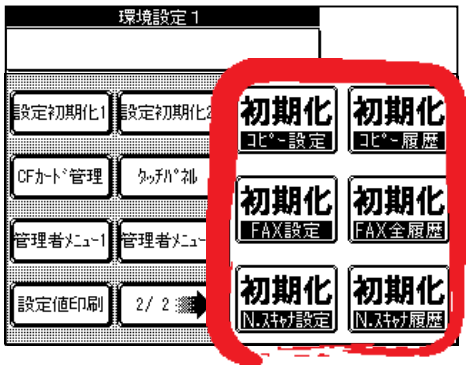
ボタン	説　明
無音	音が出ません。
音量 小	小さい音が出ます。
音量 中	中の音が出ます。
音量 大	大きな音が出ます。

■設定初期化

本機に登録されている各機能の設定値を初期化します。

1 環境設定 1 画面－ 2 ／ 2 ページにて、［設定初期化 1］／［設定初期化 2］ボタンを押します。

2 初期化する機能のボタンを押します。



例）コピー設定初期化

3 初期化確認メッセージが表示されます。
初期化を行なう場合は、［初期化］ボタンを押してください。

注意

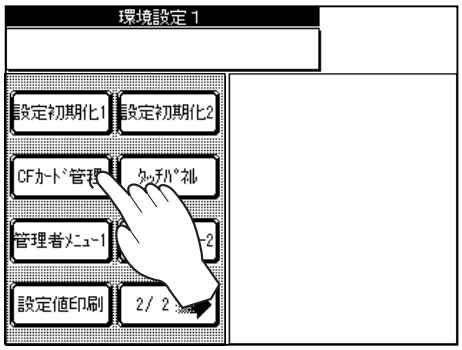
一度初期化を行なうと、設定を復元することはできません。

	ボタン	説　　明
設定初期化1	初期化 コピー設定	コピーモードの各種設定を初期化します。
	初期化 コピー履歴	コピー履歴を消去します。
	初期化 FAX設定	ファクスモードの各種設定を初期化します。
	初期化 FAX全履歴	ファクスの履歴を消去します。
	初期化 N.スキャナ設定	ネットワークスキャナモードの各種設定を初期化します。
	初期化 N.スキャナ履歴	ネットワークスキャナの履歴を消去します。
設定初期化2	初期化 FAXアドレス帳	ファクスのアドレス帳を初期化します。
	初期化 FAX転送規則	ファクス着信転送を初期化します。
	初期化 ユーザ情報	ユーザ情報を初期化します。
	初期化 環境設定	環境設定を初期化します。

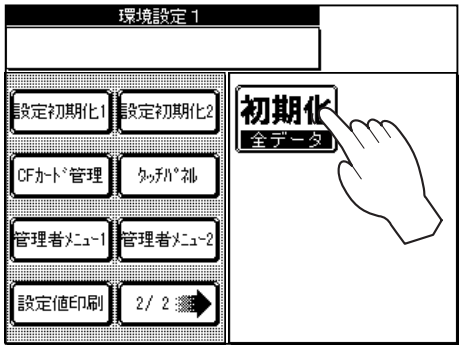
■ CF カード管理

CF カードの初期化を行ないます。CF カードには、送信予約ファクス、メモリ受信ファクス、本機の各種ログ、本体設定値バックアップデータが保存されています。CF カードを初期化することにより、CF カードの空き容量が増えます。

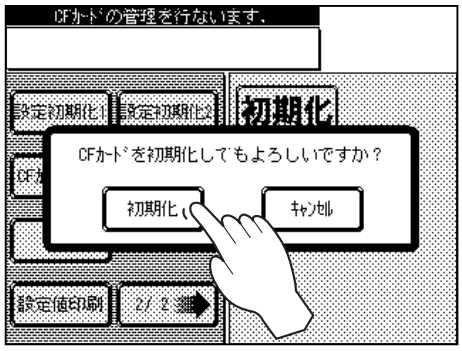
1 環境設定 1 画面－ 2 ／ 2 ページにて、[CF カード管理] ボタンを押します。



2 [全データ初期化] ボタンを押します。



3 初期化確認メッセージが表示されます。初期化を行なう場合は、[初期化] ボタンを押してください。



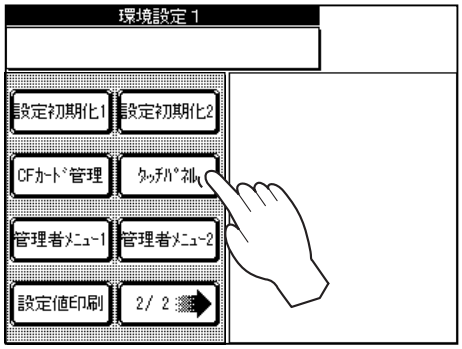
注意

一度初期化を行なうと、CF カード内のデータを復元することはできません。
また、メモリ受信ファクスや、ファクス履歴も消去されます。

■タッチパネルの再調整

本機のタッチパネル補正の調整を行ないます。

1 環境設定 1 画面－ 2 ／ 2 ページにて、［タッチパネル］ボタンを押します。



2 初期化確認メッセージが表示されます。
初期化を行なう場合は、［初期化］ボタンを押してください。

3 次回電源投入時に、タッチパネル調整画面が表示されますので、タッチパネルの調整を行なってください。

参照 「製品導入時の設定」－「タッチパネルの調整」→ 1-22 を参照してください。

環境設定 2

環境設定 2 では、本機のネットワークに関連する設定を行ないます。

■ IP アドレス設定

本機の IP アドレスを設定します。

「製品導入時の設定」－「IP アドレス設定」→ 1-30 を参照してください。

■サブネットマスク設定

本機のサブネットマスクを設定します。

「製品導入時の設定」－「サブネットマスク設定」→ 1-31 を参照してください。

■デフォルトゲートウェイアドレス設定

本機のデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

「製品導入時の設定」－「デフォルトゲートウェイアドレス設定」→ 1-32 を参照してください。

■ DNS 設定

DNS サーバの IP アドレスを設定します。

「製品導入時の設定」－「DNS 設定」→ 1-33 を参照してください。

■ WINS 設定

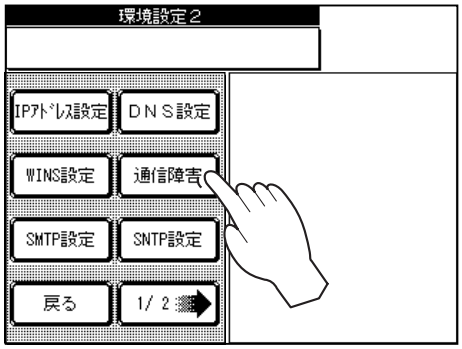
WINS サーバの IP アドレスを設定します。

「製品導入時の設定」－「WINS 設定」→ 1-34 を参照してください。

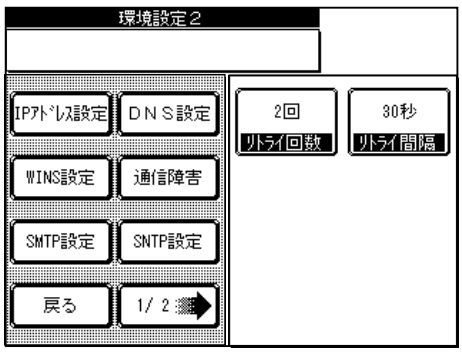
■通信障害設定

通信障害が発生した場合の、リトライ回数とリトライ間隔を設定します。

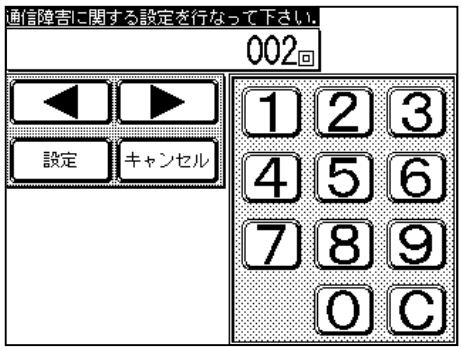
1 環境設定 2 画面－ 1 ／ 2 ページにて、
［通信障害］ボタンを押します。



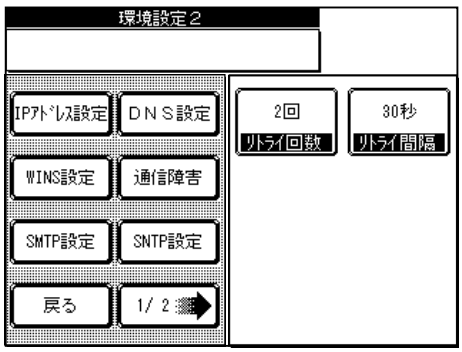
2 ［リトライ回数］ボタンを押します。



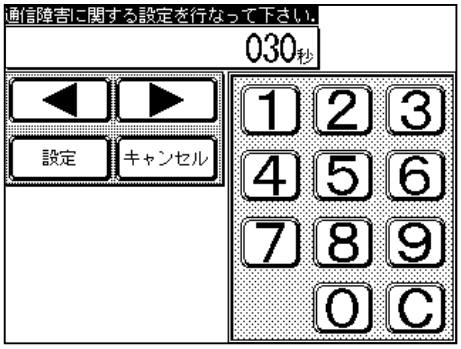
3 テンキーでリトライ回数を入力して、
［設定］ボタンを押します。



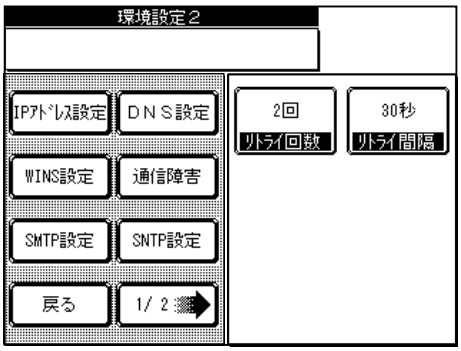
4 ［リトライ間隔］ボタンを押します。



5 テンキーでリトライ間隔を入力して、
［設定］ボタンを押します。



6 設定が反映されます。



■ SMTP 設定

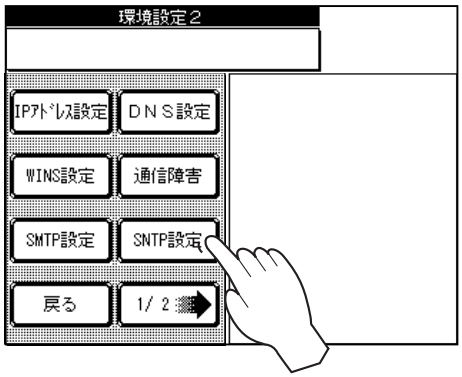
メール転送で使用する SMTP サーバの設定を行ないます。

参照 「製品導入時の設定」－「SMTP 設定」→ 1-35 を参照してください。

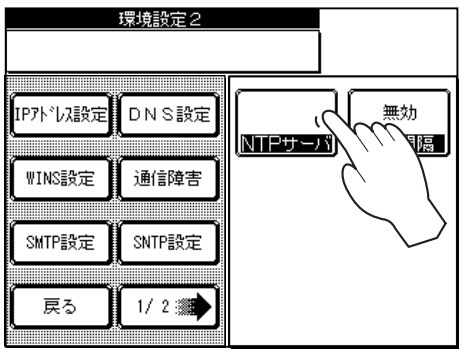
■ SNTP 設定

本機は、SNTP 機能を使用して、日時設定を自動で行なうことができます。ここでは、SNTP の設定を行ないます。

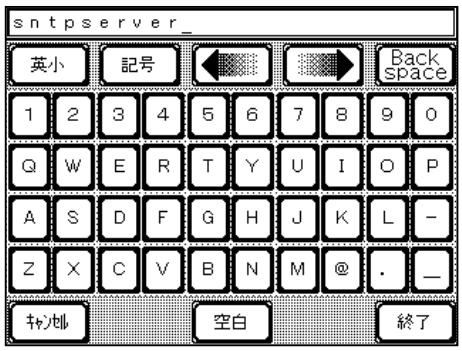
1 環境設定 2 画面－ 1 ／ 2 ページにて、[SNTP 設定] ボタンを押します。



2 [NTP サーバ] ボタンを押します。



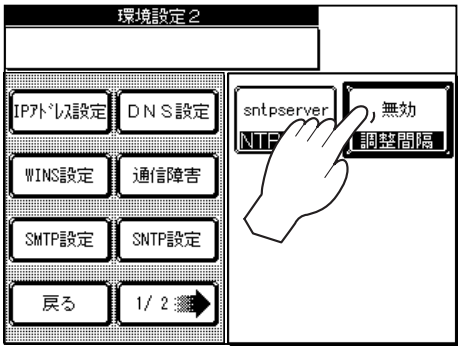
3 ソフトウェアキーボードで SNTP サーバ名を入力し、[終了] ボタンを押します。



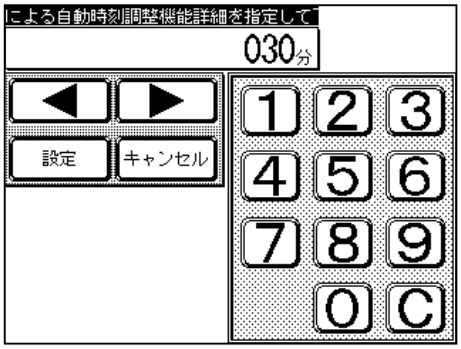
メモ

SNTP サーバー名の代わりに、IP アドレスを入力することもできます。
例：192.168.1.1

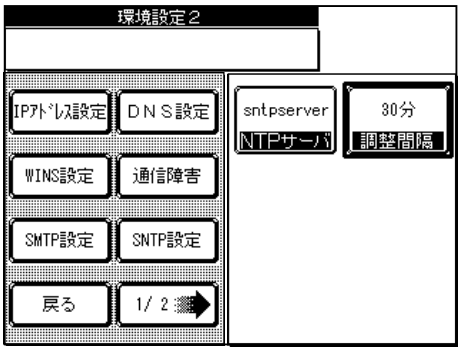
4 ［調整間隔］ボタンを押します。



5 テンキーで調整間隔を入力して、
［設定］ボタンを押します。



6 設定が反映されます。



■プリンタ登録

本機に接続するプリンタの登録を行ないます。ローカル接続プリンタ 1 台と、ネットワーク接続プリンタを 5 台まで登録することができます。

「製品導入時の設定」－「プリンタ登録」→ 1-37 を参照してください。

■プリンタオプション設定

ローカル、またはネットワークで接続されているプリンタのオプション設定を行ないます。

「製品導入時の設定」－「プリンタオプション設定」→ 1-39 を参照してください。

■デフォルトプリンタの設定

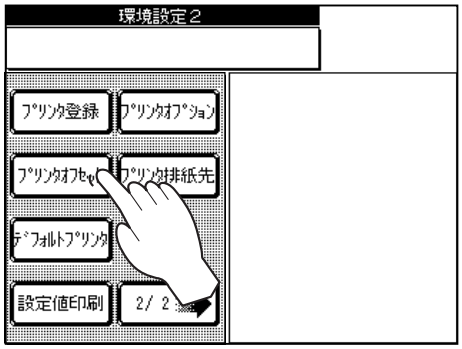
本機が通常使用するプリンタを選択します。あらかじめ、「プリンタ登録」→ 1-37 ページにてプリンタを登録しておく必要があります。
なお、コピー機能で使用するプリンタは、「プリンタ選択」→ 2-22 ページから行ないます。

「製品導入時の設定」－「デフォルトプリンタの設定」→ 1-40 を参照してください。

■プリンタオフセット設定

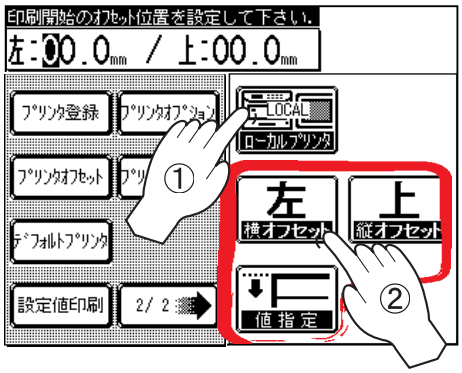
ローカル､またはネットワークで接続されているプリンタのオフセット（印刷位置）の調整を行ないます。

1 環境設定 2 画面－ 2 ／ 2 ページにて、［プリンタオフセット］ボタンを押します。

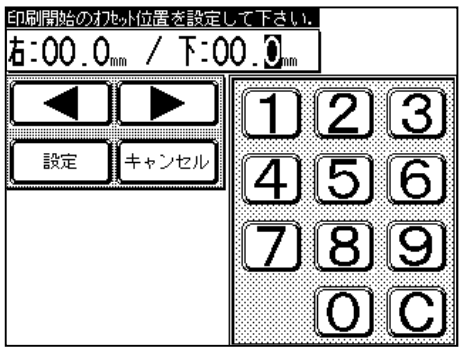


2 ①［ローカルプリンタ］／［ネットワークプリンタ］ボタンを数回を押し、設定を行なうプリンタを呼び出します。

②［横オフセット］／［縦オフセット］ボタンを押して､「左」「右」または「上」「下」のどちらにオフセットを設定するかを選択し、［値指定］ボタンを押します。



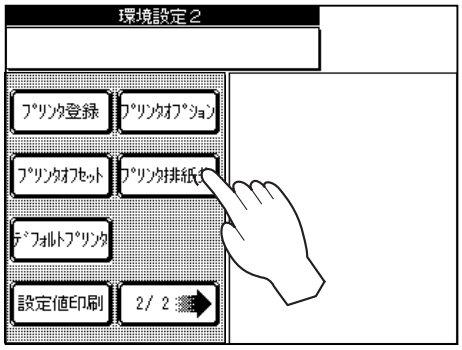
3 テンキーでオフセット値を入力し、［設定］ボタンを押します。



■プリンタ排紙先設定

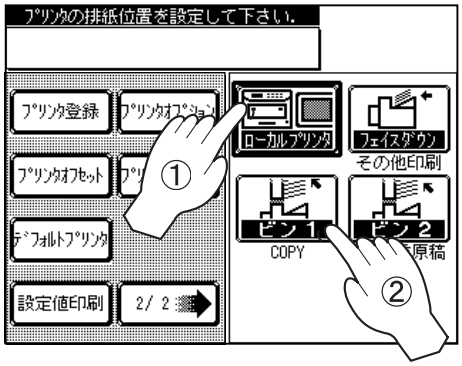
ローカル、またはネットワークで接続されているプリンタに、オプションのマルチビンや、フィニッシャユニットを装着している場合、コピー、ファクス、その他の印刷物の排紙位置を指定することができます。

1 環境設定 2 画面－ 2 ／ 2 ページにて、［プリンタ排紙先］ボタンを押します。



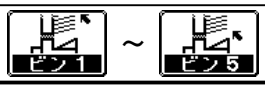
2 ①［ローカルプリンタ］／［ネットワークプリンタ］ボタンを数回を押し、設定を行なうプリンタを呼び出します。

②［F－ダウントレイ］ボタンを押して、COPY ／ FAX 受信原稿／その他印刷のそれぞれ排紙位置を設定します。



メモ

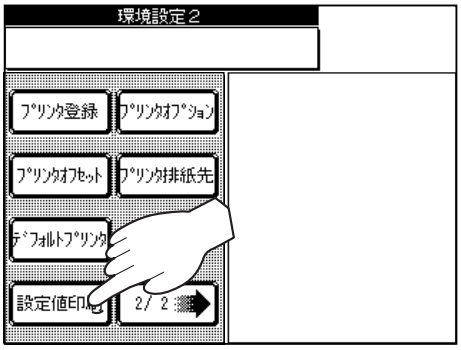
表示される排紙位置は、ご利用のプリンタの機種や、オプションによって異なります。
受信ファクス以外のファクス関係の印刷は、「その他印刷」から排紙します。

ボタン	説　　明
	フェイスダウントレイから排出します。 排紙される原稿の向きは、裏向きになります。
	フェイスアップトレイから排出します。 排紙される原稿の向きは、表向きになります。
	フィニッシャのフェイスダウントレイから排出します。 排紙される原稿の向きは、裏向きになります。
	フィニッシャのフェイスアップトレイから排出します。 排紙される原稿の向きは、表向きになります。
	指定番号のマルチビンから排出します。

設定値印刷

現在ログイン中のユーザの設定値を印刷します。

1 環境設定 1 画面－ 2 ／ 2 ページにて、
［設定値印刷］ボタンを押します。

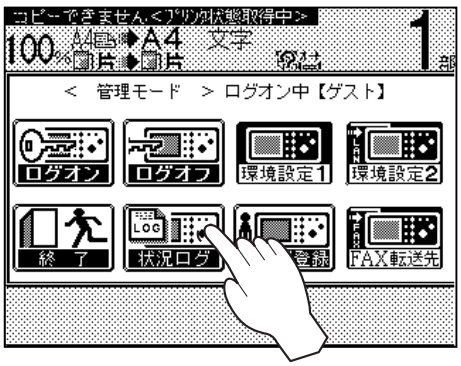


2 設定値リストが印刷されます。

状況ログ画面表示

ここでは、本機に蓄積されている全てのログ（環境状態、コピー、ファクス、ネットワークスキャナ、ネットワークコピー）を確認します。

1 管理モード画面にて、
[状況ログ] ボタンを押します。



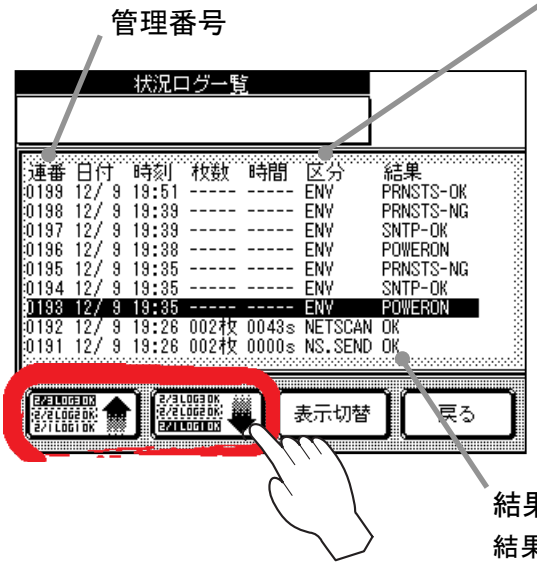
ポイント

管理モード画面へは、コピーモード中に［コピー］ボタン、ファクスモード中に［ファクシミリ］ボタン、スキャナモード中に［拡張］ボタンを押すと入ることができます。

2 状況ログ画面が表示されます。
[↑][↓]ボタンを押すとスクロールします。
1 秒以上押し続けると、10 ステップ単位でスキップします。

メモ

最大表示件数は 200 件です。
[表示切替] ボタンを押すと、履歴の詳細を表示します。



COPY	：コピー
NWCOPY	：ネットワークコピー
FAXSEND	：ファクス送信
FAX タイマ	：ファクス送信予約
PCFAX	：PC ファクス送信
FAXRECV	：ファクス受信
FAX PRN	：受信ファクス印刷
NETSCAN	：ネットワークスキャナ
NS.SEND	：ネットワークスキャナのファイル転送
FAX-FWD	：ファクス着信転送
ENV	：環境状態（Environment）

結果の説明は、「状況ログ結果一覧」（→次のページ）をご覧ください。
エラーが発生した場合は、エラーメッセージ一覧（→ 8-2 ページ）も合わせてご覧ください。

■状況ログ結果一覧

◆コピー／ネットワークコピー

区 分	結 果	説　　明
COPY NWCOPY	OK	正常終了
	STOP	処理停止
	SCSI NG	SCSI にて異常発生
	SCAN NG	読取処理にて異常発生
	ADF NG	ADF にて異常発生
	PRINT NG	印刷処理にて異常発生
	NG	異常終了（上記以外）

◆ファクス

区 分	結 果	説　　明
FAXSEND	OK	正常終了
FAX タイマ	STOP	処理停止
PCFAX	PROGRESS	通信中
FAXRECV	DELETE	ジョブ削除中
FAX PRN	RETRY	再通信中
	PRINTOUT	印刷中
	WAITING	待機中
	COMM NG	通信処理にて異常発生
	IMG NG	送信原稿にて画像（作成）異常発生
	PRINTOUT NG	印刷処理にて異常発生
	MEM NG	メモリ不足による異常発生
	NG	異常終了（上記以外）

◆ネットワークスキャナ

区 分	結 果	説　　明
NETSCAN	OK	正常終了
	STOP	処理停止
	SCSI NG	SCSI にて異常発生
	SCAN NG	読取処理にて異常発生
	ADF NG	ADF にて異常発生
	FWD NG	転送処理にて異常発生
	IMG NG	画像変換にて異常発生
	MEM NG	メモリ不足による異常発生
	NG	異常終了（上記以外）

◆ネットワーク転送

区 分	結 果	説　　明
NS. SEND FAX-FWD	OK	正常終了
	S-NEGO NG	SMB ネットワークエラー／接続失敗
	S-ACES NG	SMB ネットワークエラー／転送先アクセス拒否
	S-DEVI NG	SMB ネットワークエラー／転送先名称無効
	S-NAME NG	SMB ネットワークエラー／転送先不明
	S-BUSY NG	SMB ネットワークエラー／通信異常
	S-CNCL NG	SMB ネットワークエラー／通信がキャンセルされた
	S-PASS NG	SMB ネットワークエラー／パスワードエラー
	S-PATH NG	SMB ネットワークエラー／ネットワーク利用不可
	S-NET NO	SMB ネットワークエラー／転送先が見つからない
	S-DUSE NG	SMB ネットワークエラー／通信中：ファイル使用中
	S-CONN NG	SMB ネットワークエラー／通信中：接続失敗
	S-OPEN NG	SMB ネットワークエラー／通信中：ファイルオープン失敗
	S-SEND NG	SMB ネットワーク送信エラー
	S-PAGE NO	SMB ネットワーク送信ページ無し
	S-PAGE NG	SMB ネットワーク送信ページ異常
	S-INIT NG	SMB ネットワーク初期パラメータエラー
	F-CSKT NG	FTP ネットワークエラー／制御用ソケット作成失敗
	F-CNEG NG	FTP ネットワークエラー／制御用接続失敗
	F-DSKT NG	FTP ネットワークエラー／データ転送用ソケット作成失敗
	F-DNEG NG	FTP ネットワークエラー／データ転送用接続失敗
	F-SEND NG	FTP ネットワークエラー／送信失敗
	F-DATA NG	FTP ネットワークエラー／画像ファイル読み込み失敗
	F-HST DNG	FTP ネットワークエラー／ DNS ホスト名が見つからない
	F-SVC DNG	FTP ネットワークエラー／ DNS サービスの異常
	F-ILE DNG	FTP ネットワークエラー／ DNS 回復不能なエラー
	F-DRC DNG	FTP ネットワークエラー／ DNS データレコードが見つからない
	F-PRC DNG	FTP ネットワークエラー／ DNS その他のエラー
	F-PAGE NO	FTP ネットワーク送信ページ無し
	F-PAGE NG	FTP ネットワーク送信ページ異常
	F-INIT NG	FTP ネットワーク初期パラメータエラー

区 分	結 果	説　　明
NS. SEND FAX-FWD	E-SOCK NG	SMTP ネットワークエラー／ソケット作成失敗
	E-NEGO NG	SMTP ネットワークエラー／接続失敗
	E-SVER NG	SMTP ネットワークエラー／サーバ準備 NG
	E-SEND NG	SMTP ネットワークエラー／送信失敗
	E-DMIN NG	SMTP ネットワークエラー／ドメイン名認識 NG
	E-MADR NG	SMTP ネットワークエラー／送信元メールアドレス認識 NG
	E-SADR NG	SMTP ネットワークエラー／送信先メールアドレス認識 NG
	E-STRT NG	SMTP ネットワークエラー／メール開始通知認識 NG
	E-MAIL NG	SMTP ネットワークエラー／メール送信認識 NG
	E-END NG	SMTP ネットワークエラー／ SMTP 通信終了認識 NG
	E-DATA NG	SMTP ネットワークエラー／画像データ読み出し失敗
	E-B64B NG	SMTP ネットワークエラー／ BASE64 →バイナリ変換失敗
	E-HST DNG	SMTP ネットワークエラー／ DNS ホスト名が見つからない（SMTP サーバ）
	E-SVC DNG	SMTP ネットワークエラー／ DNS サービスの異常（SMTP サーバ）
	E-PRC DNG	SMTP ネットワークエラー／ DNS 回復不能なエラー（SMTP サーバ）
	E-DRC DNG	SMTP ネットワークエラー／ DNS データレコードが見つからない（SMTP サーバ）
	E-ETC DNG	SMTP ネットワークエラー／ DNS その他のエラー（SMTP サーバ）
	E-TEXT NG	SMTP ネットワークエラー／本文異常
	E-TITL NG	SMTP ネットワークエラー／タイトル異常
	E-PAGE NO	SMTP ネットワーク送信ページ無し
	E-PAGE NG	SMTP ネットワーク送信ページ異常
	E-INIT NG	SMTP ネットワーク初期パラメータエラー
	L-SOCK NG	LPR ネットワークエラー／ソケット作成エラー
	L-SKTB NG	LPR ネットワークエラー／ソケットバインドエラー
	L-SKTN NG	LPR ネットワークエラー／ソケット接続エラー
	L-SKTL NG	LPR ネットワークエラー／ソケットブロッキング設定エラー
	L-SKTO NG	LPR ネットワークエラー／ソケットオプション設定エラー
	L-SEQU NG	LPR ネットワークエラー／シーケンスエラー
	L-ACKT NG	LPR ネットワークエラー／応答待ちタイムアウトエラー
	L-READ NG	LPR ネットワークエラー／印刷データ読み出しエラー
	L-HST DNG	LPR ネットワークエラー／ DNS ホスト名が見つからない
	L-SVC DNG	LPR ネットワークエラー／ DNS サービスの異常
	L-PRC DNG	LPR ネットワークエラー／ DNS 回復不能なエラー
	L-DRC DNG	LPR ネットワークエラー／データレコードが見つからない
	L-ETC DNG	LPR ネットワークエラー／ DNS その他エラー

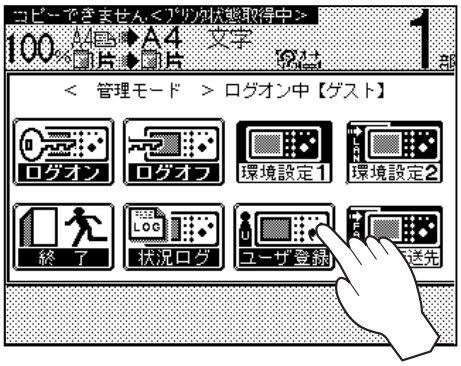
◆環境情報

区 分	結 果	説　　明
ENV	POWERON	電源 ON
	SLEEP	節電発生（バックライトオフなど）
	AUTOCLR	オートクリア発生
	USR-ﾛｸﾞｵﾝ	ユーザログオン
	USR-ﾛｸﾞｵﾌ	ユーザログオフ
	USR-ADD	ユーザ追加
	USR-BNAME	ユーザ名称変更
	USR-EMAIL	ユーザメールアドレス変更
	USR-DEL	ユーザ削除
	USR-ADMIN	ユーザ管理者に移行
	FAXFWDADD	ファクス着信転送用ルーティングテーブル追加
	FAXFWDCHG	ファクス着信転送用ルーティングテーブル修正
	FAXFWDDEL	ファクス着信転送用ルーティングテーブル削除
	FAX-RECV	LPR 受信（ネットワークプリントのこと）
	SNTP-OK	SNTP 時刻更新
	SNTP-NG	SNTP 更新失敗

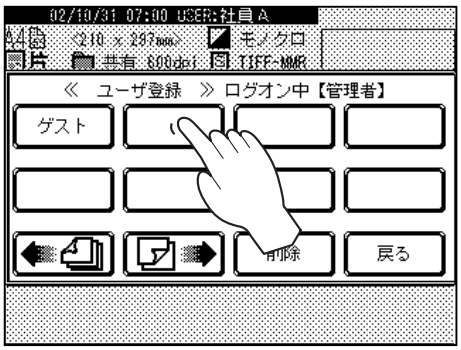
ユーザの登録

本機にログオンできるユーザの登録を行ないます。

1 管理者権限でログオンします。
管理モード画面にて、
[ユーザ登録] ボタンを押します。



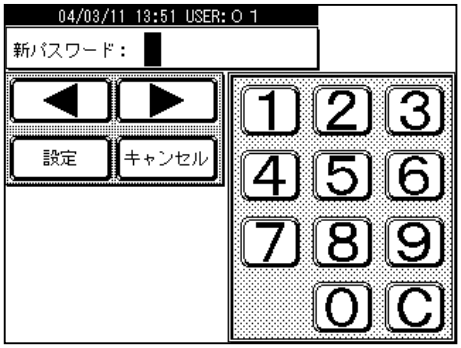
2 ユーザ登録画面にて、
登録するユーザボタンを押します。



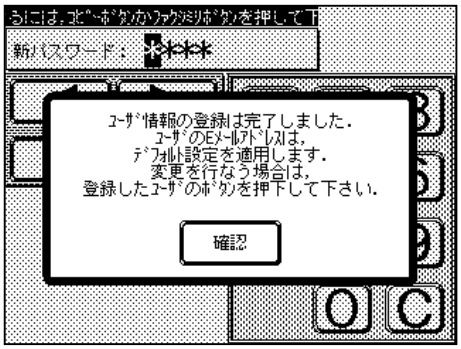
メモ

ゲストには登録できません。
[←] [→] ボタンを押すと、前後の 8 件を表示することができます。
ユーザ登録できる件数は、最大 49 件です。

3 登録するユーザ名とパスワードの入力が要求されますので、ソフトウェアキーボードから入力し、[設定] ボタンを押します。



4 ユーザ登録確認画面が表示されます。
[確認] ボタンを押し、
管理モード画面に戻ります。



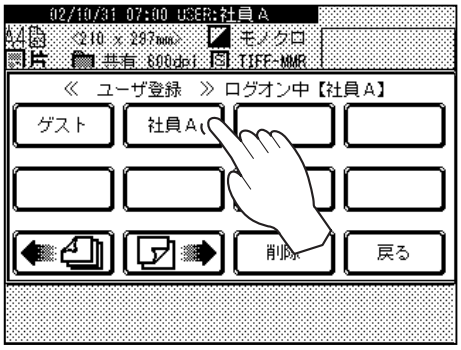
このユーザ設定されている E メールアドレスを変更する場合は、「ユーザ情報の変更」にて設定を行なってください。(→次ページ)

ユーザ情報の変更

本機に登録されているユーザ情報の変更を行ないます。

1 変更を行なうユーザ、または管理者権限でログオンします。

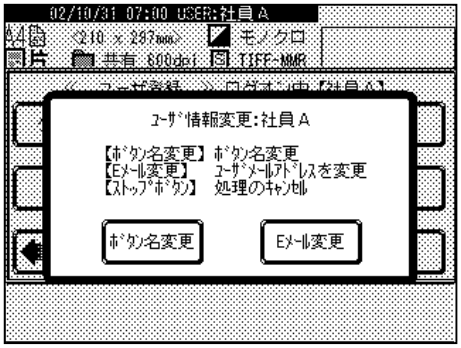
2 ユーザ登録画面にて、変更するユーザボタンを押します。



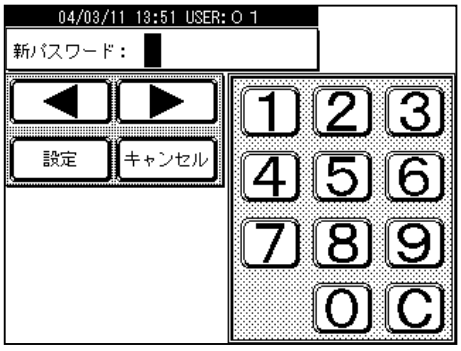
メモ

ゲストは変更できません。
[←] [→] ボタンを押すと、前後の 8 件を表示することができます。

3 ユーザ情報変更画面が表示されますので、[ボタン名変更] ／ [E メール変更] ボタンを押し、それぞれの変更を行ないます。



4 ボタン名を変更した場合は、パスワード入力画面が表示されます。
新しいパスワードを入力してから、[設定] ボタンを押します。

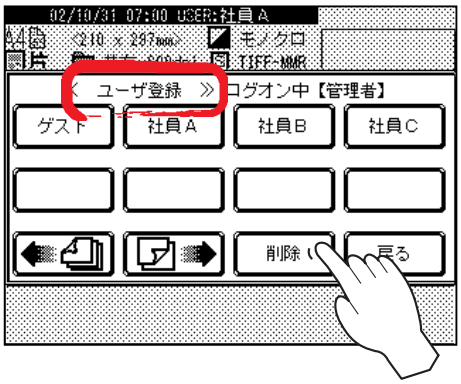


ユーザの削除

本機に登録されているユーザの削除を行ないます。

1 削除を行なうユーザ、または管理者権限でログオンします。

2 ユーザ登録画面にて、
[削除] ボタンを押します。
画面の表示が「ユーザ削除」に変わります。

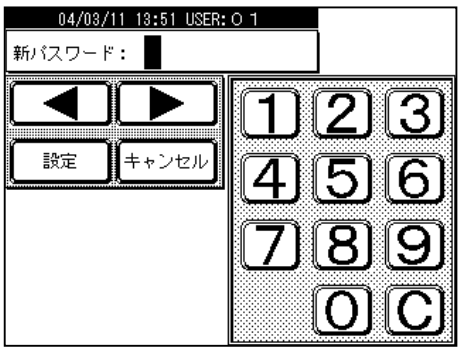


3 削除するユーザボタンを押します。

メモ

ゲストは削除できません。
[←] [→] ボタンを押すと、前後の 8 件を表示することができます。

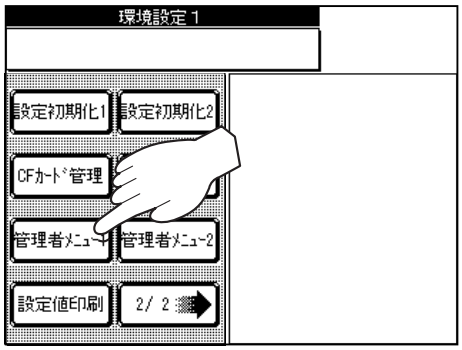
4 パスワードが要求されますので、
テンキーで削除するログオンユーザのパスワードを入力し、[設定] ボタンを押します。



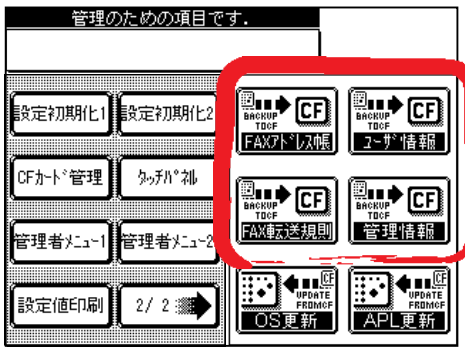
設定内容バックアップ

本機に設定されている、FAX アドレス帳、FAX 転送規則、ユーザ管理情報、管理モード情報を CF カードに保存し、バックアップを行なうことができます。

1 環境設定 1 画面－ 2 ／ 2 ページにて、[管理者メニュー 1] ボタンを押します。



2 バックアップを行なう項目を選択します。



ボタン	作成されるファイル	説　　明
FAXｱﾄﾞﾚｽ帳	fcpyadr2.dat fcpygrp2.dat	ファクスのアドレス帳、グループデータをバックアップします。
FAX転送規則	fcpyffwd.dat	ファクス着信転送のルーティングテーブルをバックアップします。
ﾕｰｻﾞ情報	fcpyuinf.dat	ユーザ情報をバックアップします。
管理情報	fcpyopti.dat	環境設定情報をバックアップします。

メモ

バックアップで作成されたファイルをパソコンに保存することで、2 重にバックアップを行なうことが出来ます。バックアップファイルをパソコンで直接編集することはできません。

3 バックアップが完了しました。
［確認］ボタンを押してください。

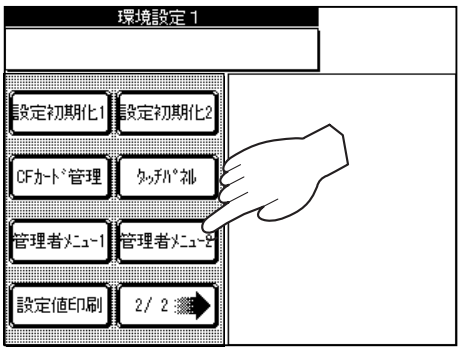
メモ

バックアップデータがすでに CF カードに存在する場合は、上書きを確認する画面になります。
上書きする場合は、［確認］ボタンを押してください。

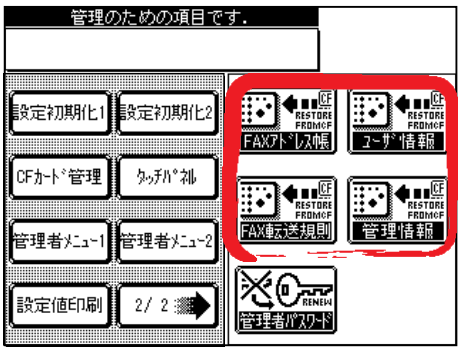
設定内容リストア

CF カードにバックアップしてある各種設定を本機に戻します。

1 環境設定 1 画面－ 2 ／ 2 ページにて、
［管理者メニュー 2］ボタンを押します。



2 リストアを行なう項目を選択します。



ボタン	リストア元のファイル	説　　明
CF RESTORE FROMCF FAXｱﾄﾞﾚｽ帳	fcpyadr2.dat fcpygrp2.dat	ファクスのアドレス帳、グループデータをリストアします。左記のファイルが存在しない場合は、旧データ（Ver:1.10 以前）でバックアップしたファイルを検索して「fcpy_adr.dat/fcpy_grp.dat」からリストアします。
CF RESTORE FROMCF FAX転送規則	fcpyffwd.dat	ファクス着信転送のルーティングテーブルをリストアします。
CF RESTORE FROMCF ﾕｰｻﾞ情報	fcpyuinf.dat	ユーザ情報をリストアします。
CF RESTORE FROMCF 管理情報	fcpyopti.dat	環境設定情報をリストアします。

3 ［確認］ボタンを押してください。

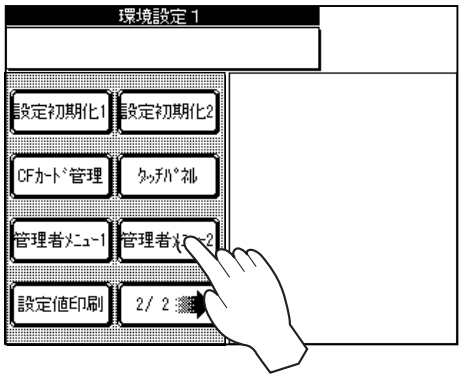
4 リストアが完了しました。
バックアップファイルを削除する場合は、［削除］ボタンを押してください。
バックアップファイルを残しておく場合は、［スキップ］ボタンを押してください。

管理者パスワードの変更

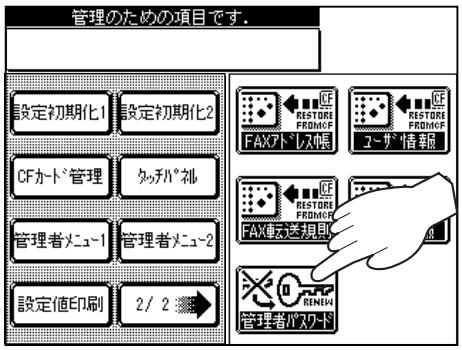
管理者権限でログオンするためのパスワードの変更を行ないます。工場出荷時の初期値は次の通りです。

名　称	工場出荷時の初期値
管理者パスワード	9999

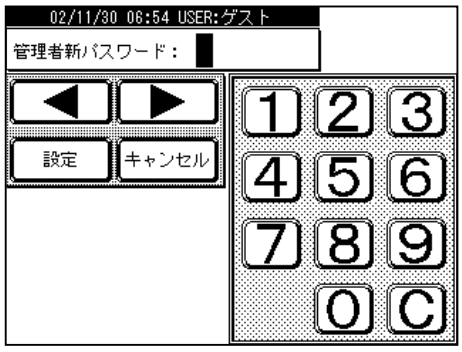
1 環境設定 1 画面－ 2 ／ 2 ページにて、
［管理者メニュー 2］ボタンを押します。



2 ［管理者パスワード］ボタンを押します。



3 新しい管理者パスワードを入力し、
［設定］ボタンを押します。



メモ

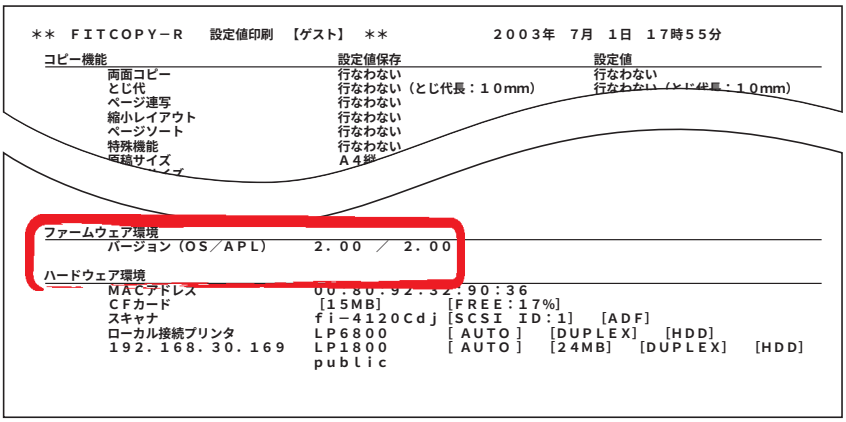
古いパスワードは消去され、ここで設定された新しいパスワードが有効になります。

ファームウェアのバージョンアップ

CF カードによる本機のファームウェアのバージョンアップを行ないます。最新のファームウェアは、弊社ホームページ（www.silex.jp）にて随時公開しておりますので、ダウンロードしてご利用ください。
ファームウェアのバージョン確認方法は、次の「バージョンの確認」をご覧ください。

■バージョンの確認

ファームウェアのバージョンは、設定値印刷の後方に印刷されます。設定値印刷は、各モードの応用機能画面にある［設定値印刷］ボタンを押して行ないます。



** FITCOPY-R 設定値印刷 【ゲスト】 ** 2003年 7月 1日 17時55分

コピー機能	設定値保存	設定値
両面コピー	行なわない	行なわない
とじ代	行なわない（とじ代長：10mm）	行なわない（とじ代長：10mm）
ページ連写	行なわない	
縮小レイアウト	行なわない	
ページソート	行なわない	
特殊機能	行なわない	
原稿サイズ	A4縦	

ファームウェア環境		
バージョン（OS／APL）	2.00 ／ 2.00	

ハードウェア環境		
MACアドレス	00:80:92:32:90:36	
CFカード	[15MB]	[FREE:17%]
スキャナ	fi-4120Cdj	[SCSI ID:1] [ADF]
ローカル接続プリンタ	LP6800	[AUTO] [DUPLEX] [HDD]
192.168.30.169	LP1800	[AUTO] [24MB] [DUPLEX] [HDD]
	public	

■バージョンアップ方法の選択

ファームウェアのバージョンは、以下の方法があります。本機をご利用の環境に応じて選択してください。

以下のどちらかを選択して進んでください。

■ Web ブラウザからのバージョンアップ　→次のページから
本機をネットワークに接続してご利用の場合は、こちらを選択してください。
Web ブラウザから簡単にバージョンアップができます。

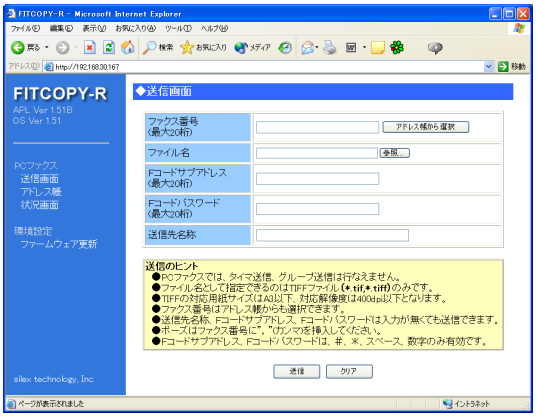
■ CF カードからのバージョンアップ　→ 7-44 ページから
本機に装着している CF カードから、バージョンアップを行ないます。CF カードへダウンロードしたデータを書き込む為の CF カードアダプタ、または CF カードリーダライタが必要です。

■ Web ブラウザからのバージョンアップ

ファームウェアのバージョンアップは、本機がコピー、ファックス、ネットワークスキャナの待機状態で行なってください。

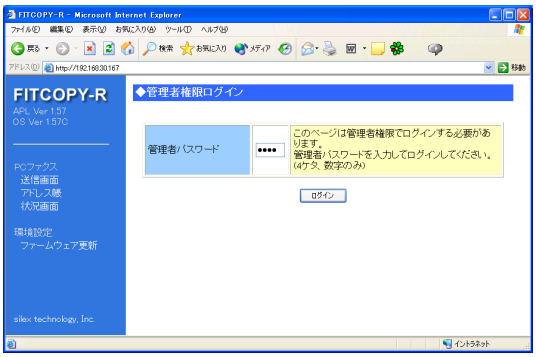
1 Web ブラウザから、PC ファクス送信画面を開きます。詳しい操作方法については、「PC ファクス送信画面を開く」→ 4-4 ページをご覧ください。

2



PC ファクス送信画面にて、
[ファームウェア更新] リンクをクリックします。

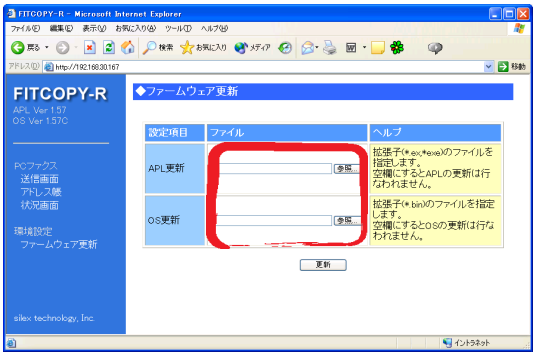
3



管理者パスワードが要求されますので、管理者パスワードの設定で登録したパスワードを入力し、
[ログイン] ボタンを押します。

名　称	工場出荷時の初期値
管理者パスワード	9999

4

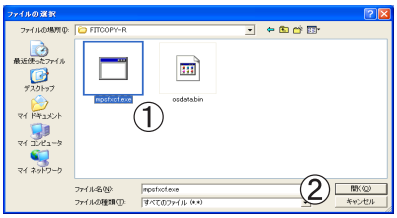


[参照 . . .] ボタンを押して、OS と APL のバージョンアップファームウェアを選択してください。

注意

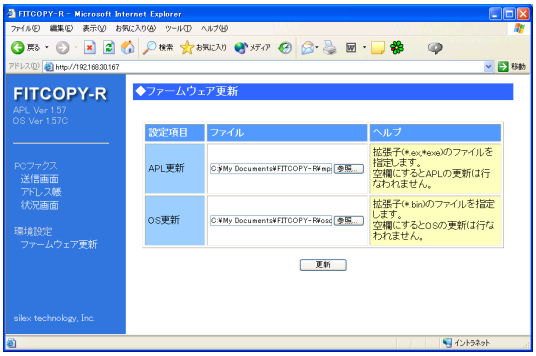
OS と APL がセットで配布されている場合は、OS と APL の両方を同時にバージョンアップしてください。

バージョンアップファームウェアの選択方法



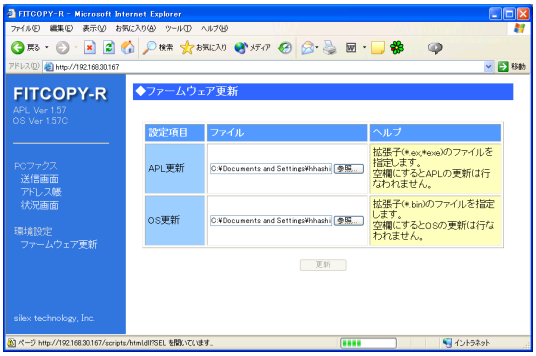
①ファイルを選択して、
②［開く］ボタンを押します。

4



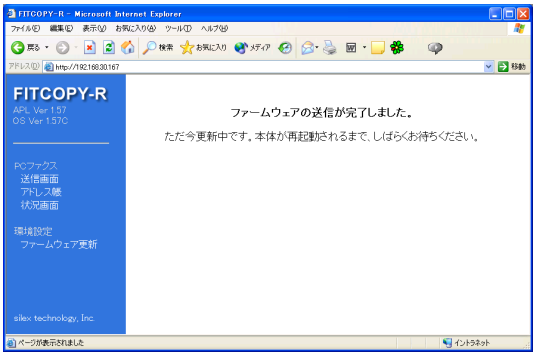
［更新］ボタンを押します。

5



バージョンアップデータを本機に送信しています。

6 ◆バージョンアップデータ送信完了



バージョンアップデータの送信が完了しました。
本機のバージョンアップが完了して、再起動するまでお待ちください。

本機の再起動が終わりましたら、ファームウェアのバージョンアップは終了です。
各種設定値を確認してください。

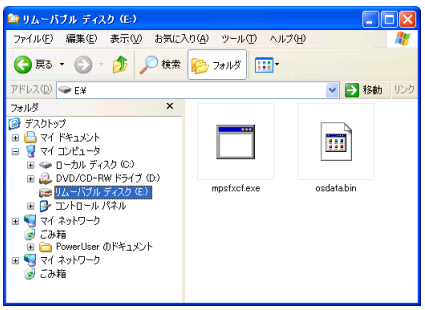
◆エラー発生

バージョンアップ中にエラーが発生した場合は、以下のエラーメッセージを表示します。エラーが発生した場合は、記載の対処を行なってください。

メッセージ	説　明	対 処 方 法
CF カードの容量が足りません	CF カードにバージョンアップに必要な空き容量がありません。	・メモリ受信ファクスを「メモリ再転送」して CF カードの空き容量を増やしてください。 ・「CF カード管理」で CF カードの初期化を行ってください。
送信データ中にエラーを検出しました	送信データに異常がありました。	ファームウェアのダウンロードを再度行ってください。
ファームウェア送信中にエラーが発生しました。	ファームウェアの送信に失敗しました。	ファームウェアのバージョンアップを再度行ってください。
ファームウェアの更新が行なえません	本機が、バージョンアップ可能な状態ではありません。	コピー、ファクス、ネットワークスキャナの動作中、または、管理モード、アドレス帳画面の場合は、バージョンアップができません。ファームウェアのバージョンアップを再度行ってください。

■ CF カードからのバージョンアップ

◆バージョンアップ用 CF カードの作成



入手したバージョンアップファームウェアを、本機に装着されている CF カード、または別途ご用意頂いた CF カードのルートにコピーしてください。
バージョンアップファームウェアの詳細については、下の表をご覧ください。

ファイル名	プログラム名	説　　明
osdata.bin	OS バージョンアップファームウェア	OS のバージョンアップで使用します。
mpsfxcf.exe	APL バージョンアップファームウェア	APL のバージョンアップで使用します。

CF カードに、バージョンアップ用ファームウェアの準備ができましたら、次のページに進んでください。

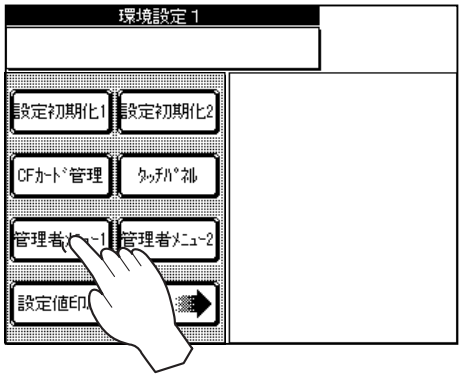
◆バージョンアップの実行

1 本機の電源がオフの状態で、バージョンアップ用ファームウェアの入った CF カードを本機に装着します。

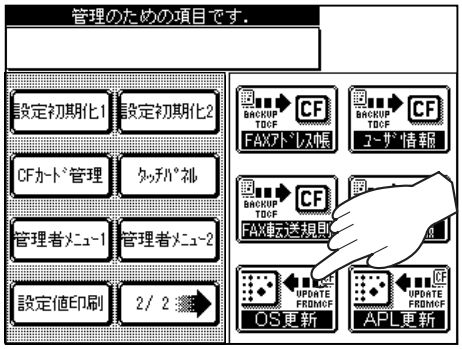
2 本機の電源をオンにします。

3 本機の起動が完了しましたら、管理モード―環境設定 1 画面― 2 ／ 2 ページに入ります。

4 [管理者メニュー 1] ボタンを押します。



5 [OS 更新] ボタンを押します。



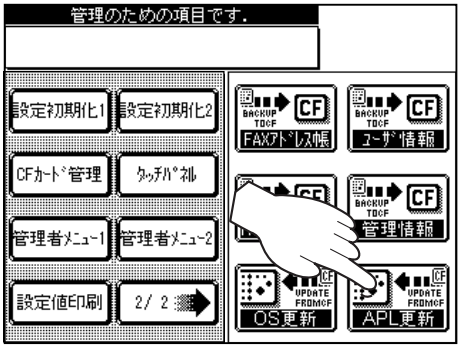
6 [更新] ボタンを押すと、OS の更新を開始します。

7 OS の更新が終了しました。
［処理継続］ボタンを押してください。

メモ

OS と APL がセットで配布されている場合は、続けて APL のバージョンアップを行なってください。
中断する場合は、［再起動］ボタンを押して本機を再起動させてください。

8 続けて APL のバージョンアップを行なう場合は、［APL 更新］ボタンを押します。



9 ［更新］ボタンを押すと、
APL の更新を開始します。

10 APL の更新が終了しました。
［再起動］ボタンを押して、本機を再起動させてください。

これでファームウェアのバージョンアップは終了です。
CF カードからファームウェアを削除して、空き容量を増やしてください。
本機の各種設定値を確認してください。

8章

困ったときは

■目次

エラーメッセージ..... 2
エラー発生について..... 2
エラーメッセージ一覧..... 2
■コピー編..... 2
■ファクス編..... 3
■PC ファクス編..... 4
■ネットワーク編..... 5
■プリンタ編..... 6
■スキャナ編..... 7
■Flash ROM 編..... 8

エラーメッセージ

エラー発生について

本機の操作パネル上の「エラー」ランプが点灯した場合は、本機、または本機に接続されているプリンタ、スキャナに何らかのエラーが発生しています。
「エラー」ランプが点灯した場合は、エラーメッセージ一覧を参照して、記載の対処を行なってください。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ一覧は、以下のように構成されています。

■コピー編 → 8-2
■ファクス編 → 8-3
■PC ファクス編 → 8-4
■ネットワーク編 → 8-5
■プリンタ編 → 8-6
■スキャナ編 → 8-7
■Flash ROM 編 → 8-8

■コピー編

メッセージ	説　明	対 処 方 法
コピーできません ＜＊＊＊＊＊＊＊＞	コピー開始時、処理を行なえない場合に表示されます。	エラーが発生している場合は、そのエラーを解消し、少し時間を空けてから再度コピーを行なってください。
＜データ保存中です＞	データの保存中です。	少し時間を空けてから再度行ってください。
＜プリンタエラー発生中＞	プリンタにエラーが発生しています。	プリンタのエラーを解消し、再度行ってください。
＜プリンタ用紙なし＞	プリンタの用紙がなくなりました。	プリンタの用紙を補給し、再度行ってください。
＜スキャナ動作中＞	スキャナの処理中です。	処理が終わってから再度行ってください。
＜プリンタ動作中＞	プリンタが動作中です。	少し時間を空けてから再度行ってください。
＜プリンタ状態取得中＞	プリンタの状態取得中です。	少し時間を空けてから再度行ってください。
＜ウィンドウ表示中＞	ウィンドウ表示中です。	少し時間を空けてから再度行ってください。
＜プリンタオフライン＞	プリンタがオフラインになっています。	オンラインにしてから再度行ってください。

■ファクス編

メッセージ	説　明	対 処 方 法
受信履歴情報が破損している可能性があります。異常が見られる場合、履歴を初期化して下さい。	受信原稿の印刷を行った際、受信履歴情報が破損している可能性があった場合、表示されます。	履歴の初期化を行ってください。 頻発するようであれば CF カードが破損している可能性があります。その場合は CF カードを交換してください。
【プリンタエラー発生】 画像異常	受信原稿の画像展開処理が正常に行なえなかった場合に表示されます。	ファクス受信をやり直してください。
【プリンタエラー発生】 メモリ不足	受信画像が複雑すぎるためや、他処理動作中のために作業メモリを確保できず、受信原稿の印刷処理が継続できない場合に表示されます。	他の処理が完了してから、再度メモリ印刷を行ってください。
FAX 送信原稿処理がキャンセルされました。 原因が下記のどちらにも該当しない場合、本機の電源を再投入して下さい。 ●送信用メモリがフル ● ADF 異常	送信原稿の作成中、何らかの要因によって送信原稿作成処理がキャンセルされた場合に表示されます。	他の処理がメモリを使用している場合、その処理が完了してから再度送信を行なってください。 ADF の異常の場合は、それを解除してから再度送信を行なってください。

◆ファクス履歴の詳細表示や履歴印刷のエラーコードとして表示されます。

メッセージ	説　明	対 処 方 法
受信異常 B	ファクス受信開始時にエラーが発生しました。	電話回線及び相手先を確認してください。
受信異常 CD	ファクスデータ受信中にエラーが発生しました。	受信速度を下げて再度受信してください。
受信データ異常	ファクスデータ受信中にエラーが発生しました。	受信速度を下げて再度受信してください。
受信異常 E	ファクス受信終了処理中にエラーが発生しました。	電話回線及び相手先を確認してください。 データ受信は最終ページまで終了しています。
相手話中	相手先が話中です。	電話回線及び相手先を確認してください。
相手無応答	相手先が応答しません。	電話回線及び相手先を確認してください。
送信異常 B	ファクス送信開始時にエラーが発生しました。	電話回線及び相手先を確認してください。
送信異常 CD	ファクスデータ送信中にエラーが発生しました。	送信速度を下げて再度受信してください。
送信異常 E	ファクス送信終了処理中にエラーが発生しました。	電話回線及び相手先を確認してください。 データ送信は最終ページまで終了しています。

■ PC ファクス編

◆ WEB ブラウザの PC ファクス状況画面に表示されます。

メッセージ	説　明	対 処 方 法
画像ファイルエラー	送信可能な TIFF ファイルではありません。	画像ファイルを TIFF コンバータを利用して、TIFF に変換してください。
CF カードメモリエラー	CF カードの空き容量が不足しています。	CF カードの容量を増やすか、送信原稿を減らして再度送信してください。
配手先話中	相手先が話中です。	しばらくたってから再度行ってください。
相手先無応答	相手先が応答しません。	・電話回線を確認してください。 ・しばらくたってから再度行ってください。
モデム初期化エラー	内蔵モデムの初期化に失敗しました。	本機を再起動後、再度送信してください。
ダイヤルトーン未検出	ダイヤルに失敗しました。	電話回線を確認し、再度送信してください。
ダイヤル異常	ダイヤルに失敗しました。	電話回線を確認し、再度送信してください。
プリメッセージエラー	送信中にエラーが発生しました。	再度送信してください。
データ伝送エラー	送信中にエラーが発生しました。	再度送信してください。
データ伝送準備エラー	送信中にエラーが発生しました。	再度送信してください。
回線切断エラー	送信中にエラーが発生しました。	再度送信してください。

◆ WEB ブラウザの送信画面に表示されます。

メッセージ	説　明	対 処 方 法
画像ファイルが存在しません	指定された画像ファイルのパスが無効です。	ファイル名を再度入力してください。
正しい宛先ファクス番号を入力してください。	入力した番号に不正な文字が含まれています。	正しいファクス番号を入力してください。
正しいＦコードサブアドレスを入力してください。	入力した番号に不正な文字が含まれています。	正しいＦコードサブアドレスを入力してください。
正しいＦコードパスワードを入力してください。	入力した番号に不正な文字が含まれています。	正しいＦコードパスワードを入力してください。
CF カードに空き容量がありません。	CF カードの空き容量が不足しています。	CF カードの容量を増やすか、送信原稿を減らして再度送信してください。
画像ファイルの転送に失敗しました。	画像ファイル転送中にエラーが発生しました。	しばらくたってから再度行ってください。

■ネットワーク編

メッセージ	説　明	対 処 方 法
転送先が見つかりません ＜ARP 無応答＞	ネットワークスキャナ開始時、処理を行なえない場合に表示されます。	接続されているネットワーク内に転送先が見つかりません。転送先を確認してください。
処理開始できません ＜＊＊＊＊＊＊＊＊＞	＜　＞で示された設定がされていないか、もしくは処理中です。	設定がされていない場合は、その設定を行ってから、処理中の場合は少し時間を空けてから再度行ってください。
＜転送先未指定＞	転送先が指定されていません。	転送先を指定してから行ってください。
＜SMB ユーザ名なし＞	ユーザ名が指定されていません。	ユーザ名を指定してから行ってください。
＜SMB フォルダなし＞	フォルダ名が指定されていません。	フォルダ名を指定してから行ってください。
＜FTP ユーザ名なし＞	FTP ユーザ名が指定されていません。	ユーザ名を指定してから行ってください。
＜FTP ﾎｽﾄ名なし＞	FTP ホスト名が指定されていません。	ホスト名を指定してから行ってください。
＜E メールアドレスなし＞	SMTP サーバアドレスが設定されていません。	管理者に確認してください。
＜データ保存中＞	データ保存中です。	少し時間を空けてから再度行ってください。
＜スキャナ動作中＞	スキャナ処理中です。	少し時間を空けてから再度行ってください。
＜ウィンドウ表示中＞	ウィンドウ表示中です。	少し時間を空けてから再度行ってください。

■プリンタ編

メッセージ	説　明	対 処 方 法
【プリンタ用紙確認】履歴印刷はA4用紙のみです。 A4用紙をセットしてください。	プリンタの用紙がA4でない場合に発生します。	プリンタにA4カセットを装着し、用紙を入れて下さい。
【プリンタ用紙確認】 設定印刷はA4用紙のみです。A4用紙をセットしてください。		
【プリンタエラー発生】＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	プリンタに何らかのエラーが発生しています。	メッセージにしたがってエラーを解除して下さい。
エラーが発生しています。プリンタの接続を確認して下さい。	←	←
用紙サイズエラー 印刷先のプリンタは、この用紙サイズをサポートしていません。印刷先のプリンタ機種と本機プリンタ機種をご確認ください。	←	←
オフライン プリンタを印刷可能な状態にして下さい。	←	←
トナーカートリッジ トナーカートリッジを確認してください。	←	←
カバーオープン プリンタカバーを閉じて下さい。	←	←
紙詰り プリンタの紙詰りを解除して下さい。	←	←
該当用紙無し プリンタに用紙をセットして下さい。または、プリンタに用紙カセットをセットして下さい。	←	←
ビンユニット装着不良 プリンタのユニットを正しく装着して下さい。	←	←
両面印刷ユニット未設定 環境設定2のメニューをオープンして、プリンタオプションを変更して下さい。	←	←
HDユニット未設定 環境設定2のメニューをオープンして、プリンタオプションを変更して下さい。	←	←
ソータユニット未装着 ソータ未装着の場合、ソータを用いたソートは行なえません。	←	←
状態初期化失敗 下記項目を確認して下さい。 ・プリンタの双方向設定が［ニブル］であること ・本機とプリンタの接続が正しいこと 再検索ボタン押下後、エラーが発生する場合は、プリンタの電源を再投入して下さい。	←	←

メッセージ	説　明	対処方法
通信エラー 本機とプリンタの接続を確認して下さい。	←	←
通信エラー 下記項目を確認後、確認ボタンを押して下さい。 ・本機とプリンタの接続が正しいこと ・プリンタが印刷可能な状態であること 印刷のキャンセルを行なうには、確認ボタンを押す前に、プリンタのジョブキャンセルを実行して下さい。	←	←

■スキャナ編

メッセージ	説　明	対 処 方 法
【設定パラメータ異常発生】スキャナ未サポート	設定されたパラメータは無効です。	現在接続されているスキャナではサポートされていません。
【スキャナエラー発生】＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	スキャナに何かしらのエラーが発生しています。	メッセージにしたがってエラーを解除して下さい。
原稿用紙確認 スキャナ原稿台の原稿用紙を取り除いて下さい。	←	←
ADF エラー ADF とスキャナの状態を確認して下さい。	←	←
通信エラー 本機とスキャナの接続を確認して下さい。	←	←
スキャナ使用中 スキャナが使用されていないことを確認後、再度、処理を行って下さい。	←	←
カバーオープン ADF のカバーを閉じて下さい。	←	←
ADF 用紙検知機能なし ADF は用紙検知機能をサポートしていません。	←	←
用紙サイズ検知エラー 用紙サイズ自動検知はサポートしていません。	←	←
用紙サイズ検知エラー 用紙サイズが判別不能です。原稿用紙をセットし直してください。	←	←
スキャナ設定失敗 本機とスキャナの設定を確認して下さい。	←	←
用紙なし 用紙をセットして下さい。	←	←
紙詰り ADF の紙詰りを解除して下さい。	←	←

■ Flash ROM 編

メッセージ	説　明	対 処 方 法
コピー設定値が異常な値を示しています。 設定値を工場出荷時の設定に戻します。	起動時、FLASH ROM 内容が破損している場合に表示されます。	設定値が初期値に戻ります。再度設定を行って下さい。頻発するようであれば故障している可能性がありますので、お問合せ下さい。
FAX 設定値が異常な値を示しています。 設定値を工場出荷時の設定に戻します。	起動時、FLASH ROM 内容が破損している場合に表示されます。	設定値が初期値に戻ります。再度設定を行って下さい。頻発するようであれば故障している可能性がありますので、お問合せ下さい。
環境設定値が異常な値を示しています。 設定値を工場出荷時の設定に戻します。	起動時、FLASH ROM 内容が破損している場合に表示されます。	設定値が初期値に戻ります。再度設定を行って下さい。頻発するようであれば故障している可能性がありますので、お問合せ下さい。
ネットワークスキャナ設定値が異常な値を示しています。設定値を工場出荷時の設定に戻します。	起動時、FLASH ROM 内容が破損している場合に表示されます。	設定値が初期値に戻ります。再度設定を行って下さい。頻発するようであれば故障している可能性がありますので、お問合せ下さい。
ユーザ情報が壊れています。ユーザ情報を工場出荷時の設定に戻します。	起動時、FLASH ROM 内容が破損している場合に表示されます。	設定値が初期値に戻ります。再度設定を行って下さい。頻発するようであれば故障している可能性がありますので、お問合せ下さい。
FAX 受信転送規則情報が壊れています。 転送規則を工場出荷時の設定に戻します。	起動時、FLASH ROM 内容が破損している場合に表示されます。	設定値が初期値に戻ります。再度設定を行って下さい。頻発するようであれば故障している可能性がありますので、お問合せ下さい。

9章 付録

■目次

日常のお手入れ..... 2
サポートのご案内..... 3
　故障のとき..... 3
　サポートダイヤル..... 3
ローマ字入力表..... 4
設定値一覧..... 5
　コピー設定..... 5
　ファクス設定..... 6
　ネットワークスキャナ設定..... 7
　環境設定..... 8
　ユーザ管理設定..... 9
　ルーティングテーブル設定..... 10
　アドレス帳設定..... 10
仕様..... 11
　MAC アドレスについて 12
索引..... 13

日常のお手入れ

本製品を末永くお使い頂けるように、定期的に次のようなお手入れをしてください。

外装ケースの汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞って汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭いてください。

シンナー、ベンジンなどの揮発性薬品は、ケースなどの表面を傷めることがありますので、絶対に使わないでください。
本製品には絶対に水などがかからないように注意してください。

サポートのご案内

故障のとき

本製品には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。
故障のときや調整が必要なときは、本機の形式と製造番号をお控えになり、お買い求めの販売店にお問い合わせください。本機の型番と製造番号は、本体底面の銘板シールに記載してあります。

サポートダイヤル

本機についてご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

サポートの受け付け窓口

■ サイレックス・テクノロジー株式会社　www.silex.jp
サポートダイヤル　06-6730-3775
E-mail　support@silex.jp
受付時間：午前 9:00 ～午前 12:00
午後 1:00 ～午後 5:00
月曜日～金曜日（祝日および弊社指定の休日を除く）

ローマ字入力表

あ	ア	A	は	ハ	HA	が	ガ	GA	ぁ	ァ	XA
い	イ	I	ひ	ヒ	HI	ぎ	ギ	GI	ぃ	ィ	XI
う	ウ	U	ふ	フ	HU	ぐ	グ	GU	ぅ	ゥ	XU
え	エ	E	へ	ヘ	HE	げ	ゲ	GE	ぇ	ェ	XE
お	オ	O	ほ	ホ	HO	ご	ゴ	GO	ぉ	ォ	XO
か	カ	KA	ま	マ	MA	ざ	ザ	ZA	ゃ	ャ	XYA
き	キ	KI	み	ミ	MI	じ	ジ	ZI	ゅ	ュ	XYU
く	ク	KU	む	ム	MU	ず	ズ	ZU	ょ	ョ	XYO
け	ケ	KE	め	メ	ME	ぜ	ゼ	ZE			
こ	コ	KO	も	モ	MO	ぞ	ゾ	ZO	っ	ッ	XTU
さ	サ	SA	や	ヤ	YA	だ	ダ	DA		ヴ	VU
し	シ	SI	ゆ	ユ	YU	ぢ	ヂ	DI			
す	ス	SU	よ	ヨ	YO	づ	ヅ	DU			
せ	セ	SE				で	デ	DE			
そ	ソ	SO				ど	ド	DO			
た	タ	TA	ら	ラ	RA	ば	バ	BA			
ち	チ	TI	り	リ	RI	び	ビ	BI			
つ	ツ	TU	る	ル	RU	ぶ	ブ	BU			
て	テ	TE	れ	レ	RE	べ	ベ	BE			
と	ト	TO	ろ	ロ	RO	ぼ	ボ	BO			
な	ナ	NA	わ	ワ	WA	ぱ	パ	PA			
に	ニ	NI	を	ヲ	WO	ぴ	ピ	PI			
ぬ	ヌ	NU				ぷ	プ	PU			
ね	ネ	NE				ぺ	ペ	PE			
の	ノ	NO	ん	ン	NN	ぽ	ポ	PO			

設定値一覧

コピー設定

◆基本画面

設定項目	設　定　値	初 期 値
原稿サイズ	自動検知／A3／B4／A4（横・縦）／B5（横・縦）／A5（横・縦）	A4 縦
拡大／縮小	倍率指定【50 ～ 200】（%）／（A3，B4，A4，B5，A5，ハガキ）にコピー／（A3，B4，A4，B5，A5，ハガキ）ちいさめにコピー	A4 にコピー
コピー品質	文字／文字･写真／写真／カラー文字／カラー写真	文　字
輪　郭	【ソフト～シャープ】（5 段階）	標　準
濃　度	【うすく～こく】（5 段階）	標　準

◆応用画面

設定項目	設　定　値	初 期 値
両面コピー	オフ／両面→片面／片面→片面／両面→両面	オ　フ
と じ 代	オフ／左とじ／右とじ／上とじ／下とじ／とじ幅指定【0 ～ 99】（mm）	オ　フ とじ幅指定 10（mm）
コピー解像度	はやい／標準／きれい	き れ い
縮小レイアウト	オフ／2 枚→1 枚（左から右・右から左・上から下・下から上）／4 枚→1 枚（左上から右・左上から下・右上から左・右上から下）	オ　フ
ページソート	オフ／HDD ソート／ソータソート／回転ソート／ステープルソート／シフトソート／パンチ処理	オ　フ
プリンタ選択	ローカルプリンタ／ネットワークプリンタ × 5	ローカルプリンタ
RGB レベル	Red ／ Green ／ Blue 【-3 ～ +3】	全て標準（0）
給紙トレイ	自動選択／トレイ優先／カセット優先	自動選択
明 彩 度	明度／彩度／コントラスト 【-3 ～ +3】	全て標準（0）
ページ連写	オフ／左開き連写／右開き連写	オ　フ
色　相	Red ／ Yellow ／ Green ／ Cyan ／ Blue ／ Magenta 【-3 ～ +3】	全て標準（0）
特殊機能	オフ／鏡像／ブックレット処理	オ　フ
原稿サイズ	自動検知／A3／B4／A4（横・縦）／B5（横・縦）／A5（横・縦）	A4 縦
Dropout カラー	オフ／Red ／ Green ／ Blue	オ　フ
コピー品質	文字／文字･写真／写真／カラー文字／カラー写真	文　字
コピー濃度	【薄～濃】（5 段階）	標　準
輪郭設定	【滑～鋭】（5 段階）	標　準

ファクス設定

◆基本画面

設定項目	設　定　値	初 期 値
送信画質	文字／写真	文　字
送信解像度	ノーマル［粗］／ファイン［標準］／ スーパーファイン［密］／ウルトラファイン［細密］	ノーマル［粗］
濃　度	【うすく～こく】(5 段階)	標　準

◆応用画面

設定項目	設　定　値	初 期 値
両面読取	片面読取／両面読取	片面読取
送信解像度	ノーマル／ファイン／ スーパーファイン／ウルトラファイン	ノーマル
ADF サイズ	自動検知／手動指定／A3 ／B4 ／A4（横・縦）／ B5（横・縦）／A5（横・縦）	手動指定
原稿台サイズ	自動検知／手動指定／A3 ／B4 ／A4（横・縦）／ B5（横・縦）／A5（横・縦）	手動指定
送信濃度	【薄～濃】(5 段階)	標　準
送信画質	文字／写真	文　字
輪郭設定	【滑～鋭】(5 段階)	標　準
変倍送信 A3	A3 に等倍／（B4・A4）に変倍	A3 に等倍
変倍送信 B4	A3 に等倍／（A3・B4・A4）に変倍	B4 に等倍
変倍送信 A4	（A3・B4・A4）に等倍／（A3・B4）に変倍	A4 に等倍
変倍送信 B5	（A3・B4・A4）に等倍／（B4・A4）に変倍	A4 に変倍
変倍送信 A5	（A3・B4・A4）に等倍／A4 に変倍	A4 に変倍
発信元記録	＜記録位置＞FAX 文書外／FAX 文書内／発信元記録なし ＜記録内容＞番号と名称／番号のみ	FAX 文書外 番号と名称
端末登録	FAX 番号【最大 20 桁】／自局名称【最大 32 文字】 ／グループ	―
受信モード	通常受信／メモリ受信	通常受信
受信用紙	A3 用紙（可・不可）／B4 用紙（可・不可）／ B5 用紙（可・不可）／A5 用紙（可・不可） ＜ちいさめ＞標準／ちいさめ	すべて可 標　準
ADF 異常時	送信継続／送信中止	送信中止
送信メモリフル	送信継続／送信中止	送信中止
送信速度	2400 ／4800 ／7200 ／9600 ／12000 ／14400 (BPS)	14400 (BPS)
受信速度	2400 ／4800 ／7200 ／9600 ／12000 ／14400 (BPS)	14400 (BPS)
通信音量	無音／音量小／音量中／音量大	無　音
回線種類	パルス /10pps ／パルス /20pps ／トーン	トーン
エラー訂正機能	ECM 有効／ECM 無効	ECM 有効
呼出回数	【1 ～ 9】(回)	3 (回)
リダイヤル回数	【0 ～ 9】(回)	3 (回)
リダイヤル間隔	【1 ～ 9】(分)	1 (分)

ネットワークスキャナ設定

◆基本画面

設定項目	設　定　値	初 期 値
原稿サイズ	A3 ／ B4 ／ A4（横・縦）／ B5（横・縦）／ A5（横・縦）／ B6（横・縦）／ LGL ／ LT 縦／ ハガキ（横・縦） ／範囲指定【主走査 53 ～、副走査 74 ～】(mm)	A4 縦
解 像 度	200/300/400/500/600/ 解像度指定【50 ～ 600】(dpi) 100/150/200/240/300/ 解像度指定【50 ～ 300】(dpi)	600(dpi) ※1 200(dpi) ※2
プロトコル選択	共有／ FTP ／ E メール	共　有
画像種別	モノクロ／ハーフトーン／グレイスケール／カラー	モノクロ
濃　度※3	【うすく～こく】(5 段階)	標　準
閾　値※4	【うすく～こく】(1 ～ 254)	128

◆応用画面

設定項目	設　定　値	初 期 値
両面読取	片面読取／両面読取	片面読取
画像種別	モノクロ／ハーフトーン／グレイスケール／カラー	モノクロ
Dropout カラー	オフ／ Red ／ Green ／ Blue	オフ／ Green※5
ファイル形式	TIFF(MH) ／ TIFF(MH)Multi ／ TIFF(MMR) ／ TIFF(MMR)Multi ／ PDF ／ JPEG	TIFF(MH) ※1 JPEG※2
輪　郭	【滑～鋭】(5 段階)	標　準
共有フォルダ	コンピュータ名【最大 15 文字】／フォルダ【最大 63 文字】／ユーザ名【最大 31 文字】／パスワード【最大 31 文字】／ドメイン名【最大 15 文字】／検索※6 【半角 12 文字・全角 6 文字】	―
FTP 設定	ホスト名【最大 63 文字】／ユーザ名【最大 31 文字】／パスワード【最大 31 文字】／ フォルダ【最大 63 文字】／ PASV（有効・無効）	―
E メール設定	転送先アドレス【最大 63 文字】	―
転送プロトコル	共有フォルダ／ FTP ／ E メール	―
特殊機能	オフ／閾値自動／画像回転	オ　フ

※1　画像種別：モノクロ、ハーフトーンの場合。
※2　画像種別：グレイスケール、カラーの場合。
※3　画像種別：ハーフトーン、グレイスケール、カラーの場合。
※4　画像種別：モノクロの場合。
※5　PFU 製スキャナ接続時の初期値は Green です。
※6　「検索」による自動設定が可能です。

環境設定

◆環境設定 1

設定項目	設　定　値	初 期 値
日付設定	(年月日)【2000 年 01 月 01 日～ 2127 年 12 月 31 日】	―
時刻設定	(時分秒)【00 時 00 分 00 秒～ 23 時 59 分 59 秒】	―
節　電	【0、10 ～ 999】(秒)　(0 はオフ)	60 (秒)
オートクリア	【0、10 ～ 999】(秒)　(0 はオフ)	60 (秒)
オートログオフ	【0、10 ～ 999】(秒)　(0 はオフ)	60 (秒)
音　量	無音／音量小／音量中／音量大	無　音

◆環境設定 2

設定項目	設　定　値	初 期 値
IP アドレス設定	自動設定／ ＜ IP アドレス＞ (アドレス)【0 ～ 255】 ＜ SubnetMask ＞ (アドレス)【0 ～ 255】 ＜ D. Gateway ＞ (アドレス)【0 ～ 255】	 192. 168. 1. 1 255. 255. 255. 0 ―
DNS 設定	＜ DNS サーバ 1 ＞ (IP アドレス)【0 ～ 255】 ＜ DNS サーバ 2 ＞ (IP アドレス)【0 ～ 255】	― ―
WINS 設定	＜ WINS サーバ 1 ＞ (IP アドレス)【0 ～ 255】 ＜ WINS サーバ 2 ＞ (IP アドレス)【0 ～ 255】	― ―
通信障害	＜リトライ回数＞【0 ～ 100】(回)　(0 はオフ) ＜リトライ間隔＞【1 ～ 999】(秒)	2 (回) 15 (秒)
SMTP 設定	＜ SMTP サーバ＞ (サーバ名／ IP アドレス) 【最大 127 文字／ 0 ～ 255】 ＜最大ファイルサイズ＞【0, 100 ～ 65530】(KByte) (0 は無制限) ＜転送元アドレス＞ (E メールアドレス) 【最大 63 文字】	― 5120 (KByte) ―
SNTP 設定	＜ NTP サーバ＞ (サーバ名／ IP アドレス) 【最大 127 文字／ 0 ～ 255】 ＜調整間隔＞【10 ～ 990】※1 (分)　(0 はオフ)	― オ　フ
プリンタ登録	＜プリンタ IP ＞ (IP アドレス)　【0 ～ 255】 ＜プリンタ情報＞自動取得／手動設定／未接続設定 ＜プリンタキュー名＞【最大 32 文字】 ＜ステータス更新＞【4 ～ 99】(秒) ＜コミュニティ名＞【最大 16 文字】 ※ 5 台まで登録可能	― 自動取得 ― 6 (秒) ―

設定項目	設　定　値	初 期 値
プリンタオプション	＜プリンタ選択＞ローカル／ネットワーク（5 台） ＜プリンタ機種＞ LP1800 ／ LP6800 ／ LP9500DN ／ LP8026N ＜両面ユニット＞未装着／装着あり ＜ペーパフィーダ＞【1 ～ 5】 ＜ HDD, RAMDISK ＞未装着，装着あり ＜排紙装置＞未装着／トップマウントソータ／フィニッシャ／中とじフィニッシャ／ DF600 フィニッシャ／ DF610 フィニッシャ	 ローカル － 未 装 着 1 未 装 着 未 装 着
プリンタオフセット	＜プリンタ選択＞ローカル／ネットワーク（5 台） ＜横オフセット＞【0.0 ～ 99.9】(mm) ＜縦オフセット＞【0.0 ～ 99.9】(mm) ※上下、左右の選択可	ローカル 0.0(mm) 0.0(mm)
プリンタ排紙先	＜プリンタ選択＞ローカル／ネットワーク（5 台） ＜ COPY 排紙装置＞フェイスアップ／フェイスダウン／ F. フェイスアップ／ F. フェイスダウン／ ビン 1 ～ビン 5 ＜ FAX 排紙位置＞フェイスアップ／フェイスダウン／ F. フェイスアップ／ F. フェイスダウン／ ビン 1 ～ビン 5	ローカル － －
デフォルトプリンタ	＜プリンタ選択＞ローカル／ネットワーク（5 台）	ローカル

ユーザ管理設定

設定項目	設　定　値	初 期 値
ユーザ名	【最大 5 文字】	－
E メールアドレス	【最大 63 文字】	－
ログオンパスワード	【数字 4 桁】	－

●ゲストを除いて 49 件のユーザ登録が可能です。

ルーティングテーブル設定

設定項目	設　定　値	初 期 値
F コード※1	【最大 20 桁】	―
数字 ID※1	【最大 20 桁】	―
転送プロトコル	共有フォルダ／FTP ／E メール	共有フォルダ
共有フォルダ	コンピュータ名【最大 15 文字】／フォルダ【最大 63 文字】／ユーザ名【最大 31 文字】／パスワード【最大 31 文字】／ドメイン名【最大 15 文字】／検索※2【半角 12 文字・全角 6 文字】	―
FTP 設定	ホスト名【最大 63 文字】／ユーザ名【最大 31 文字】／パスワード【最大 31 文字】／フォルダ【最大 63 文字】／ PASV（有効・無効）	―
E メール設定	転送先アドレス【最大 63 文字】	―
ファイル形式	TIFF ／ TIFFMulti ／ PDF	TIFF Multi
転送先レコード名	【最大 5 文字】	―

※1　ファクス着信転送の比較は数字のみで行ないます。
※2 「検索」による自動設定が可能です。
●デフォルトを含め、最大 100 件のルーティングテーブルが登録可能です。

アドレス帳設定

設定項目	設　定　値	初 期 値
名称	【最大 32 文字】	―
備考	【最大 29 文字】	―
FAX 番号	【最大 20 桁】	―
E メール	【最大 63 文字】	―
F コード番号	【最大 20 桁】	―
ボタン名称	【最大 5 文字】	―
F コードパス	【最大 20 桁】	―

仕様

◆電気的特性

電源電圧	定格 DC16V
消費電流	1.0A 以下

◆操作部

表示装置	5.7 インチ　モノクロ液晶ディスプレイ
	LED（4 ヶ）
入力装置	タッチパネル（液晶ディスプレイ表面）
	ボタンスイッチ（6 ヶ）

◆機械的特性

外形寸法	345.4(W) × 207.0(D) × 56.6(H) mm
重　量	2.0 kg（本体）
接続方法	付属ケーブルにより接続

◆環境条件

動作温湿度	温度：5 ～ 35℃
	温度：25 ～ 85%（非結露）
保存温湿度	温度：-15 ～ 50℃
	湿度：25 ～ 85%（非結露）

◆使用条件

塵埃	一般事務所
	ホコリの多いところは避けること
照度	直射日光を避けること

◆規格等

耐電磁障害	VCCI Class-A
その他	JATE

◆ファクス仕様

通信規格	G3	
圧縮方式	MH/MR/MMR	
送信原稿サイズ	A3、B4、A4、B5、A5 （但し B5、A5 は A3、B4、A4 にて送信）	
走査線密度	ノーマル	8 ドット /mm × 3.85 ライン /mm
	ファイン	8 ドット /mm × 7.7 ライン /mm
	スーパーファイン	8 ドット /mm × 15.4 ライン /mm
	ウルトラファイン	16 ドット /mm × 15.4 ライン /mm
適応回線	加入電話回線 ※ファクシミリ通信網、NCC 回線等には対応しておりません。	

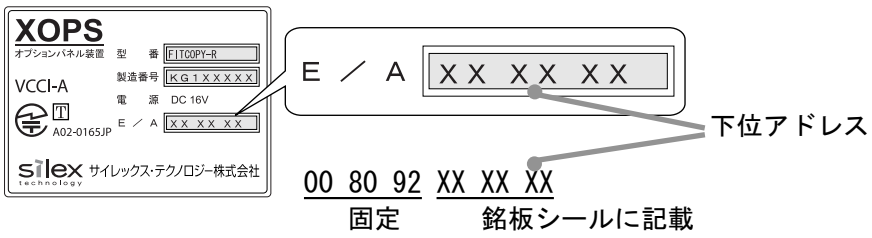
◆データ転送仕様

ネットワーク	10BASE-T Ethernet
通信プロトコル	TCP/IP、SMTP、SMB、LPR、FTP
データ形式	TIFF（MH/MMR 圧縮）、PDF（MH/MMR/JPEG 圧縮）、JPEG
解像度	50 ～ 600dpi

MAC アドレスについて

MAC アドレスは本機裏面の銘板シールに記載してあります。上位 MAC アドレスは 00:80:92 固定です。下位 MAC アドレスは、製品ごとに異なりますので銘板シールをご覧ください。

＜銘板シール＞



索引

C

CF カード確認処理　1-25
CF カードの初期化　7-18
CF カードの取り扱い　1-11

D

DNS 設定　7-20 1-33
Dropout カラー　5-13

E

E メール転送　3-53 5-23
E メール転送の設定　3-53 5-23

F

FTP 転送　3-52 5-22
FTP 転送の設定　3-52 5-22

I

IP アドレス設定　1-30

M

MAC アドレス　9-12

P

PASV　3-52
PC ファクスアドレス帳　4-8
　アドレス帳の削除　4-11
　アドレス帳の登録　4-8
　アドレス帳の編集　4-10
PC ファクス状況画面　4-13
　PC ファクス状況メッセージ一覧　4-14
PC ファクス送信画面を開く　4-4
PC ファクス送信の準備　4-2
PC ファクス送信の手順　4-3

R

RGB レベル　2-23

S

SMTP サーバ名　7-23 1-35
SMTP 設定　7-23 1-35
SNTP サーバ名　7-23
SNTP 設定　7-23

W

WINS 設定　7-20 1-34

ア

アドレス帳
　アドレス帳の印刷　3-60
　アドレス帳の修正／削除　3-59
　アドレス帳の登録　3-57

エ

エラー訂正機能　3-28

オ

オートクリア設定　7-13
オートログオフ設定　7-14
音量設定　7-15

カ

回線種類　3-28 1-44
画像種別　5-9
カラー写真　2-9
カラー文字　2-9
環境設定 1　7-11
環境設定 2　7-20
管理者パスワードの変更　7-40
管理者メニュー　7-37
管理モード画面　1-26

キ

鏡像　2-29
共有フォルダ　3-51
共有フォルダの設定　3-51

ク

区点コード　1-18
グループ
　グループの登録　3-33
　グループを削除する　3-36
　グループ名を修正する　3-35

ケ

ケース・レグ　1-13
原稿サイズ　2-6

原稿の向き　1-19

コ

コピーの準備　2-4
コピーの手順　2-5
コピー履歴　2-32
コントラスト調整　1-21 2-25

サ

最大ファイルサイズ　1-36
サブネットマスク設定　1-31
サポートダイヤル　9-3

シ

閾値　5-10
色相　2-27
自局番号　3-20 1-41
自局名称　3-20 1-42
時刻設定　1-29
縮小拡大　2-7
縮小レイアウト　2-18
受信モード　3-21
受信用紙　3-22
受信履歴　3-61
仕様　9-11
状況ログ画面　7-29

ス

スキャナ接続処理　1-25
スキャンニング履歴　5-32
スキャンニングの手順　5-5

セ

設定初期化　7-16
設定値一覧　9-5
設定内容バックアップ　7-37
設定内容リストア　7-38
接続全体図　1-12
節電設定　7-12

ソ

送信元メールアドレス　1-36
送信速度・受信速度　3-26
送信履歴　3-61
ソフトウェアキーボード　1-14

タ

タッチパネルの再調整　1-23, 7-19
タッチパネルの調整　1-22

チ

ちいさめ　2-8

ツ

通信音量　3-27
通信障害設定　7-21

テ

テスト送信　3-43
デフォルトゲートウェイアドレス設定　1-32
デフォルトプリンタの設定　7-25 1-40
デフォルトルート　3-47
電源の遮断　1-45
電源の投入　1-20
転送先レコード選択　3-46
転送先レコードの設定　3-46
転送時印刷の設定　3-55
転送情報変更　5-31
転送ファイル形式の設定　3-55
転送プロトコル　3-50 5-20
転送プロトコルの設定　3-50 5-20

ト

とじ位置　2-14

ニ

ニブルモード　1-24

ネ

ネットワークスキャナの準備　5-4
ネットワークプリンタ設定　7-25

ハ

バージョンアップ方法の選択　7-41
バージョンの確認　7-41

倍率指定　2-8
発信元記録　3-20 1-43
パラレルインタフェース　1-24

ヒ

日付設定　1-28

フ

ファームウェアのバージョンアップ　7-41
ファイル名　1-2
ファクス受信の手順　3-10
ファクス送受信の準備　3-4
ファクス履歴　3-61
ファクス履歴印刷サンプル　3-63
プリンタオプション設定　7-25 1-39
プリンタオフセット設定　7-26
プリンタ接続処理　1-24
プリンタ選択　2-22
プリンタの接続状態　2-4

ヘ

ページソート　2-19
ページ連写　2-26
変倍送信　3-19

マ

マルチページ TIFF　5-14

メ

明彩度　2-25
メモリ再転送　3-62
メモリ受信　3-21
メモリ受信歴　3-61

ユ

ユーザ管理　7-34
　ユーザの削除　7-36
　ユーザの登録　7-34
　ユーザ情報の変更　7-35

ヨ

呼出回数　3-40

リ

リダイヤル機能　3-41
両面コピー　2-13

ル

ルーティングテーブル
　ルーティングテーブル　3-44
　ルーティングテーブルの設定　3-50

レ

レコード
　レコード　3-44
　レコードの削除　3-49
　レコードの追加　3-47
　レコードの変更　3-48
　レコードのボタン名を変更する　3-56

ロ

ローマ字入力表　9-4

ワ

ワンタッチ　1-6, 5-17
　ワンタッチの削除　5-19
　ワンタッチの修正　5-17
　ワンタッチの登録　5-17

Microsoft® 、Windows® および Windows NT® は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

Copyright © 2002-2003 silex technology, Inc.
Copyright© 1993-2001,Brodcom Corp.All rights reserved.

サイレックス･テクノロジー株式会社

〒 577-0802　大阪府東大阪市小阪本町 1-6-20
サポートダイヤル　06-6730-3775

第 2 版 WA00620XB 04.03.10

silex
technology